

513. 9-012ウ



1200500744966

3.9

2

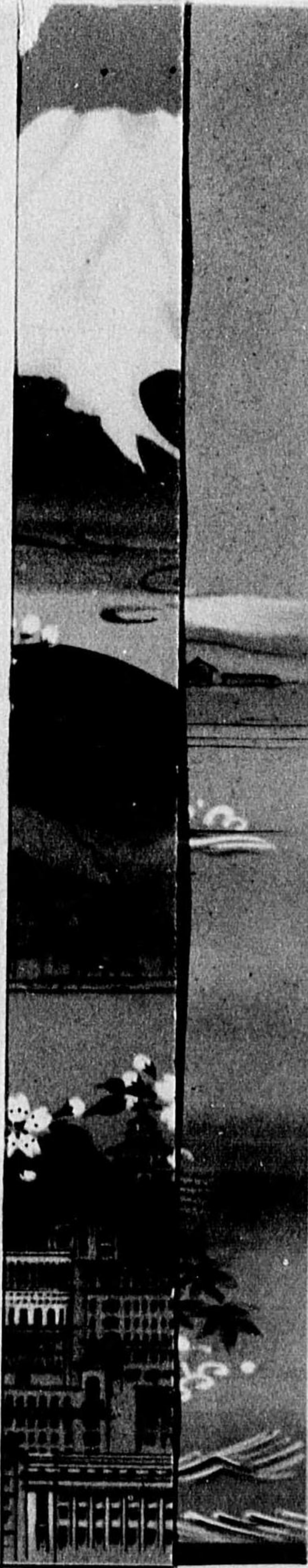


始



2H23

7



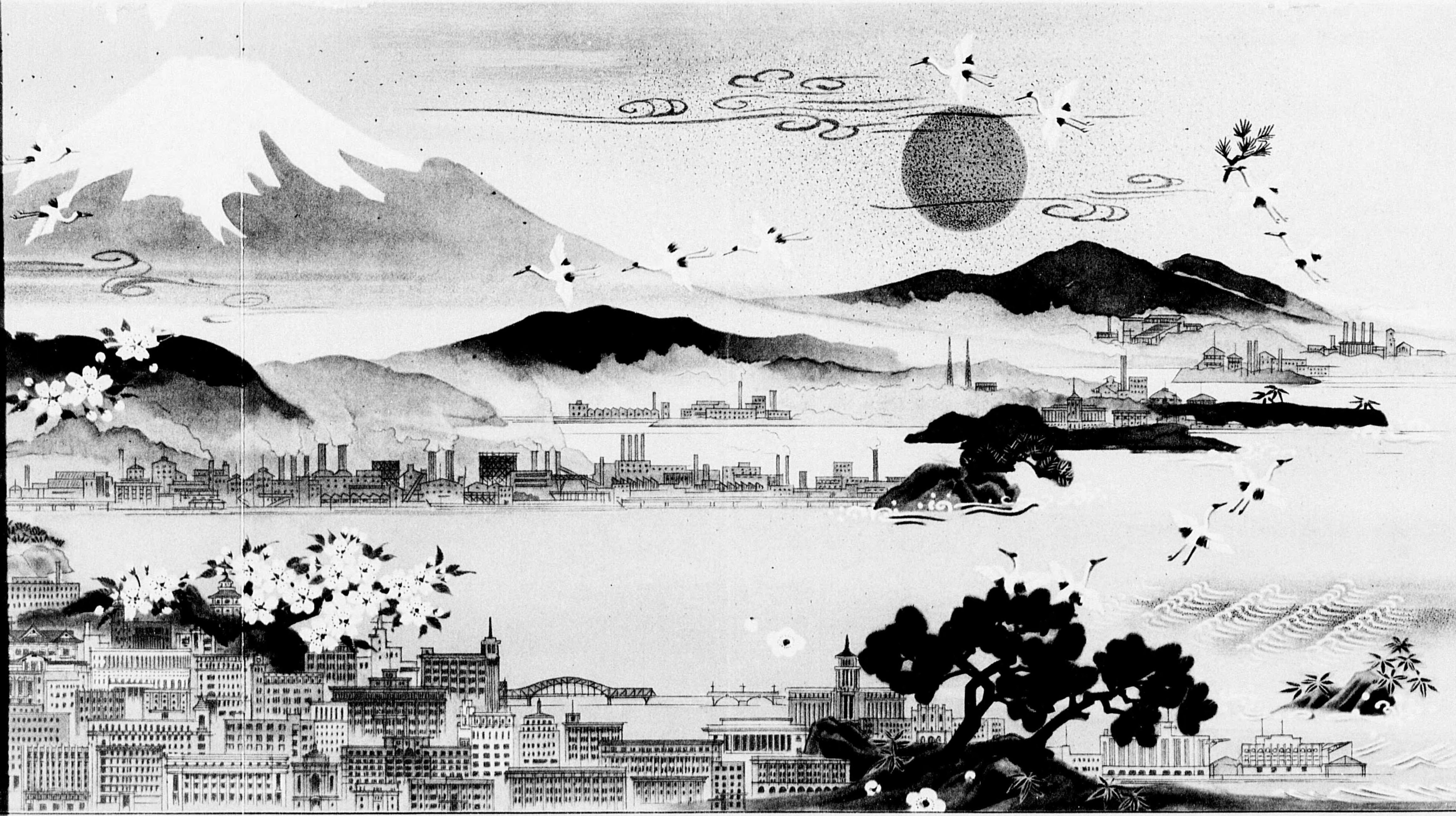
多	摩	御	陵
那	須	御	用
鐵	道	省	總
日	本	赤	十
英	國	大	使
東	京	住	友
本	高	納	商
	店	東	京
	支	店	

露光量違いの為重複撮影



多摩川	那須御用邸	鐵道省越後線	東京	國學院大學	日本興業銀行本店	野田電氣街	横濱電氣街	明神電氣街	大日本電氣街	文化アール	主婦之友	八重	東京帝國大學文經學部教室	横濱生絲検査所	東京府美術院	時事新報社	順天堂病院	東京中央電話局	同窓會	明治	八重	東京	東洋	陸	神奈川縣議會	彌越ビルディング	横濱	ライオン	溝池	新	三葉	東京	鐵道省東京高宗會	東京野村ビルディング	東京米穀商品取引所	簡易保險局聯合會	東京地下鐵道會社地下線	加	東	鐵道省電力電氣所	三	海	建	日本	東京	日本	大阪ビルディング東京支店二號館	米	芝	路	帝	白	宮	日本	英	東京	本	日	慶	日	日	文	東
川	須	省	京	院	業	田	濱	神	日	ア	之	重	國	生	府	事	天	中	同	治	重	京	洋	東	神	越	濱	池	新	葉	京	道	京	米	簡	東	加	東	鐵	三	海	建	日	東	日	大	米	芝	路	帝	白	宮	日	英	東	本	日	日	慶	日	日	文	東
川	須	省	京	院	業	田	濱	神	日	ア	之	重	國	生	府	事	天	中	同	治	重	京	洋	東	神	越	濱	池	新	葉	京	道	京	米	簡	東	加	東	鐵	三	海	建	日	東	日	大	米	芝	路	帝	白	宮	日	英	東	本	日	日	慶	日	日	文	東

露光量違いの為重複撮影



多摩川  
那須野原  
鐵道省岩倉線線路  
東京  
國勢院  
日本興業銀行本店  
野田醤油會社工場  
橫濱中央電氣局  
明治神宮外苑競技場  
大日本麥酒會社東京工場  
文化アパ  
主婦之友  
八重洲  
東京帝國大學法文經學部教室  
橫濱生絲検査所  
時事新報社  
順天堂  
東京中央電話局  
同業會橫濱山手町アパ  
明治及明治第二小學校  
八重洲ビルディング  
東京帝國大學醫學部  
東神倉庫箱崎町倉庫  
陸軍軍醫學校  
神奈川縣廳  
鐵道ビルディング  
橫濱鐵道會社  
ライオンカンパニー會社橫濱支店  
湯島ビルディング東京分館  
新三義  
三義名之内自動車庫  
東京市電車  
鐵道省東京高架線  
東京野村ビルディング  
東京米穀商會取引所  
國島保險局會舍  
東京地下鐵道會社地下線  
加賀ビルディング  
東京市廳  
鐵道省東京汽力發電所  
三信ビルディング  
海軍省技術研究所  
建業會  
常盤生命保險會社本社  
日本電力會社東京火力發電所  
東京市廳  
日本徵兵保險本館  
大坂ビルディング東京支店二號館  
米國大使館  
芝浦製作所船見工場  
臨海屋百貨店  
白鷺  
宮城縣廳會館  
日本赤十字社信濃支店本館  
英國大使館住宅  
東京住宅ビルディング  
本嘉納商店東京支店  
日清生命保險本社  
廣島義塾大學醫學部附屬醫院  
日本文學館東京研究所  
文部省  
日本赤十字社青島支店

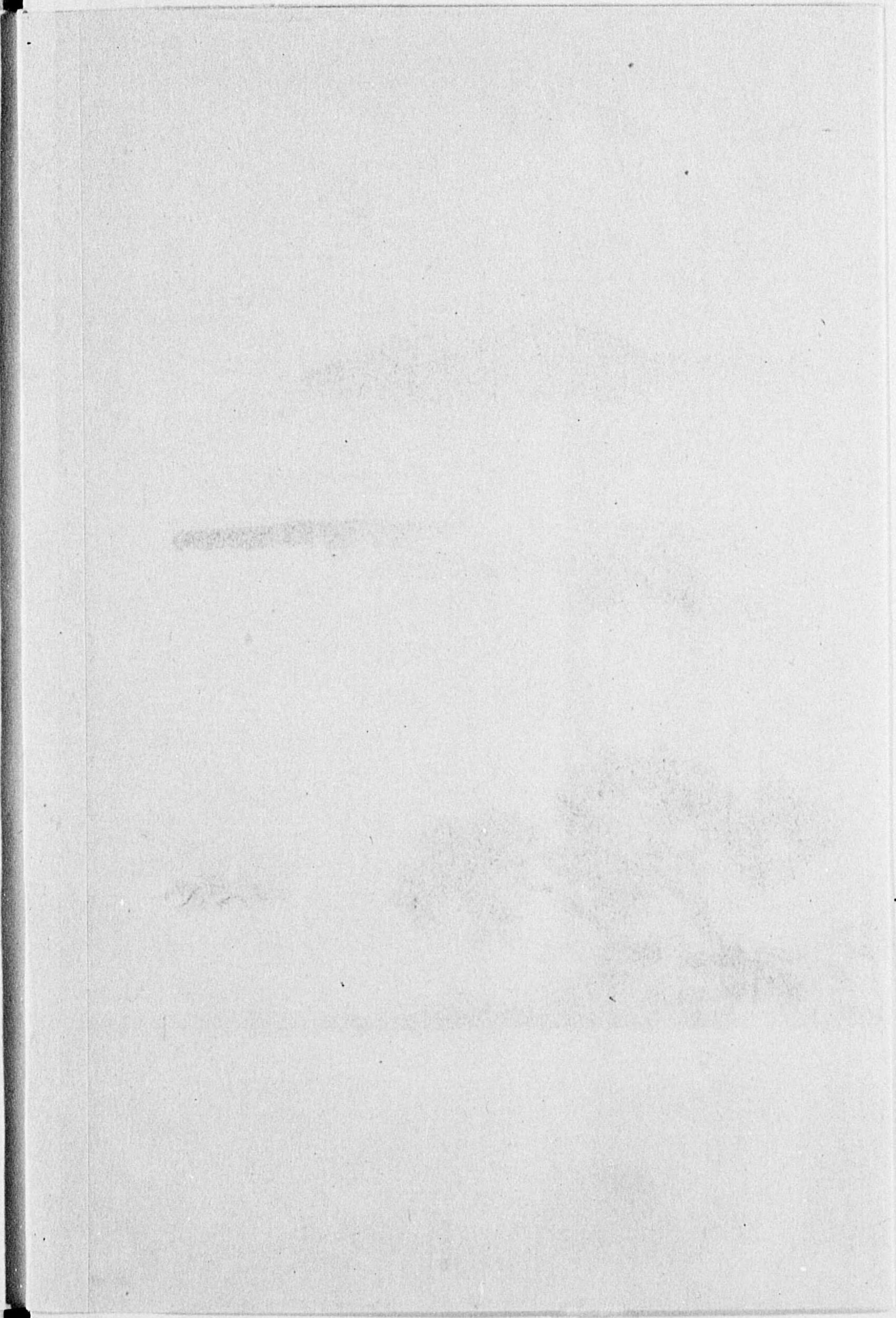
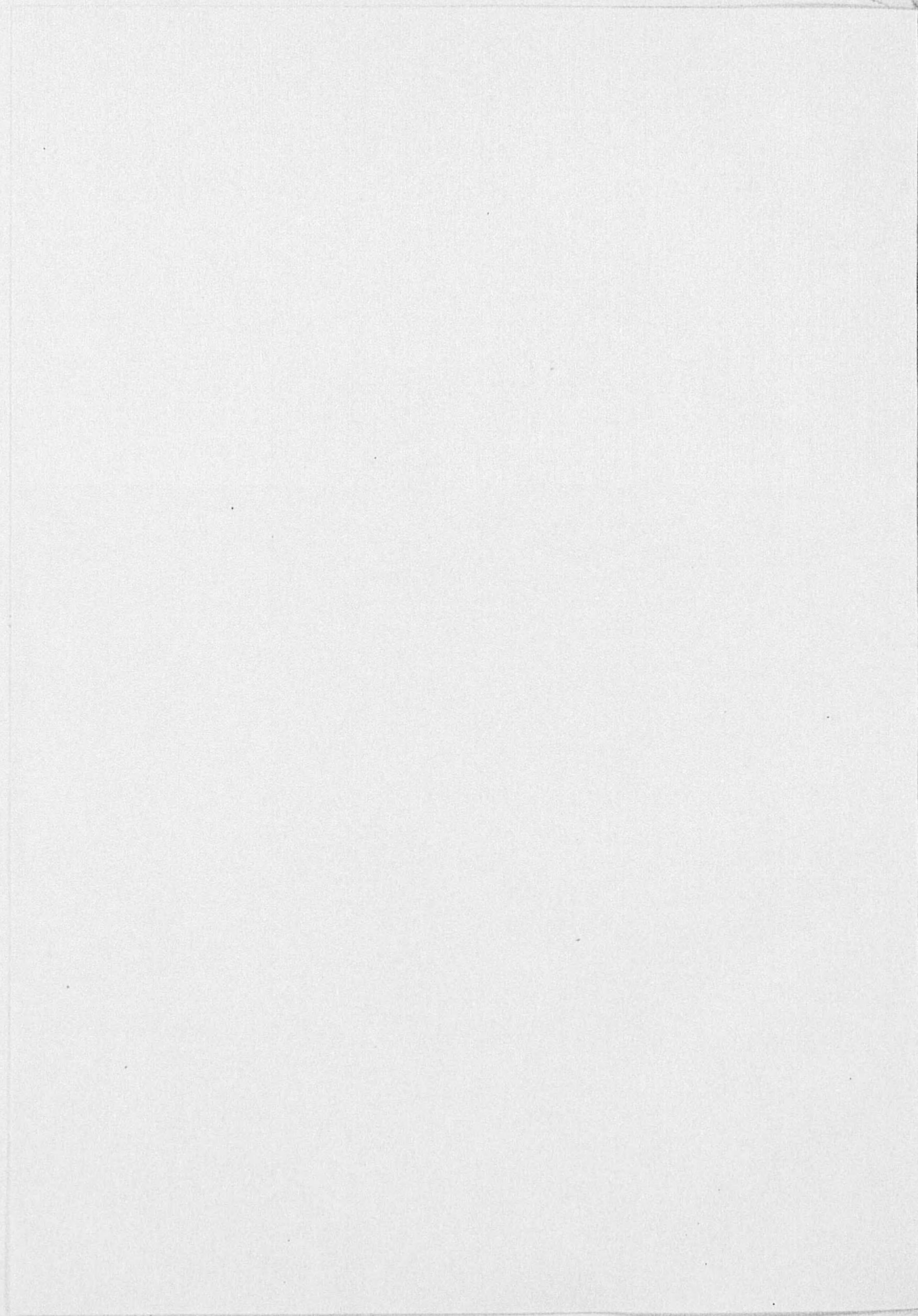
日本赤十字社青島支店  
文部省  
日本文學館東京研究所  
日清生命保險本社  
廣島義塾大學醫學部附屬醫院  
東京住宅ビルディング  
英國大使館住宅  
日本赤十字社信濃支店本館  
宮城縣廳會館  
白鷺  
臨海屋百貨店  
芝浦製作所船見工場  
米國大使館  
大坂ビルディング東京支店二號館  
東京市廳  
日本徵兵保險本館  
日本電力會社東京火力發電所  
常盤生命保險會社本社  
建業會  
海軍省技術研究所  
三信ビルディング  
鐵道省東京汽力發電所  
東京野村ビルディング  
東京米穀商會取引所  
國島保險局會舍  
東京地下鐵道會社地下線  
加賀ビルディング  
東京市廳  
鐵道省東京汽力發電所  
三信ビルディング  
海軍省技術研究所  
建業會  
常盤生命保險會社本社  
日本電力會社東京火力發電所  
東京市廳  
日本徵兵保險本館  
大坂ビルディング東京支店二號館  
米國大使館  
芝浦製作所船見工場  
臨海屋百貨店  
白鷺  
宮城縣廳會館  
日本赤十字社信濃支店本館  
英國大使館住宅  
東京住宅ビルディング  
本嘉納商店東京支店  
日清生命保險本社  
廣島義塾大學醫學部附屬醫院  
日本文學館東京研究所  
文部省  
日本赤十字社青島支店

露光量違いの為重複撮影



- 溝池ビルディング東京分館
- 横濱三井倉庫
- 新三井倉庫
- 三井倉庫内務課車庫
- 東京歌集仗座
- 鉄道省東京高架線
- 東京野村ビルディング
- 東京米穀商取引所
- 簡易保険局麻会
- 東京地下鐵道會社地下線
- 加波ビルディング
- 東京電力會社本館
- 常盤生命保險會社本社
- 日本電力會社東京電力會所
- 東京電力會社本館
- 大阪ビルディング東京支店二號館
- 米國大使館
- 芝浦製作所崎見工場
- 臨前屋百貨店
- 帝國郵船會社
- 宮城縣會館
- 日本赤十字社宮城支隊病院
- 英國大使館住宅
- 東京住友ビルディング
- 本郷納商店東京支店
- 日清生命保險本社
- 慶應義塾大學醫學部附屬病院
- 日本銀行會館
- 日本生命會館
- 文部省會館
- 東方文化學院東京研究所
- 日本赤十字社神戶支隊病院
- 權領高等工業學校
- 三菱重工業會社手稻嶺山工場
- 千代田大學附屬病院
- 加波ビルディング
- 京橋會社
- 日日會社
- 日本會社
- 聖堂
- 傳染病研究所
- 帝國會館
- 東京會館
- 留學會館
- 才座
- 倫敦會館
- 日本會社
- 熊谷陸軍飛行學校
- 日本郵船會社橫濱支店
- 宮内省會館
- 大正生命保險會社本社
- 東京帝國大學應用化學科教室
- 多摩川橋梁
- 三菱銀行本店
- 三菱銀行本店
- 三井物產會社本店
- 慶應義塾大學本部校會
- 昭和入館會社鑄工場
- 赤倉國際觀光ホテル
- 日本電氣會社玉川向工場
- 三菱重工業會社玉川機務工場
- 日東化學工業會社八戸工場
- 日本大學工料教室
- 東北振興ハルア會社石巻工場
- 東北振興電力會社大谷發電所
- 日本製鋼所室蘭工場
- 北緯植人造石油會社龍川工場





正誤表

頁	正	誤
序	申上ます	申上ます
第十七年	割	割
第二十四年	化崗石	花崗石
第二十八年	銃	重
第三十一年	日本海上火災保險會社	日本海上保險會社
第三十二年	未層有	未曾有
第三十三年	堪へない	堪へない
第三十五年	上六停留場	上六停留所
第三十七年	八重洲ビルディング	八重洲ビルディング
第三十七年	東京白鬚橋	東京白鬚橋
第三十七年	東京文化學院東京研究所	東京文化學院東京研究所
第四十二年	相待つて	相待つて
第四十五年	昭和一十一年	昭和一十一年
第四十六年	昭和一十二年	昭和一十二年
第四十八年	京城市子屋	京城市子屋
住宅部編第三頁	大浦氏邸	大浦氏邸
住宅部編第三頁	武田氏邸	武田氏邸
大林精器工業所編	プランチャードランプ	プランチャードランプ



513.9  
0.12  
④

序

父が明治二十五年一月二十五日、斯の業を創めてから今年が恰も第五十年に當ります。當時渺たる存在に過ぎなかつたものが、幾多の波瀾に遭ひながら幸に今日あるを得ましたことは、開け行く國運の餘澤と大方各位の御懇情の賜であります。過去を顧みまして只管今昔の感に堪へないと共に感謝の念を禁じ得ないのであります。



本帖に収録した寫眞によつても察せらるゝ如く、土木建築王事は各時代様々の様相を反映するものでありますから、今後相當長期に亘つて反映する様相は、東亞新秩序の建設を中心とするものに外ならぬのであります。従つて土木建築に業を奉ずる弊社の責務は愈重大であります。創業五十年を迎ふるに方り、全員覺悟を新にし職域奉公に邁進せんことを期する次第であります。偏に倍舊の御眷顧を御願ひ申上ます。

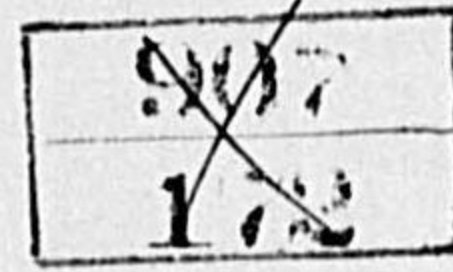
昭和十六年五月

株式會社 大林組

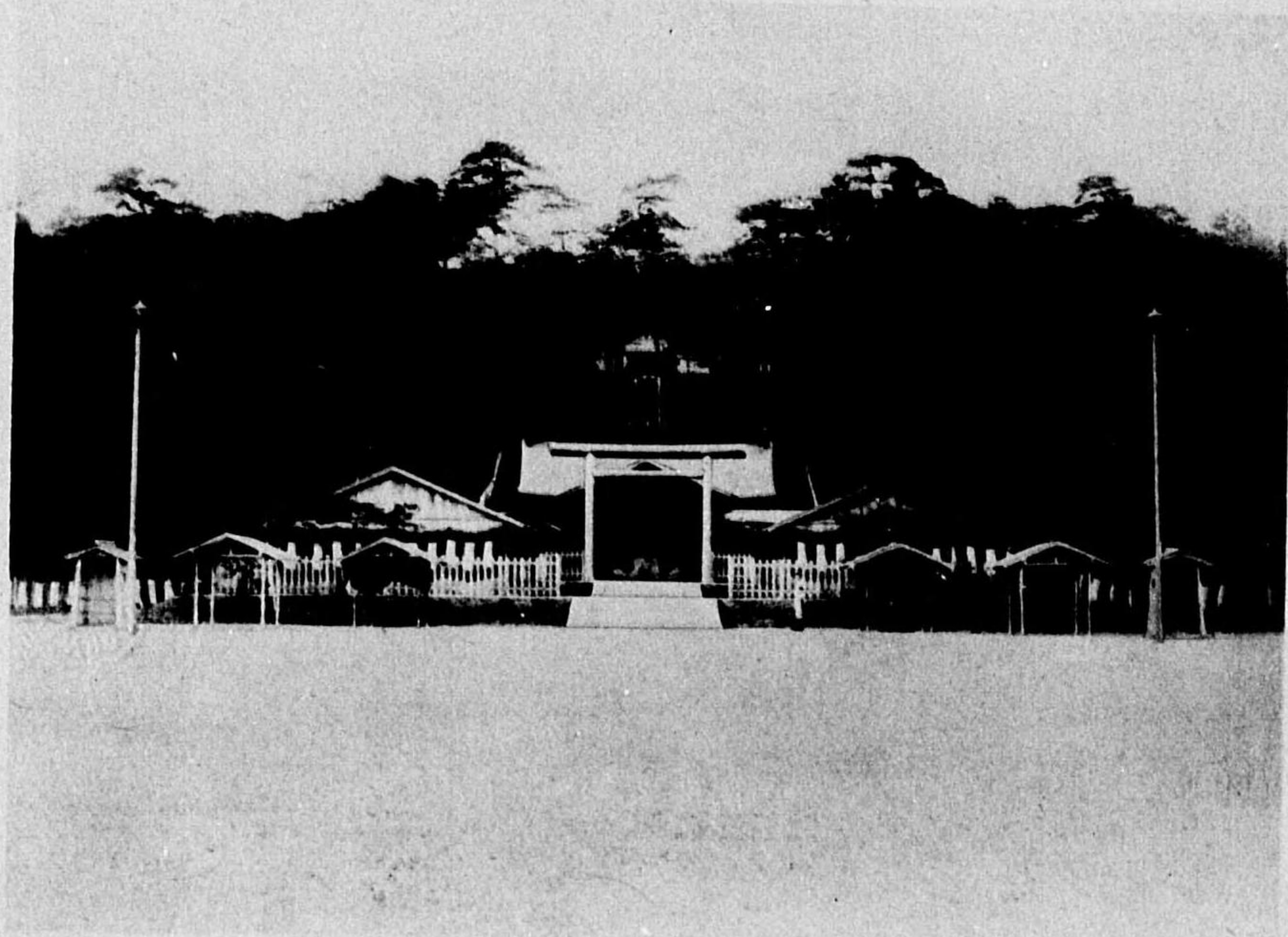
社長 大林 義雄



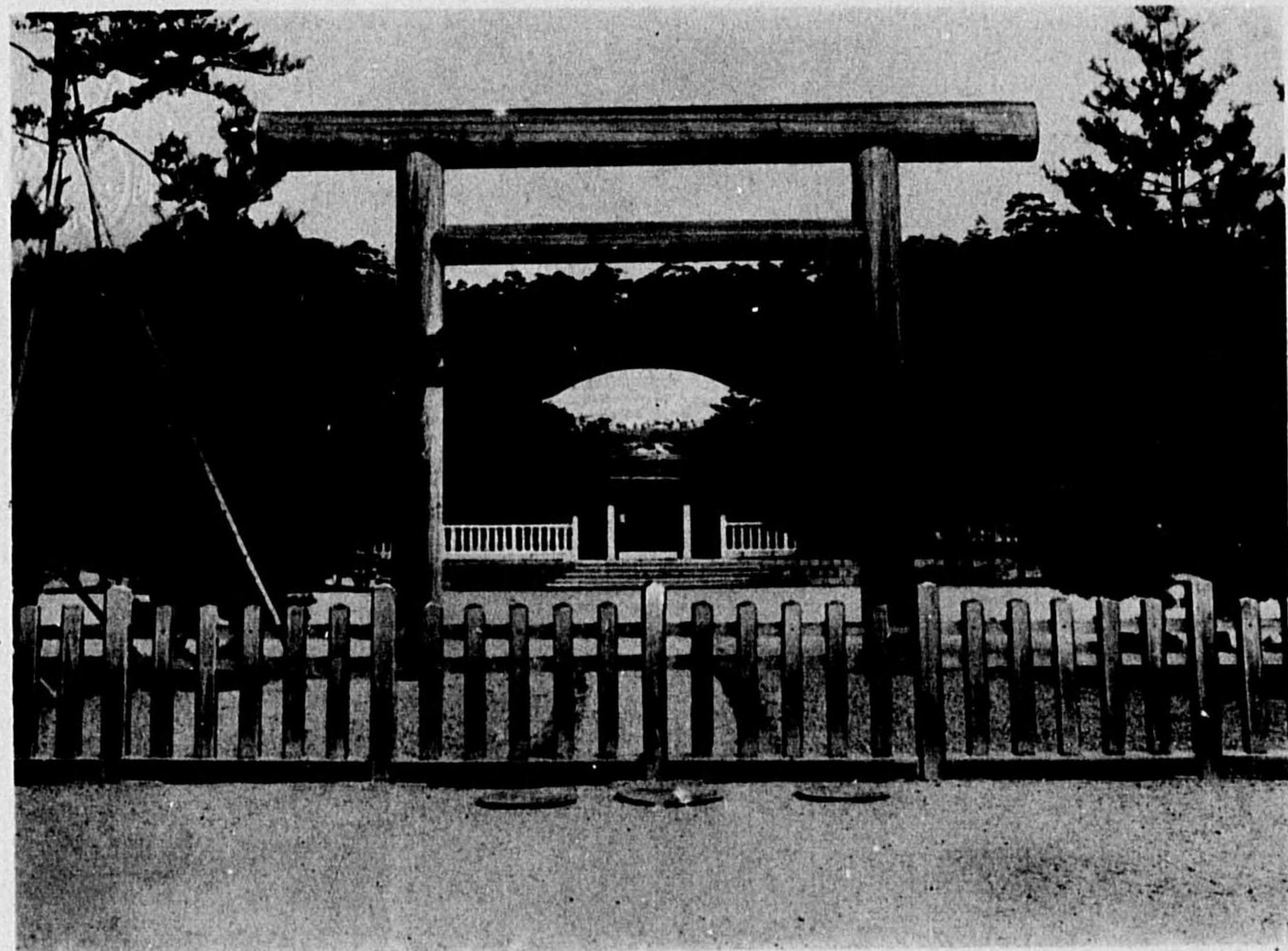
513.9-012 ②



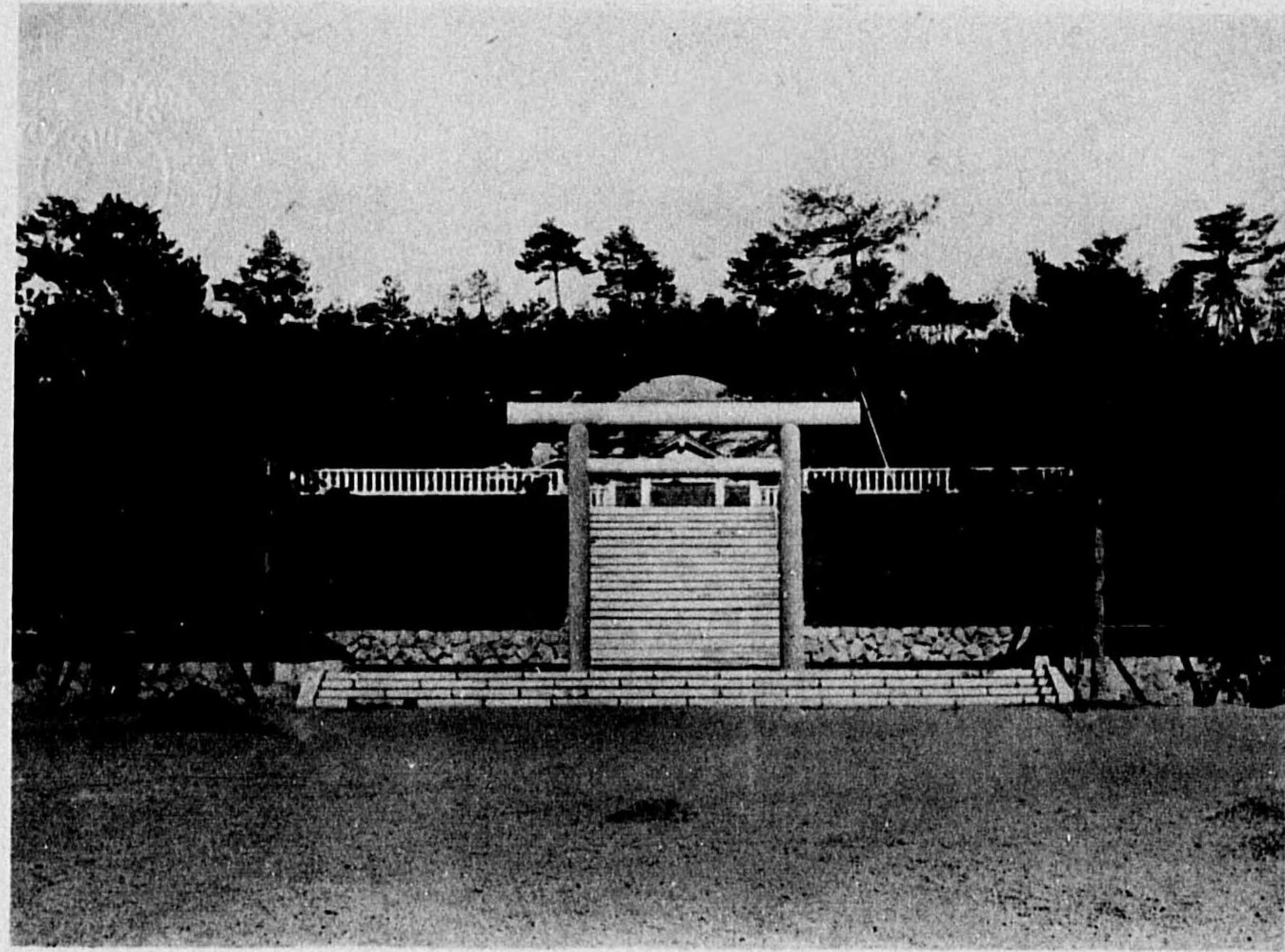
- 一 本帖は創業以來五十年間に施工致しましたものゝ中の主なる工事の寫眞を收録致しましたものでありますが、防諜の關係上當組として逸すべからざる重要な工事でありながら收録を差控へましたものが少くありません。その他種々の事情で收録を見合せたものが多々ありまして甚だ遺憾に存じて居ります。
- 二 建物の種類に依りましてはほんの一小部分の姿しか表はせないものや、複寫に依りました爲鮮明を缺くものもあります。尙、掲載の順序、寫眞面の大小等の不行届に付きましてはあしからず御諒承を願ひます。
- 三 寫眞の配列は當組五十年の歩みを年次的に御披露申上げます爲、その年々に於ける竣功工事の寫眞を當該年次の頁に掲載することゝ致しましたが、この通りになつて居ないものもあります。
- 四 表紙の圖案に柏葉を用ひましたのは大林家の定紋が柏の葉であるのに因みましたが、文字は現社長の筆であります。
- 五 見返の圖は、表表紙の方は關東方面、裏表紙の方は關西・朝鮮・滿洲國方面に於ける當組施工工事の主なるもの壹百宛を取纏めたものであります。兩圖共當組の理事木村得三郎と社員中川修造の合作に成るものであります。



(前葬斂御) 陵御山桃見伏



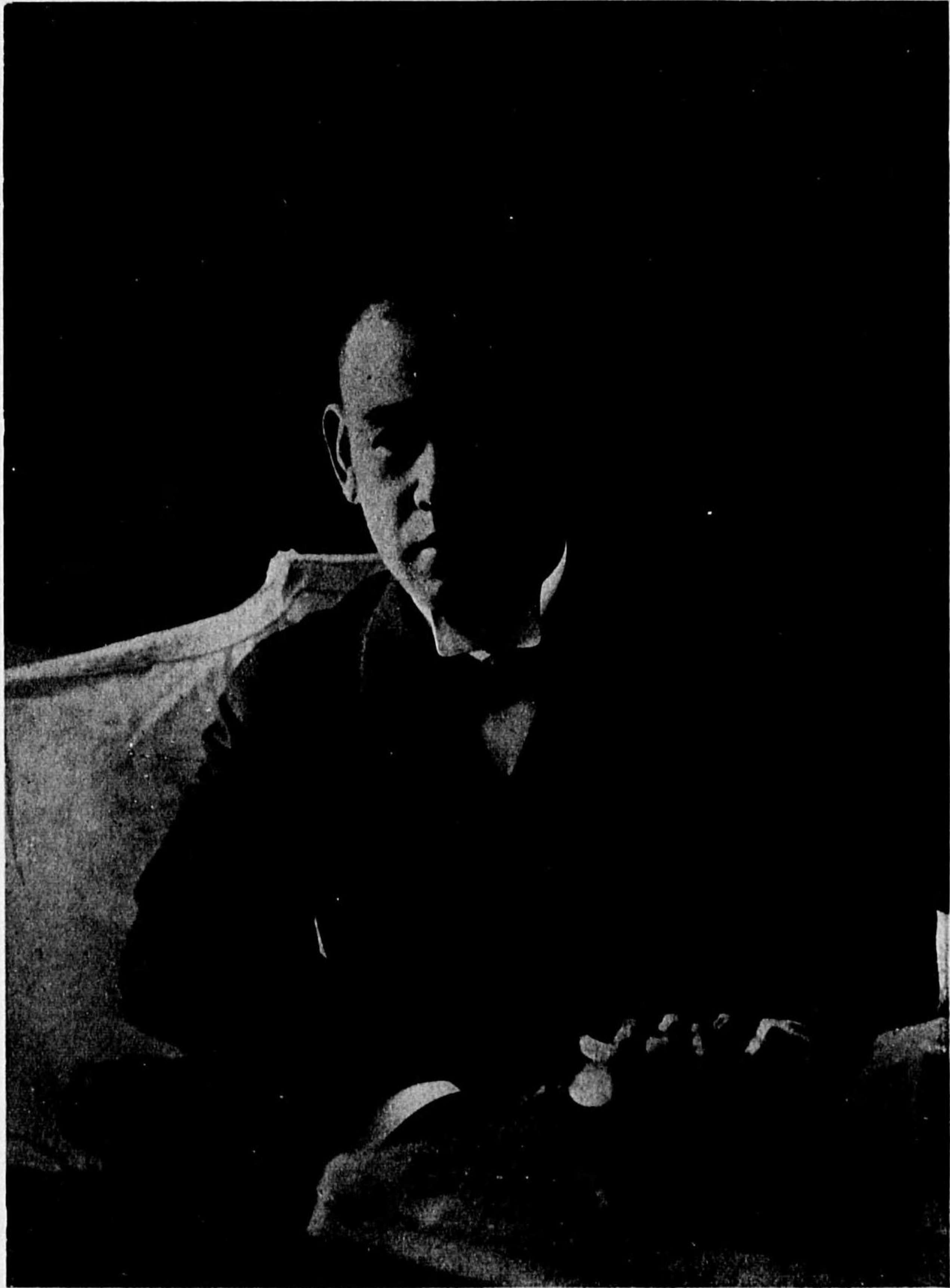
伏見桃山御陵



多摩御陵

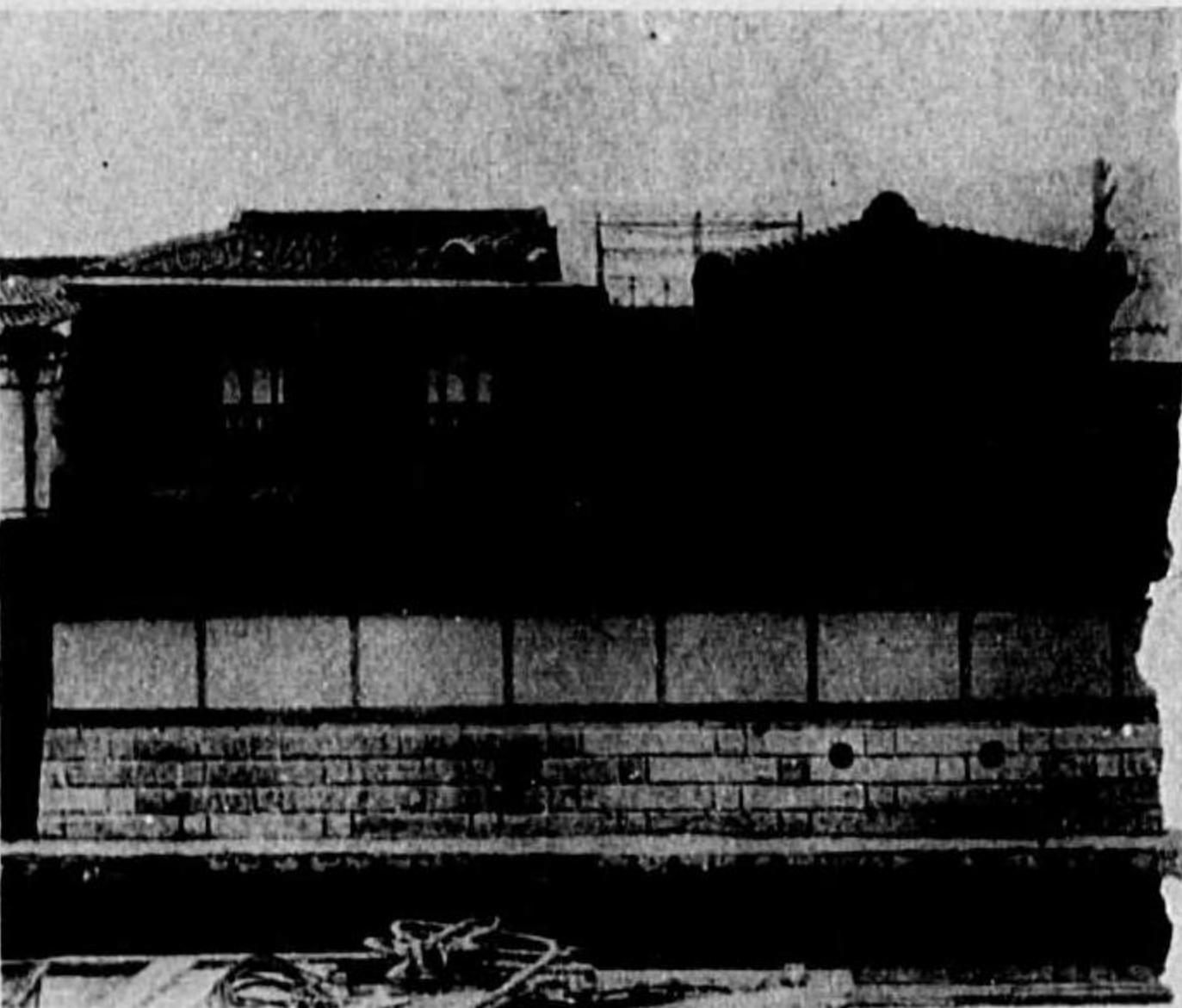
第一年・明治二十五年 其の一

創立の日 ・ 明治二十五年一月二十五日  
創立者 ・ 前社長 大林芳五郎  
創立の地 ・ 大阪市西區靱南通四丁目



前社長 大林芳五郎

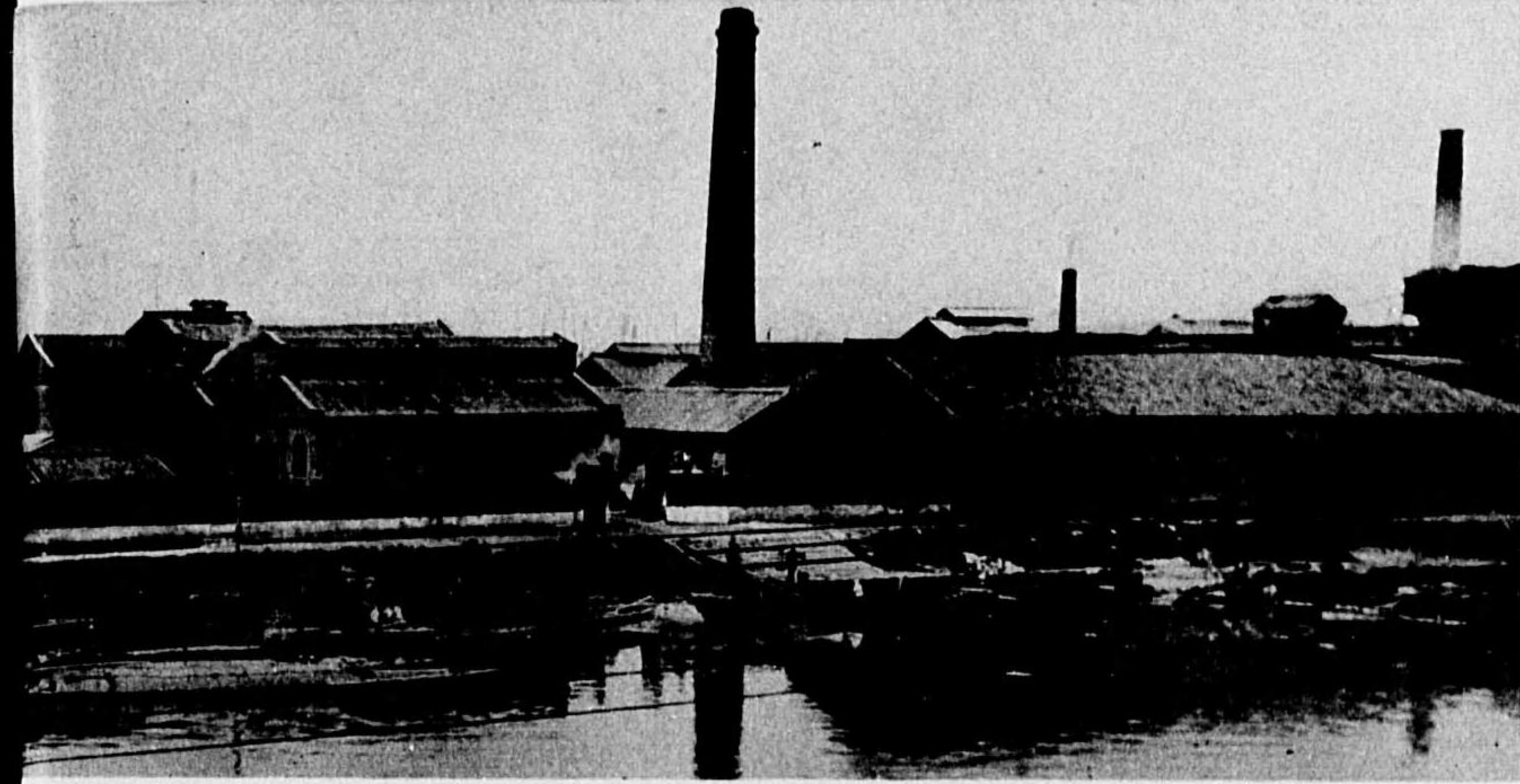
創業當時の社屋



社屋の表側は市販改正に依る斬切りの寫  
舊時の跡がないのでこゝには裏側から撮  
影したものを掲載した。

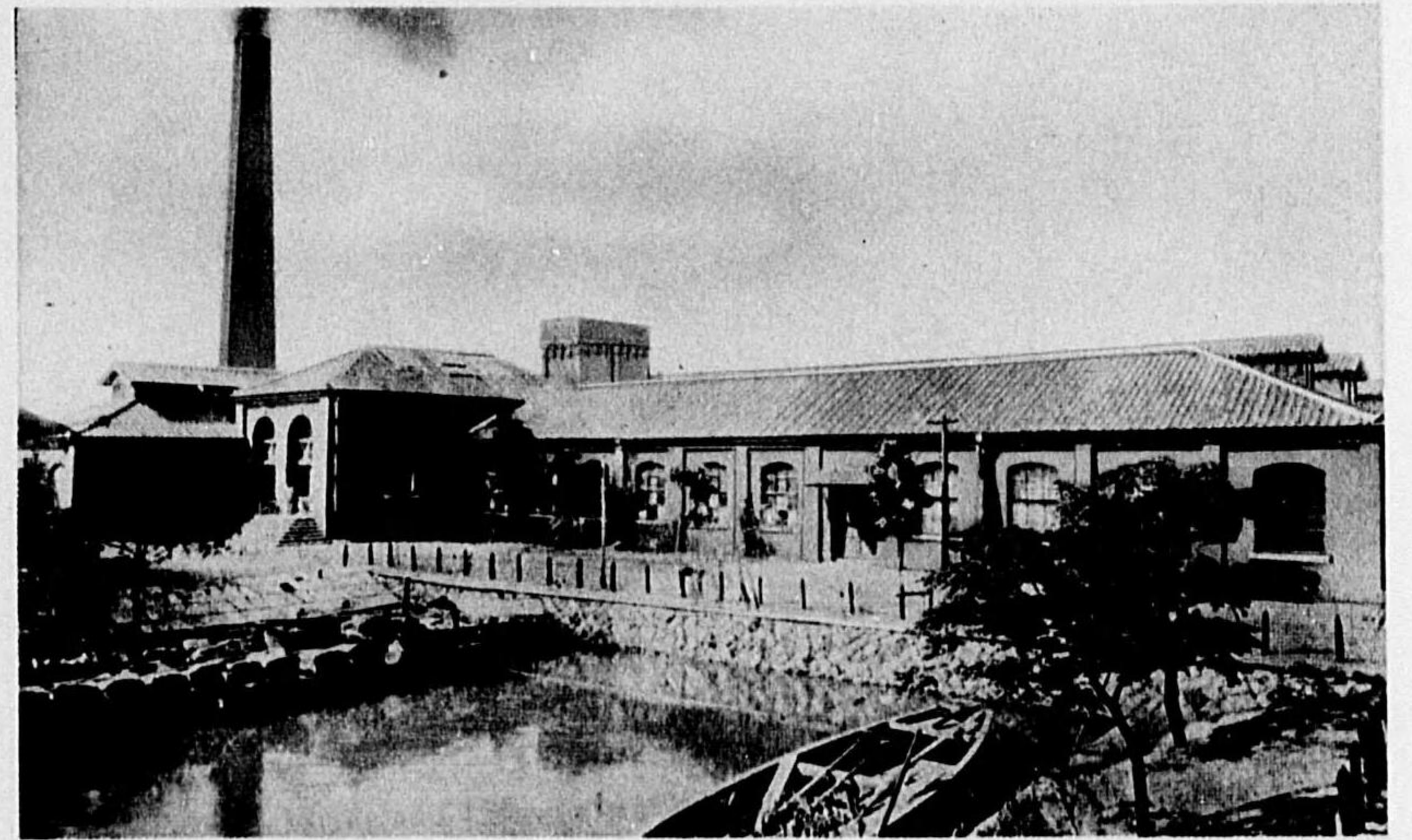
前社長大林芳五郎は、初め呉服  
商を業としたが、後志を立て、東  
都砂崎庄次郎氏（三百年間宮廷御  
出入の作事方）に師事し、現宮城  
御造營工事に参加して幾多の研鑽  
を積み、二十九歳の時出生地たる  
大阪に業を創めた。その後苦闘二  
十五年、業績大に見るべきものが  
あつたが、大正五年一月二十四日  
年五十三歳にして逝いた。

第一年・明治二十五年 其の二



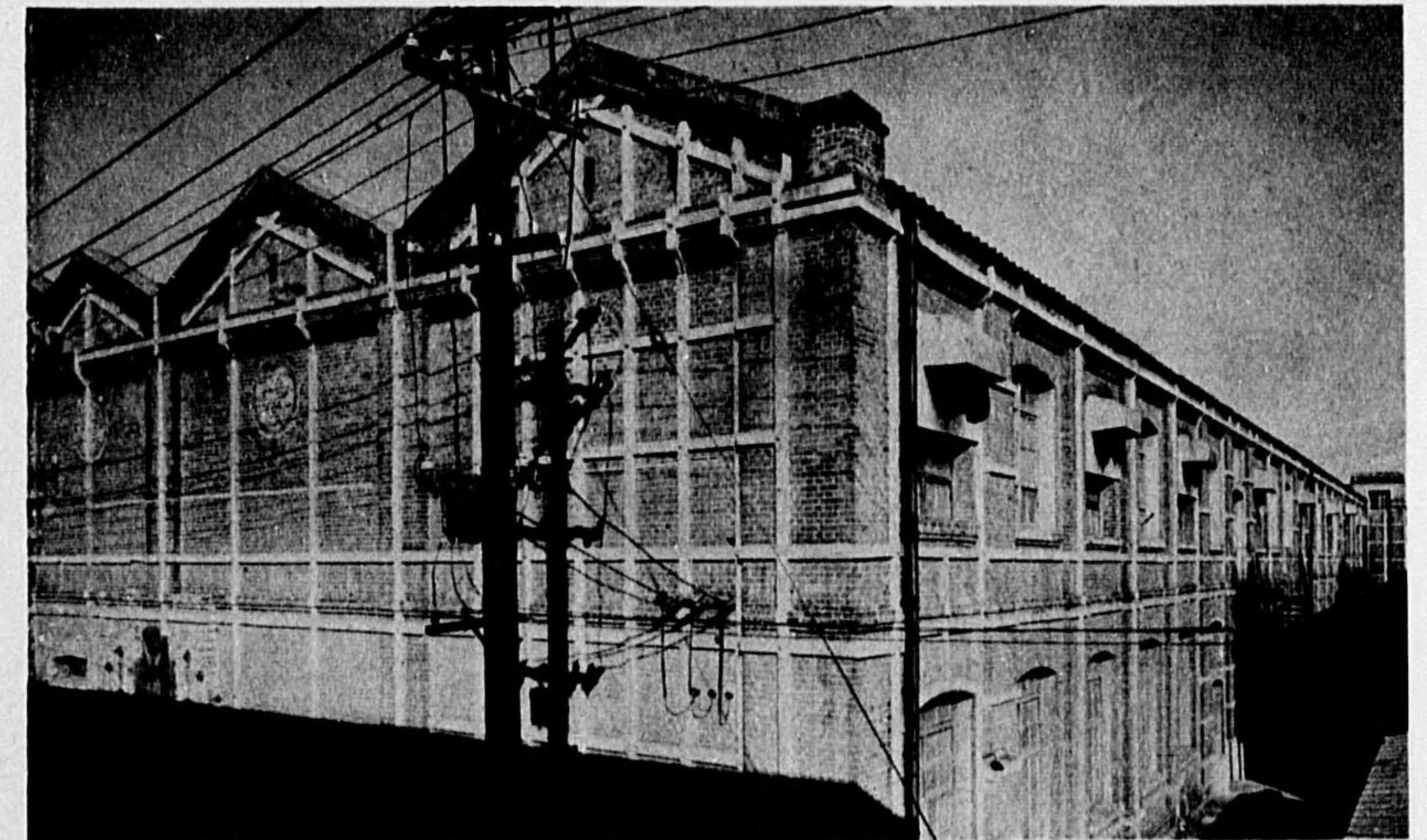
(いなし存を懸ね概・所張出版大社會紙製子王現) 揚工所紙製部阿阪大 事工賃請の初辰

第二年・明治二十六年



(いなし存を懸ぬりなと地街市は今がたつなと場工宮今社會績紡洋東年後) 揚工社會績紡日朝

第三年・明治二十七年



影機月二年六十和昭 (部一の場工島貴四社會績紡洋東現) 揚工社會織製巾金

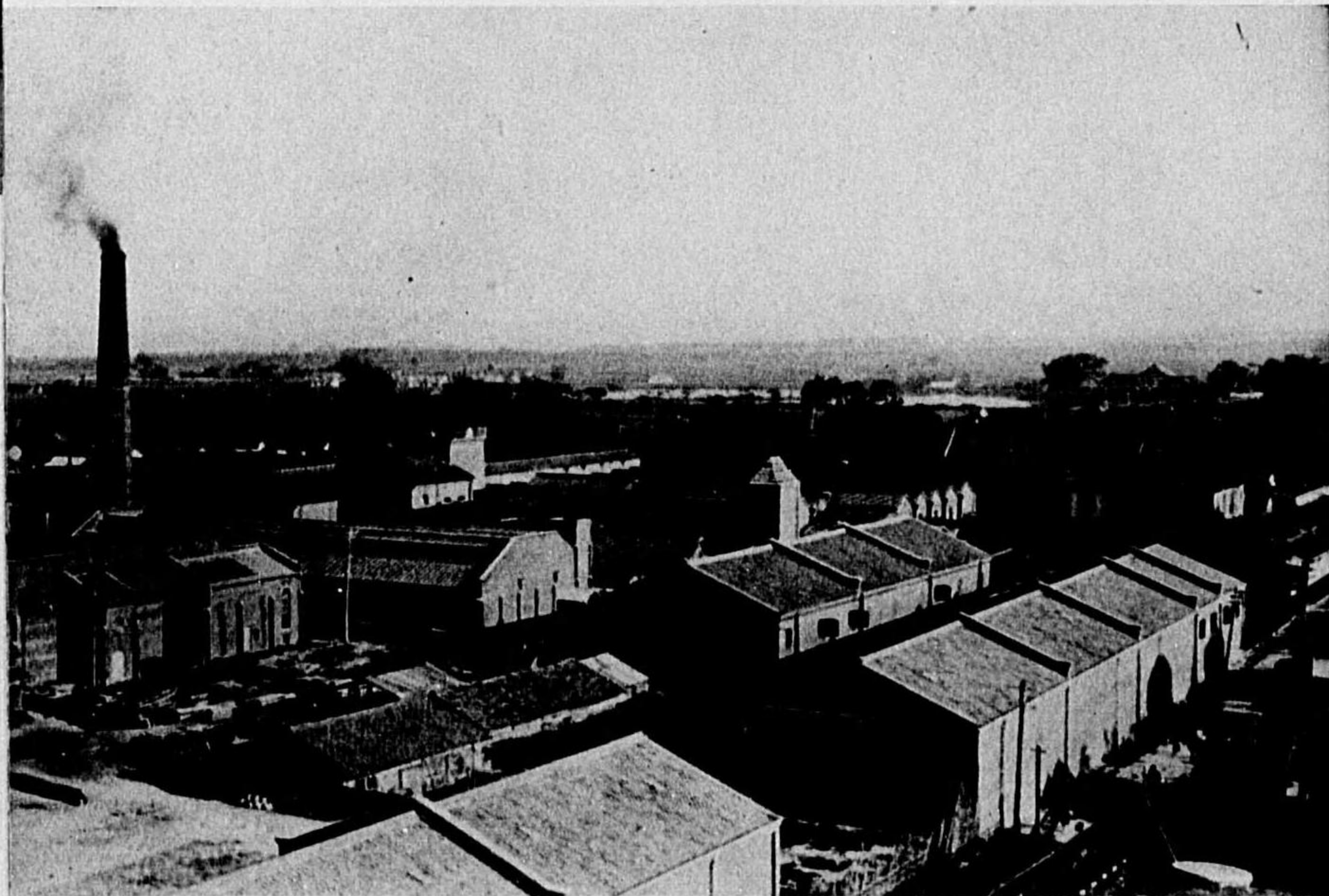
第五年・明治二十九年

徳川期に商業都市として股賑を極めた大阪も、明治維新後、幾多の原因で火の消えたやうに寂びれ果てたが、明治二十年前後から新に産業都市として更生し、各種の工業が非常に勢ひで勃興するに至つた。自然建築業界もこの數年は殆ど工場建築に依つて賑つた。

第四年・明治二十八年

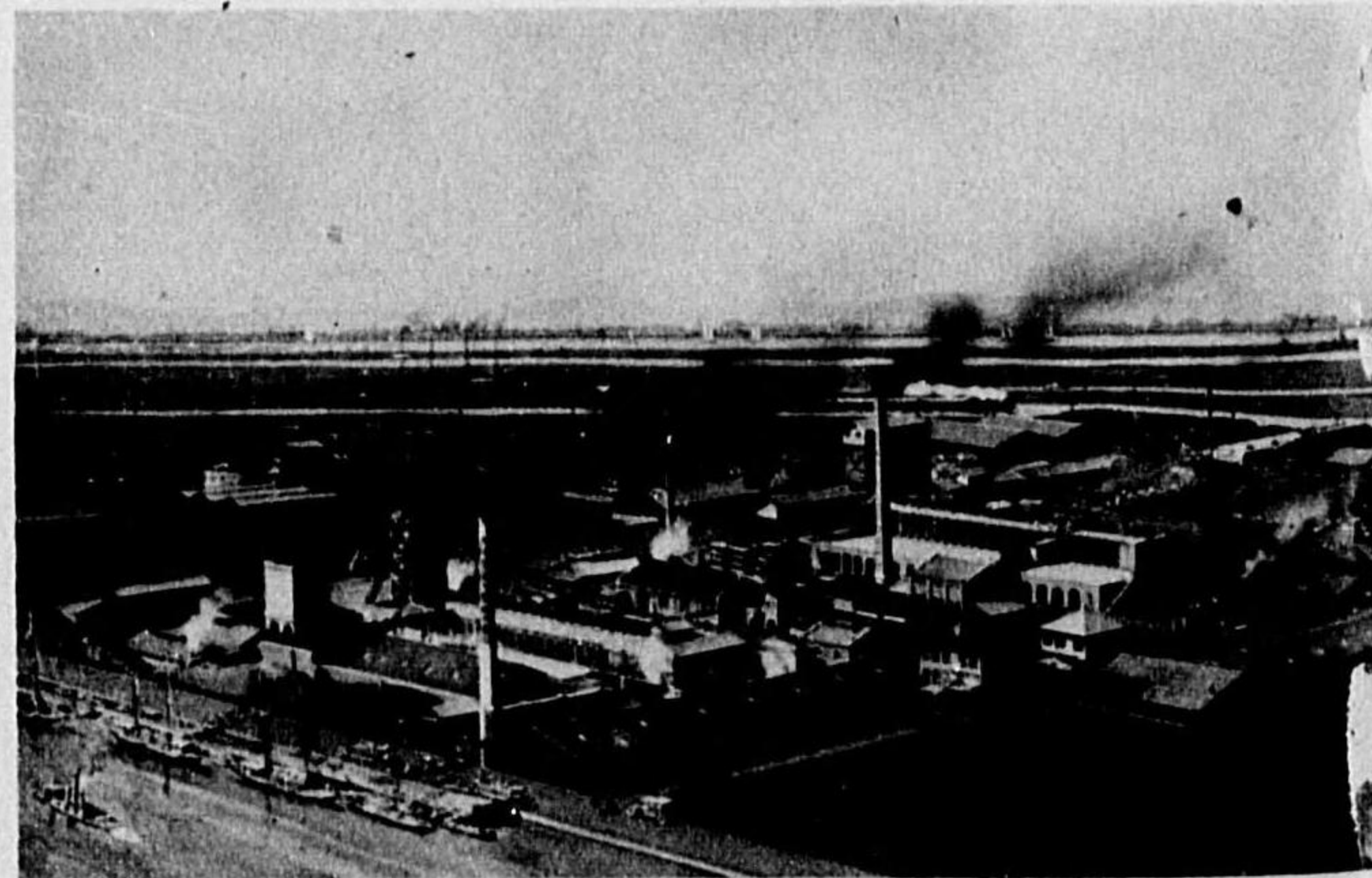


(いなし存を懸ぬれらせ築改に下の負請組當年後) 校學中(塚)三第府阪大

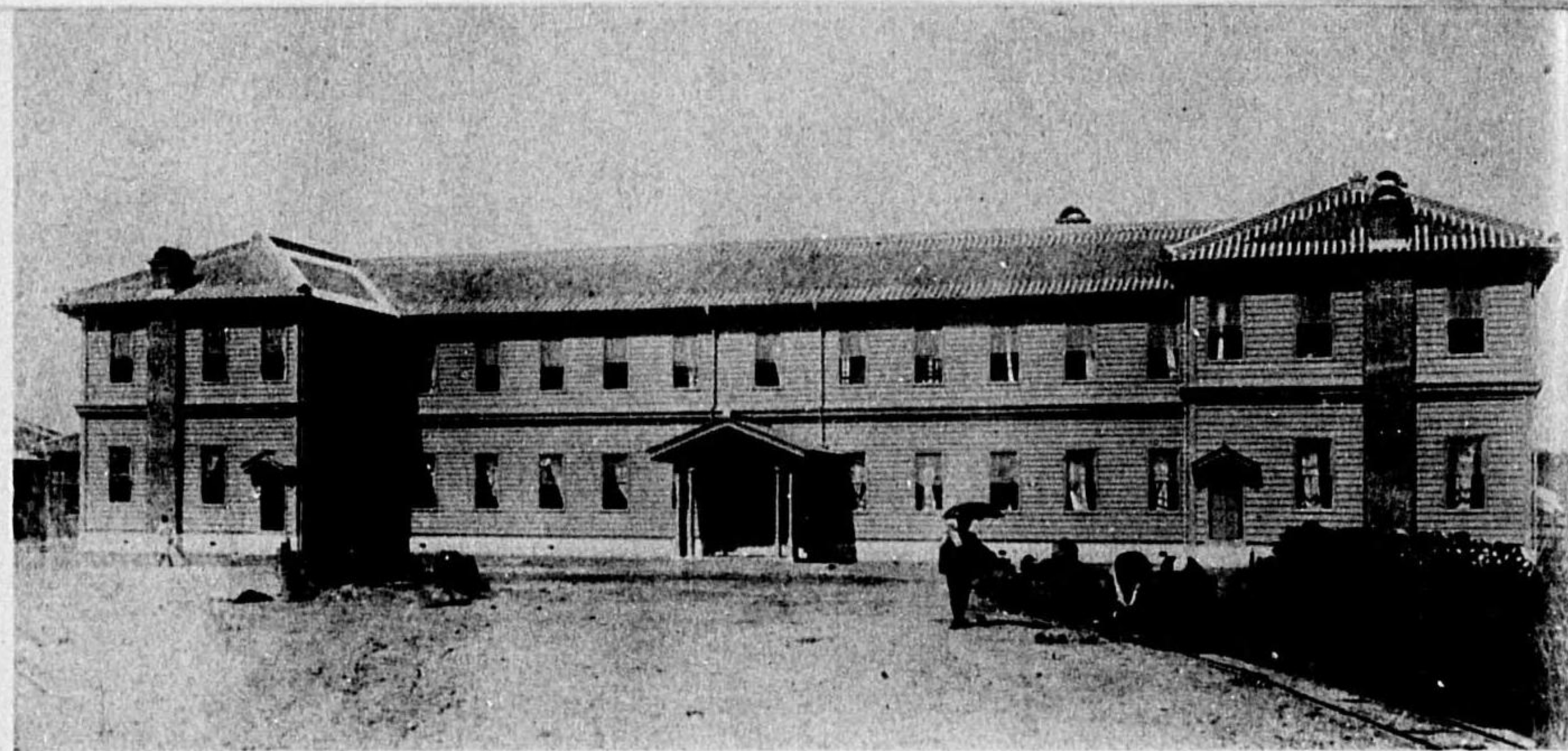


(いなし存を懸ぬく全れらせ築改部全・場工田高績紡本日大現) 揚工社會績紡和太

第六年・明治三十年

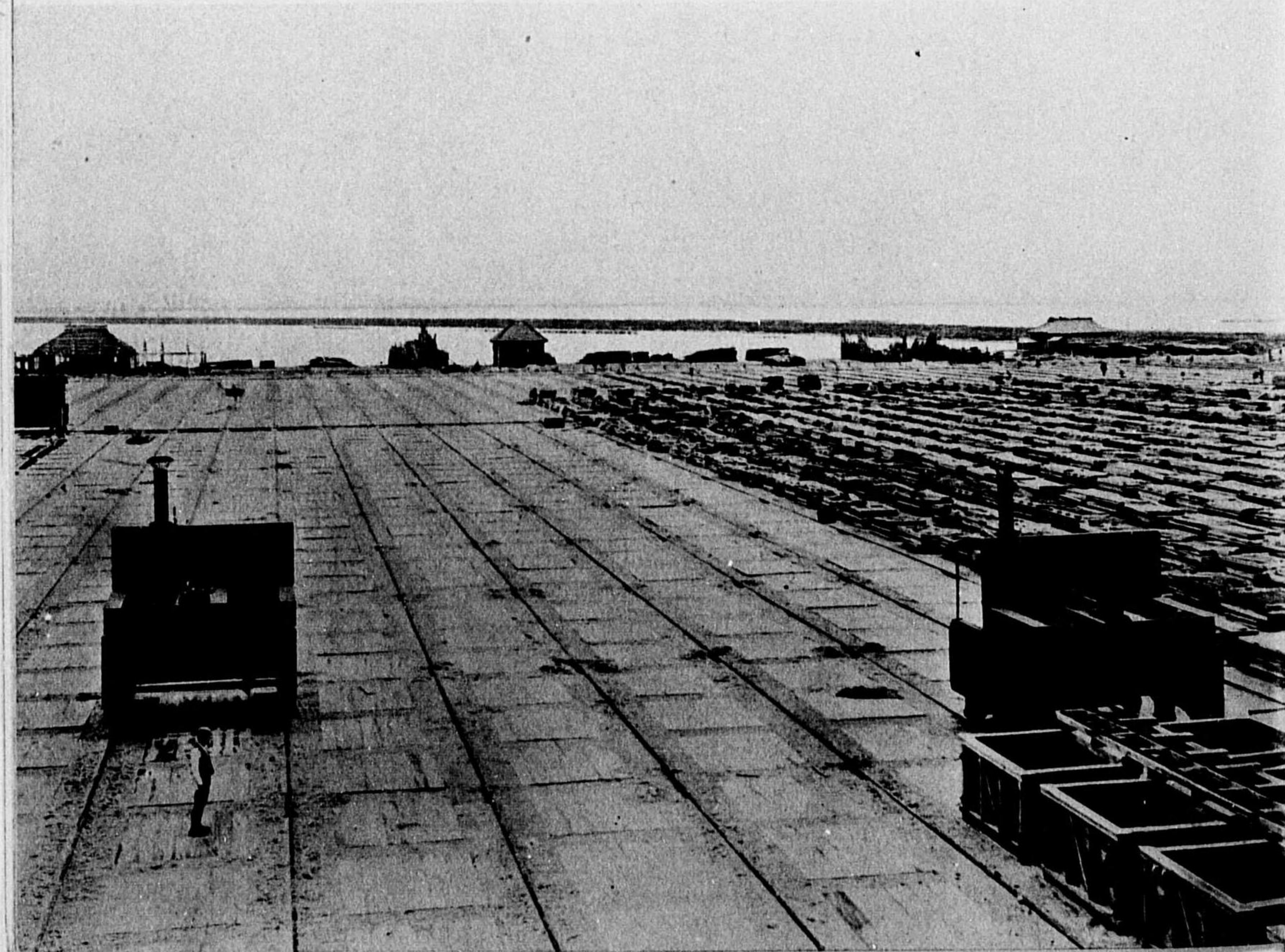


(いなし存を懸ぬし化變く悉形地の近附及物建・場工社會斯瓦阪大現) 揚工社會業工 廠會阪大

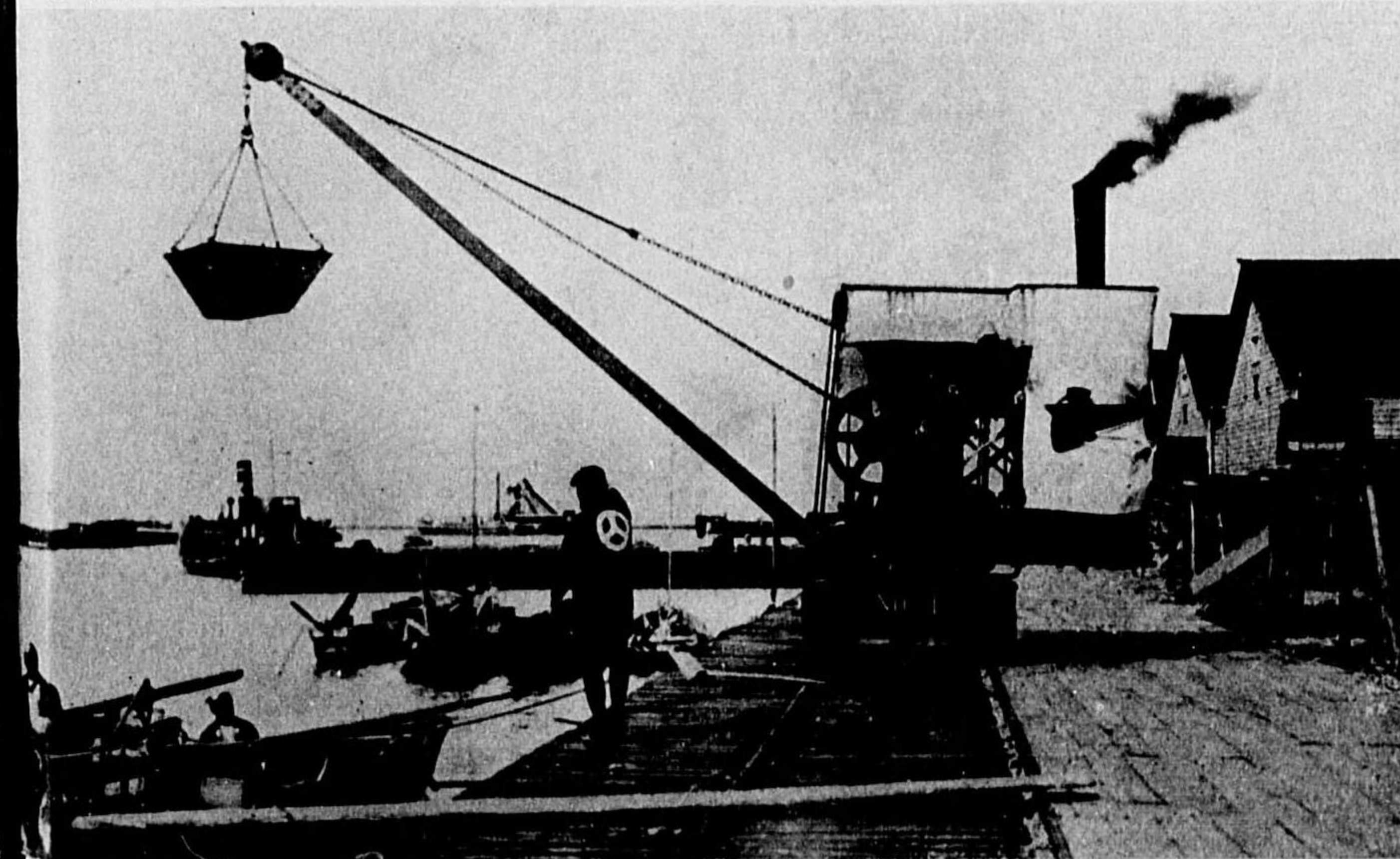


大阪港事務所

大阪港工事内の凝土製塊場



大阪港工事内の砂礫水切作業



第七年・明治三十一年

大阪築港工事は、総工費二千二百萬圓の豫算を以て八ヶ年計畫の下に起工せられたものである。我が國に於ける最初の近代的港灣工事で、規模としても最大のものであつた。安治川尻と木津川尻とから沖合に向つて數哩に渉る二條の防波堤を築き、その防波堤に抱かれた中間の海面約二百萬坪を三十尺の深さに浚渫し、その土砂を以て約百五十萬坪の埋立地が出来上つた。  
當組は起工の當初に於て先づ天保山の築港事務所を建築し、引續きコンクリートブロック製造場の埋立及これが工築、並に倉庫の建築・礫・栗石・捨石の調達及人夫供給等各般の用命を蒙り任を完了した。蓋し當組創業初期に於ける最大の工事であつた。



大阪港工事内の堤捨石





美術館



全景

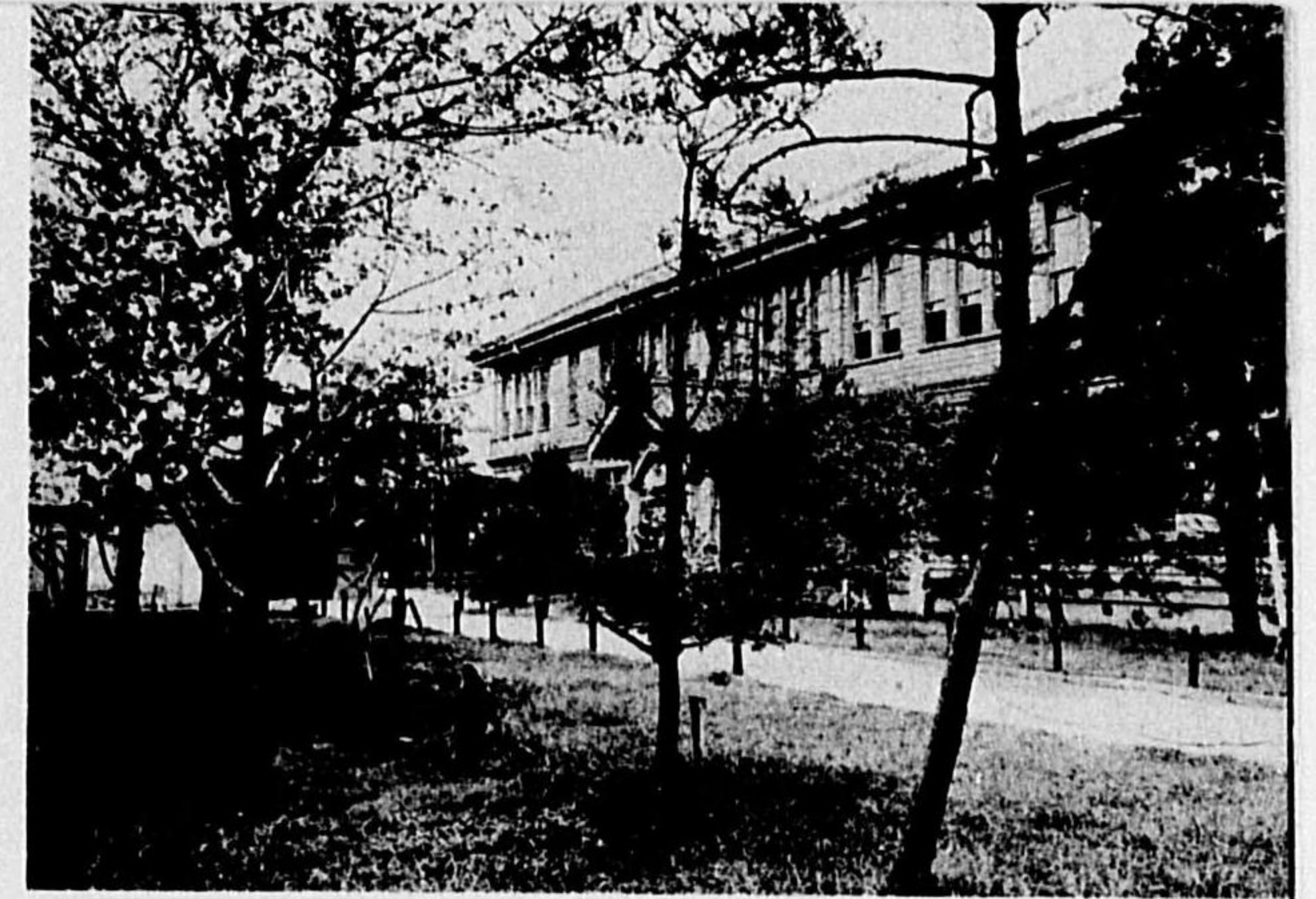


第十年・明治三十四年  
第十一年・明治三十五年  
第十二年・明治三十六年

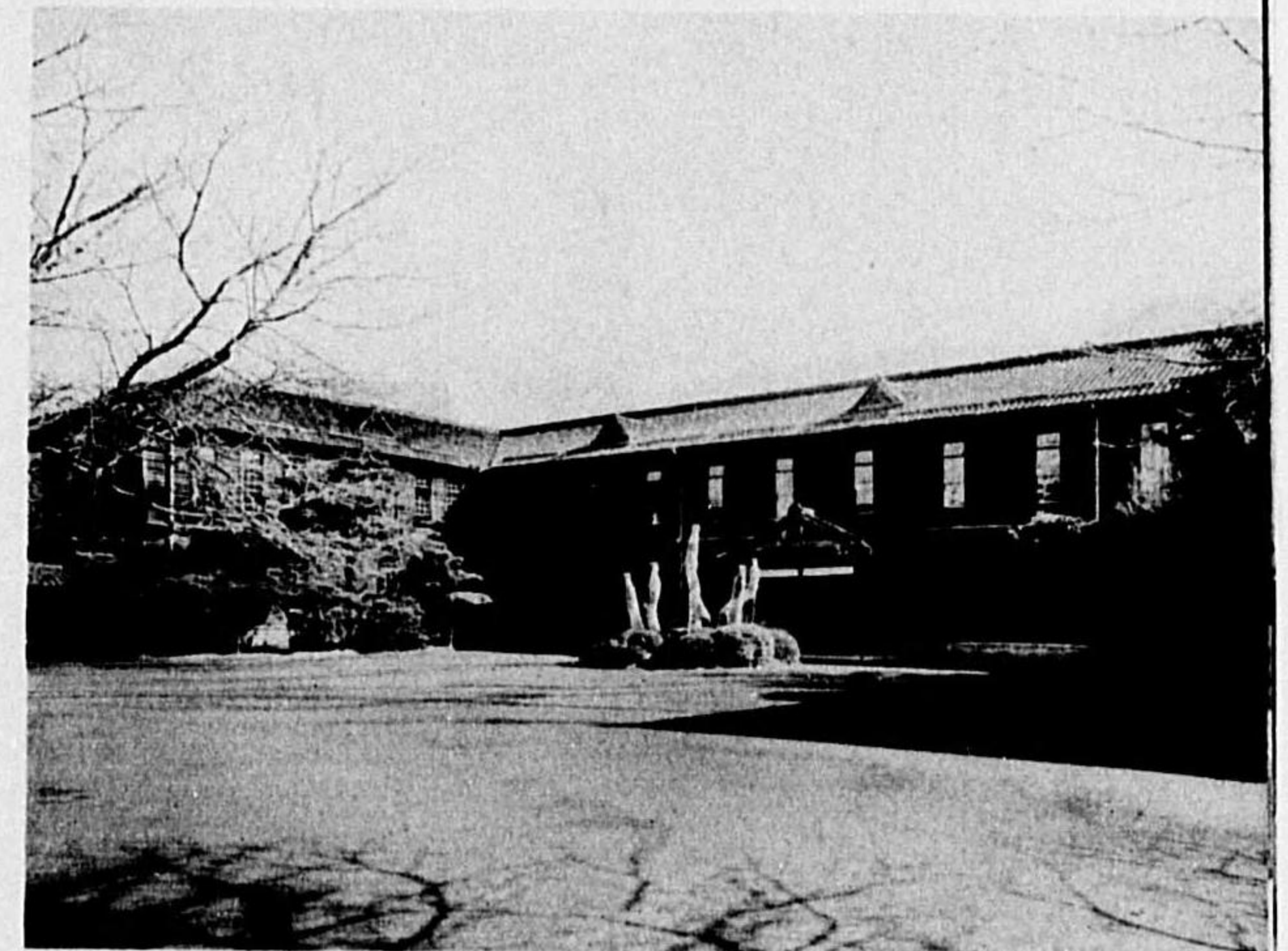
第五回内國勸業博覧會

この三ヶ年間は大阪築港工事の外殆ど第五回内國勸業博覧會工事で終始した。この工事は十萬四千坪に渉る廣大な地域に建設せられたもので美術館を首め工業館・機械館等二十數館を數ふる大建築で博覧會としては空前のものであつた。當組はこの工事に依つて多大の名聲を博することを得たと共に社業の基礎はこの時に確立されたものである。

第八年・明治三十二年



大阪府立女子師範學校 (以後相當組の舊蹟を遷すに轉築せられたるを存しなし)



滋賀縣彦根中學校

第九年・明治三十三年



大阪府立天王寺師範學校 (舊蹟を存しなし)

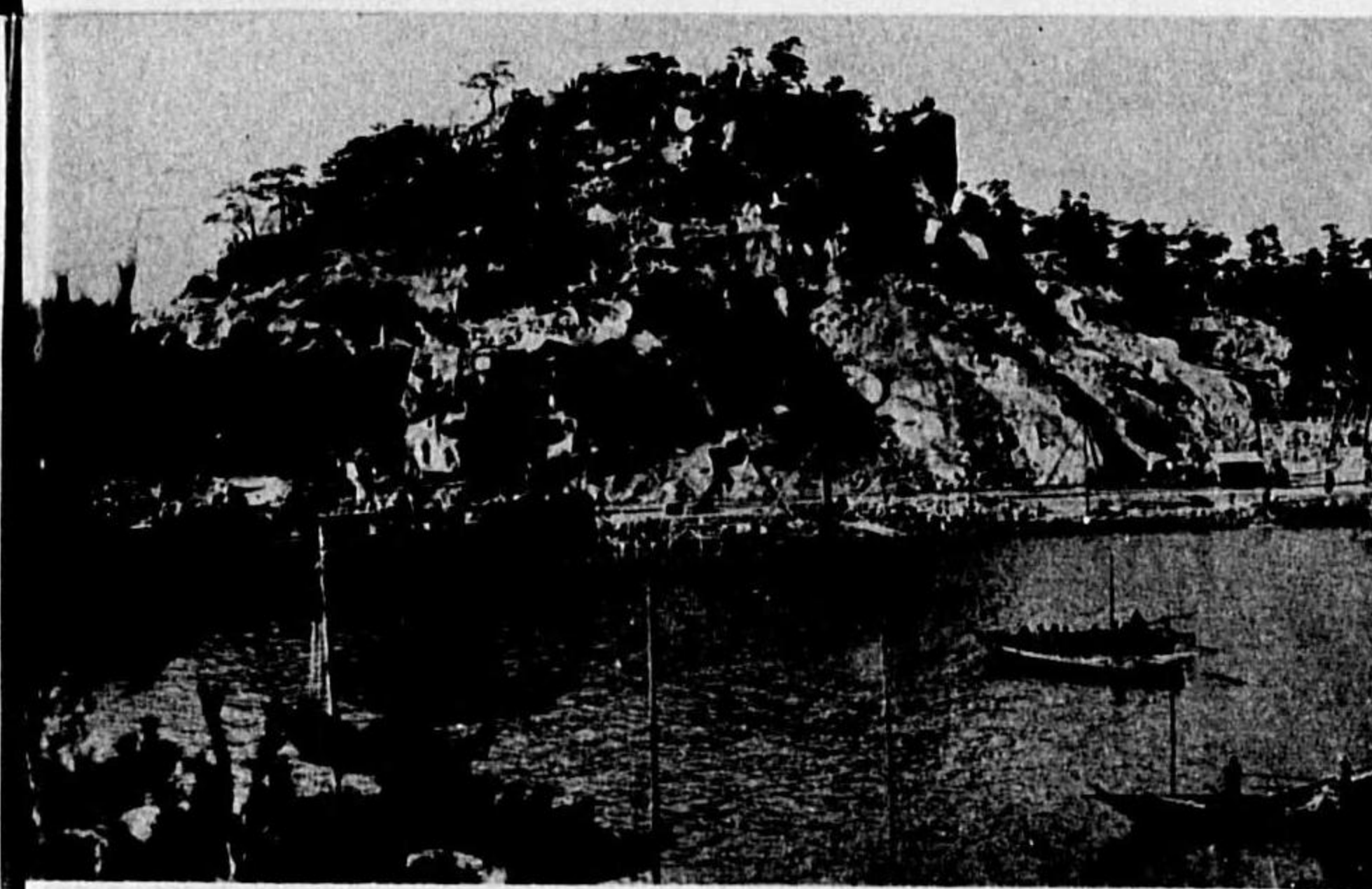


大阪府立中區中學校 (舊蹟を存しなし)

この數年は大阪に於ける工業が愈々隆盛を極めた結果、めぼしい工事は大半工場建築であつたが、更に我が國一様に教育文化の進展も著しいものがあり、各地に中學校が盛に新設せられ、當組に於てもこの頁に掲げた四校及前頁の堺中學校の外、京都露業講習所(現高等露業學校の前身)・膳所師範・八尾中學校・茨木中學校等を施工したのであつた。就中本頁の大阪府立天王寺師範學校の如きは、當時でさへ約二十萬圓を投じた工事で、我が國に於ける中學校の建築として他に比を見ないとも傳へられたものである。講堂の如きは總て内地産無節の檜であつた。

この年二月九日、我が水雷艇隊は旅順口の敵艦隊を夜襲して彼れに大損害を與へ日露開戦のトツプを切つた。次で世界戦史に類例を見ない旅順口閉塞の快挙が行はれ、その第一回は二月二十四日の自沈汽船五隻、第二回は三月二十七日の自沈汽船四隻、第三回は五月三日の自沈汽船十二隻で、息つく間も與へず敵海軍を戦慄せしめた。この三回に互つての閉塞船の石材積込作業は當組がこれに當つたのであるが防諜上秘密厳守の作業であつた爲、社内擔當員の苦心は言語に絶するものがあつた。

塞閉船積込用石材採集場



閉塞記事 (大阪毎日新聞)

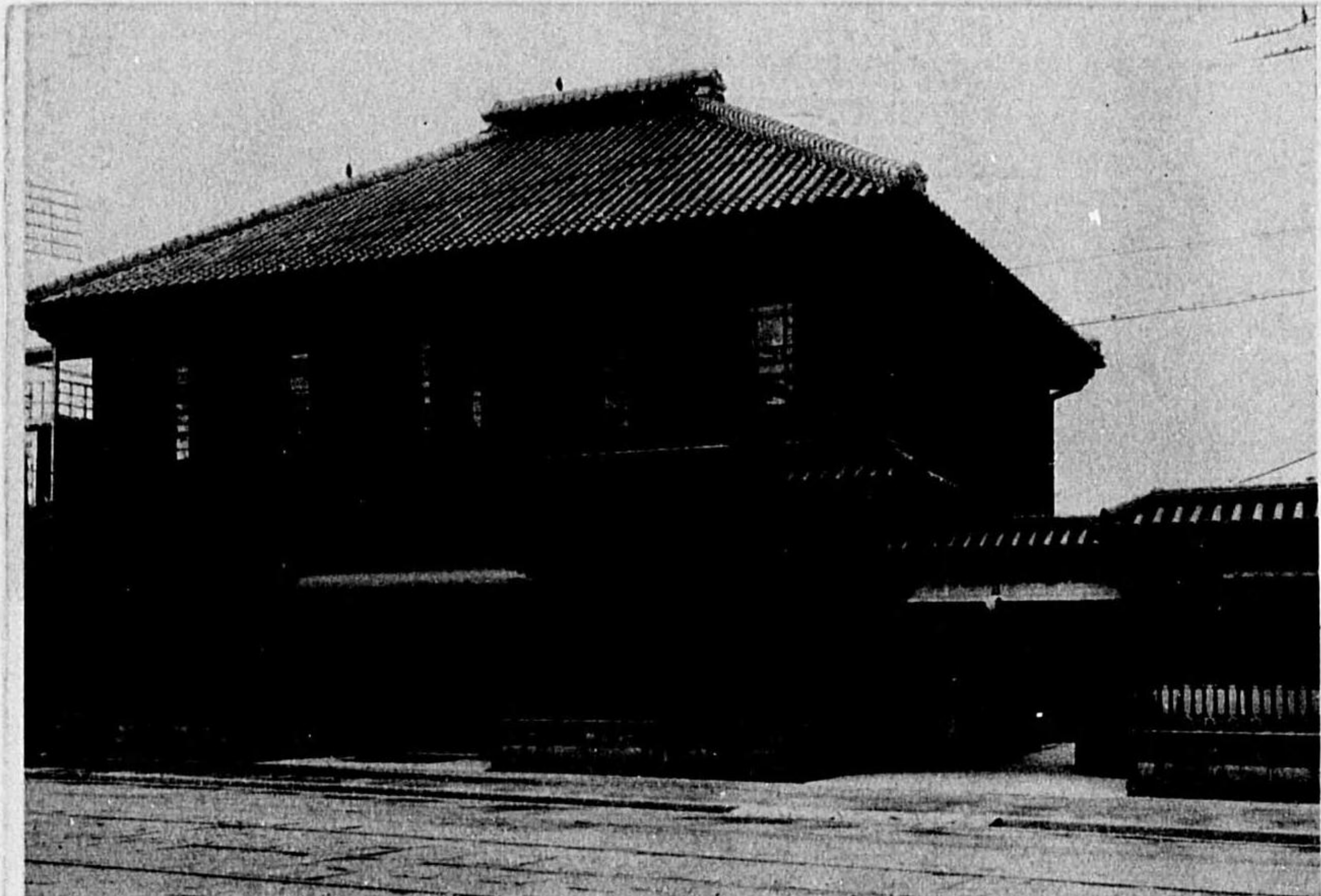
東京電話 第六日  
旅順封鎖の計  
我軍無事  
我艦隊は昨夜旅順口を封鎖するため老朽船數隻を送りて態々之を沈めたり而して乗組員は皆無事に遁れたるもの、如く又軍艦及び水雷艇は一も損傷の報に接せず

朝鮮に於ては京釜鐵道の一部と、京城と新義州を結ぶ軍用鐵道の一部並に五十九ヶ所の停車場全部と、十ヶ所の機關庫建設の用命を辱うしてこれを完成し又新義州には軍の命に依つて斬新な機械設備の製材工場を新設し、千年斧鉞を入れぬ鴨綠江材の利用に任じた。この工場こそ同地方開發の魁であつて、現新義州市街の草分けをなしたものであつた。平和克復後この製材工場は朝鮮總督府木材廠の買収するところとなり現總督府營林廠製材所の濫觴をなした。



所材製州義新組林大 (いなし存を想術)

店本濱北組林大 (いなし存現)



陸軍豫備病院娛樂室 (大阪毎日新聞)



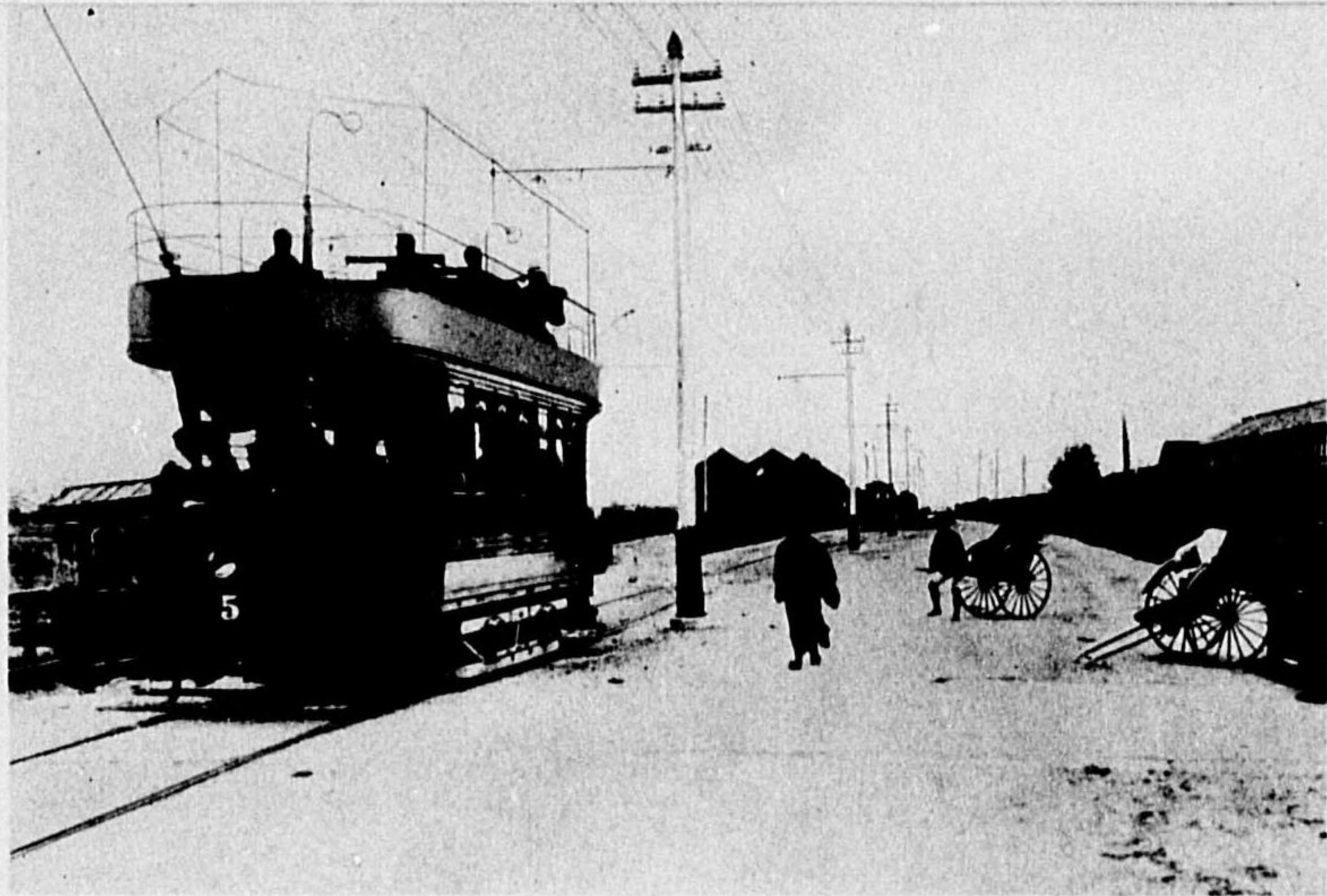
この年は元旦早々旅順が陥落し、三月には奉天の占領、五月には日本海々戦の大捷等の快報が矢つぎ早に入つて来て、我が國內は歡呼の聲に埋まつた。當組に於ては前年來、大阪砲兵工廠の各種工事・大阪・廣島・善通寺各師團の陸軍豫備病院及濱寺俘虜收容所等、軍關係の用命相次で殺到し應接に追なき程の繁忙を極めた。就中大阪師團の豫備病院は、大手前・森の宮・天下茶屋・阿倍野及天王寺の五ヶ所に建設さ

れてその建坪は總計約二萬坪・濱寺俘虜收容所は二萬四千坪といふ老大な工事で晝夜兼行の奮闘を續けたものである。しかも濱寺收容所の如きは僅々三週間を以てこれを完成し、その神速な施工振は當時の建築界を驚かしたものであつた。斯様に業務が頗る擴張を來したので、當組はこれに善處する爲、制度、組織、設備等の總てを改革し、この年六月、先づ店舗を商業の中樞地たる北濱に移し、製材工場を境川に新設した。

濱寺俘虜收容所 (大阪毎日新聞)

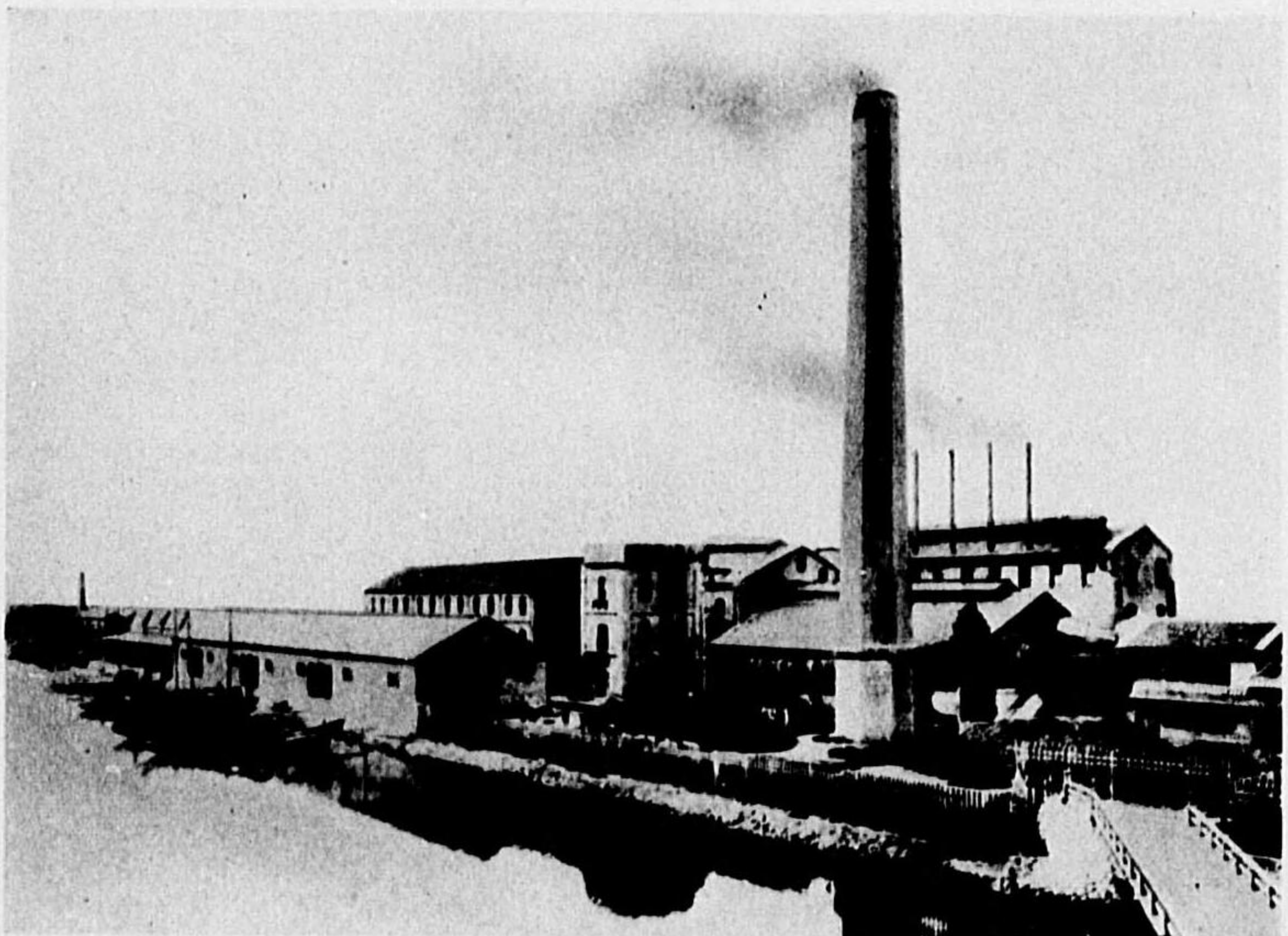


所材製川境組林大 (いなし存現)



(中電踏二い、珍) 工施の路道るず通に港築阪大

築港道路は、新埋立地と田畑の中に建設されたもので、今日見るアスファルト等の坦々たる道路と異り頗るお粗末のものであつた。しかしこれが完成と同時に巨額の費と八ヶ年の苦酸とに成つた大阪築港は、初めて港灣としての機能を發揮するに至つたもので、當組として築港關係工事最後のものではあつた。當時この新設道路の路面に敷かれた軌條に二階式電車は走つたことは、今日から考へると頗る珍奇なものであつた。



(いなし存を態舊・場工社會糖製本日大現) 場工社會糖製戸神

神戸製糖會社工場は、駒ヶ林の東方波靜かな海岸に設けられ、當時幾多の船舶が白砂青松の連なる須磨の海を西より縫ふて、今や將に神戸港の市街を望むその最初に、普通の家並と型の變つた本工場と屹立した煙突が目標となつた。當時としては相當大きな工場であつた。しかも我が國製糖工場としての先驅をなした山緒あるものである。

明治四十二年七月一日には前社長の個人經營であつた從來の組織を合名會社に更め、代表社員に伊藤哲郎及白杉嘉明三の兩名が就任した。

明治三十九年から日露戦後の軍備擴張として朝鮮に一箇師團、内地に六箇師團が増設せられ、當組は四十二年までの三ヶ年間に於て、全増設師團工事の半ばに達する用命を拜したことは頗る光榮とするところであつて、何れも優秀の成績を以て命を完うしたのであつた。しかるに目下防諜關係でこの種寫眞の掲載が出来ない爲單に工事名のみを列記することにした。

朝鮮龍山歩兵聯隊及砲兵隊・工兵隊・兵器支廠の各種工事・朝鮮平壤歩兵聯隊兵器及砲兵支廠各種工事・朝鮮駐軍司令部官舎及砲工事・大阪砲兵工廠の各種擴張工事・第四師團天王寺陸軍砲台各種工事・大阪砲兵工廠各種工事・龍山歩兵聯隊兵器及砲兵支廠各種工事・龍山野砲隊及輜重兵兵工廠砲兵兵器廠に兵器支廠其他工事・津歩兵聯隊兵器其他工事・第四師團野火藥庫工事・第四師團砲兵兵器庫各種工事・釜通寺砲兵兵器支廠工事・岳陽軍械支廠其他工事

賞状

大阪市 大林芳五郎

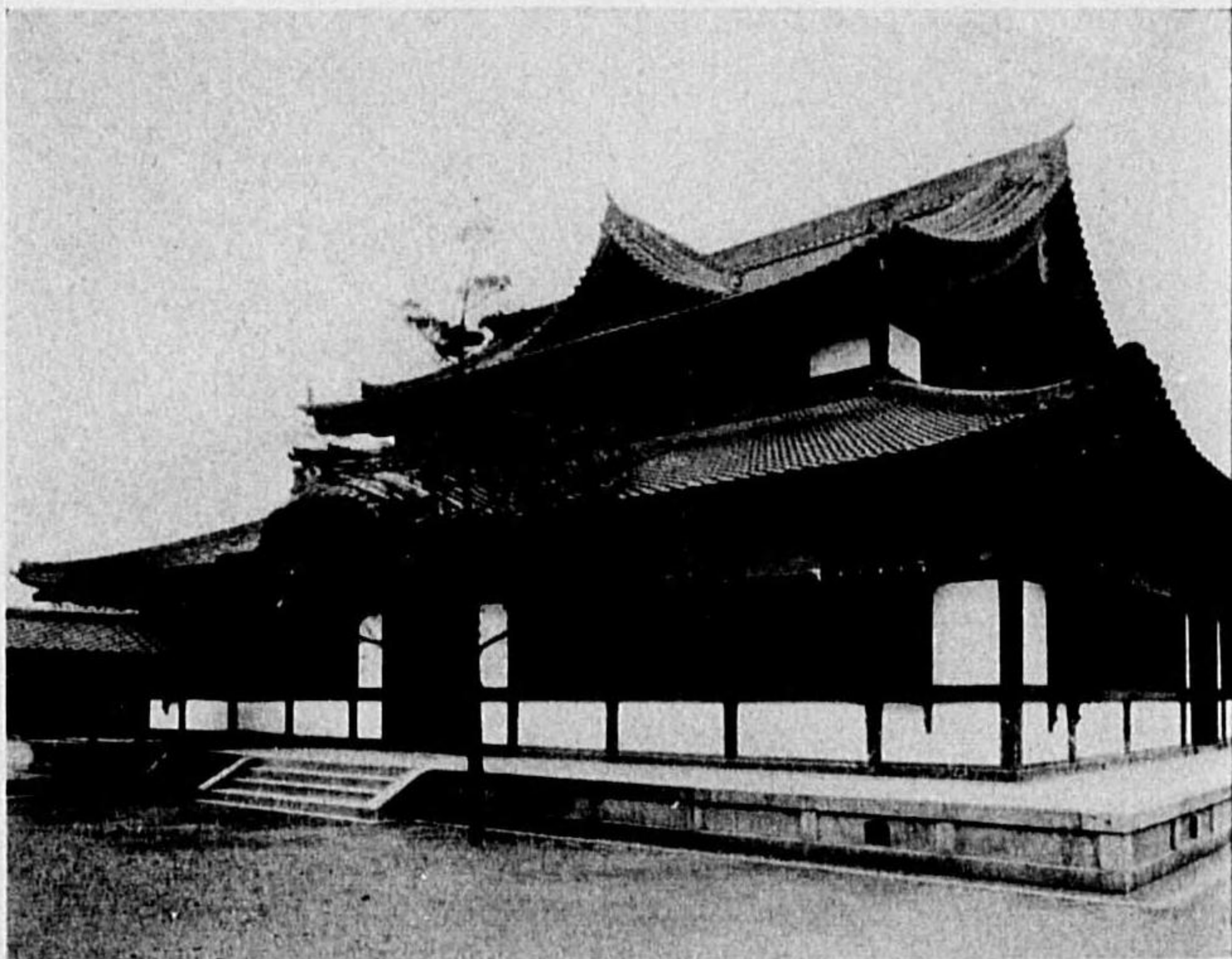
右明治四十年より同四十二年三より豊橋岐阜津各地に陸軍官衛兵營等ヲ新築スルニ際シ其ノ工事大部分ヲ請員ト中途克ク諸種ノ障礙ヲ打テ勝テ完全ニ契約上ノ義務ヲ遂行シ就中騎兵第四旅團各聯隊兵營建築工事、如キハ其ノ施工最モ精確ニ極メ一徹ノ批難ナカリシハ本職ノ確認スル所ニシテ要スルニ共ニ業務ニ誠實ナルヲ證スルモノトス

仍ラ特ニ之レヲ褒賞ス

明治四十二年十月

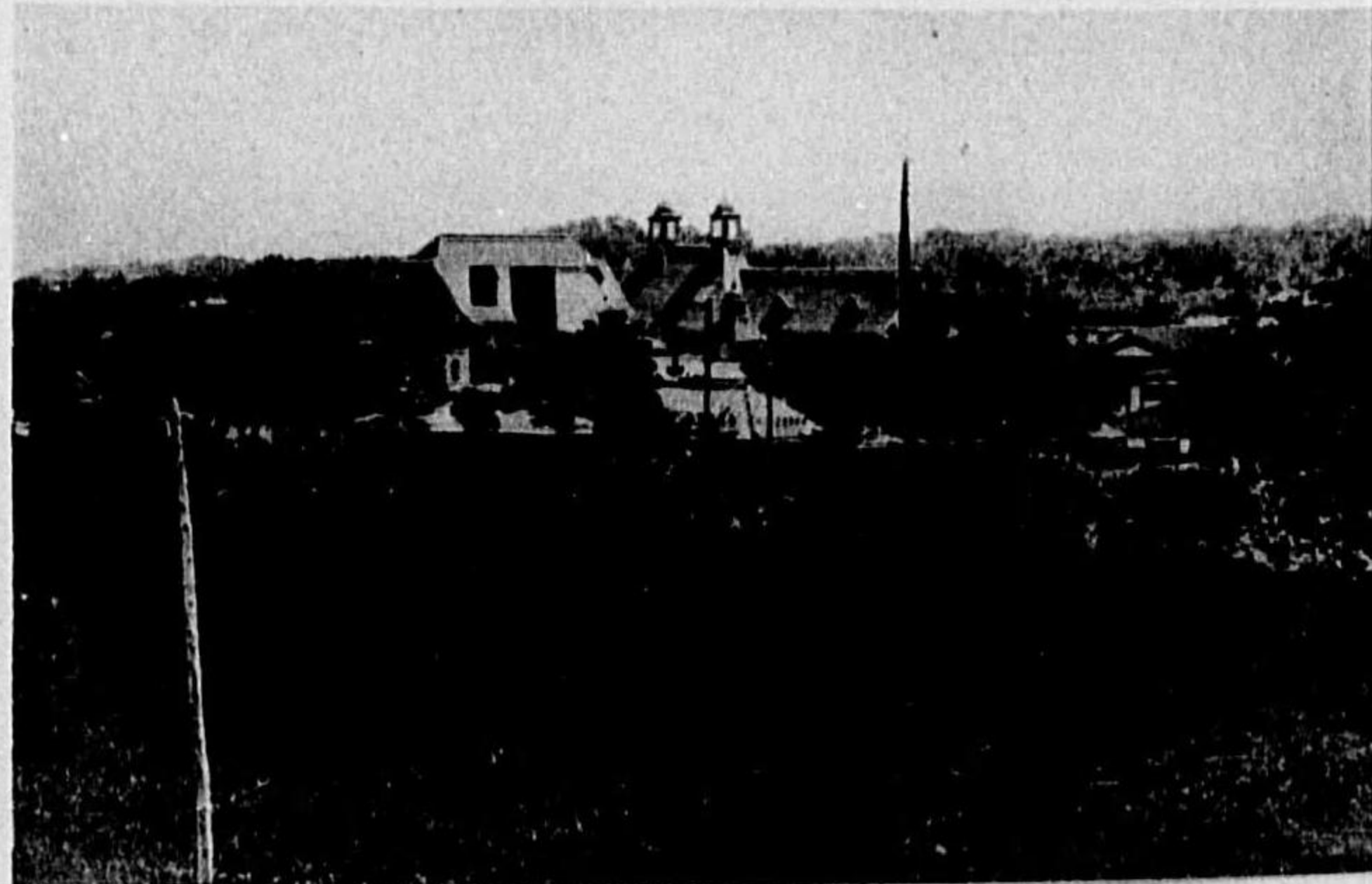
陸軍大臣兼大藏大臣 陸軍省 陸軍中野廣

大阪武徳殿

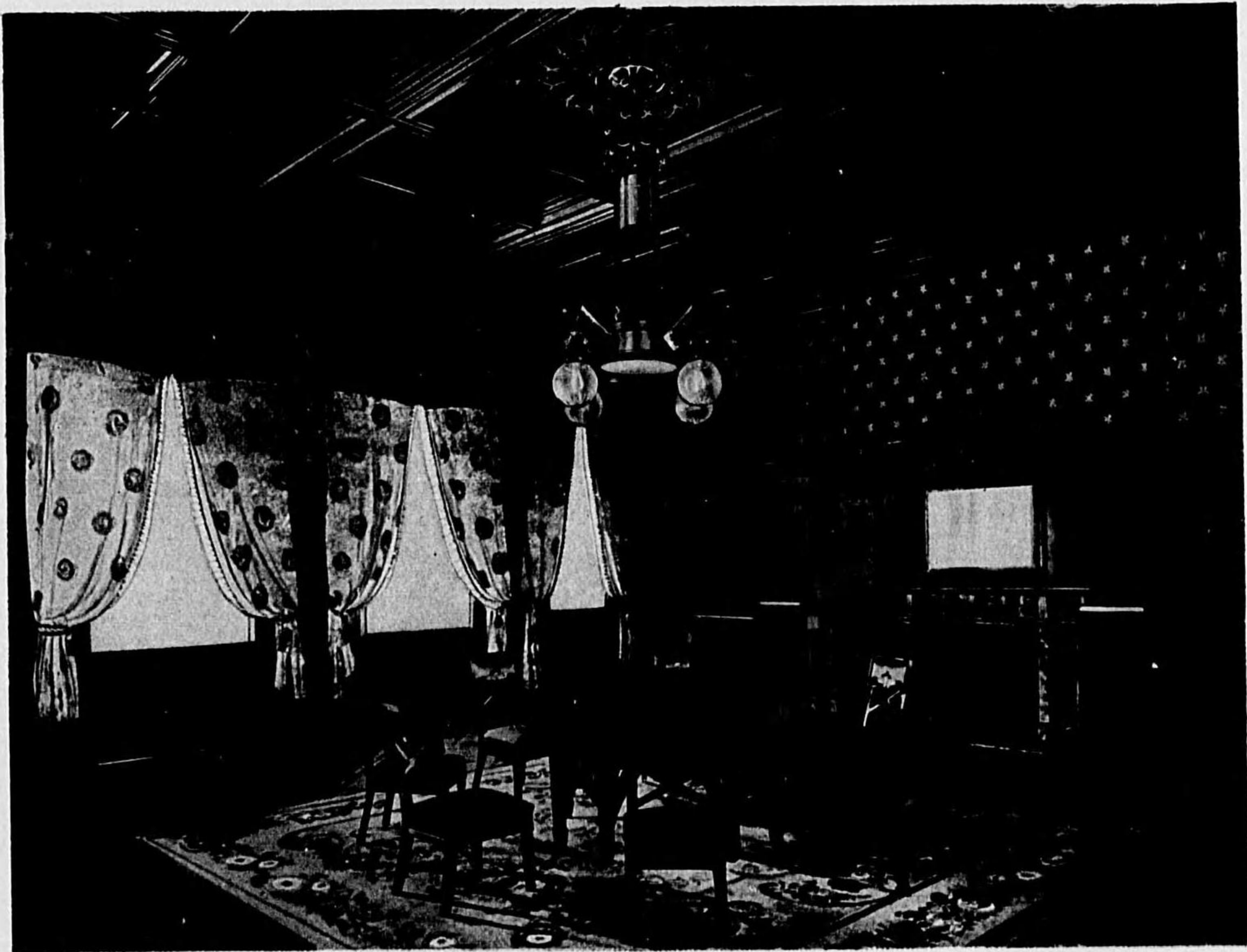


大阪武徳殿工事の折は、その附屬家たる事務所建築に多少の缺陷があつたことを當組前社長は潔しとせず、直ちにこれを取毀つて更に建て替へ、當時市井にその責任感の強烈さを誦はれた。

寶塚温泉

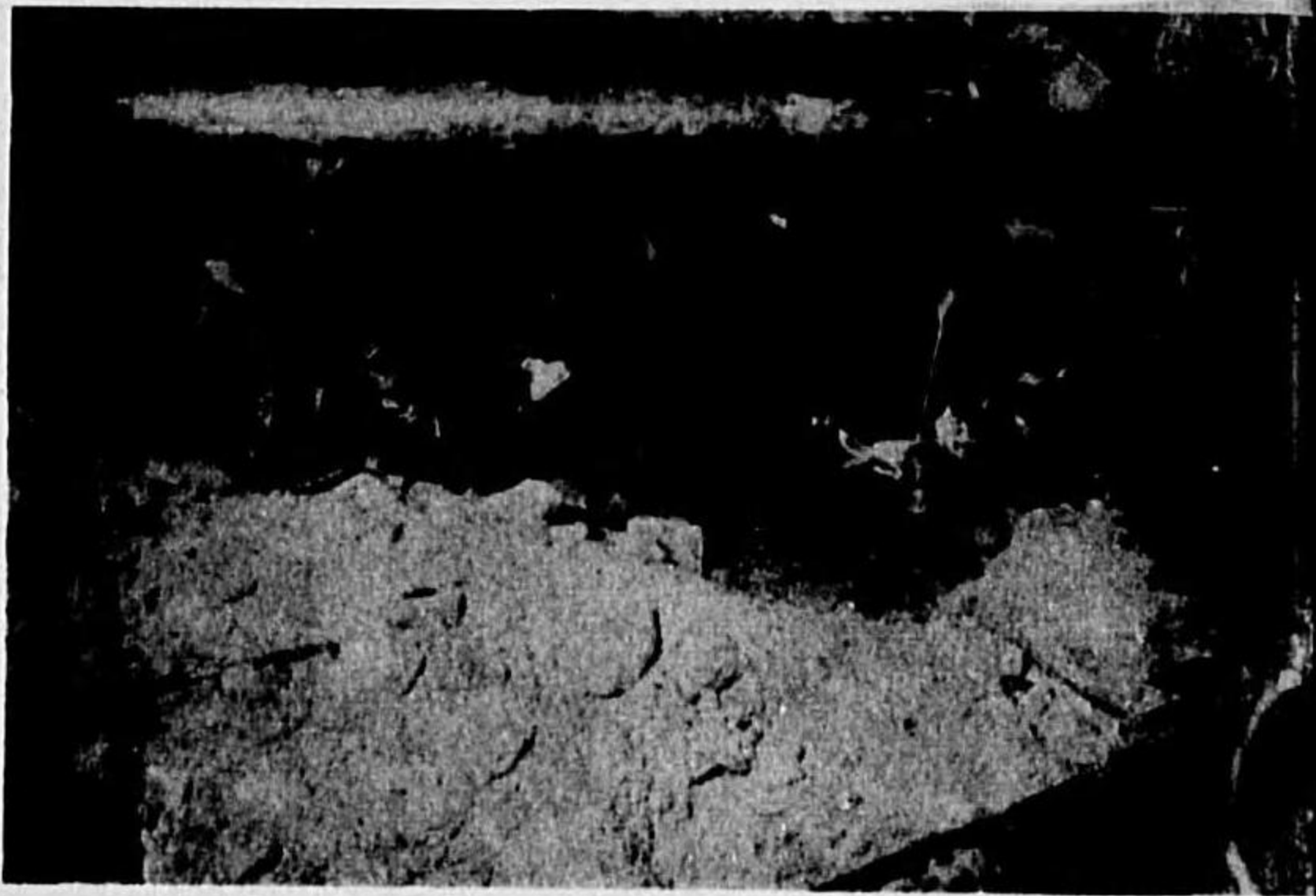


寶塚温泉は其面有馬電鐵(現阪神急行電鐵)の經營になるもので當組は同温泉の外、電車線路・發電所・紅葉の名所たる其面遊覽道路の工事を施工した。



東京驛貴賓室

東京驛は、當組が東都進出の初期に於て、三ヶ年餘の苦辛を拂つて竣成せしめた大工事であり、歐米諸國の停車場に比して毫も遜色なく我が國建築物中の精華とまで謳はれたもので、外觀の豪華さは云ふまでもなく、内部御便殿・皇族室等は典麗莊嚴を極めたものである。當組はこの工事に依つて關東方面に多大の名聲を博することを得た。



東口貫通直後

大阪電氣軌道會社  
(現關西急行鐵道)  
生駒隧道路工事

この年七月三十日 畏くも不世出の大英主と仰がれ給ひし 明治天皇は、七千萬國民の限りなき哀悼の裡に崩御あらせられ伏見桃山を御陵域と定められた。當組はこの光榮ある御陵御造營の大命を拜し、上下を擧げて恐懼齋戒、至誠以て御恩命に酬ひ奉つたのであつた。

竣功

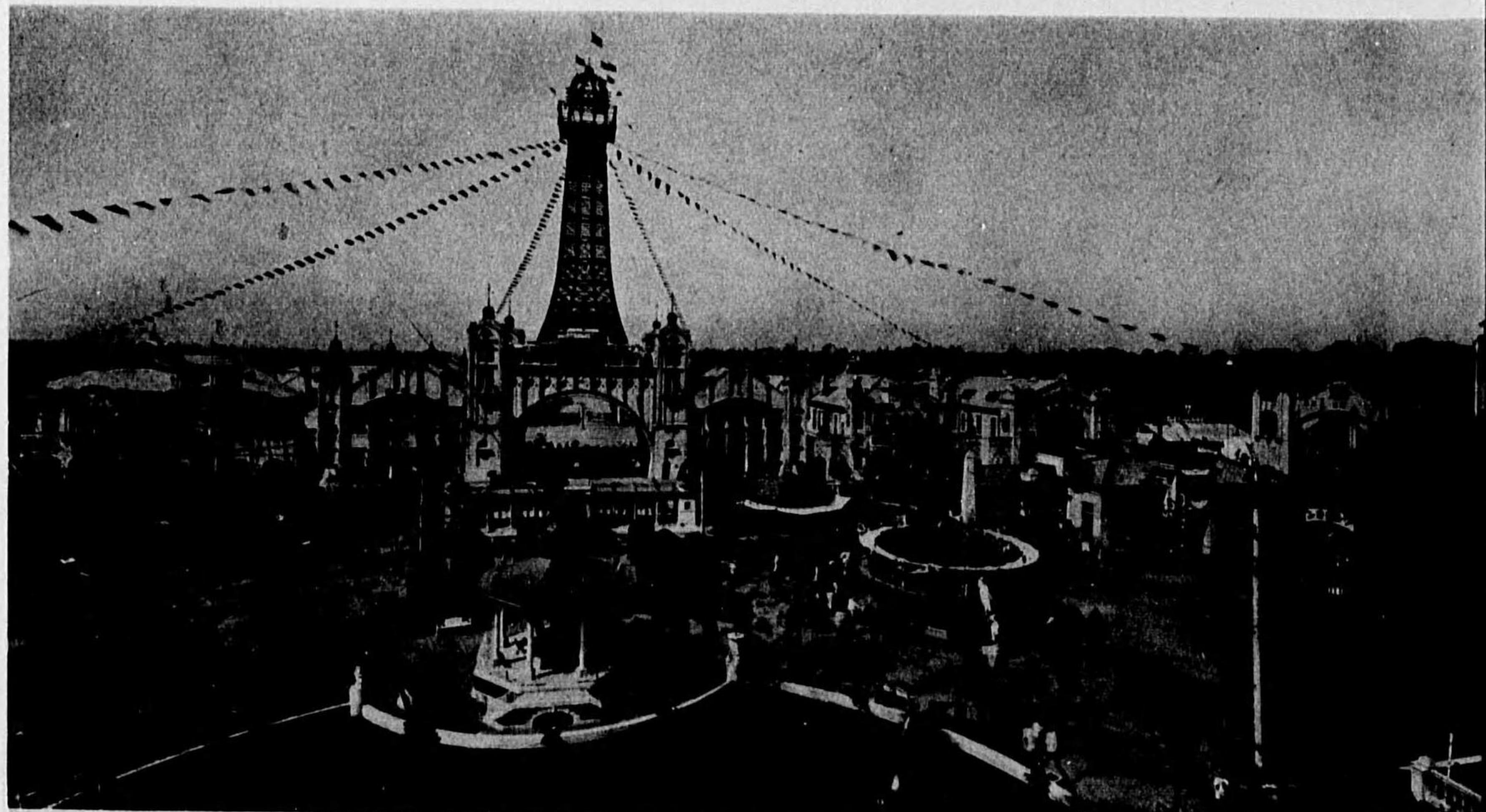


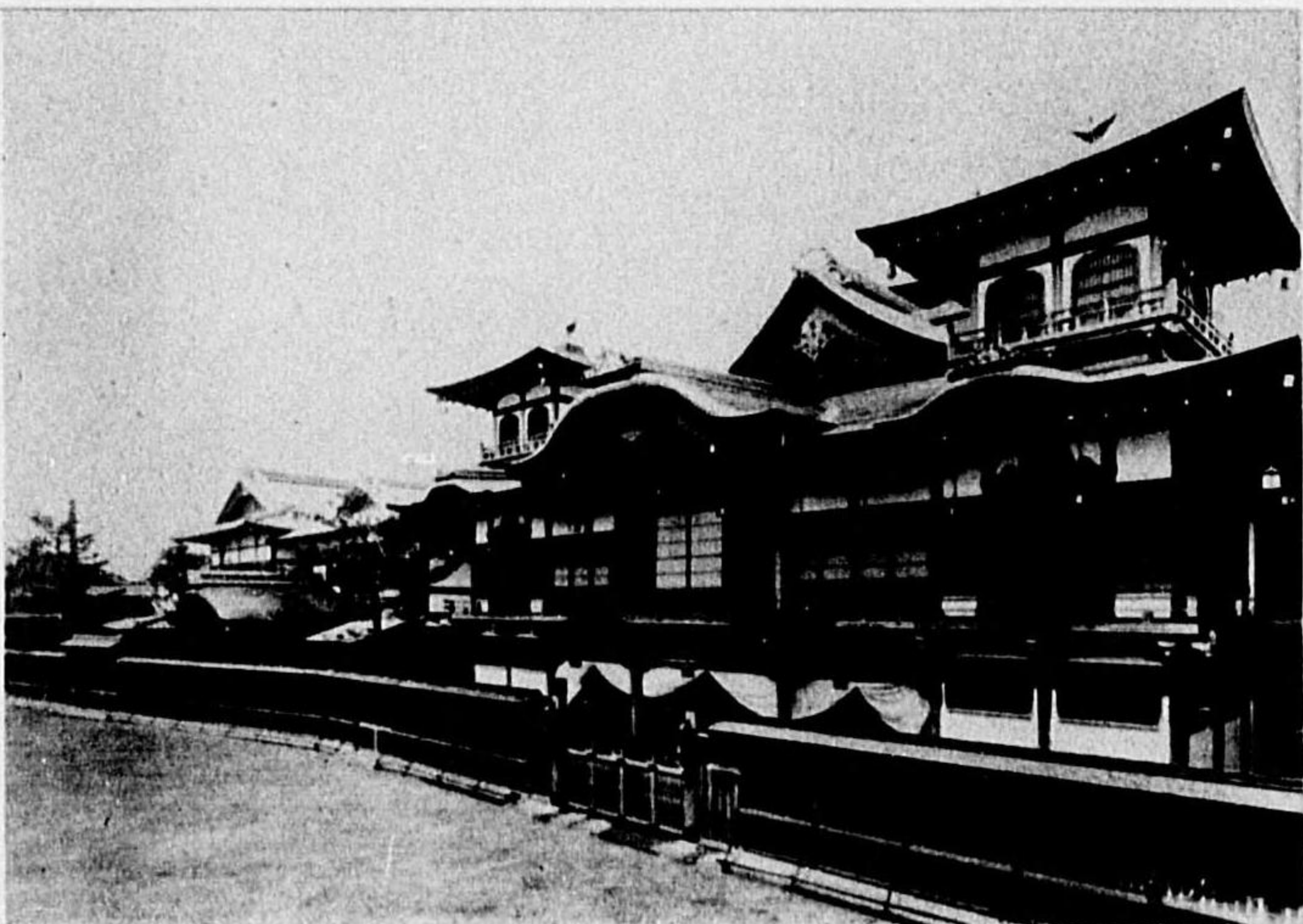
大阪電氣軌道(現關西急行鐵道)奈良線の中間・生駒山嶺を貫く隧道は、延長三哩八節餘の長大なもので、且つ當時我が國に於ける最初のものでもあり、最大のものでもあつた。工事の中途一部崩壞の危に遭ふなど苦難を極めたが不屈不撓遂にこれを完成し、當組不動の精神と技術的聲譽を高めたのであつた。

新世界(地名)

新世界は第五回内國勸業博覽會の敷地跡に建設せられた歡樂境で快適な遊園を中心に、巴里のエッフェル塔に倣つた高塔・多數の劇場・映畫館・寄席・遊藝場等を以て繞らし、當時東京の淺草・京都の京極・大阪の千日前等を凌駕する我が國第一の歡樂境として絶讃されたもので、當組はこの大工事を僅十ヶ月間に竣成せしめたのであつた。

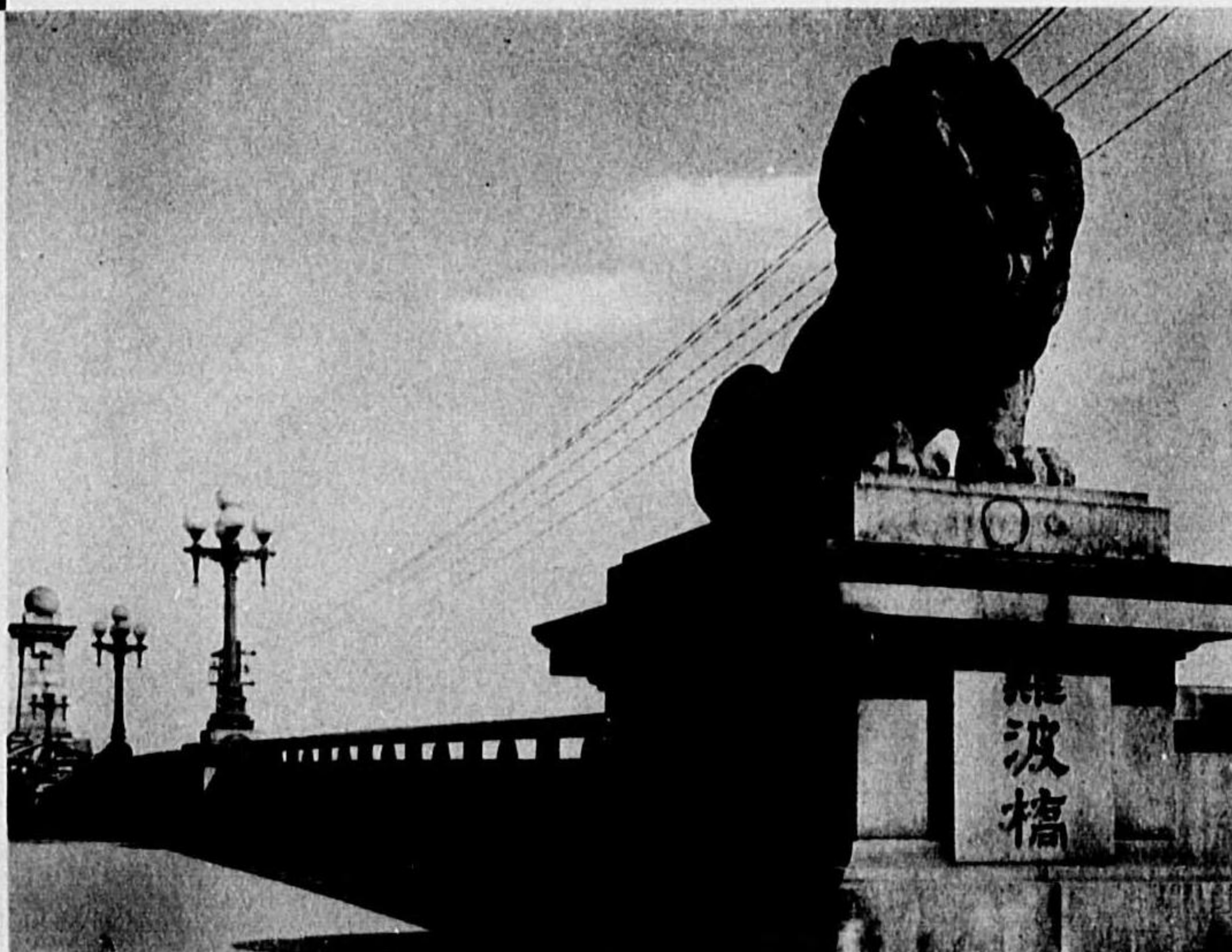
第二十一年・明治四十五年  
大正元年





第二十二年・大正二年

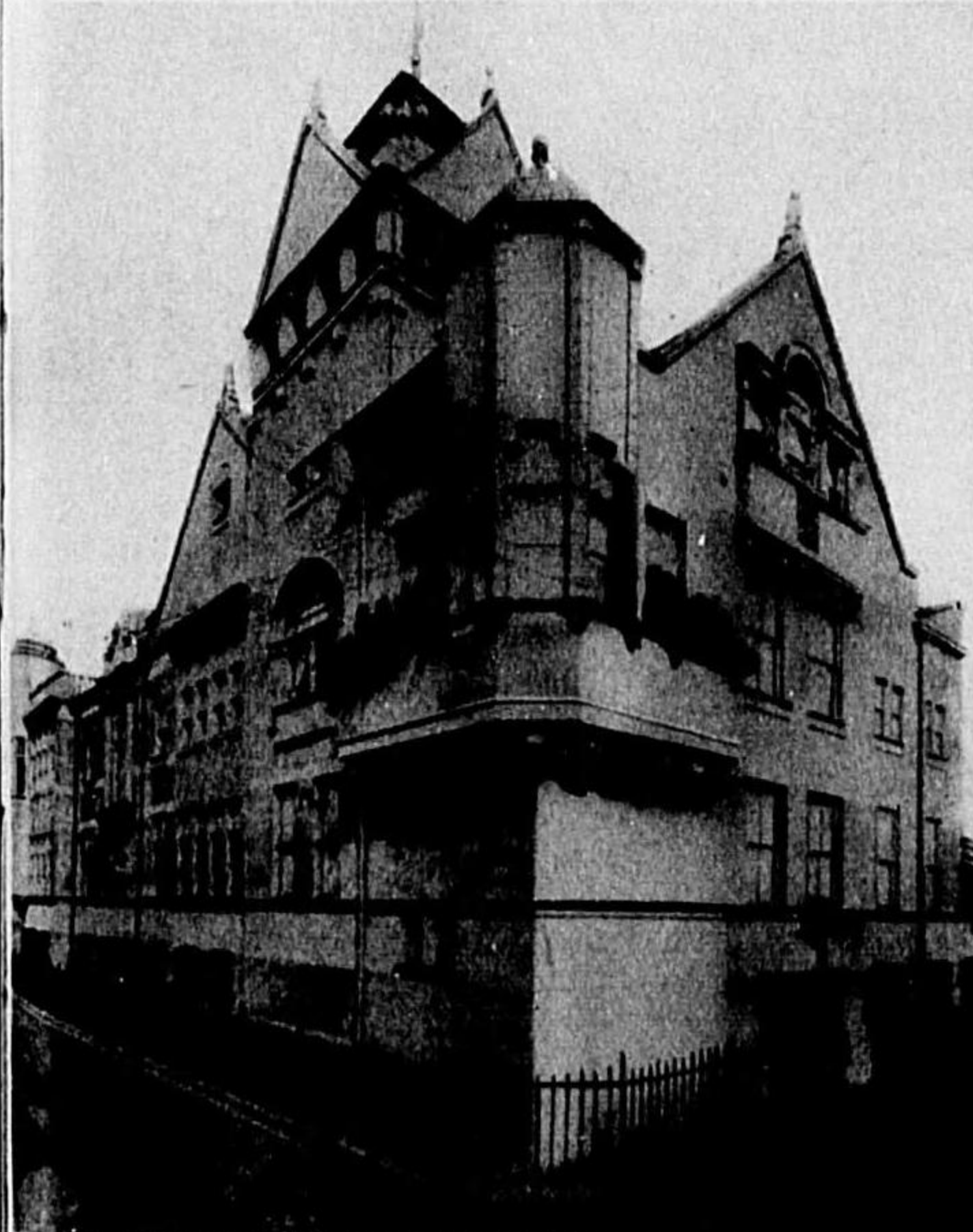
難波橋



大阪俱樂部は大阪を代表する紳士紳商の集團に依つて設けられたもの、當時大阪に於ける洋風の高等建築として清新なものであつた。

北陽演舞場は大坂北の新地に設けられたもので、その輪奐の美は細人目を奪ふに足り、恐らく明治以後この種和風建築中の白眉と稱するも過言であるまい。

曾根崎演舞場



大阪俱樂部(藝術的住宅)

難波橋は中之島公園を南北に跨ぎ、花崗石を以て成れる頗る壯麗なもので、橋柱の猛然たる獅子像は昔時から浪速三橋と謳はれた名に恥ぢない。施工中締切用に鐵矢板を使用したことは大阪に於ける最初の試みであつた。

第二十二年・大正三年

この年四月十一日 明治天皇の皇后として坤徳比ひなく在せし照憲皇太后陛下には崩御遊ばされ伏見桃山東陵に歿葬し奉つた。その後引續き御陵御造營工事を當組に御下命があり、謹直精勵この光輝ある御下命を完うした。

第百三十銀行會根崎支店は、大阪に於ける銀行建築としての最初の鐵筋コンクリート造であつた。隨つて技術の幼稚であつたばかりでなく工事機械なども貧弱なもので、ミキサーは四切半の小さなもの、エレベーターがないので人夫の肩で高所から木製のホッパーに流し込むといふ有様、今昔の感に堪へないのである。



第百三十銀行會根崎支店

京 都 驛



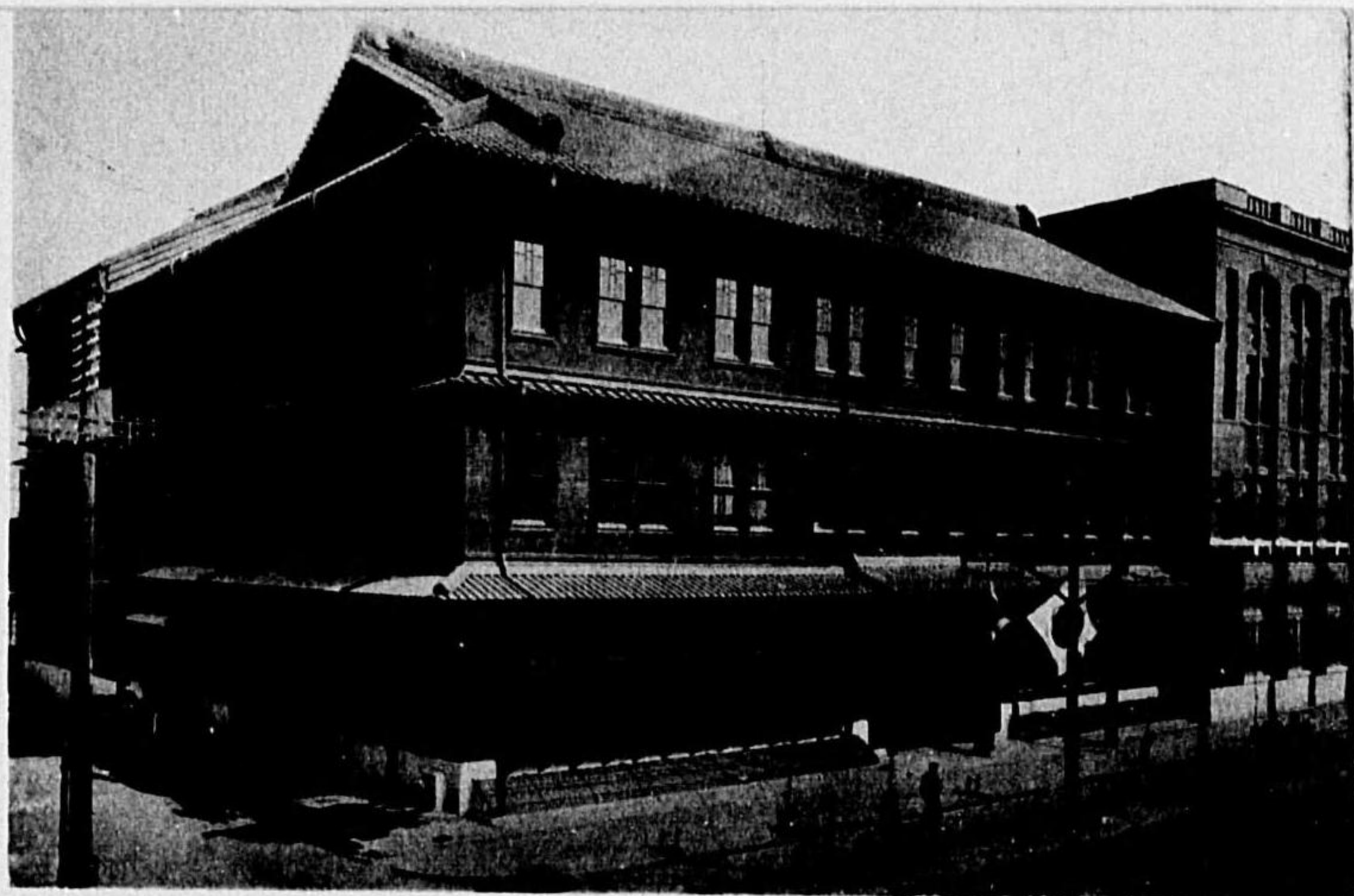
京都驛は普通一般の驛舎と違つて、東京驛と同じく陛下行幸の際に於ける御便殿の設備もあり、相當各般に留意して設計せられた建築で、木造と云つても立瓦貼りにモルタル塗の如き、驛舎建築としては他に比を見ない手の込んだものであつた。竣成後偶京都に於て 大正天皇御登極の大典が行はせられ、巍然としてその清新な驛舎は、恰も 天皇の萬歳を壽ぐやうな感があった。

豊國火災保險會社



豊國火災保險會社は、大阪に於ける煉瓦造の最後を飾つたものと云つてよく、煉瓦造としては最も垢ぬけした建物の一つである。その赤色に化崗石で化粧された清爽な姿は、市の要衝櫻橋交又點に嚴然として美觀を添へたものである。

第二十四年・大正四年



院府道鐵京東

店商紅丸

この二、三年間に於て鐵骨鐵筋コンクリート造の構造技術が急速に進歩し、工事機械なども相當に整備され、高層建築物がポツポツ姿を現はして來た。丸紅商店は大阪船場の中央に高層建築の魁として堂々たる勇姿を誇つたものである。

この年中に請負つた主な工事には、淺野造船所・鐵紡洲木工場・大阪鐵工所工場・日本火藥製造會社工場等がある。

第二十五年・大正五年

第二十六年・大正六年

(中世有現れる社築改) 社會險保命生清日



行銀藏貯本日



雄義林大長社現

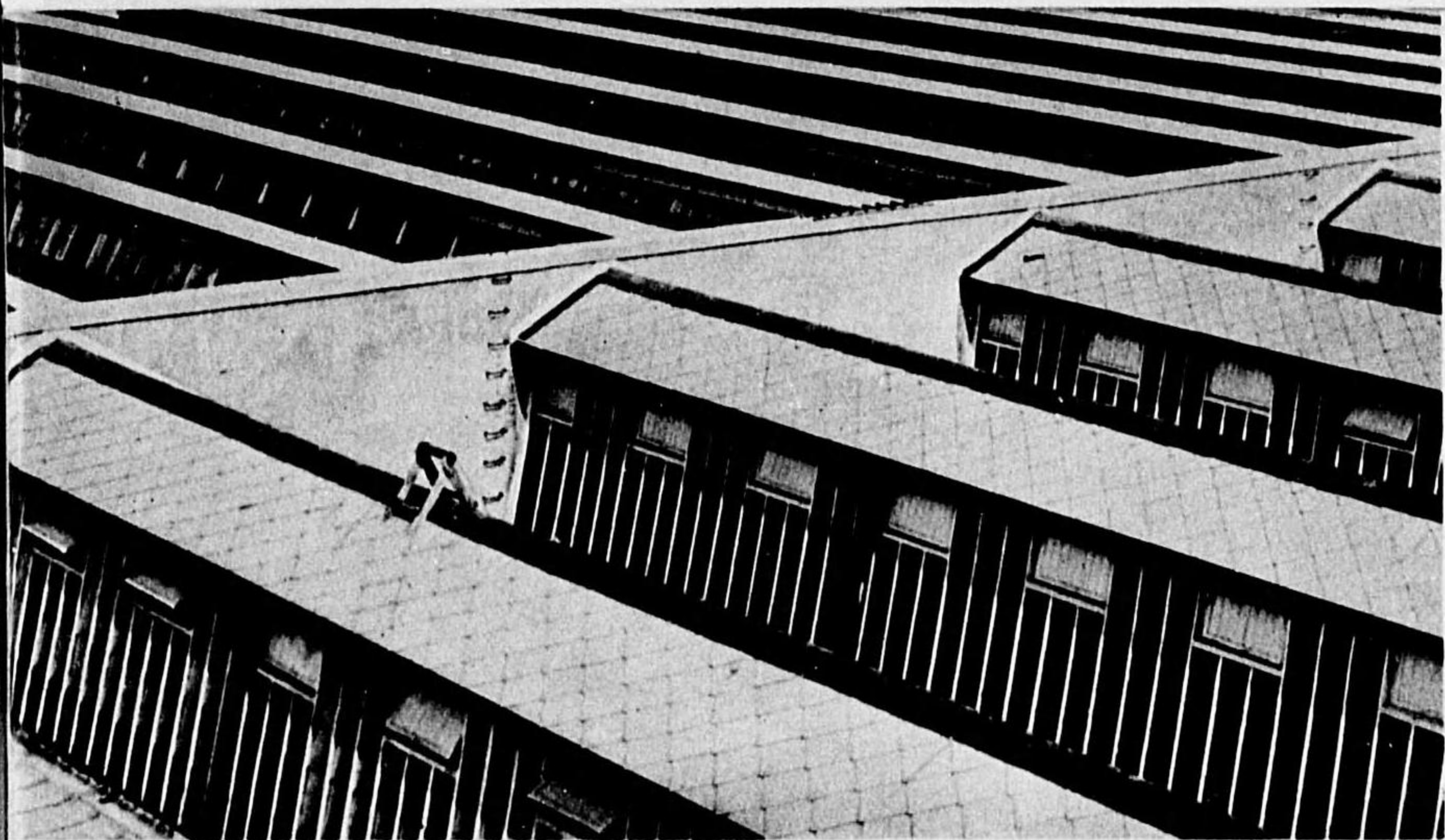
現社長大林義雄は大正七年十二月一日、株式會社大林組の設立と同時に社長に就任して今日に至つた。設立當初は資本金五百萬圓の微々たるものに過ぎなかつたが、江湖各位の御愛顧に依つて遂に今日の隆昌を致した次第で洵に感激に堪へない。御尊覽の便宜の爲茲に一括して、社長就任後に於ける會社成長の經過を記述すると左の通りである。

- 大正七年十二月一日 株式會社設立
- 大正八年三月十一日 合資會社大林組を合併、資本金を貳百萬圓に増資
- 大正十三年四月二十三日 資本金を五百萬圓に増加
- 昭和十二年三月十一日 資本金を壹千拾萬圓に増加(全額拂込済)
- 昭和十二年三月十一日 向この機會に傍系會社の創立をも左に記述して御参考に供した。
- 昭和六年十月一日 内外木村工務株式會社を創立  
資本金壹百萬圓(全額拂込済)
- 昭和七年六月十日 株式會社大林農場を創立  
資本金壹百萬圓(全額拂込済)
- 昭和十三年十月十九日 寶鐘業株式會社を創立  
資本金三百萬圓(全額拂込済)
- 昭和十三年十二月十日 株式會社フランチャード製作所を大林精器工業所と改稱  
資本金を壹百萬圓に増加(内八拾萬圓拂込)
- 昭和十五年三月二十五日 株式會社滿洲大林組を創立  
資本金五百萬圓(全額拂込済)

大正四年勃發した歐洲の大戦は、期せずして我が國の業界に好影響を齎し、本年頃から事業界の規模は益々大されると同時に、隨所に企業計畫が續出し、財界は未層有の盛況を呈するに至つた。當組の如きも其の餘澤を受けて新請負額は平年の二倍に達し、現社長としては幸先のよい門出であつた。

本年の主な新請負工事を舉げると日本製鐵工場・磐城製鐵工場・東洋製鐵工場・東京中央電氣局・北陸電氣生工場・三井物産宇野造船所・日本汽船宇野造船所・廣島吳府川口發電所・三田吳會社再製工場・堺セルロイド工場等、工場は總て在來の型を破つた大きなものである。

第二十七年・大正七年 其の一

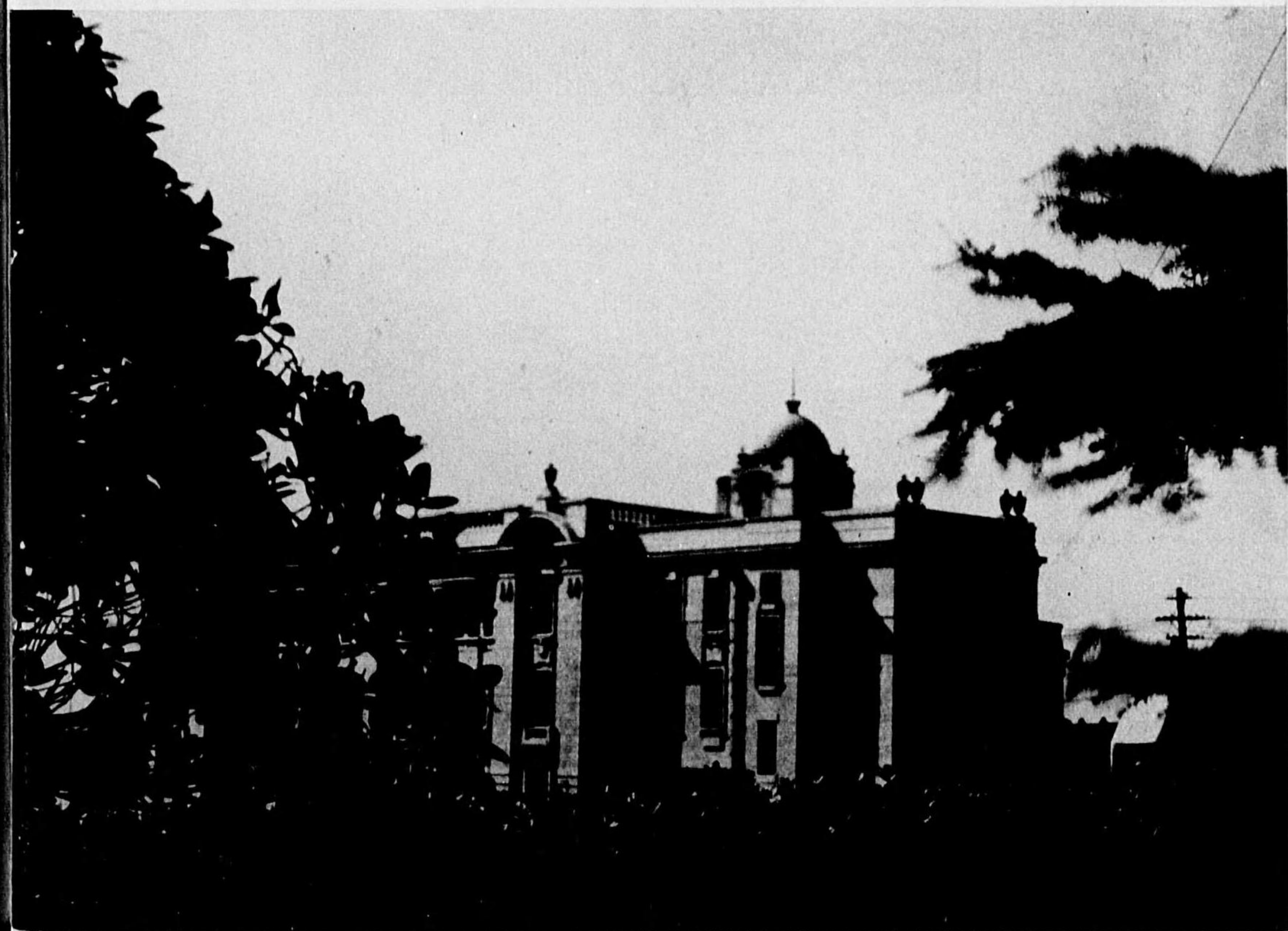


場工津今(社會紡織品々織現)社會績紡絲毛洋東

當組はこの年七月一日東區京橋三丁目七十五番地に本店を移轉した。  
(大正十五年の頁参照)

店支阪大社會船郵本日

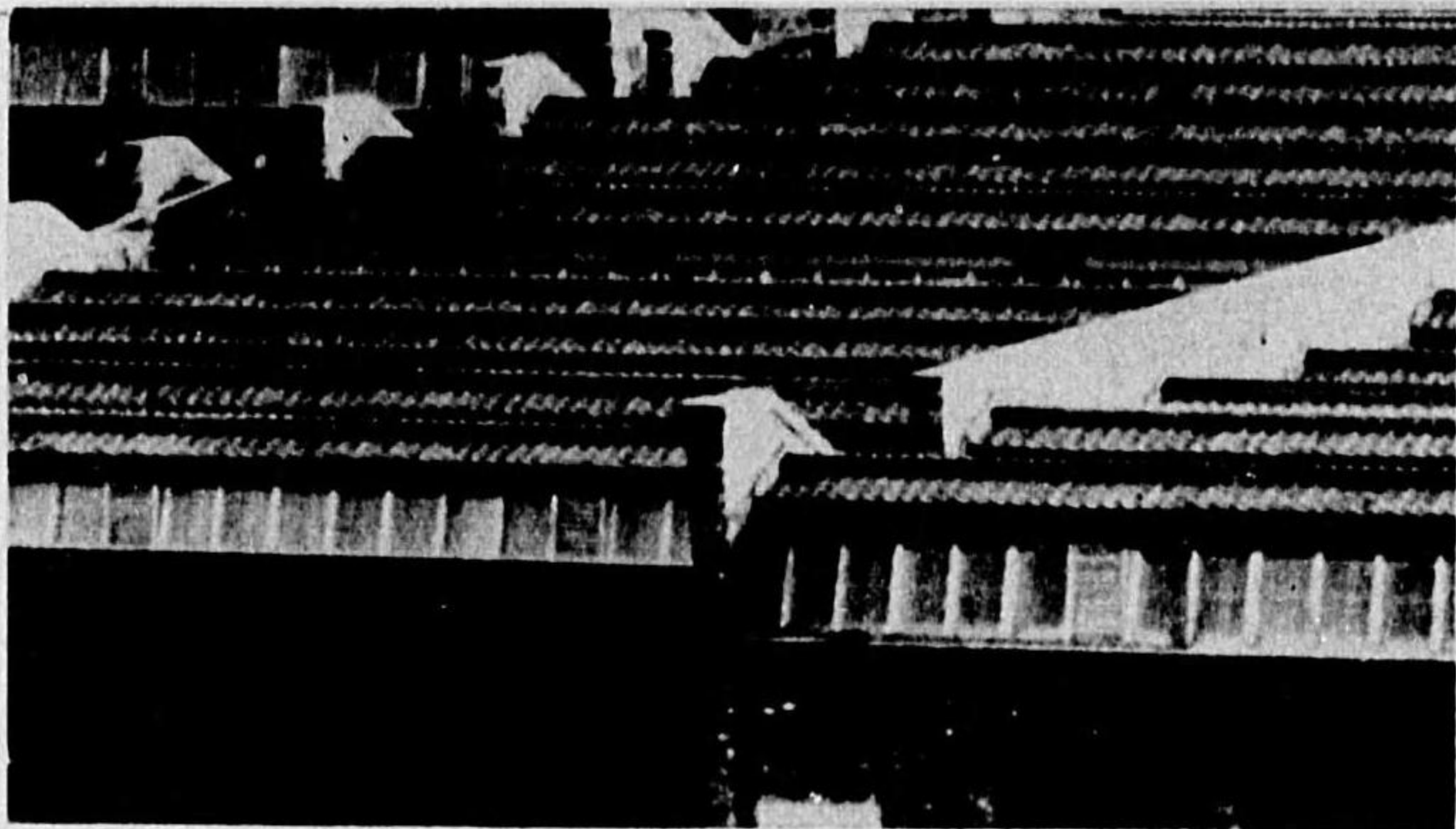
當時大阪に於て最新式の工法に依つて建築美を誇つたものは日本郵船會社大阪支店を外にしては僅々二三を數ふるに過ぎなかつた。



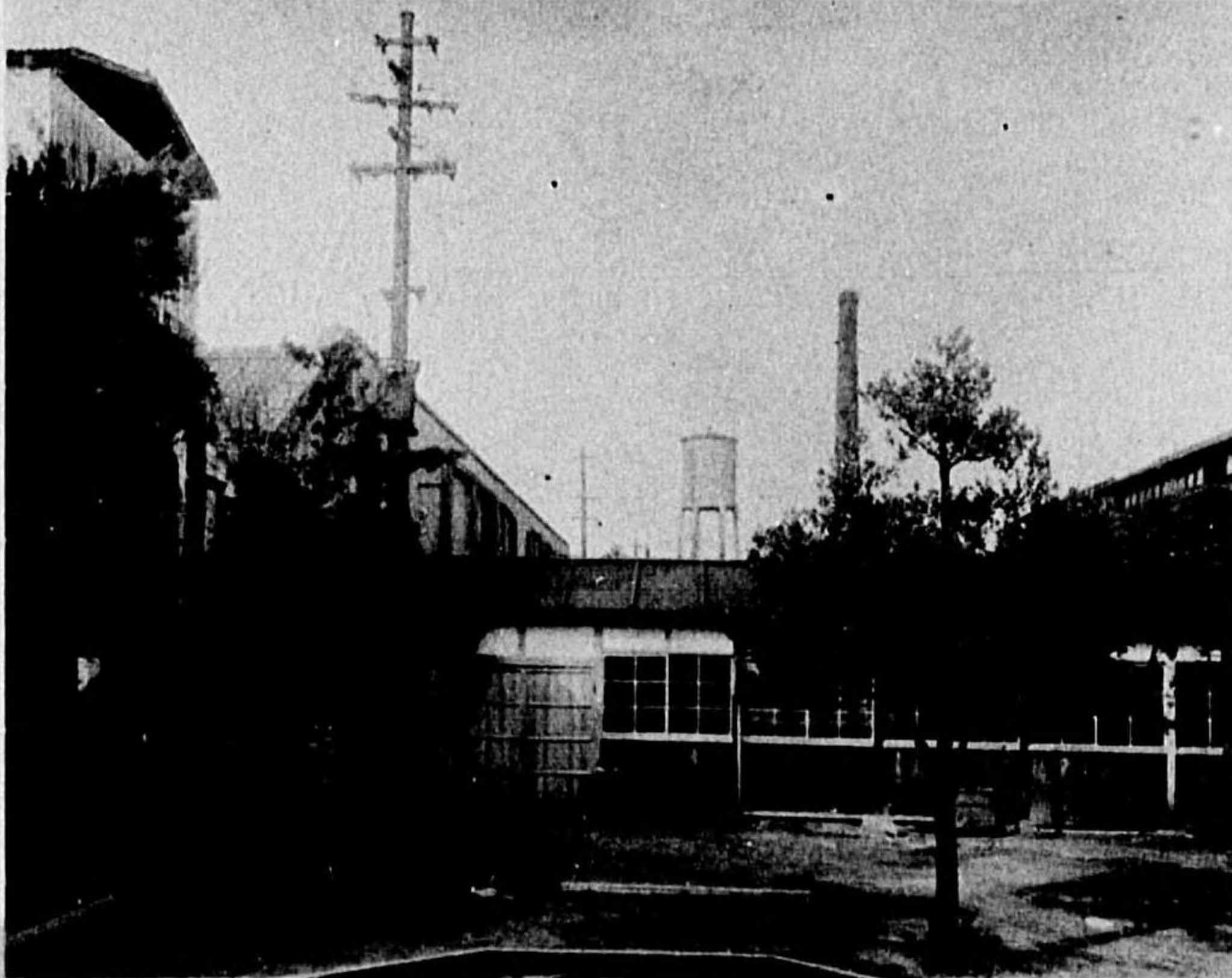
從來に於ける一工場の請負額は、大きなもので五、六十萬圓に過ぎなかつた。しかるに三國紡及金華紡に至つては共に百萬圓を突破した大工事で、その後この種大な工場が到る所に續々と建設されるやうになつたのは、確に歐洲戰亂の影響を受けた新興日本の産業勃興を物語る證左と見るべきである。

當年に於ける新請負工事の主なるものは、今津發電所・東京高製糖第一工場・鐵道省吹田工場・東京電氣川崎工場・三島野戰重砲兵隊・阪神電氣東濱發電所・航空第三大隊飛行場・郡山寒賣局工場・奥海軍兵學校等である。

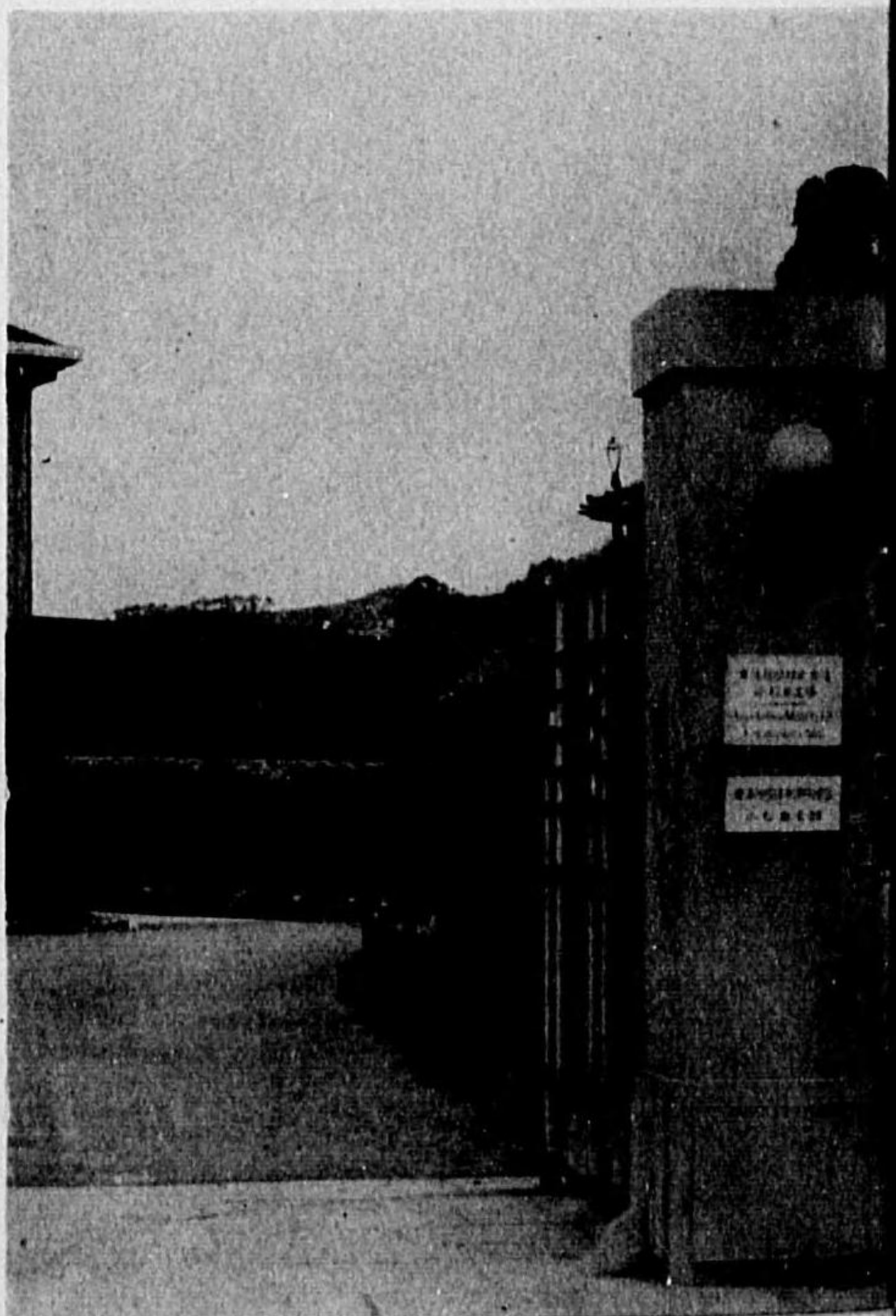
三國紡績會社(現天滿織物會社)工場



金華紡織會社(現富士紡績會社)岐阜工場

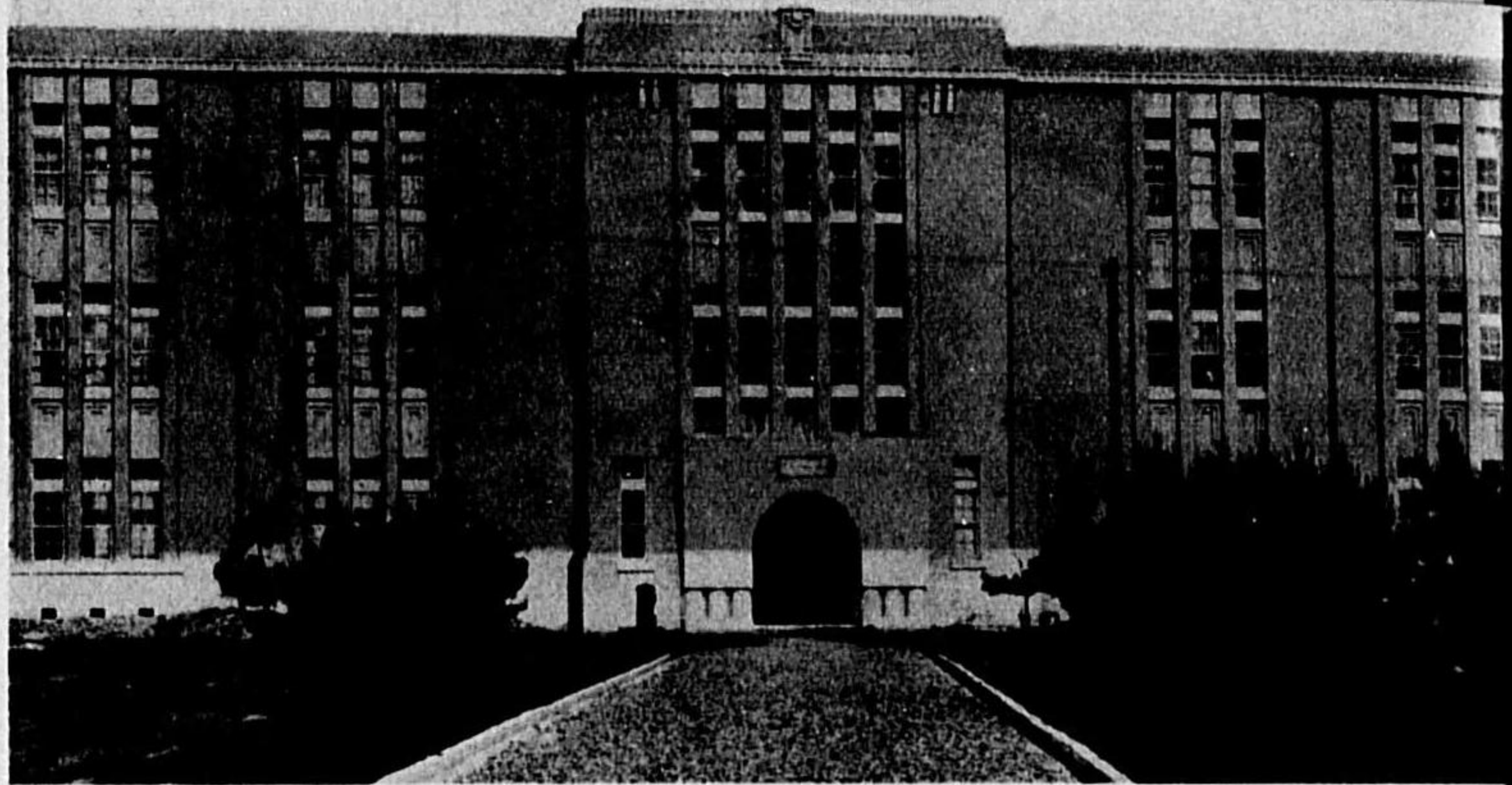


大阪合同紡績會社(現東洋紡績會社)小松島工場

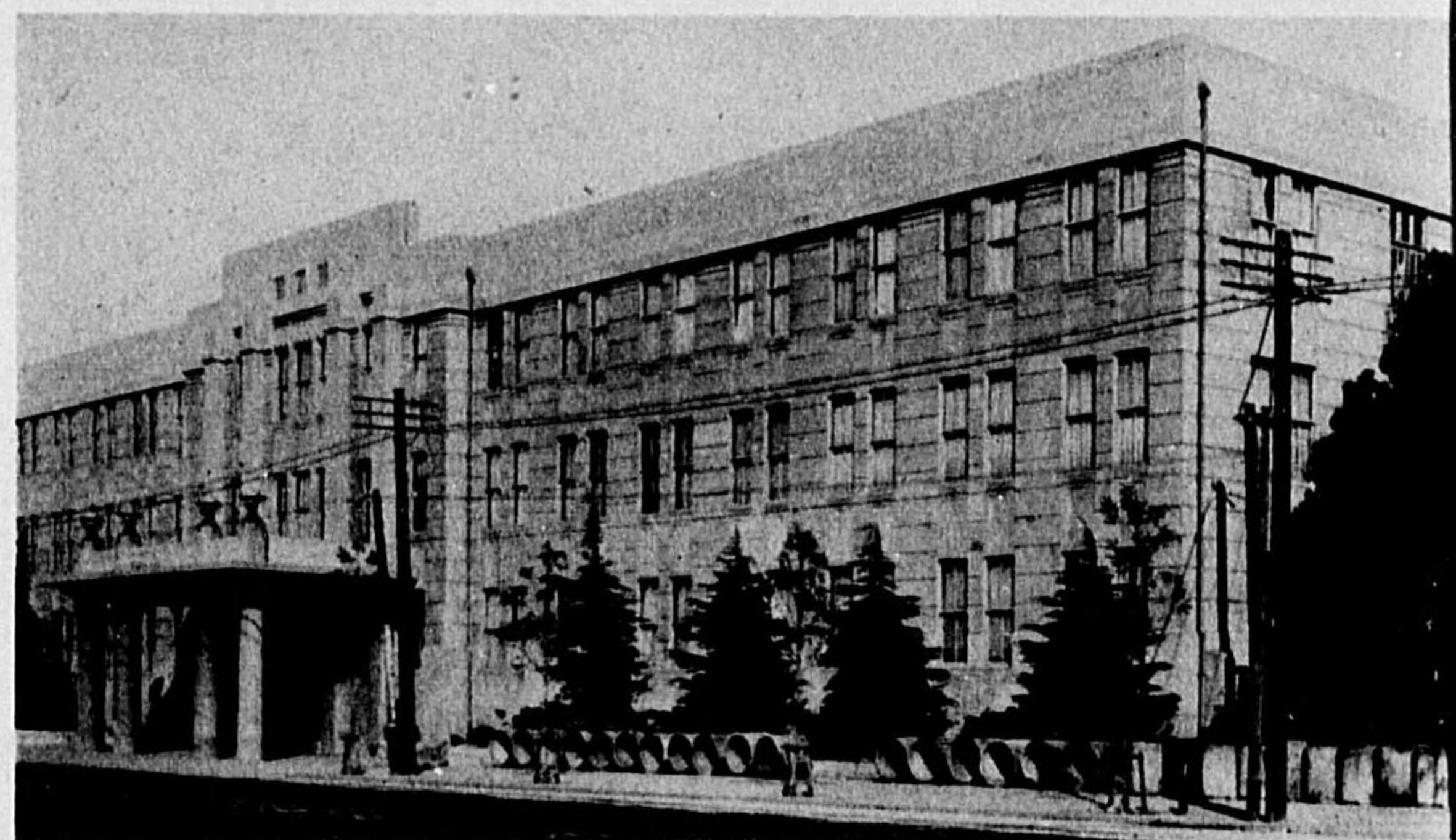


當年の新請負工事の主なるものは、日清紡績名古屋工場・富山紡績富山工場・日本信託銀行・大阪春海商店・日本樂器製造工場・團信託會社・所澤飛行場格納庫・大阪電燈春日所・大阪砲兵工廠・大阪市九條發電所・阪神電車津川發電所・橋田中央電話局等である。

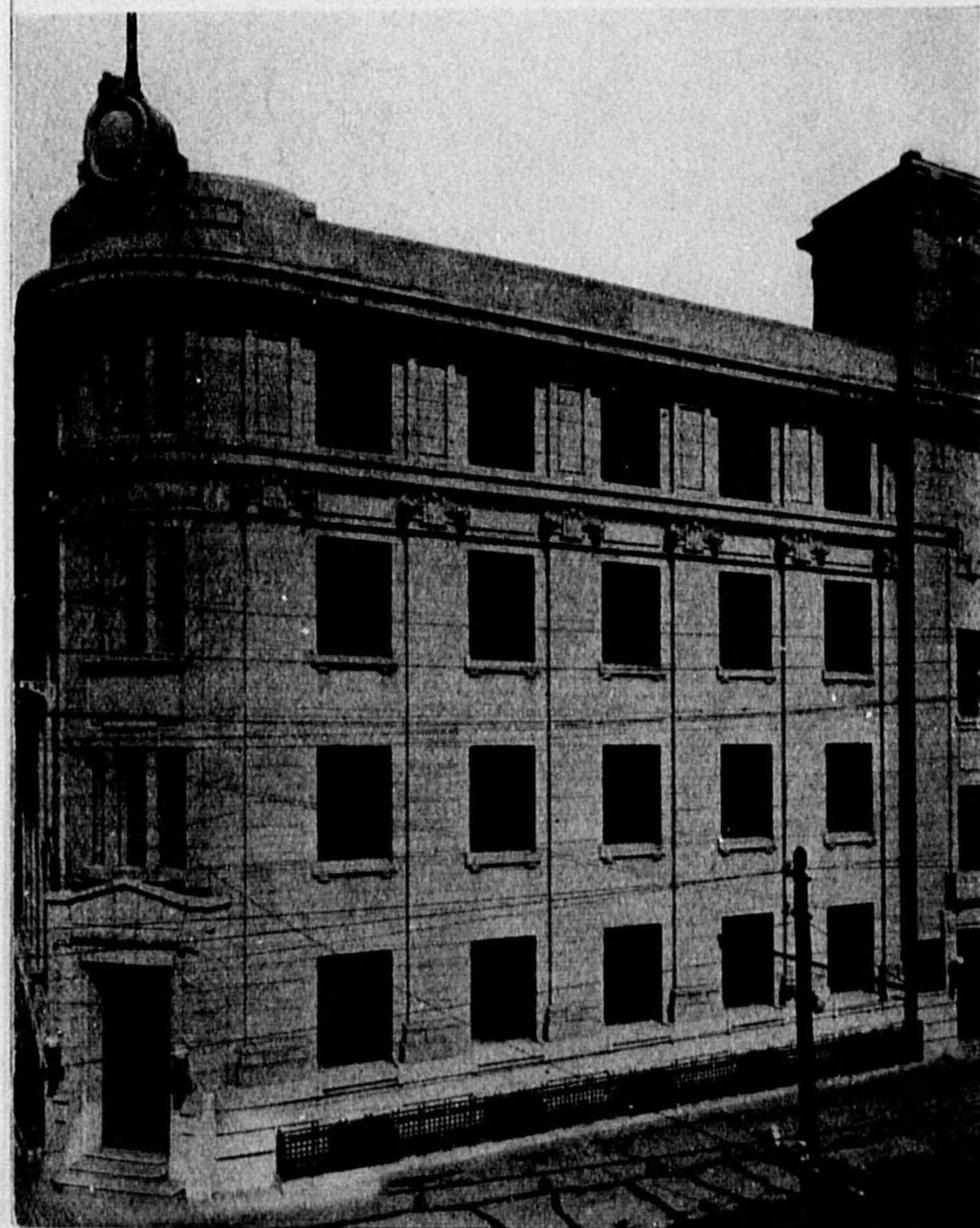
大阪高等學校



國勢院



五十銀行福岡支店



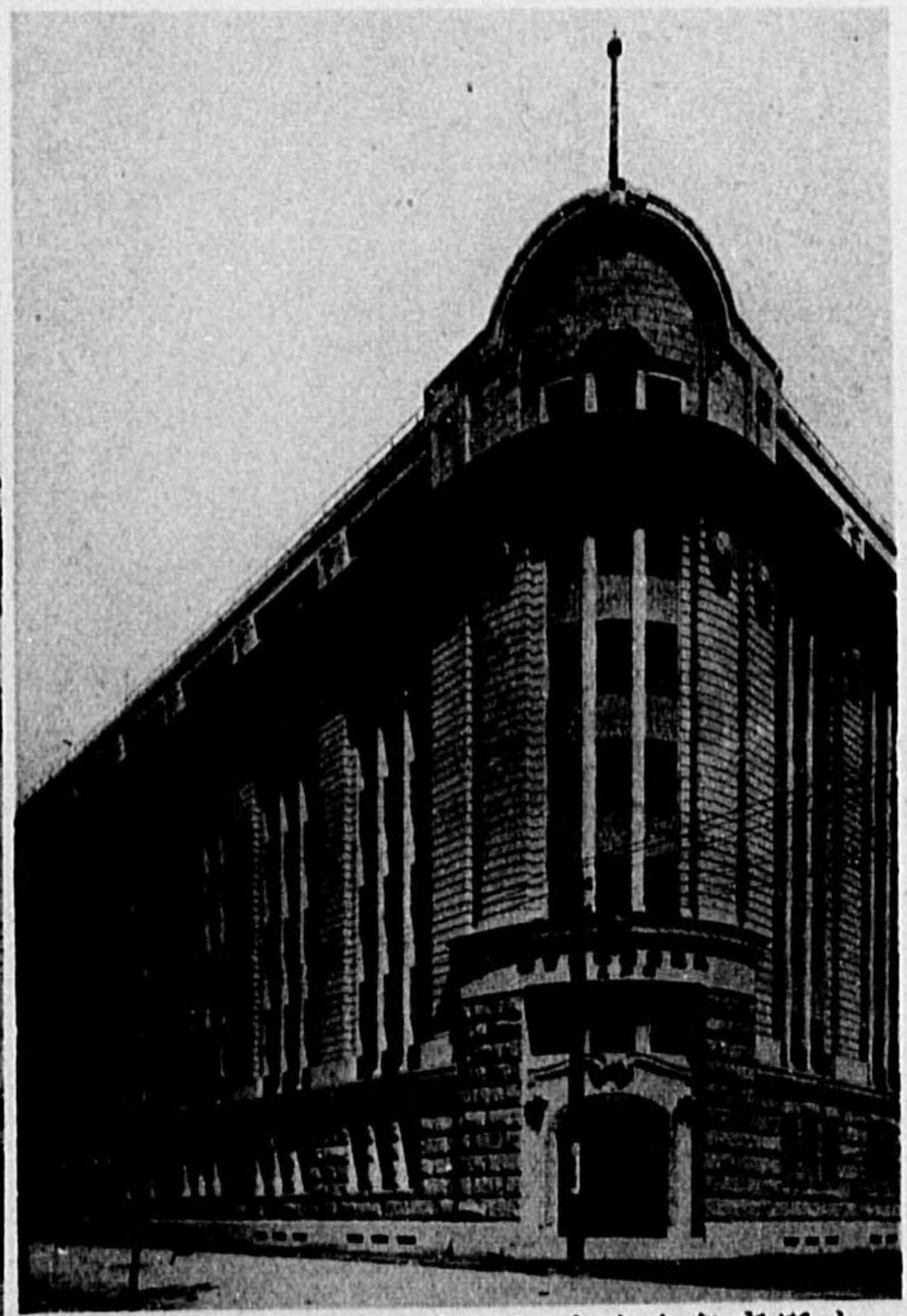
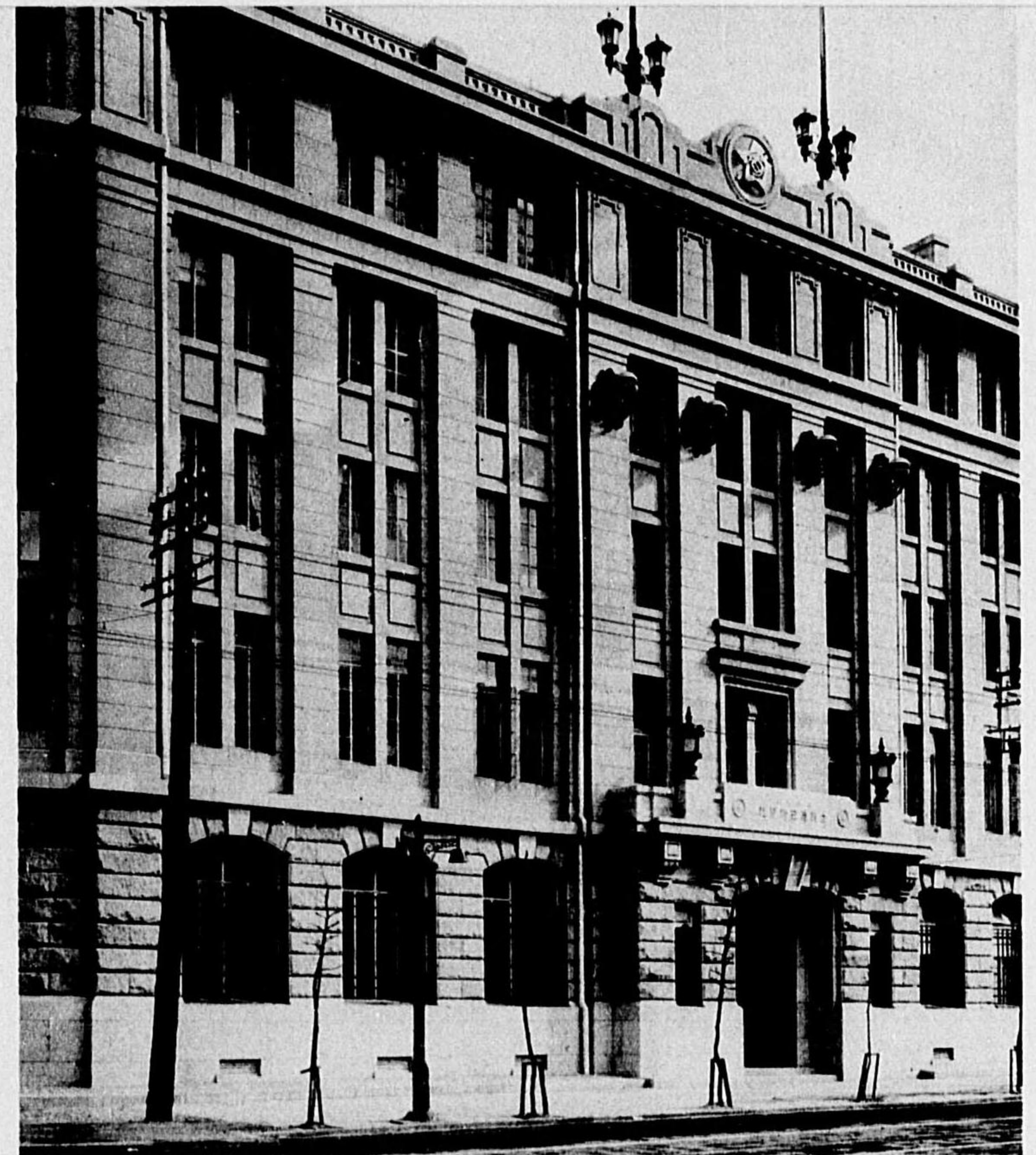
この年頃から建築美に富んだビルディングが各地に増加して來て市街の美觀を添へるやうになつた。本帖に於ても相當な建築物がポツポツ紙面に現はれつつある。しかし未だ過渡期と言つてよく大ビルディングの出揃ふ時期は尙相當の後であらう。

この年の新設又は引續く好況に恵まれて前數年を遙かに凌駕した、新設の主なものは大阪市船場小學校・國光生命本社・宇治川電氣鐵道發電所・福岡市議會・大正電立銀行・日鮮鐵道・大阪市衛生試驗所・日清生命大阪支店・名古屋第一記念橋・大日本紡績所・山崎・大阪及九州大船渠・東京市橋本支店・大阪中央電話局・東京航空第三大隊格納庫・東京高層架線第五工區等である。

大阪毎日新聞社

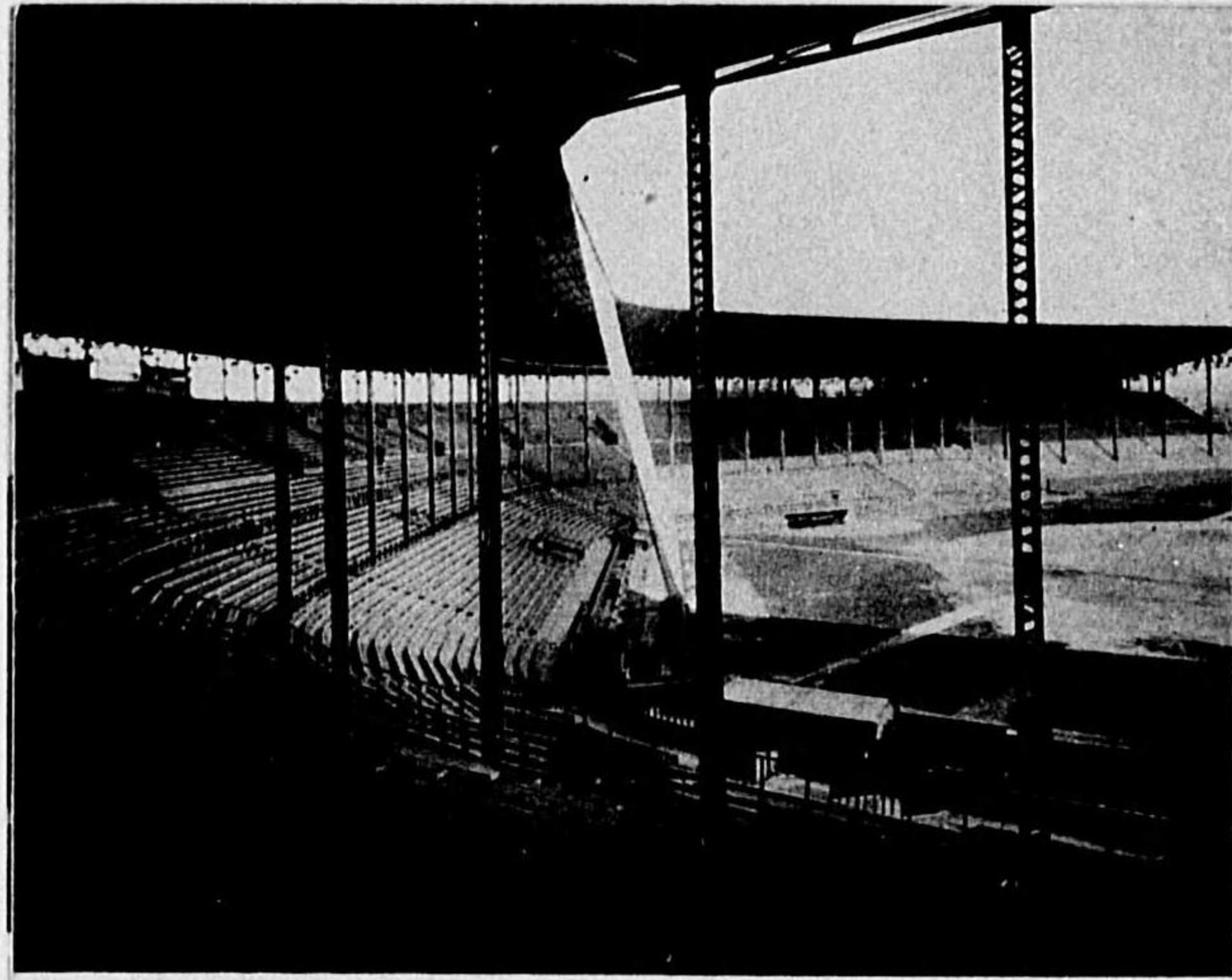
大阪毎日新聞社は操觚界に於ける我が國第一の覇者、大阪商船會社は關西に於ける海運界の大御所、日本海上火災保險會社も亦關西に於ける保險界の重鎮、しかもこの三箇の安壯なビルディングが響を列べてその雄姿を關西に現はし、何れも當時關西に於ける初期の大ビルディングとして異彩を放つたものである。

日本海上火災保險會社



大阪商船會社神戸支店





甲子園野球場

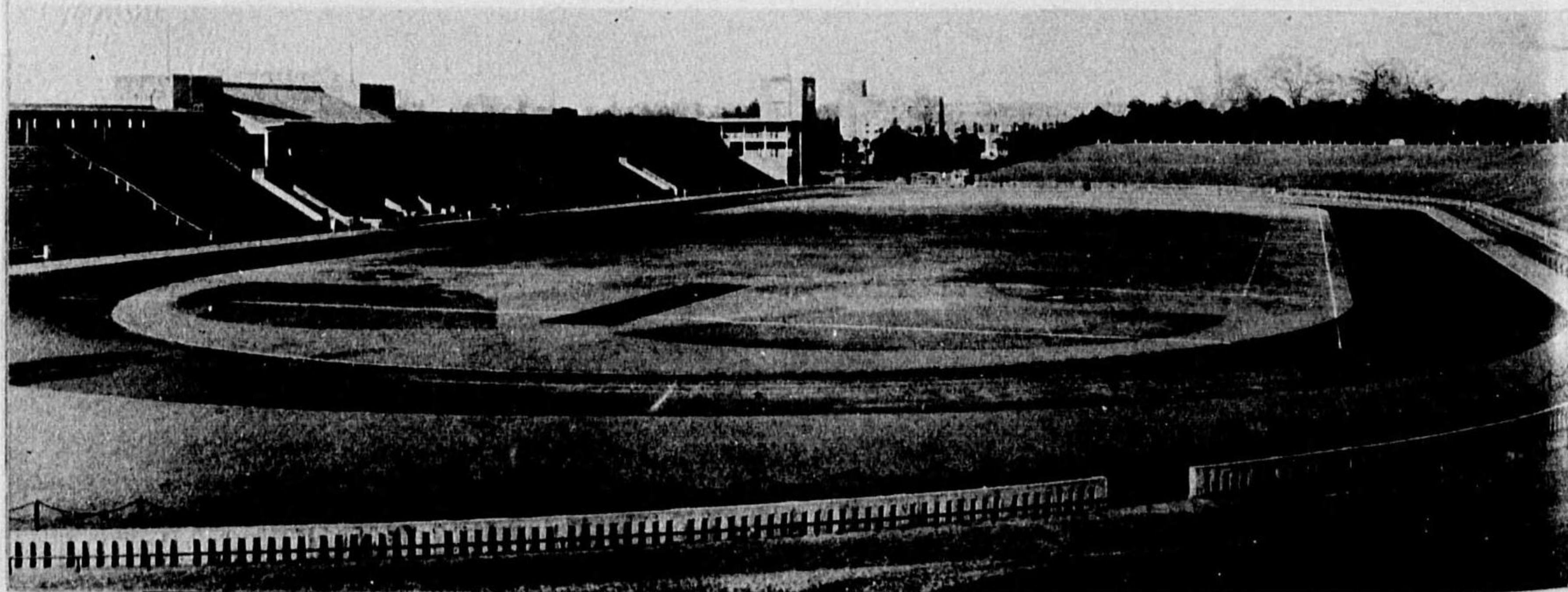
第三十三年・大正十三年

甲子園野球場は、關西に最も古い歴史を有つ阪神電氣株式會社の經營に成るもので、觀衆十萬を收容する大スタンドを有し、米國の木場でさへ見ることを得ない世界第一の野球場である。この他當組施工に成る同社の委託工事は大阪・神戸の兩地下線及高梁線・大阪及三ノ宮驛等枚舉に遑がない。就中同社大阪驛の如きは頗る老大なビルディングとして計畫され、此處一兩年中にその雄姿を仰がれる筈であつたが、時局柄これを中止されたのは遺憾に堪えない。

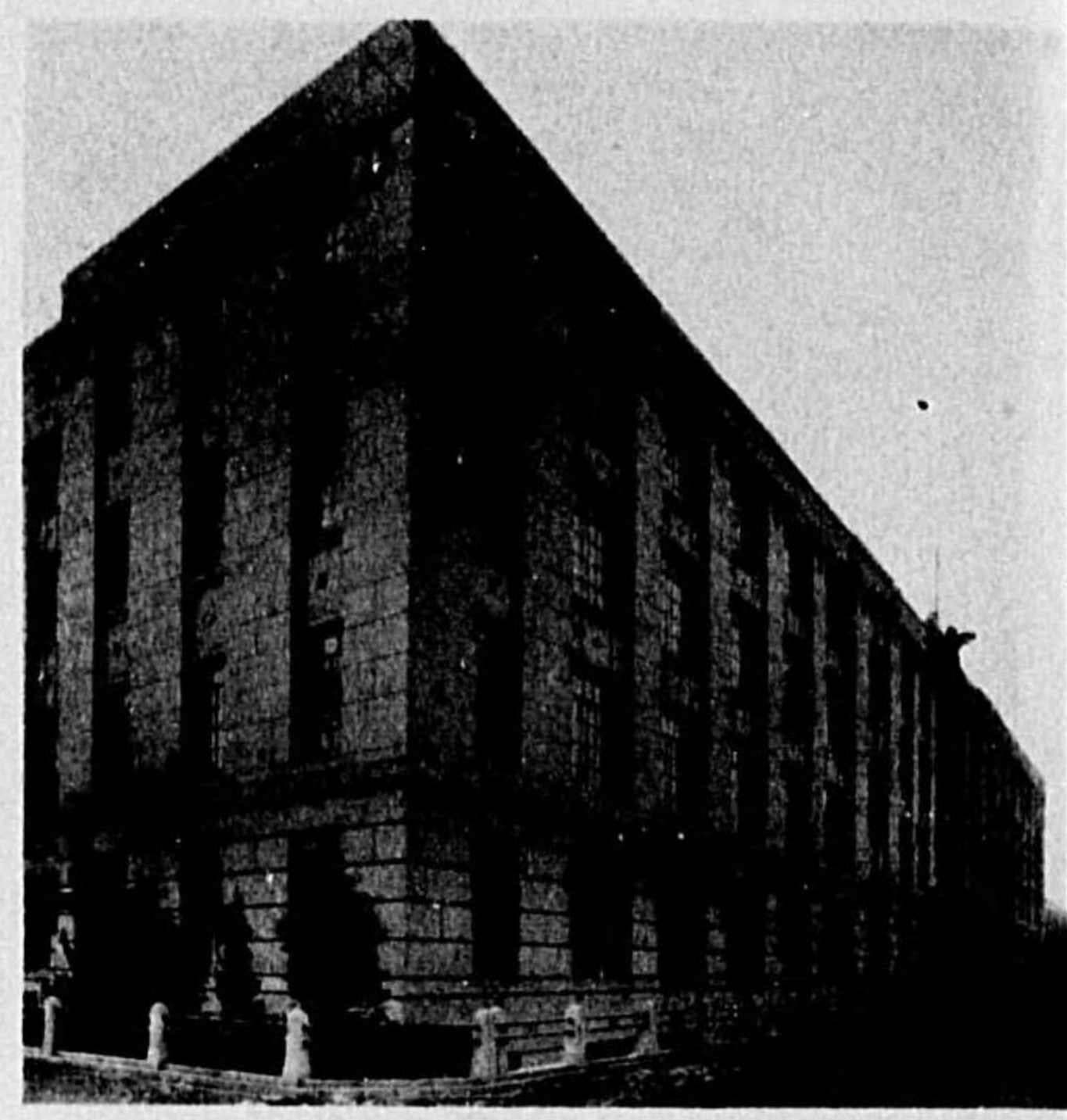
復興を目指す東京・横濱の建築工事は目まぐるしい程の雑沓を來した。當組は洲崎の埋立地に一大製材工場を急設し、製材より構築へと徹底した營業陣を張り、土建業者としての奉仕を完了した。

本年に於ける新請負は露火災の復興工事が大半を占め、大日本製鋼所土ヶ谷工場・内務省雜貨倉庫・東京帝大各種教室・鐵道省田端驛・鐵道省町電話局・秀英合工場・主婦之友社・野山鐵道社工場・八重洲橋・鐵道省神戶驛等がその中に入るもの。その他東京・神戶・大阪・六十八銀行・農商務省大阪倉庫・愛知電氣線路・阪神國道西成大橋・阪山鐵道等がある。

明治神宮外苑競技場

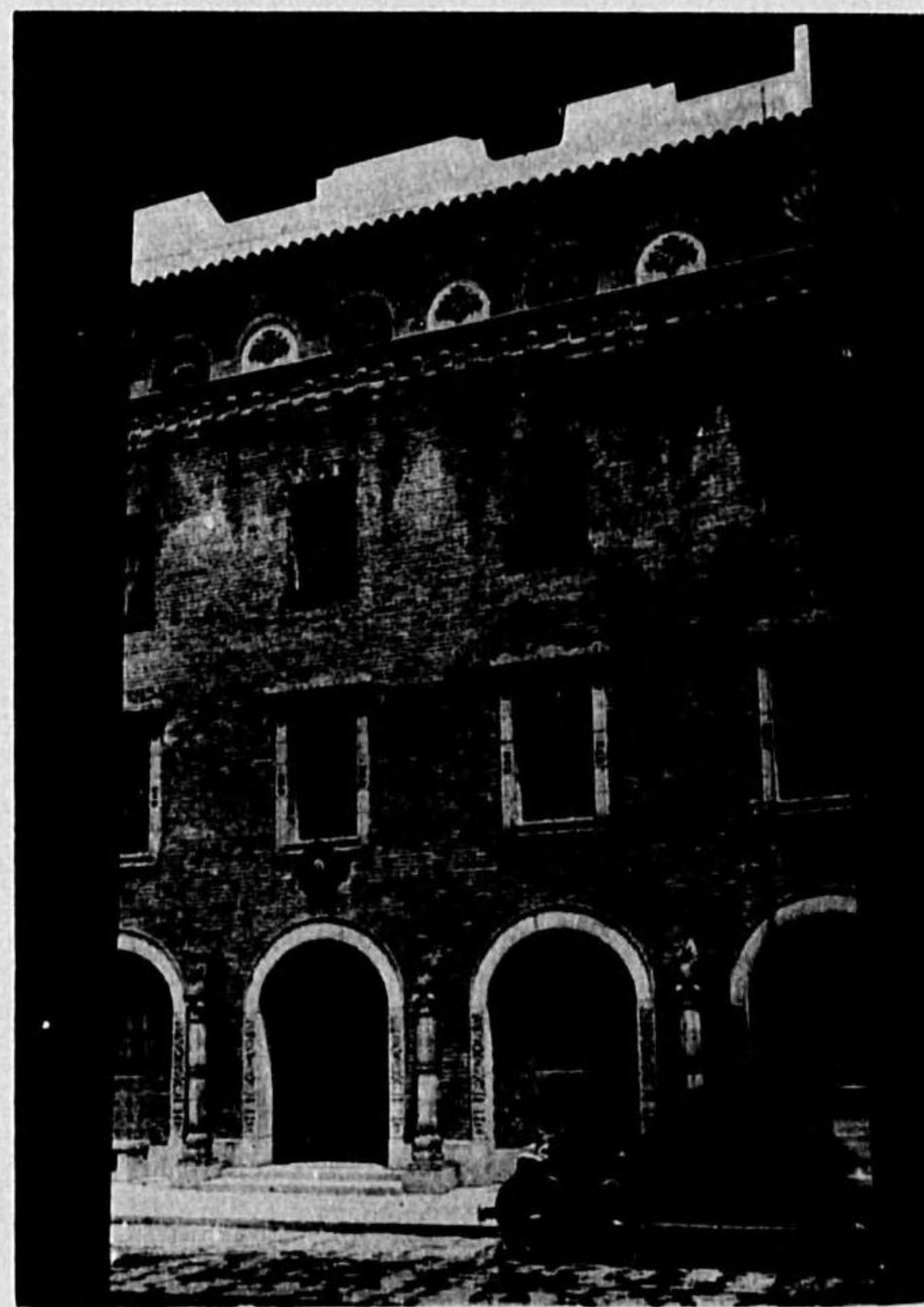


大阪甲久小學校



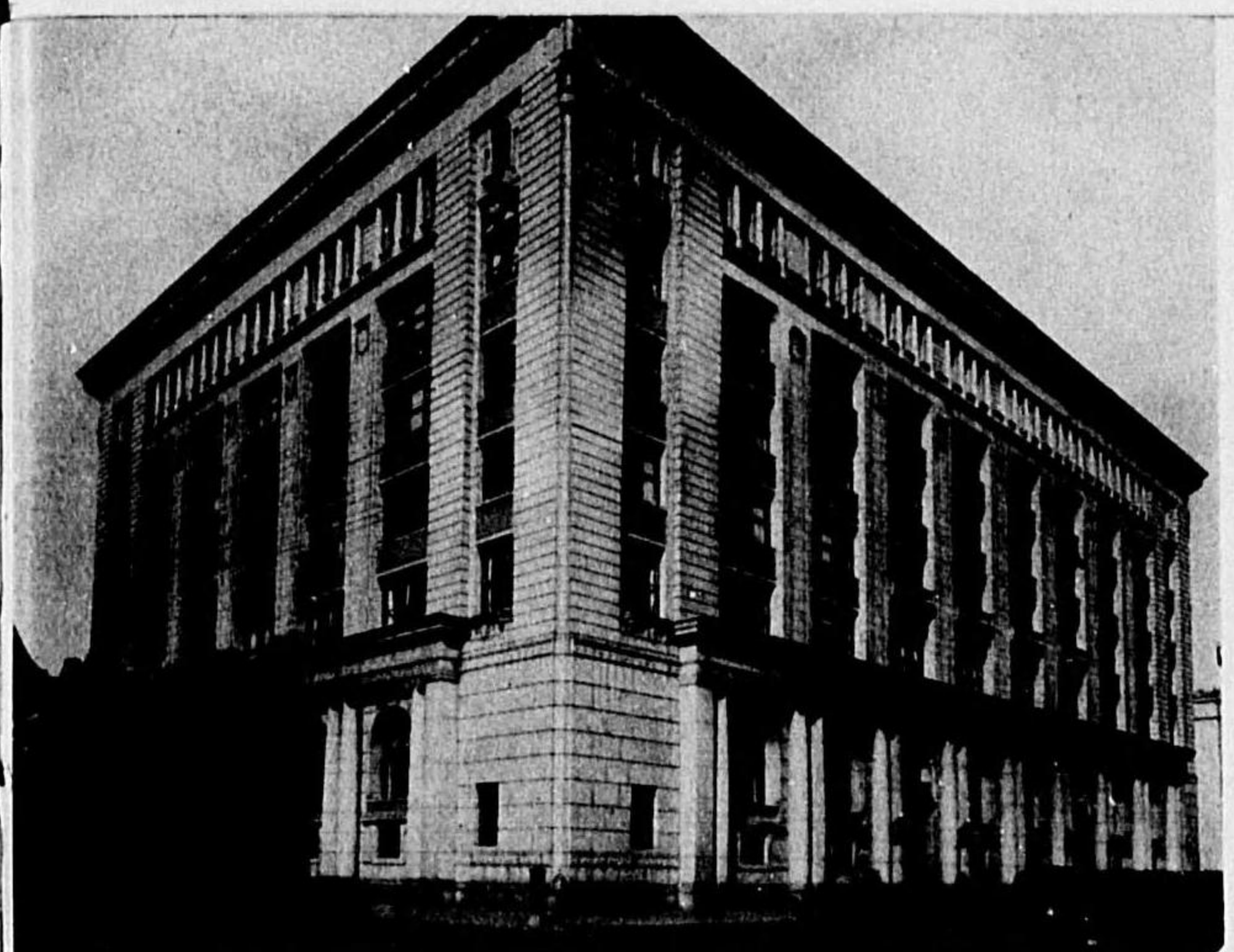
大阪俱樂部

久寶小學校は同年に落成した同市船場小學校と共に大阪に於ける最初の鐵筋コンクリート造の大校舎設備の完備せること當時我が國唯一の稱があり日々參觀者が絶えなかつた。



第三十二年・大正十二年

福井縣廳

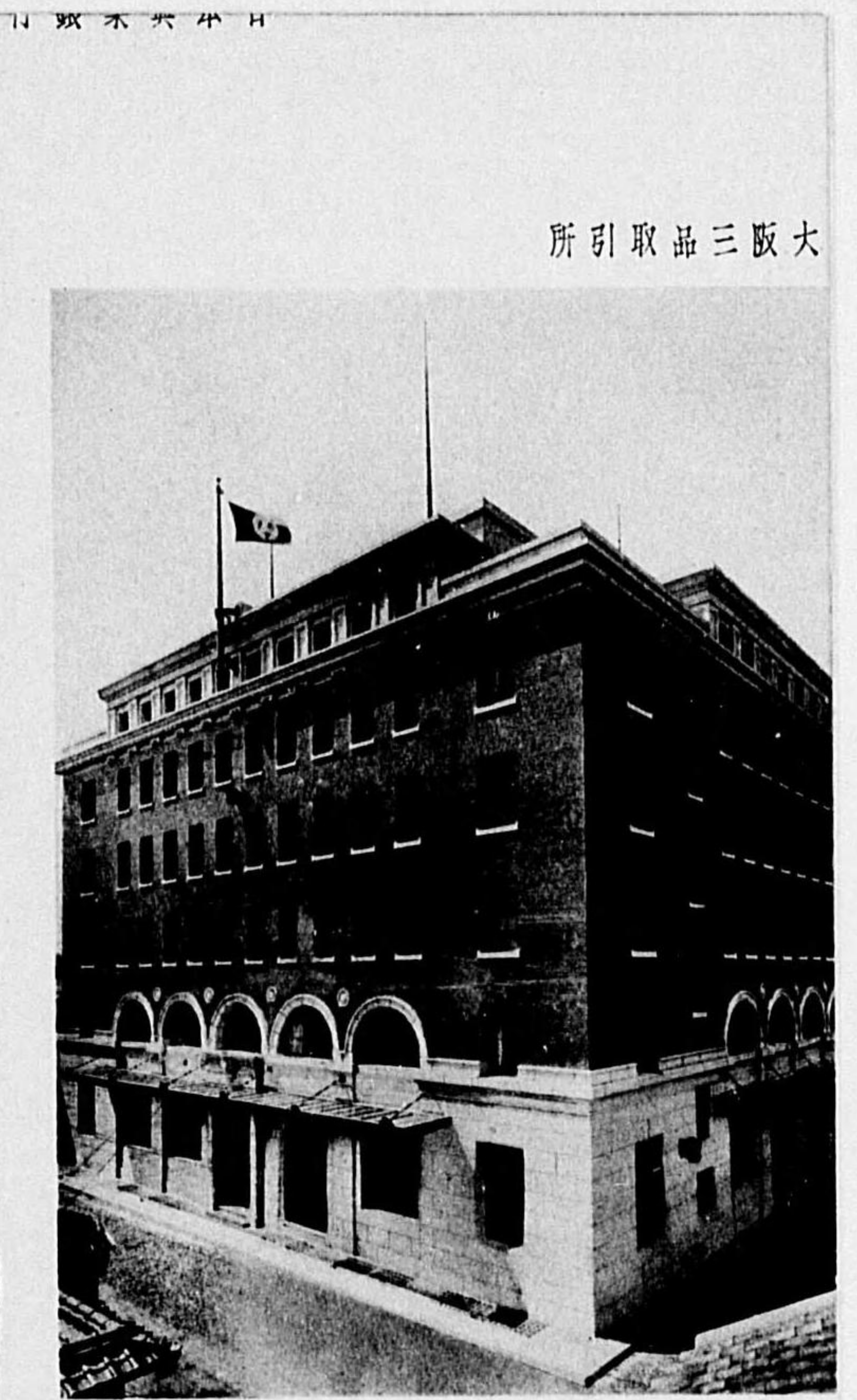


この年九月一日關東地方に大震火災勃發、帝都を首め横濱その他各地は有見未見の慘禍を被つた。當組は直に救災の汽船をチャーターし、被服及食料品・建築材料等を満載し、醫師看護婦をも加へた大救護隊を組織して海路帝都に急行、大車輪を以て救護に努めたのであつた。殊に應急工事が一時に殺到して稀有の繁忙を極めたが、救護奉仕に些か面目を施したのであつた。

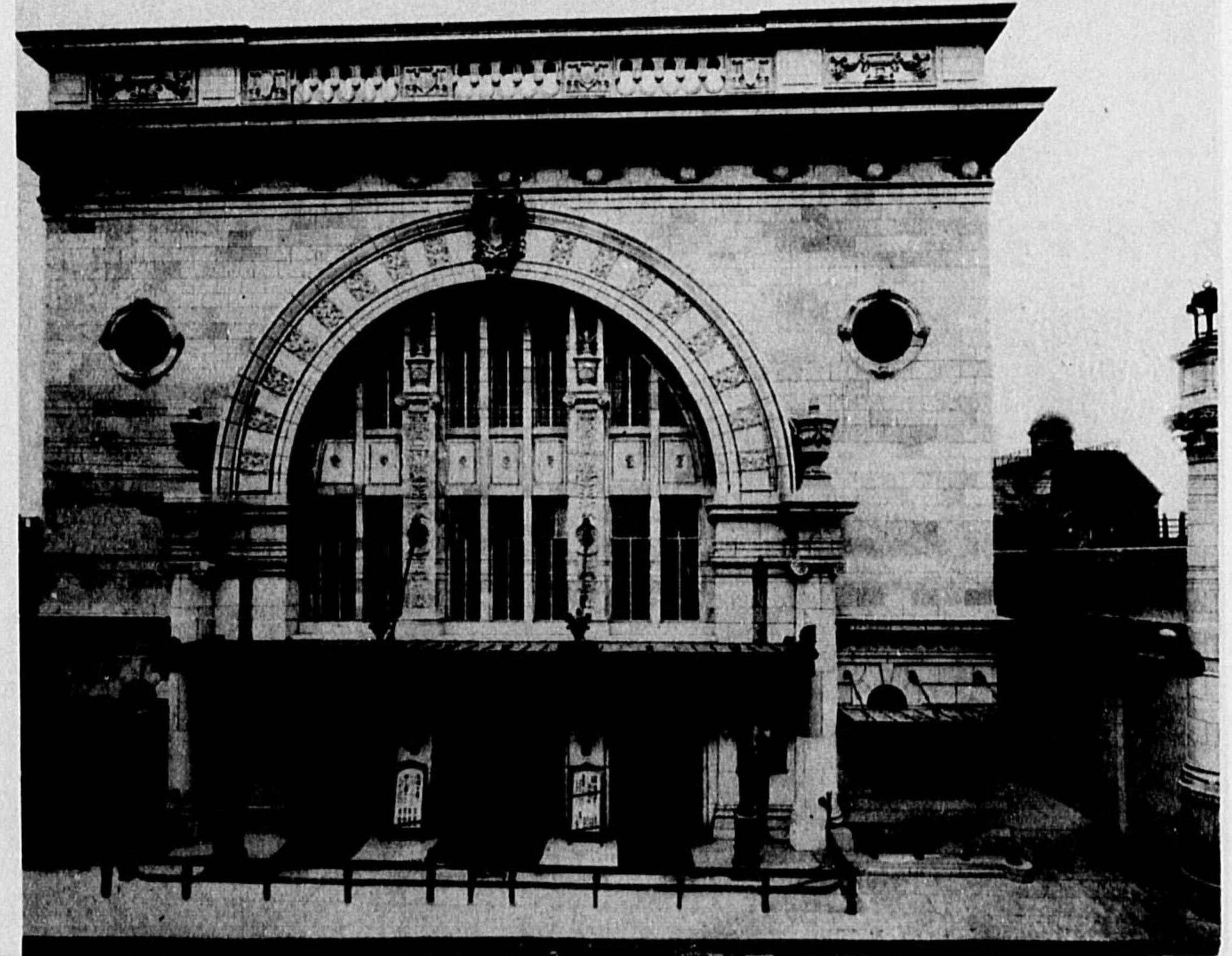
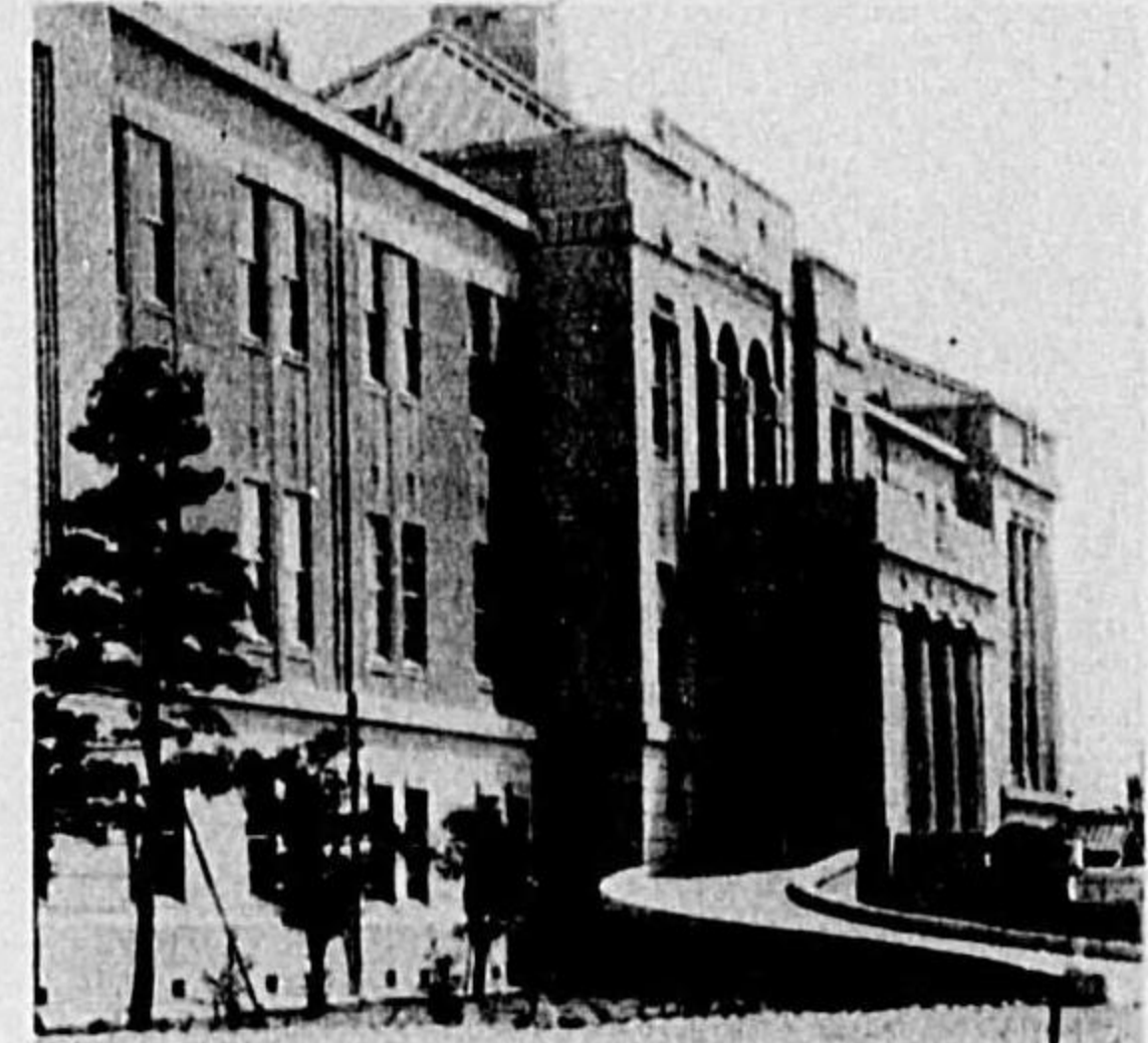
この慘禍中であつて、舊銀行の施工に成る東京驛・日本興業銀行・元國勢鐵道會社・舊銀行等の建築物を一掃したことは、正に施工の堅實を證するものとして、密に感服を來した次第であつた。

本年に於けるめばしい新請負工事は、東京高梁線第六區・福島第一百七銀行・野田驛油庫第十七工場・住友銀行濱洲支店・日本電力尼崎發電所・大阪市立小學校等々、その他災害の應急工事に至つては罹災者收容所・警察署・郵便局・學校・病院・商舖等枚舉に遑あらず、就中大阪府外府六縣より贈られた罹災者收容所の如き、一件の請負高が百八十八萬圓に達する程の大なるものであつて、その他鐵道省上野・新橋等の各驛・三越呉服店・東京專賣局・時事新報社・芝浦製作所・淀橋及中野專賣局工場・横濱清稅關・東京高等工業學校・通信省等は代表的のものであつた。

松竹座



大阪三品取引所

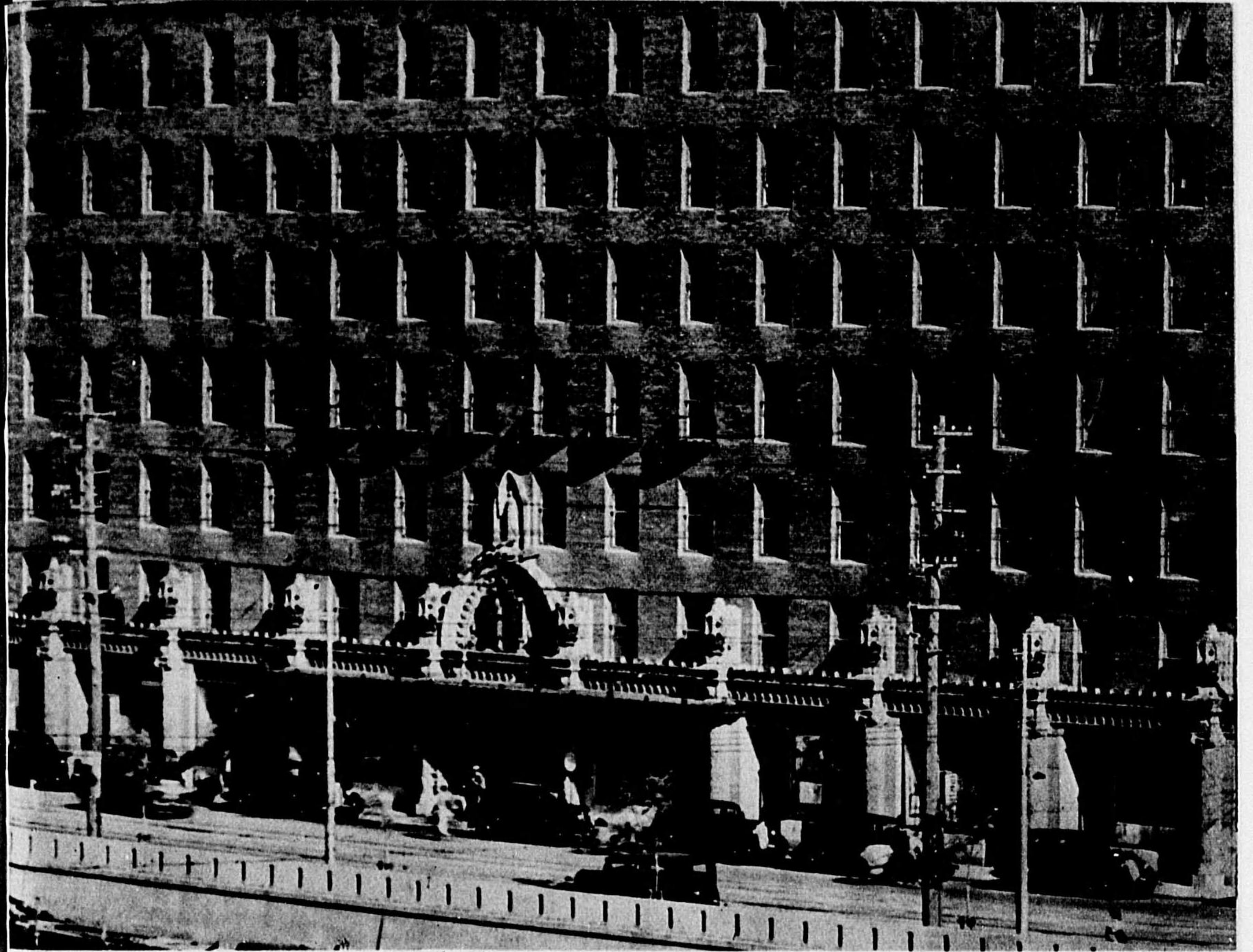




住友銀行名古屋支店

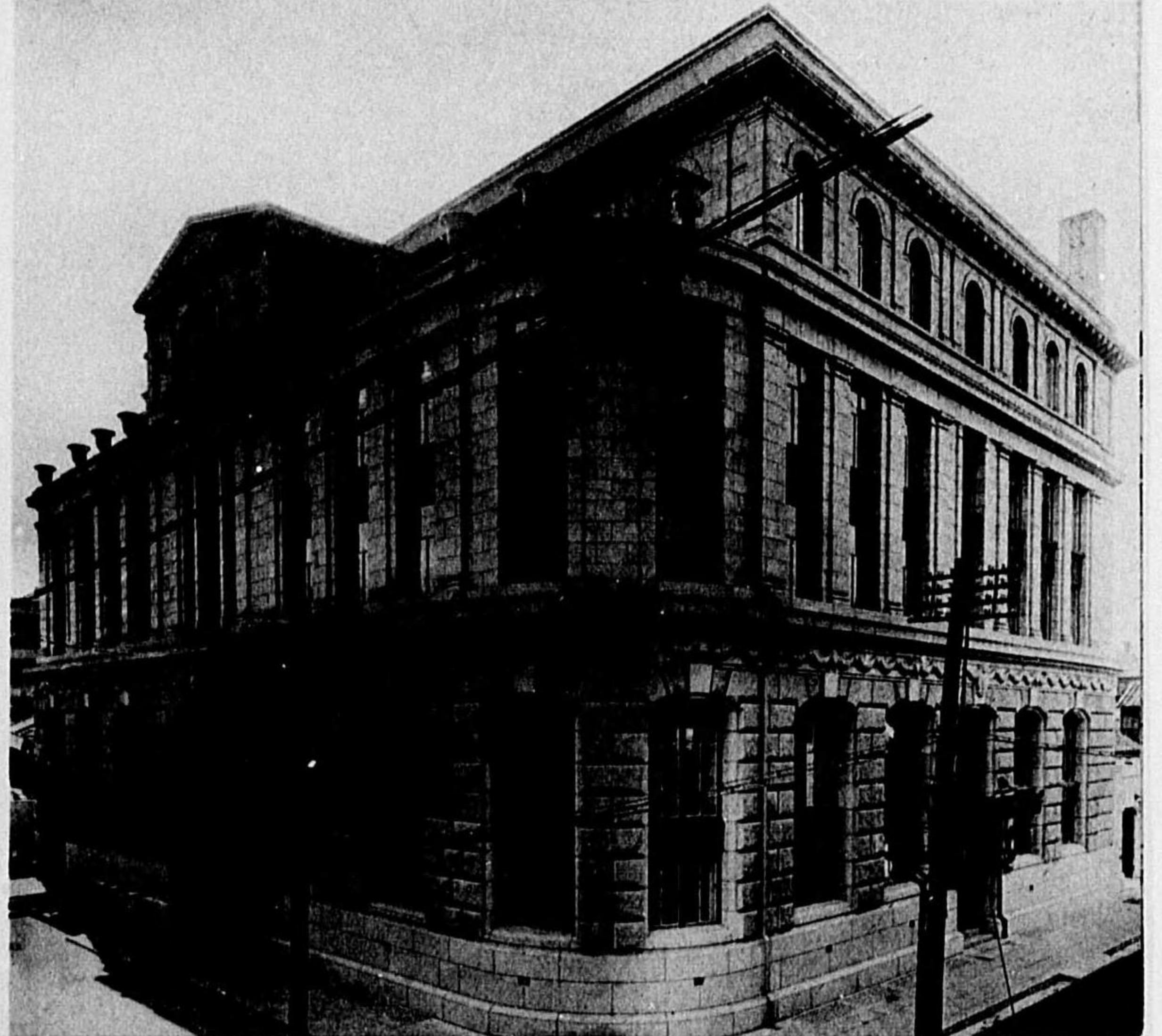
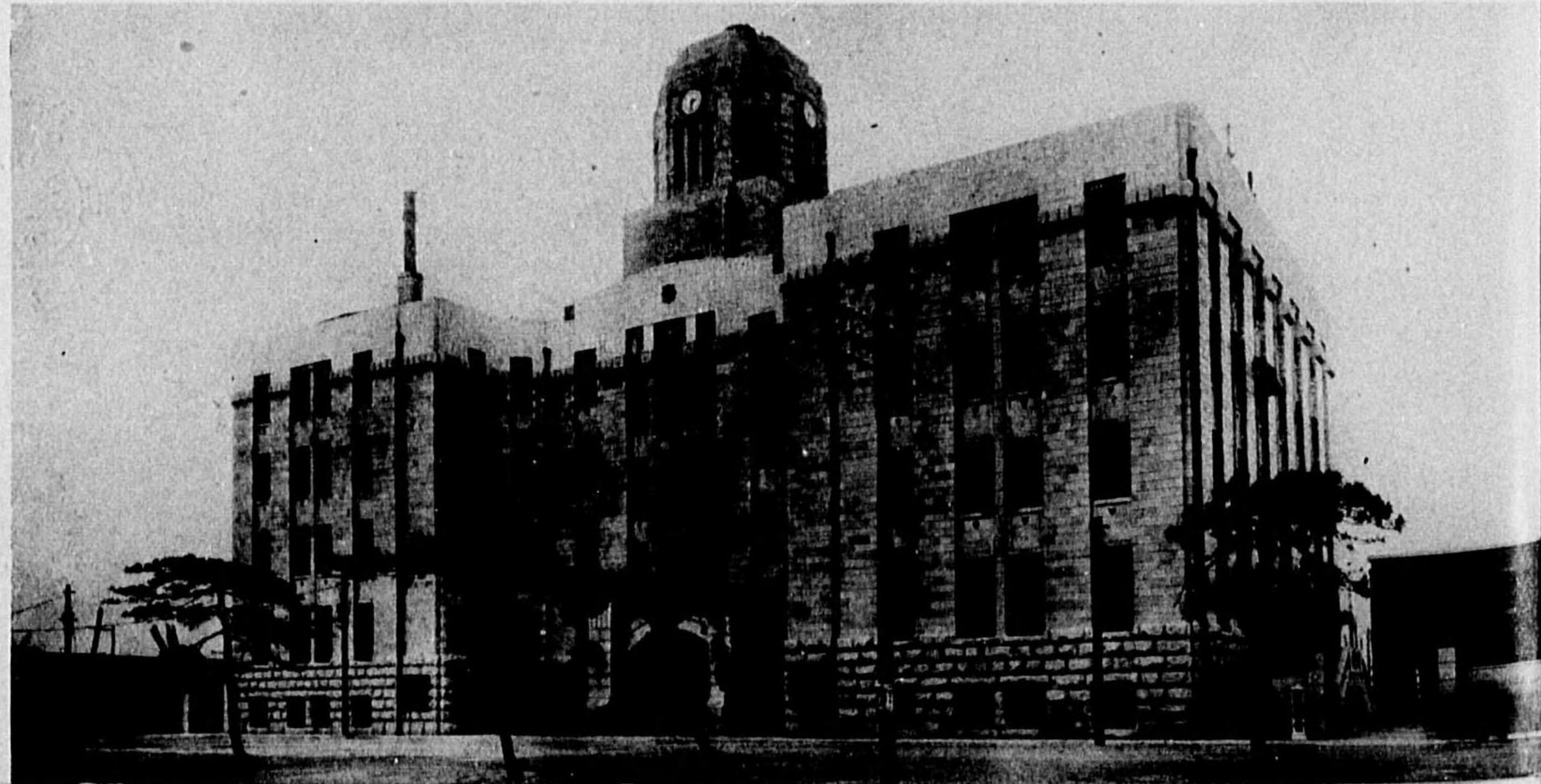
大阪ビルディングは大阪に於て、住友銀行名古屋支店は名古屋に於て、共に最大の建築として當時人目を驚かしたものであり、鴻池銀行及兵庫縣港務部廳舎も亦名建築として多大の賞讃を博した。我が國に鐵骨又は鐵筋コンクリート構造の開始せられてから十ヶ年を閲したに過ぎないが、僅か十ヶ年程度で建築技術は此處まで長足の進歩をなしたのである。震災の虞もなく、地盤も良いといふ好條件に恵まれてゐるなら今一息の實驗で、紐育のクライスラービルディングやエンパイアステートビルディングの如きものまでも立派に仕上げ得る自信を有つに至るだらう。

第三十四年・大正十四年 其の一



大阪ビルディング

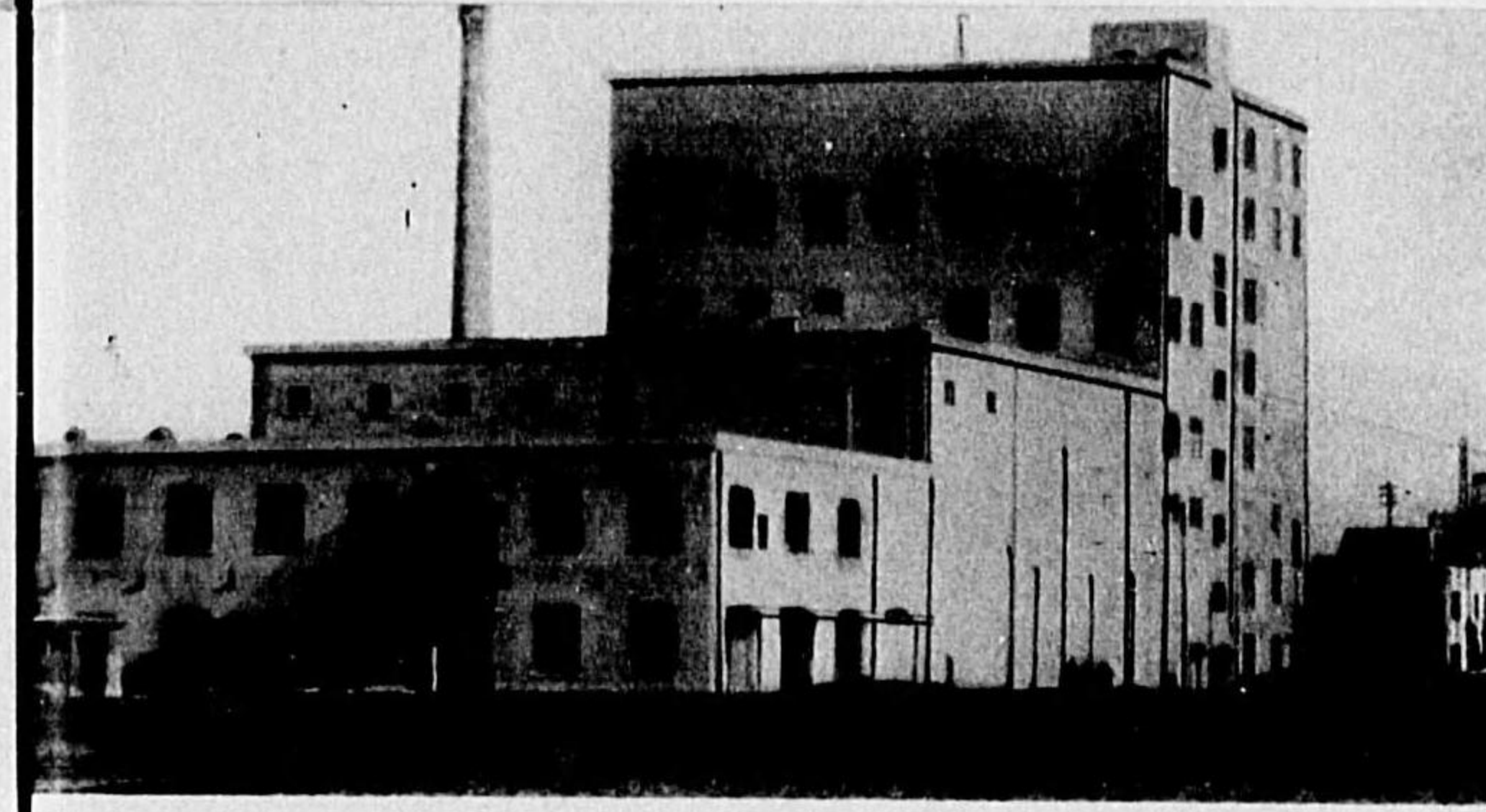
兵庫縣港務部



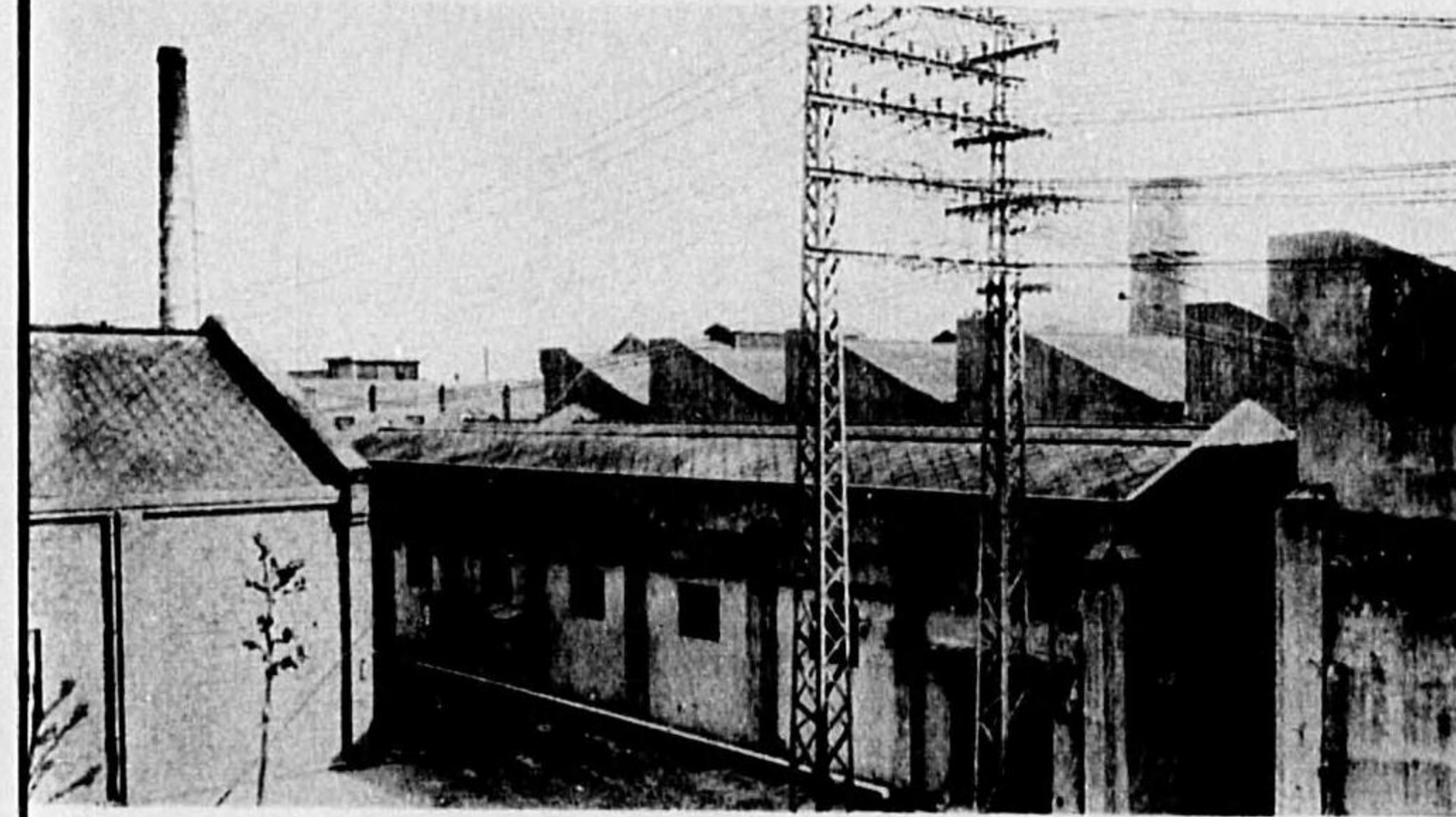
本年の新請負工事の主なるものは、大阪廳萬本店・東京大塚小學校・日本電力足崎發電所・日本セメント佐伯工場・新沼三越分店・日本毛織名古屋工場・大阪中央電信局・日本赤十字社復興工事・東京中央電信局・日本勸業銀行大阪支店・東京時事新報社・順天堂病院・廣島電氣鐵道所・大阪府女子師範學校・小田原急行第七工區等である。

鴻池銀行

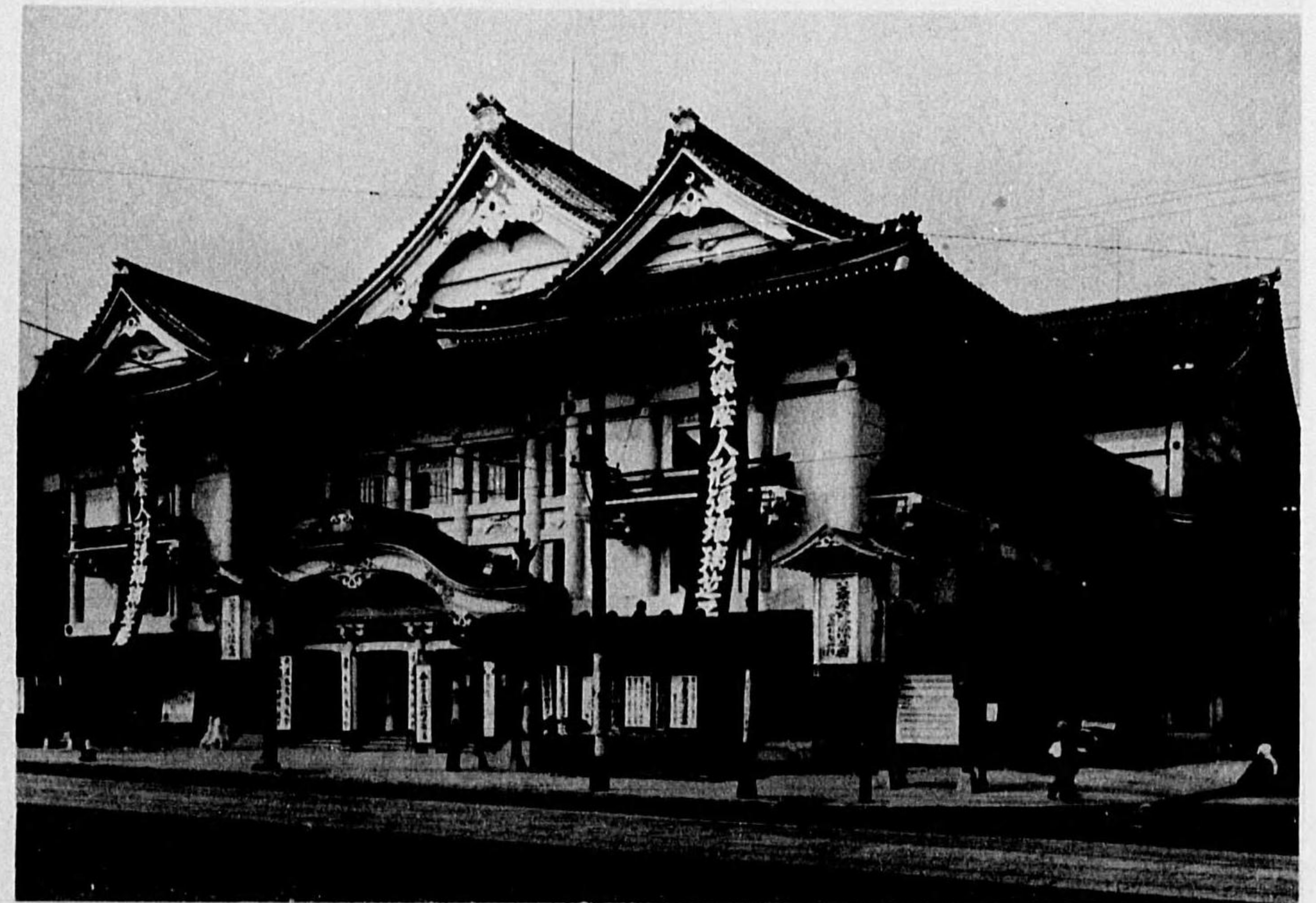
日本麥酒鐵道會社大宮工場



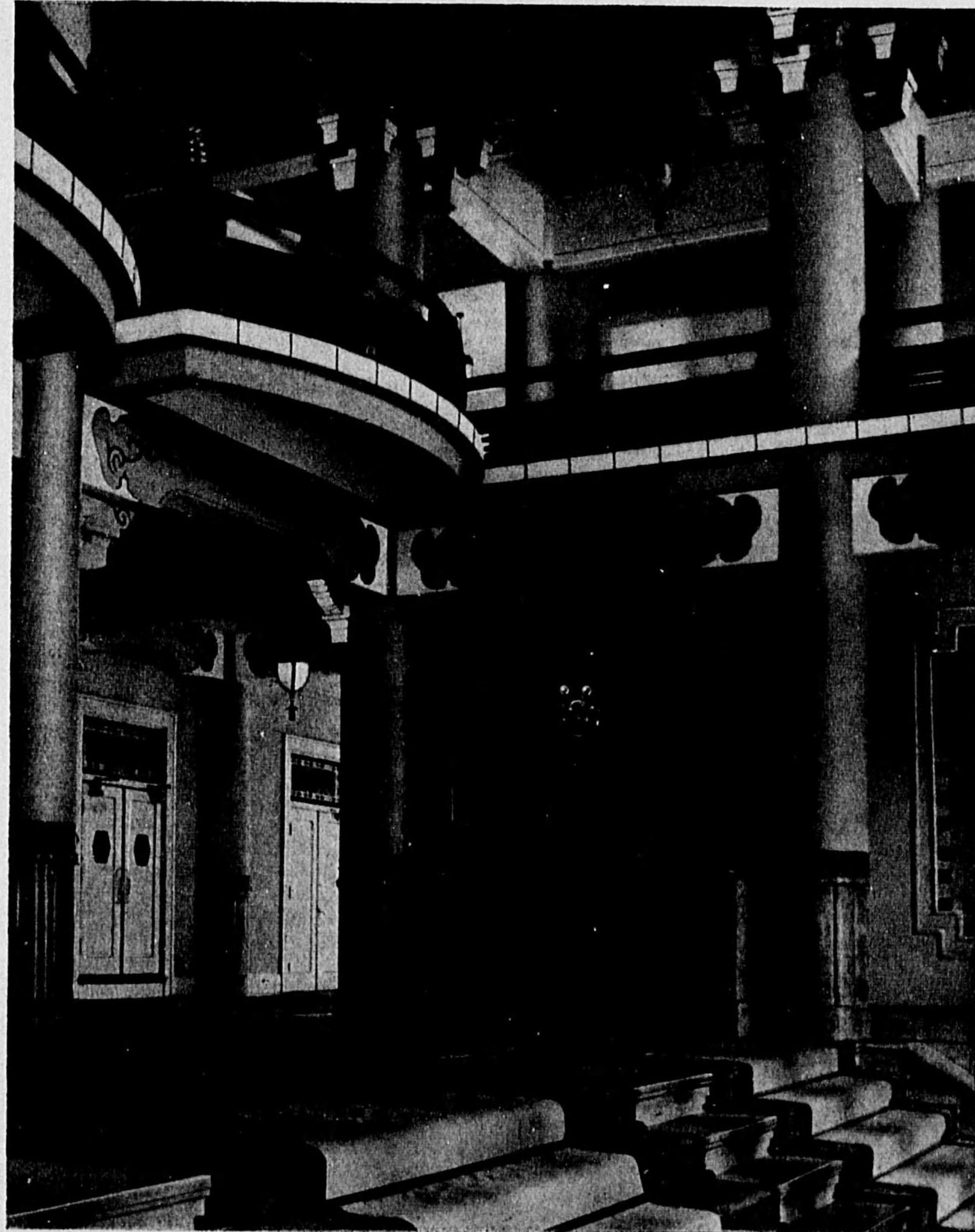
岸和田紡績會社津工場



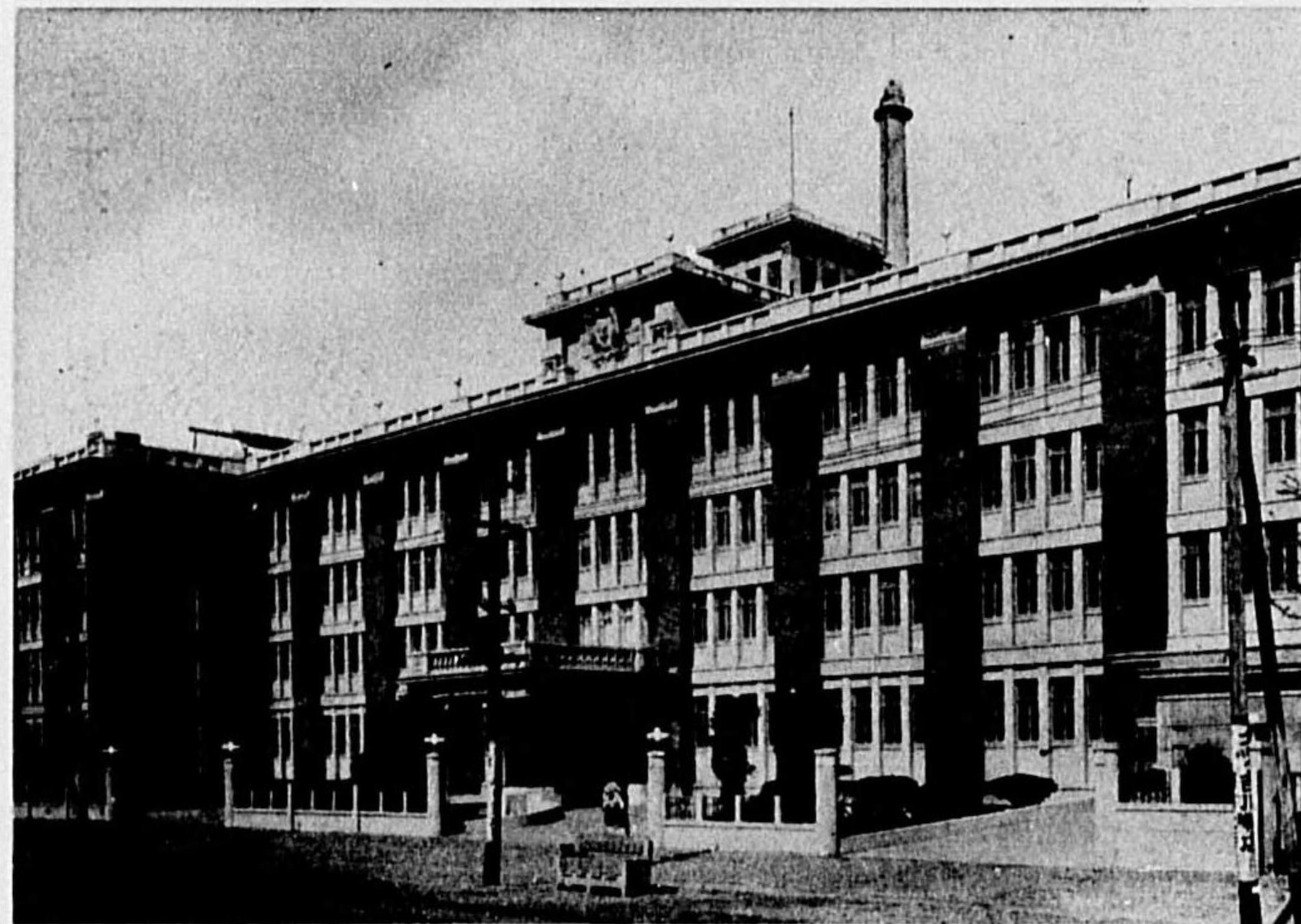
東京歌舞伎座



東京歌舞伎座の建築は、後年次に掲載する大阪城と同じく、和様式のものに鐵骨コンクリートで仕上げたもので、柱と云ひ、長押と云ひ、その他垂木・幕股等に至るまで古來の木割を標準に全然異つた材料で造り上げるのだからこれが構築には卓越した技術を要したのは勿論、多大の苦心が拂はれた。而して本建物はかの關東震災の折コンクリート打を終つた直後であつたが、附近一帯が焼野ヶ原に化したその中に、主體構造に大きな被害もなく、巨象のやうに立つてゐるのを見たときは非常な心強さを感ぜさせられた。丸の内に假營業所が出来るまで當組はこゝを活動の本據とした。

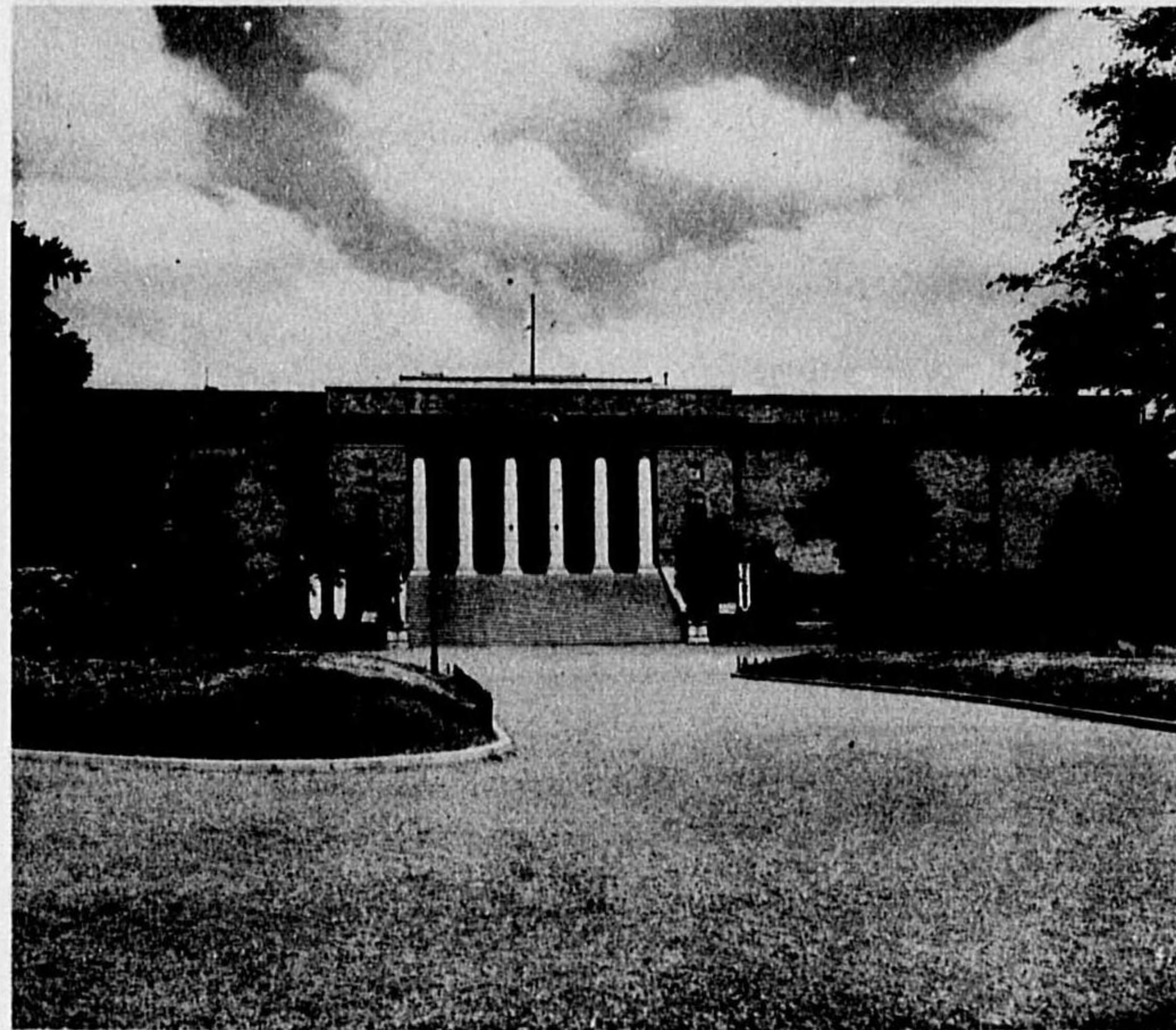


東京歌舞伎座玄關廣間



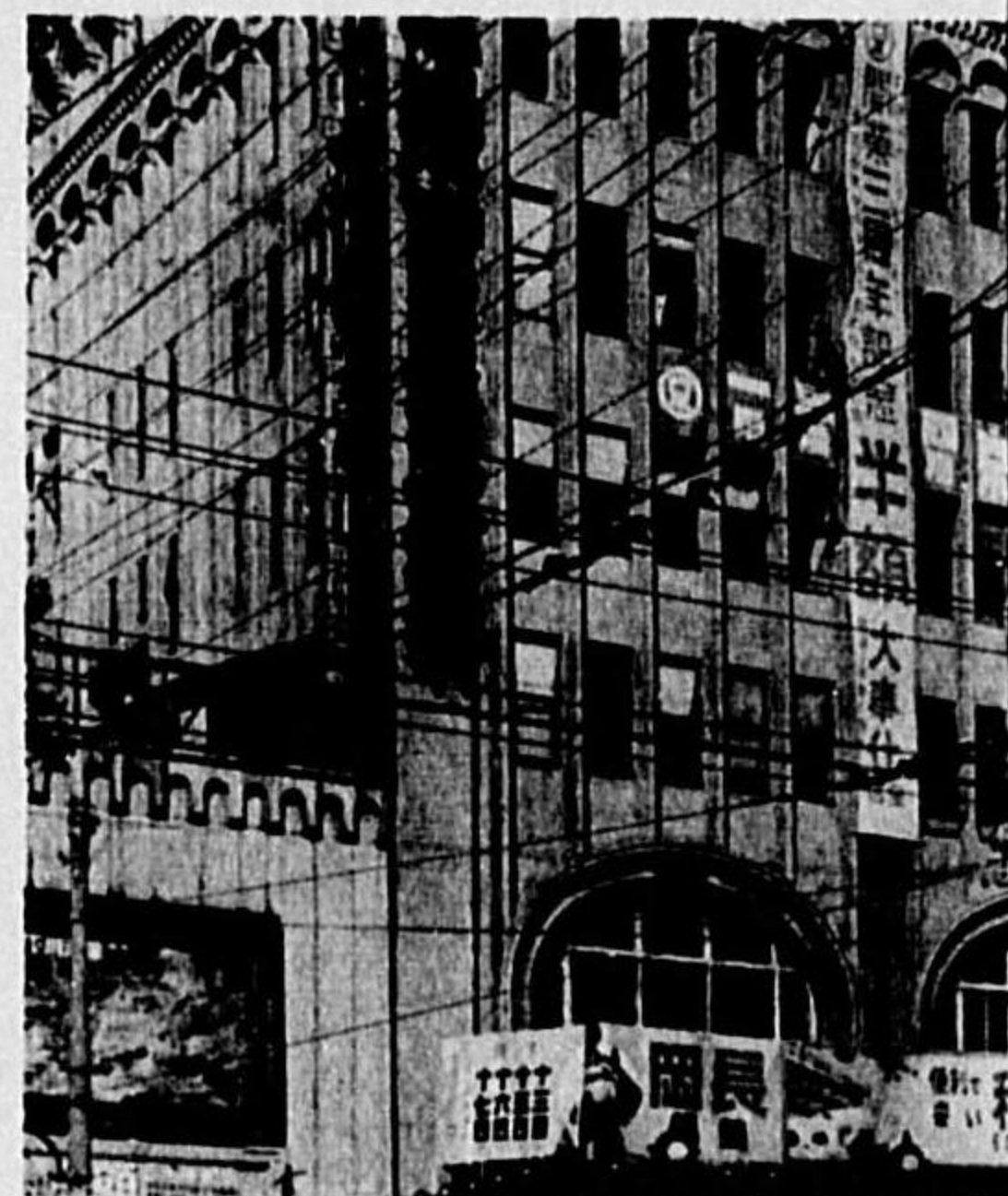
所査檢絲生債橫

當年に於ける主な新請工事は、東京市沙見小学校、川崎造船修理工場、日清紡績濱松工場、住友製鋼所、神岡水力高尾川発電所、阪神國道佐門橋川橋梁、廣島電氣坂発電所、福島紡績福島工場、東京市明治小学校、宇治川電氣本津発電所、大阪市東區小學校、同會館附設アパルト、福岡専賣局、農林省門司倉庫、東京高梁製粉八工區、陸軍子福機務工場、大阪市東區第三小學校、神戸湊川温泉、東京麹町及淺草區役所、東京市東區小學校、神奈川縣廳等、總て例年に見ない大工事である。



館術美府京東

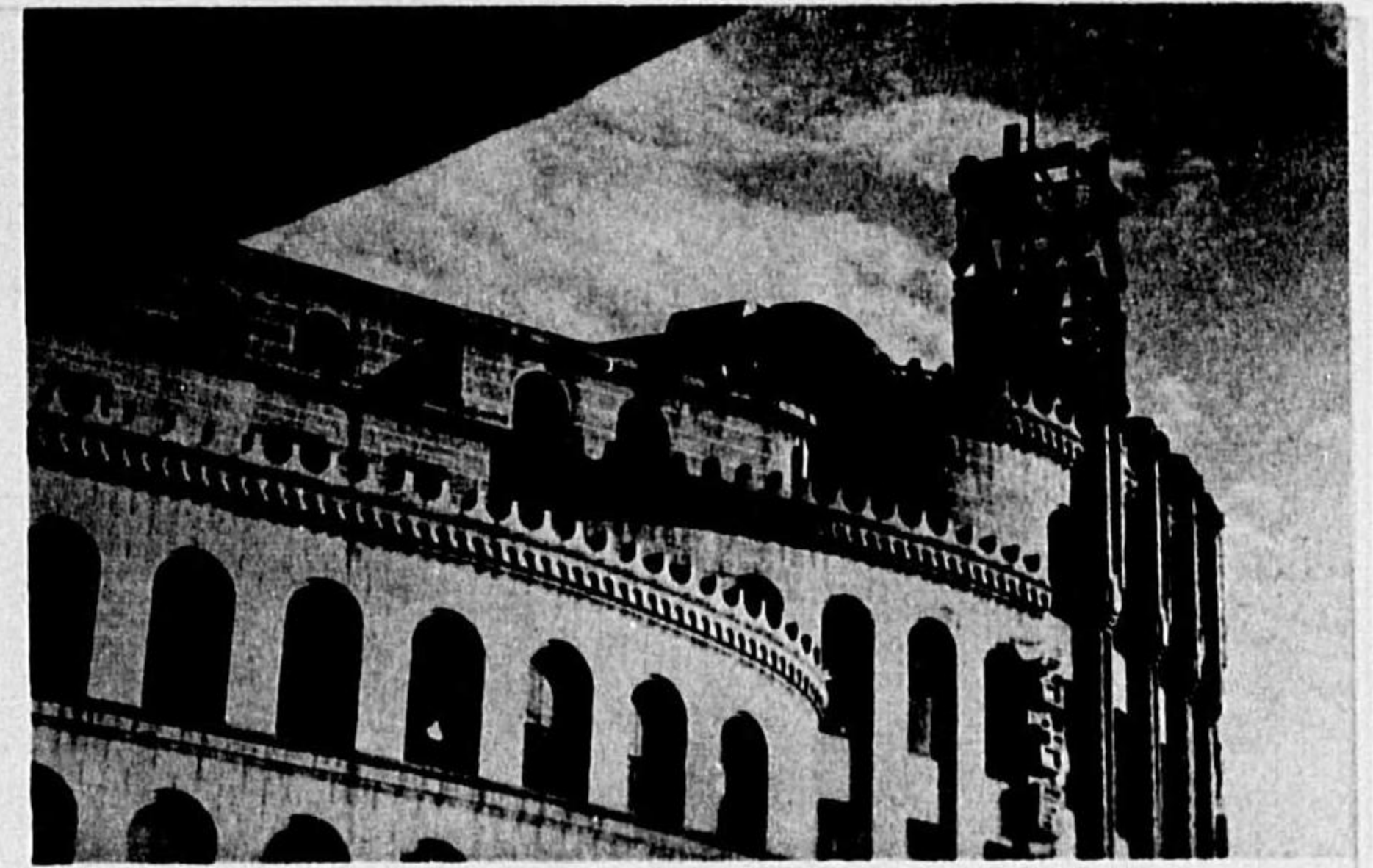
京阪電氣鐵道會社大阪停留所は、大阪市の最北部を飾る高層建築で、東面外装の柱列の如きは、確に異彩を放つてゐる。尚同社線淀川堤防に至る迄の高架線と、最端の京都地下線は、共に關西に於ける最初のものと成つた。



場留停六天社會道鐵氣



電阪京



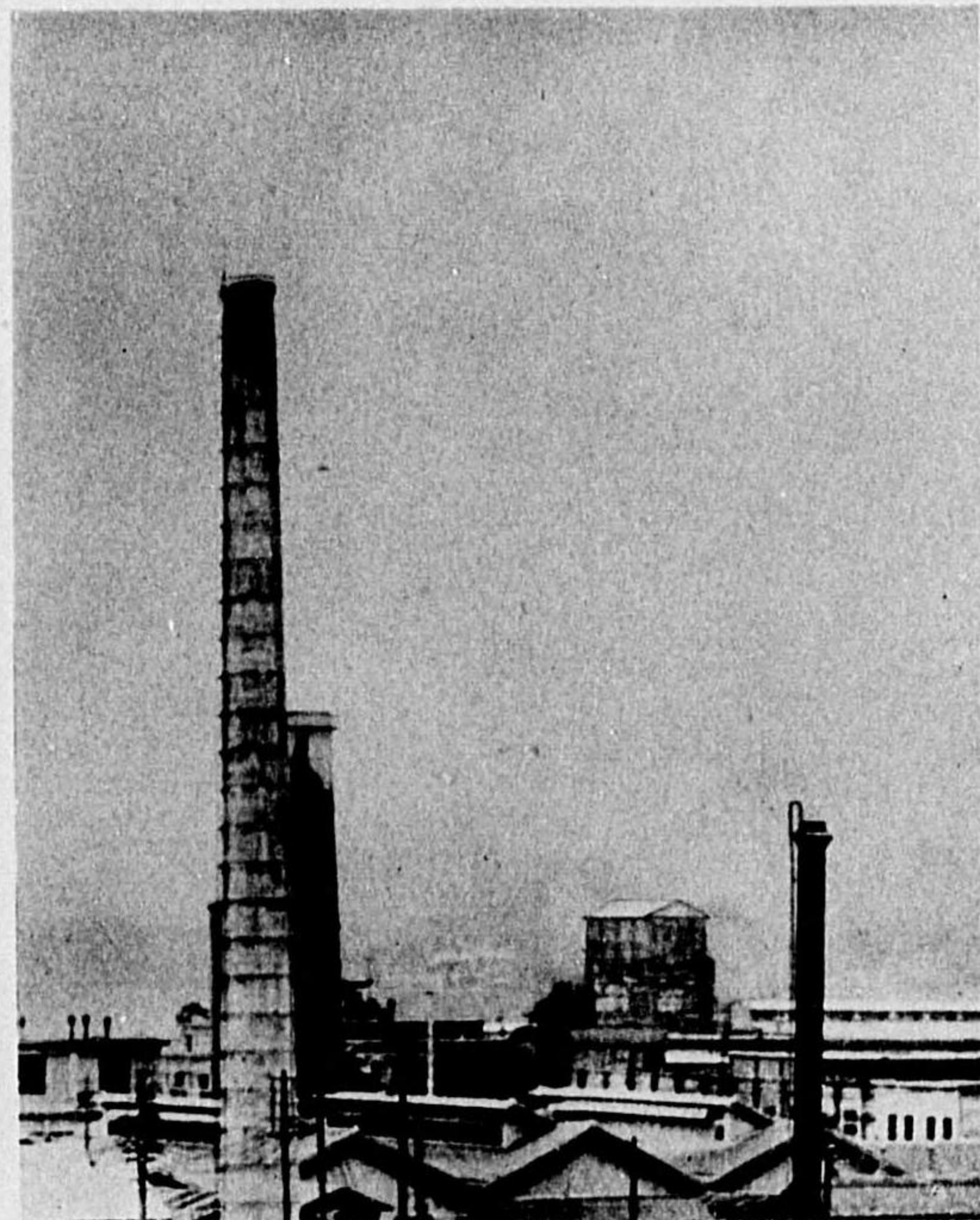
場留停町本上(社會道鐵行急西國現)社會道鐵氣電阪

第三十五年・大正十五年  
昭和元年

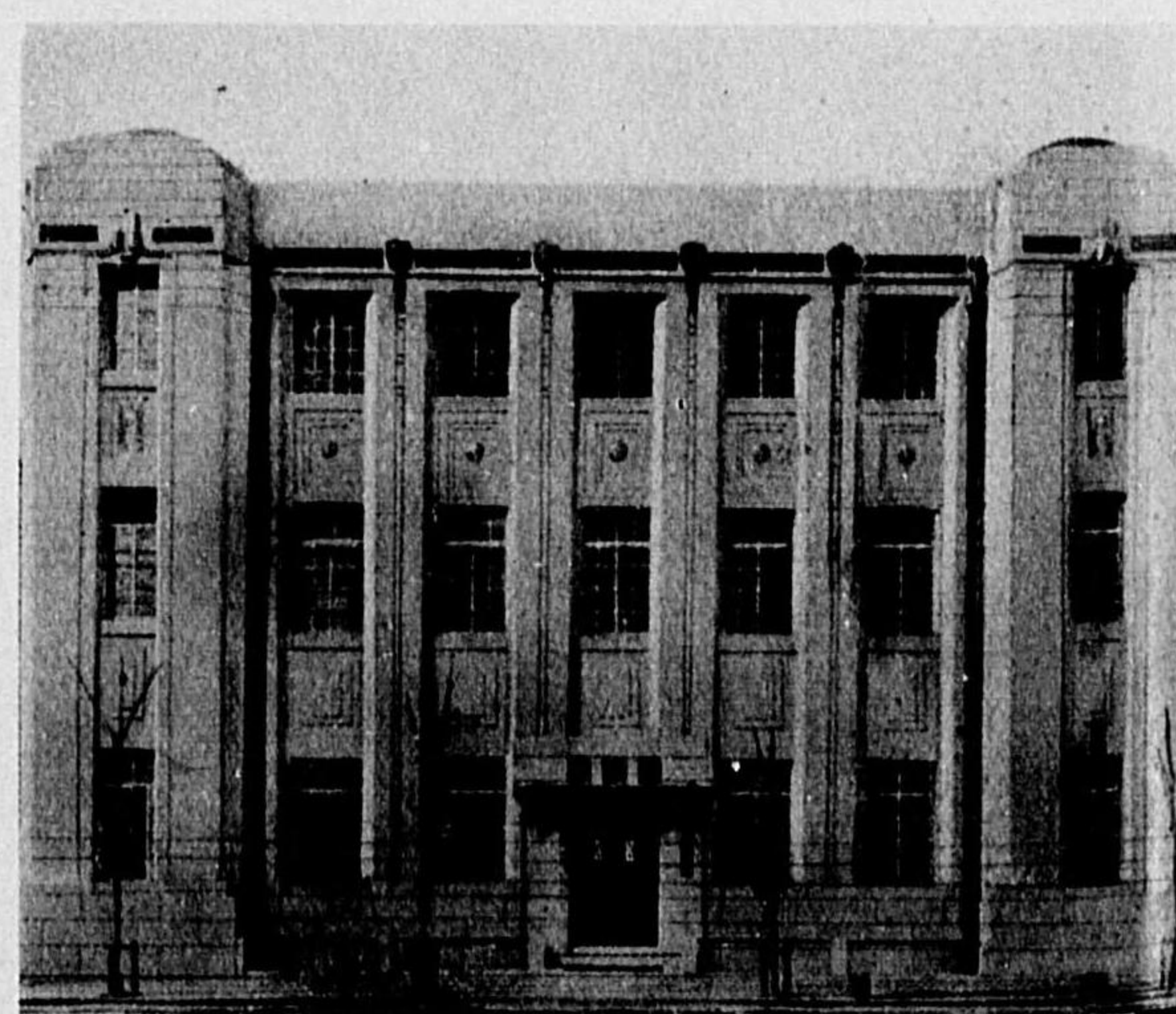
この年に至つて更に新請負が激増し、職員数の如きも創業時の二百倍に増加し、新請負額に至つては六百倍に達したのである。そして大正十五年六月二十五日には隣地を買収して新築落成の現本店に、更に前途の進展を目指して勇躍營業を開始したのであつた。

この頃から漸く人絹工場の發芽を見、旭絹織工場は人絹工場として當組最初の請負であり、引續き帝國人絹工場の構築に従ひ、今日迄に人絹工場の請負額は十數箇に及んでゐる。

旭絹織會社(現旭ペンベルグ絹織會社)贈所工場



店本現組林大

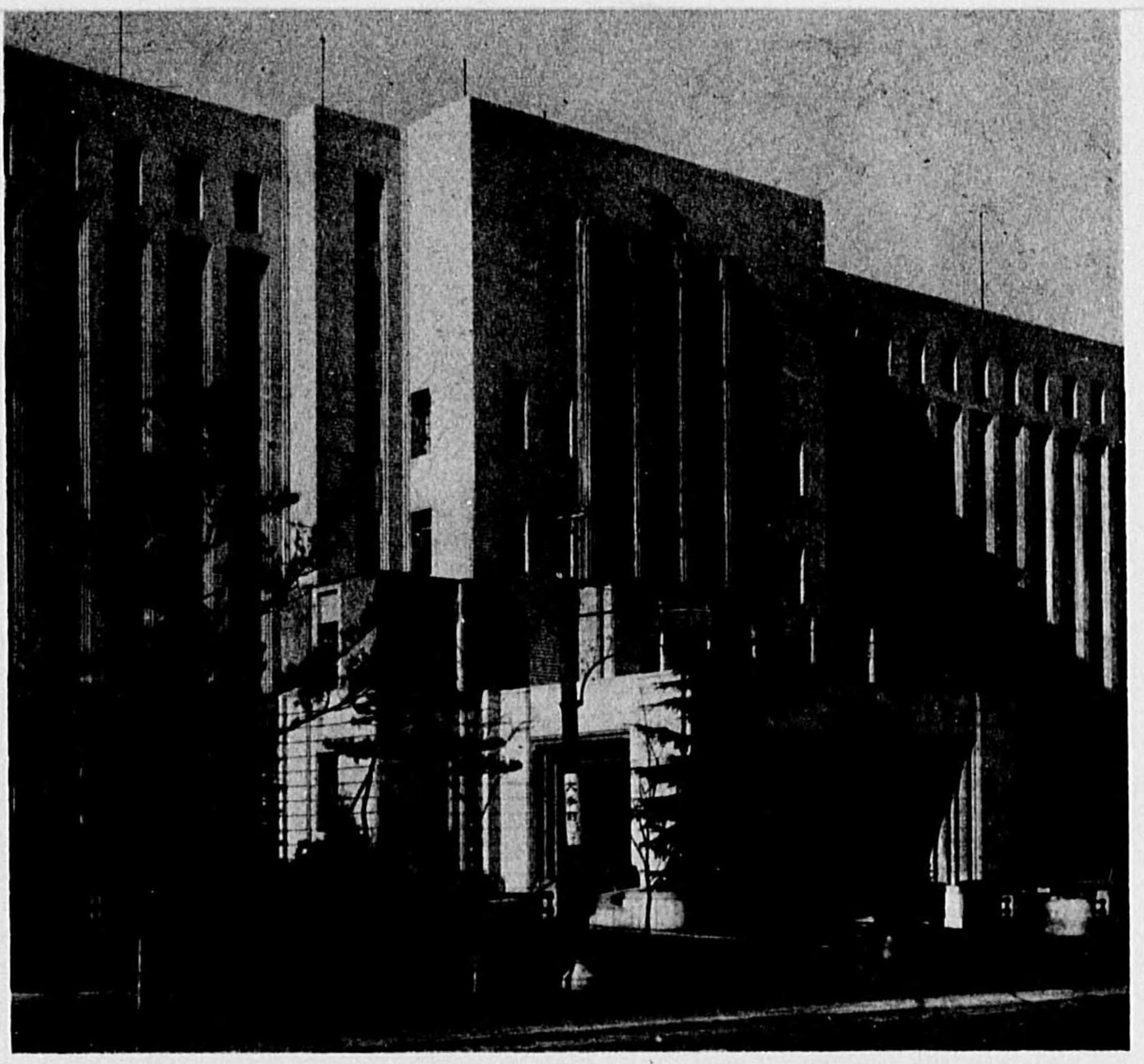


店本組林大の前築改



社會絲絹造入國帝  
場工國岩

大阪府廳舎



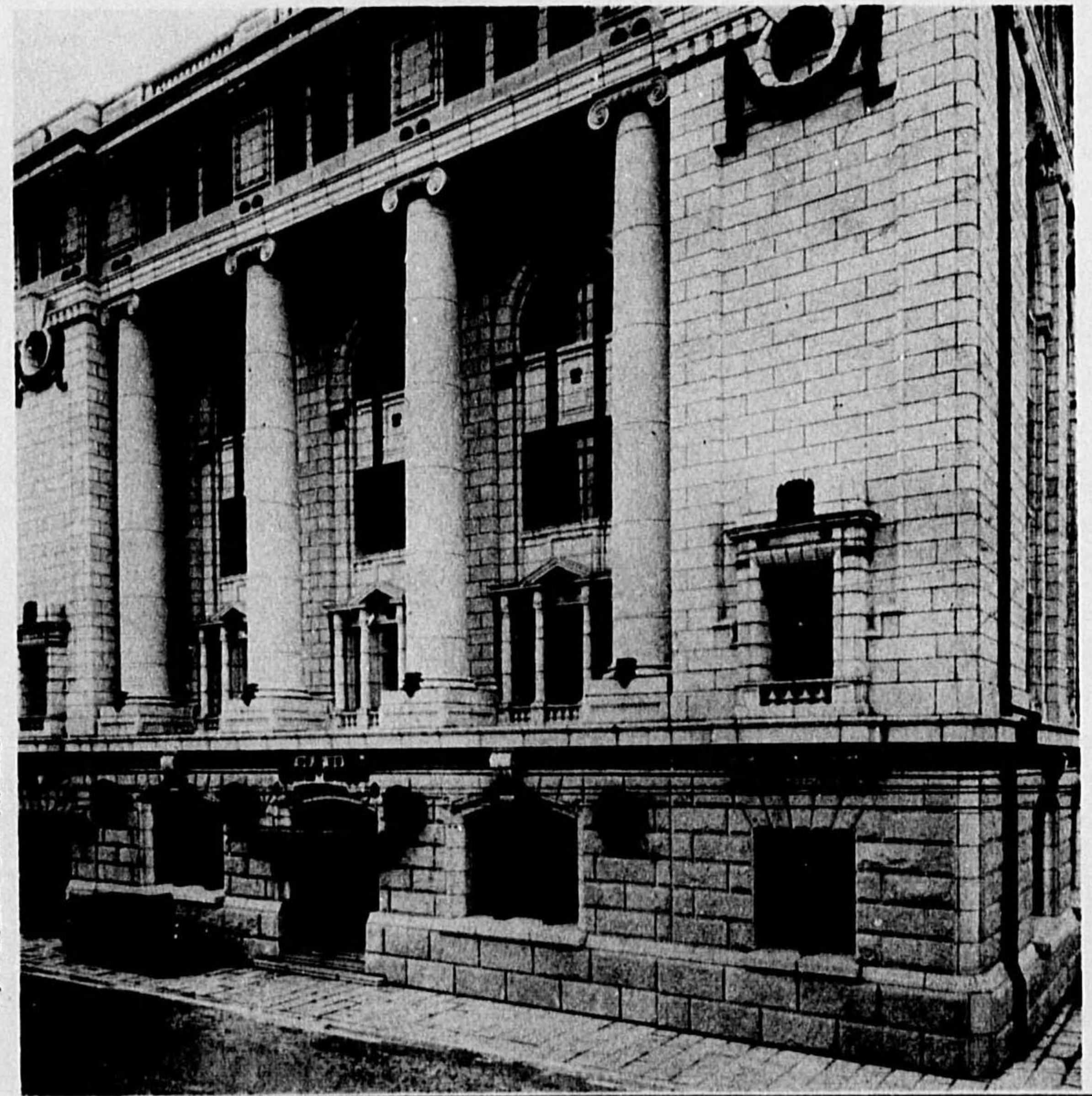
大正天皇には前年十二月二十五日に御登遊遊ばされ、越えて本年二月三十日、當組は御下命に依る多摩御陵御造營の任を完了した。明治大帝崩御あらせられてより御陵御造營の御沙汰を拜すること三度、末代に傳ふべき不朽の榮譽として感激に堪へざるところである

大阪府廳は大阪全市を一覽に瞰下する大阪城外の丘上に設けられたもので延一萬坪を突破する白亜の大殿堂は威容凜として全大阪を壓する觀があり、地方廳舎としては最大のものであらう。

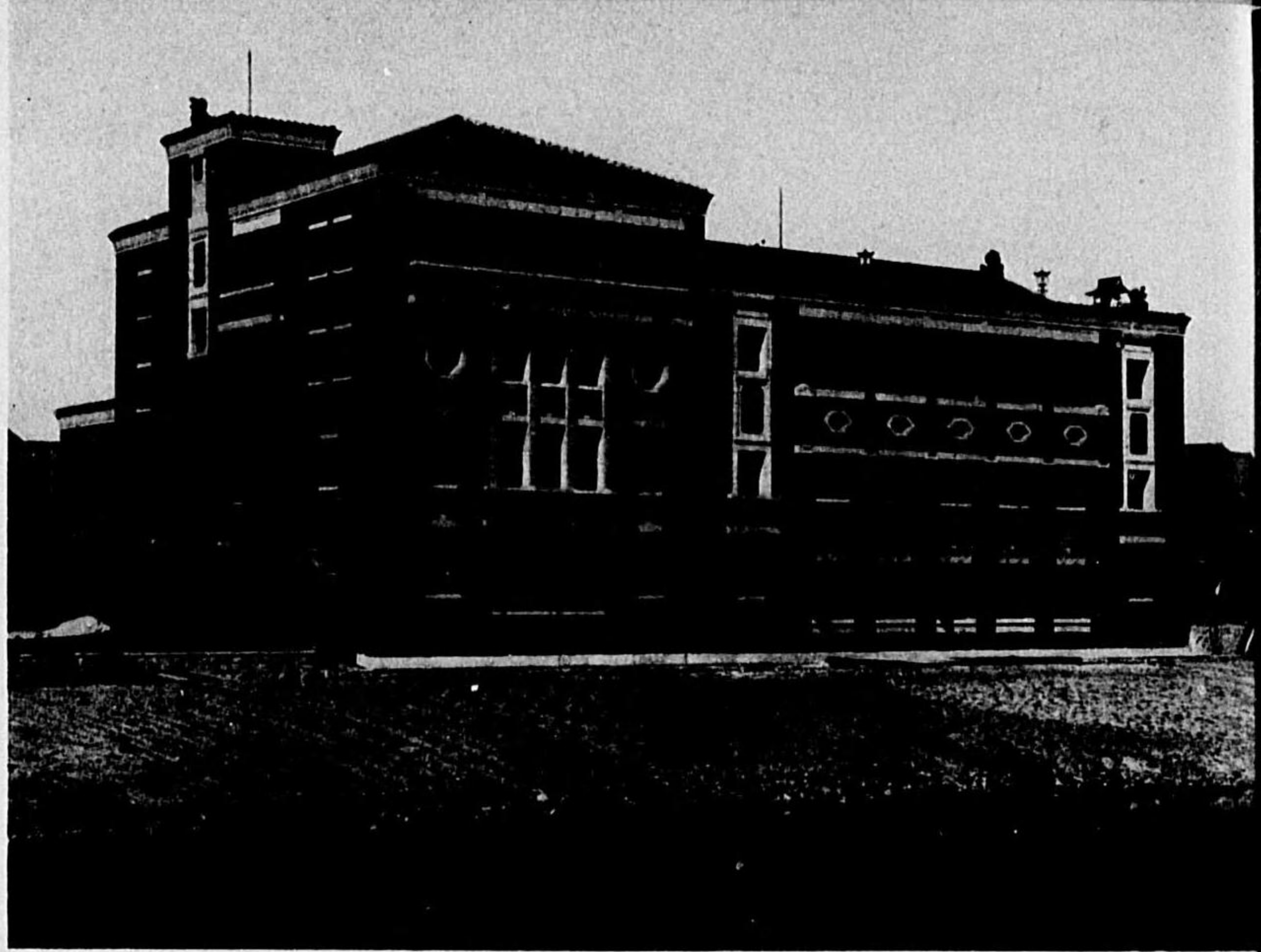
本年に於ける新請負の主な工事は、横須賀海軍倉庫・京都安田ビルディング・倉敷紡織工場・東京横濱電機鐵道谷縣・東神倉庫船橋倉庫・大阪市下福島小學校・大日本造肥料宮山工場・逓信省簡易保險局・九州醫大病院・日本無電對談送信所・日本勸業銀行京都支店・東京市散矢小學校・東京地下鐵萬世橋上野間・陸軍々醫學校・日本郵政銀行神戸支店・横濱税關上家・東京船越ビルディング・大阪府速高等學校・東京日々新聞社工場・鐵道省神戸高梁線・岐阜電力金山發電所・奈良電鐵本線・阪和電鐵高梁線・東京市柳島小學校・旭硝子尼崎工場・ライオンサン横濱支店・大阪築港第一第三突堤上家・岐阜縣増川放水路・横濱取引所・東京市千束小學校等である。

藝備銀行は、中國筋に於ける最大の金融機關として重きをなしてゐる。廣島市の中樞に位置を占め、その近代的な新鮮味と堅實味の溢れた建物は、同市有数の殿堂として刮目されてゐる。

藝備銀行本店



先斗町歌舞練場



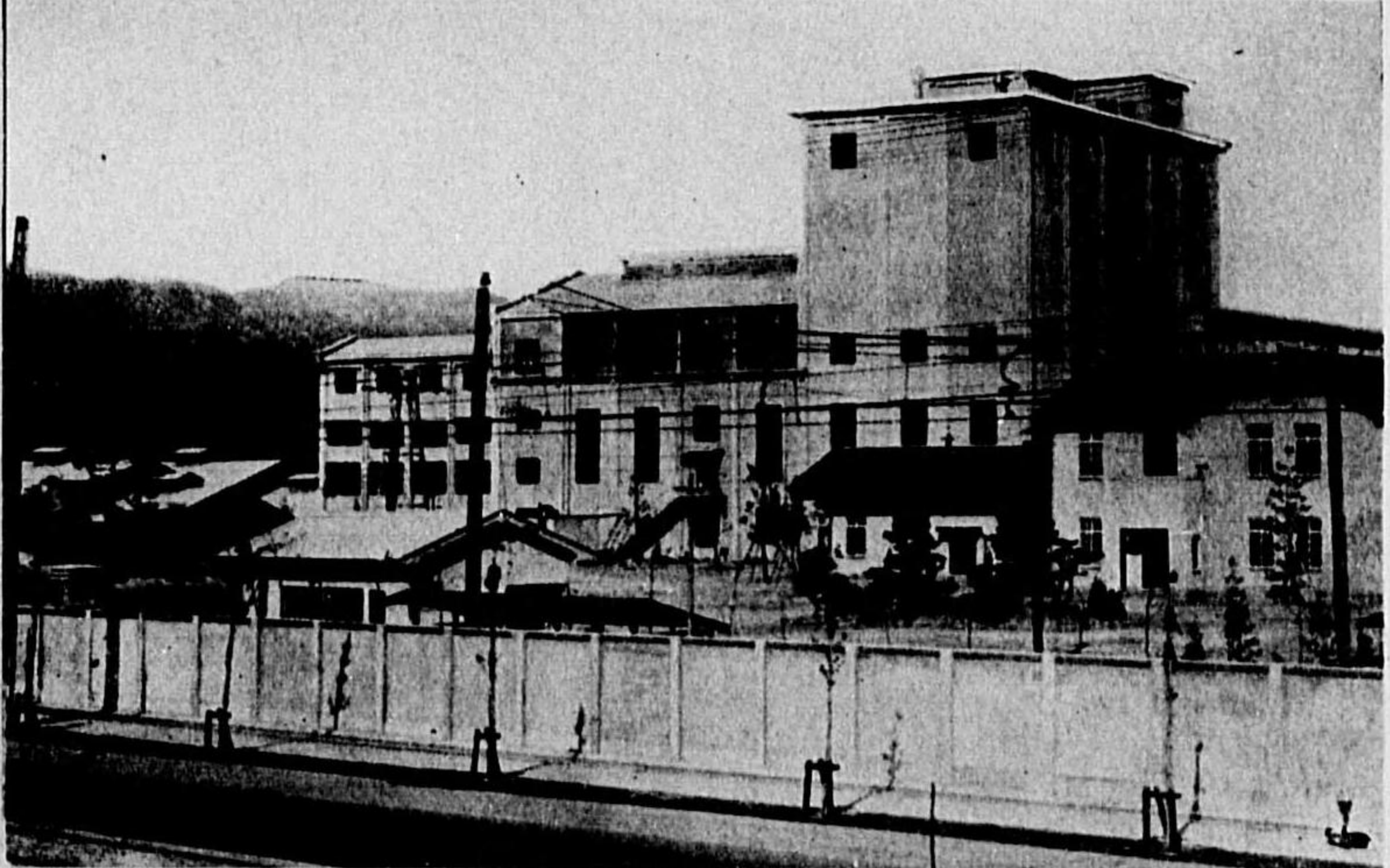
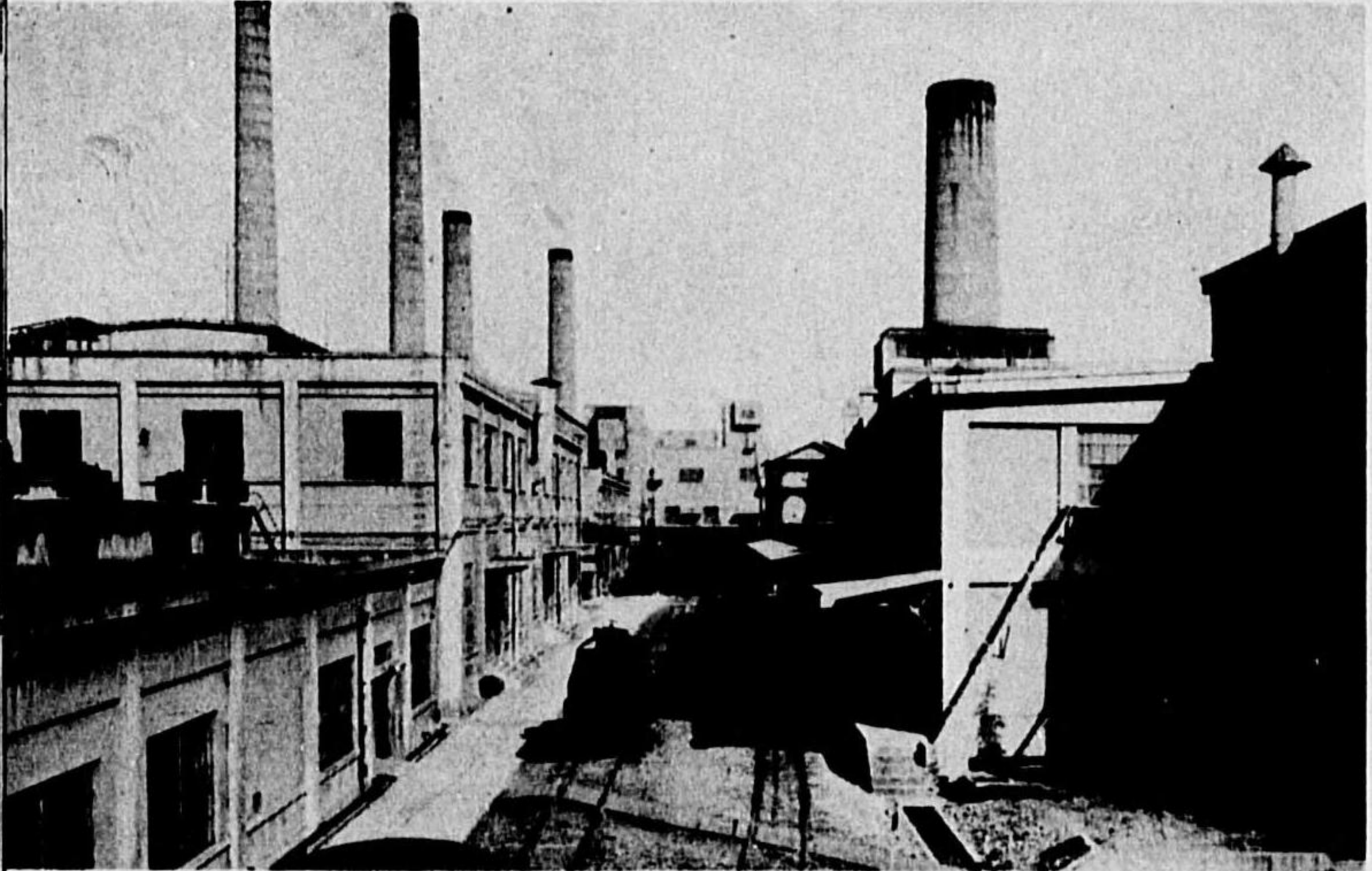
先斗町歌舞練場は、滾々たる鴨川の清流に臨んで設けられた鴨川踊の演舞場である。古典的な京都の傳統を破つて外觀内容共全部瀟灑な洋式を採用した點は、京都として劃期的の試みであつただけに觀衆の興をそそり、年々五月の開場中は特に賑ひを呈してゐる。

東洋レヨン社製工場

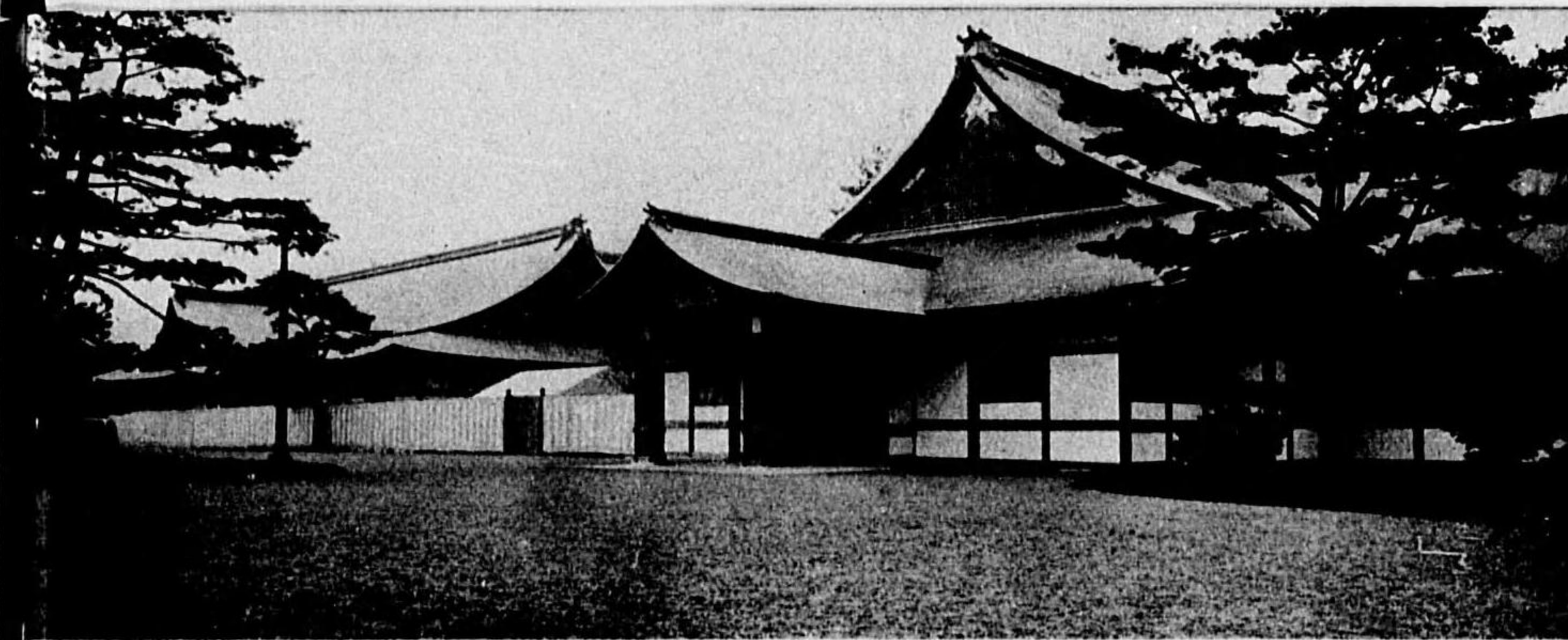
東洋レヨン滋賀工場は、近江八景中の景勝石山寺に續く丘陵を後に、廣袤十五萬坪に渉る地域に設けられた稀有の大工場である。しかも人絹工場としては我が國の初期且つ最大のものであり、その年産は我が國總産額の二割二分を占めつゝある點より見ても、直にその内容の完備と旺盛さが窺ひ知らるゝのである。

日本麥酒本廠  
(酒發本日本現)  
西宮工場

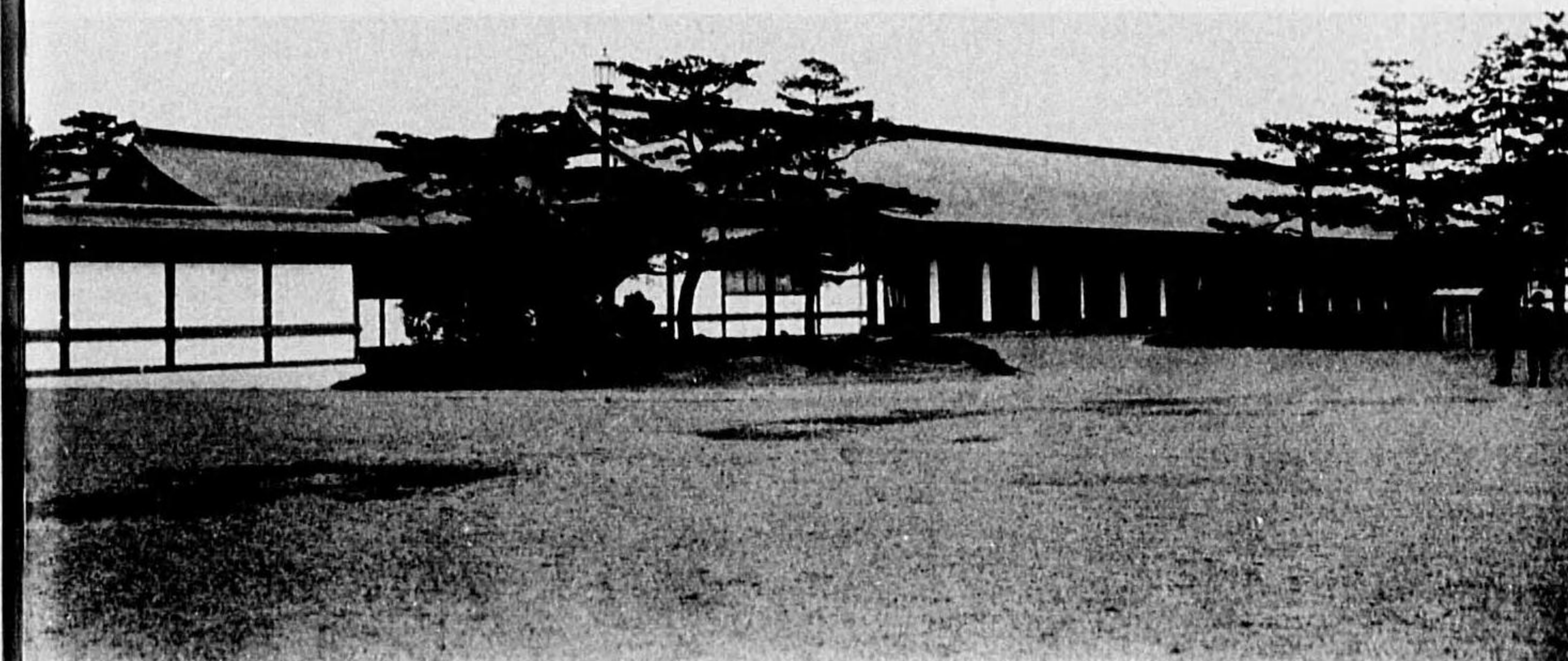
日本麥酒鐵泉會社西宮工場は、曩に關東震災直後に當組の手に成つた同社大宮工場の姉妹工場であり、殆ど型を一新した堂々たる外觀を有し、本工場産のユニオン麥酒の關西に進出を開始された當時は鯨飲家をして快哉を叫ばしめたものである。



昭和三年十一月十日、今上陛下御登極の大典を京都に於て行はせられ、當組は同年三月五日御大典御造營中の最大なる饗宴場及朝集所の工事を命ぜられ、度重なる御恩命に恐懼措く處を知らず、恭虔精勵滞りなく御奉公を完了した



(物建の方左てつ向) 場宴饗・所集朝一第禮大御



所集朝二第禮大御

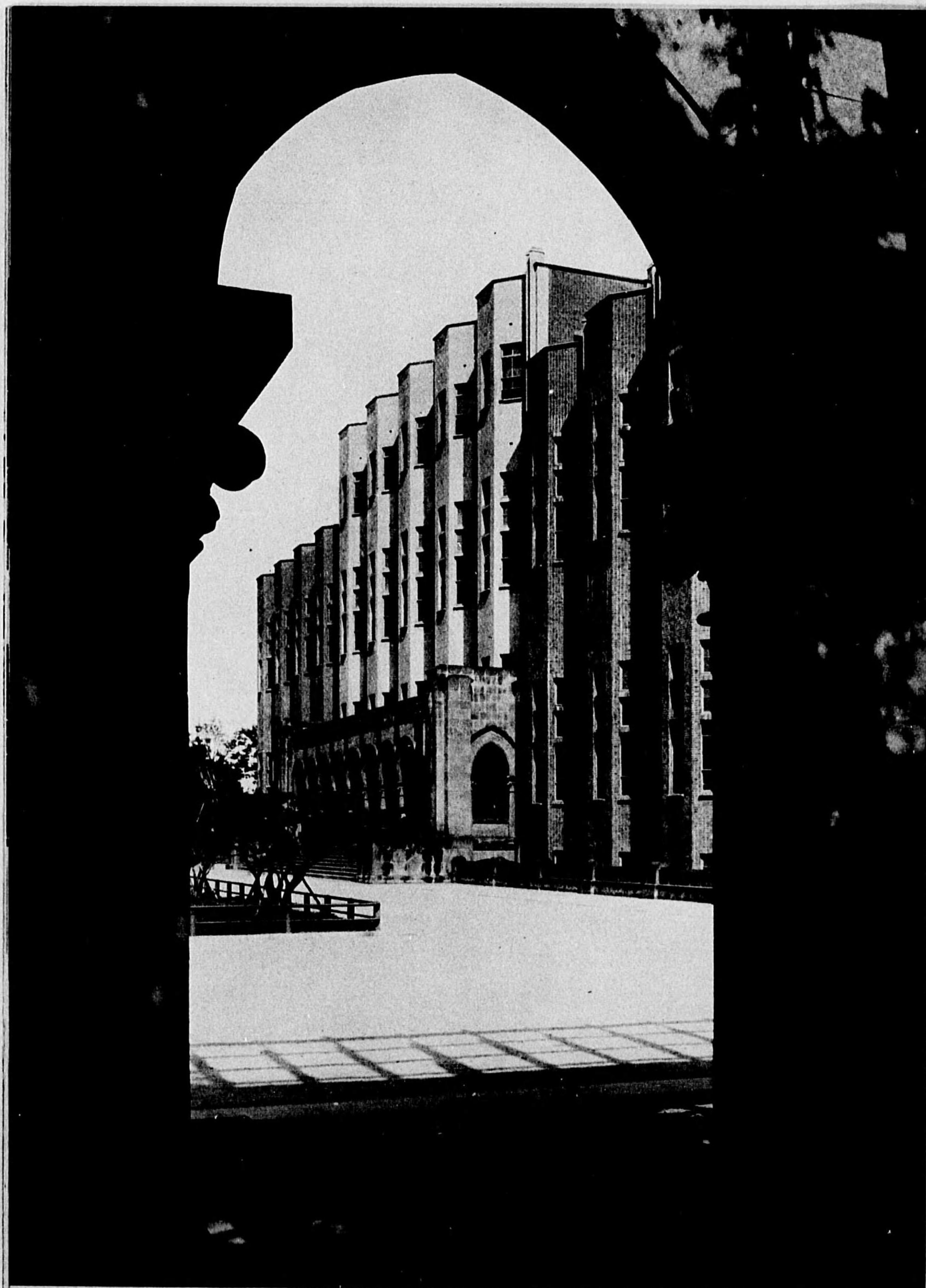
グンイデルビ州重八

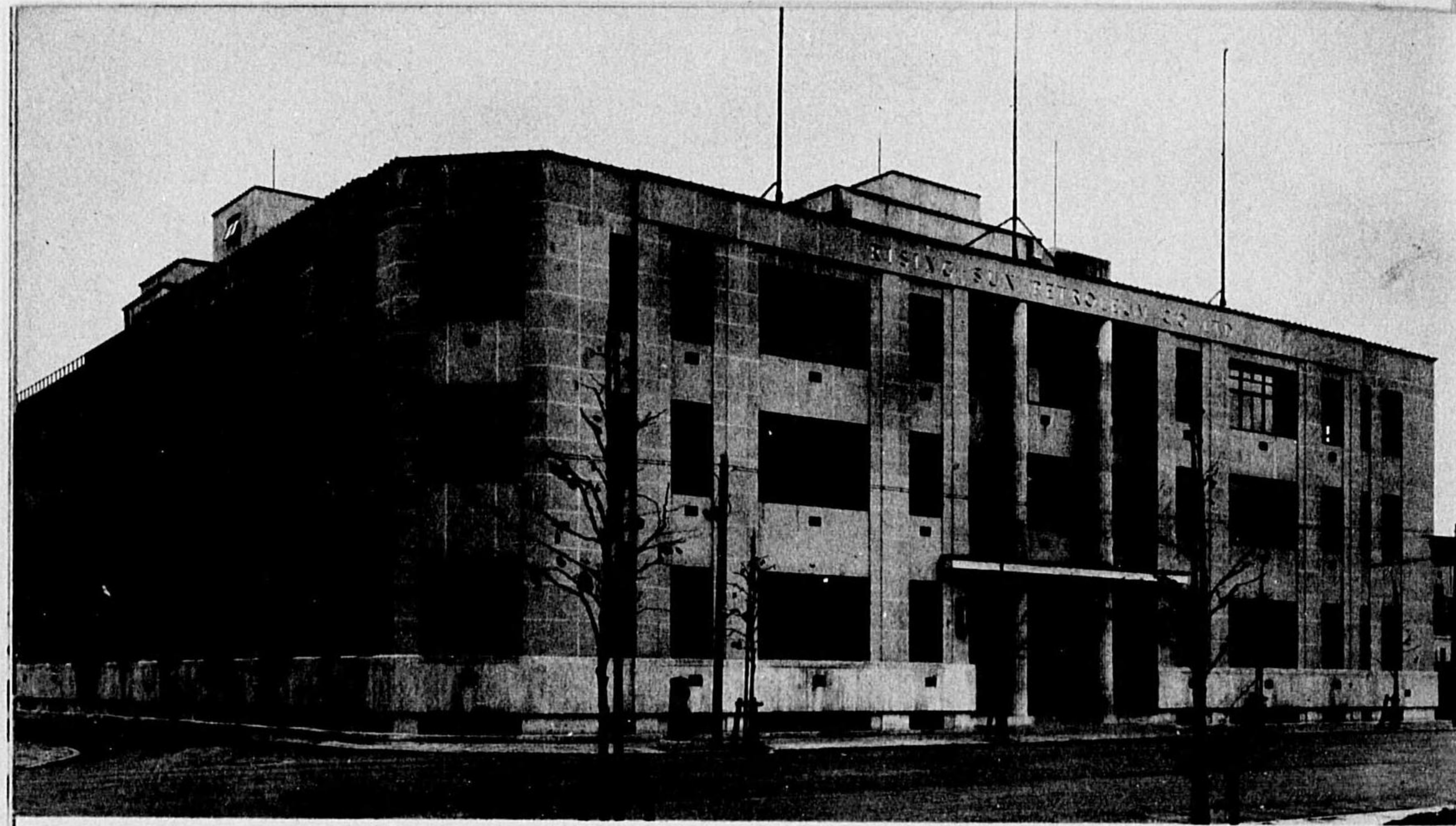


八重洲ビルディングは關東震災後丸の内に建設された最初のもので、最新式のすがすがしい清穹を摩するその雄姿が、當時としては一際目立つて衆目を引き、丸の内の高層街に一段の花を添へたものであつた。

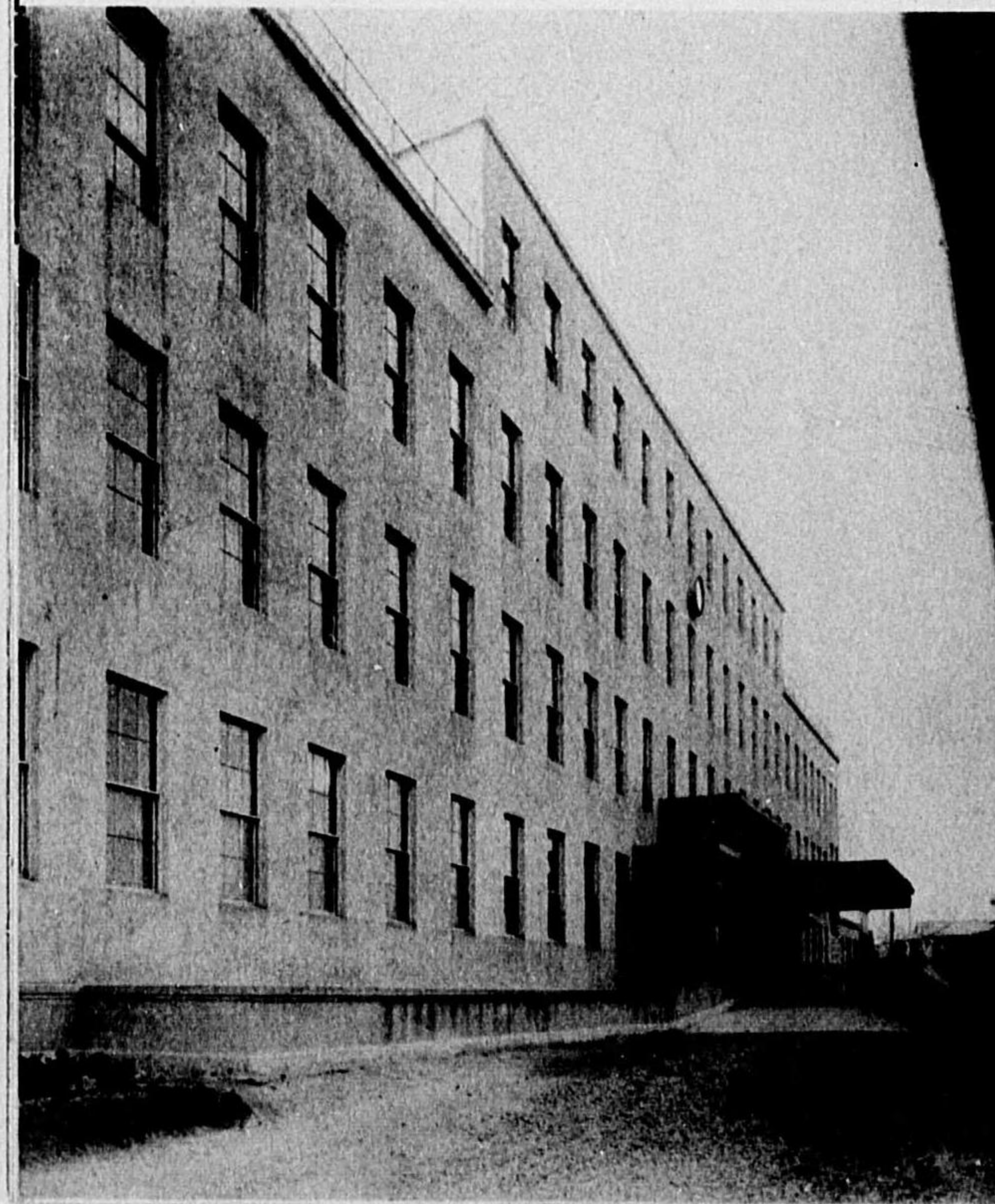
當年に於ける新請負の主な工事は、住友川口倉庫・大阪高等醫學專門學校・新大阪高架線・警備急行本線及山陽線・東京野村ビルディング・海軍工場・阪神電氣鐵道線・新大阪後座・東武日光線・岡山清心高等女學校・四ノ宮・三ツ山工場・名古屋市公會堂・鐵道省東京高等鐵道一舎・農林省新倉庫・東京白髮橋・同潤會アパート・富士瓦斯紡績工場等である。

館書圖學大國帝京東

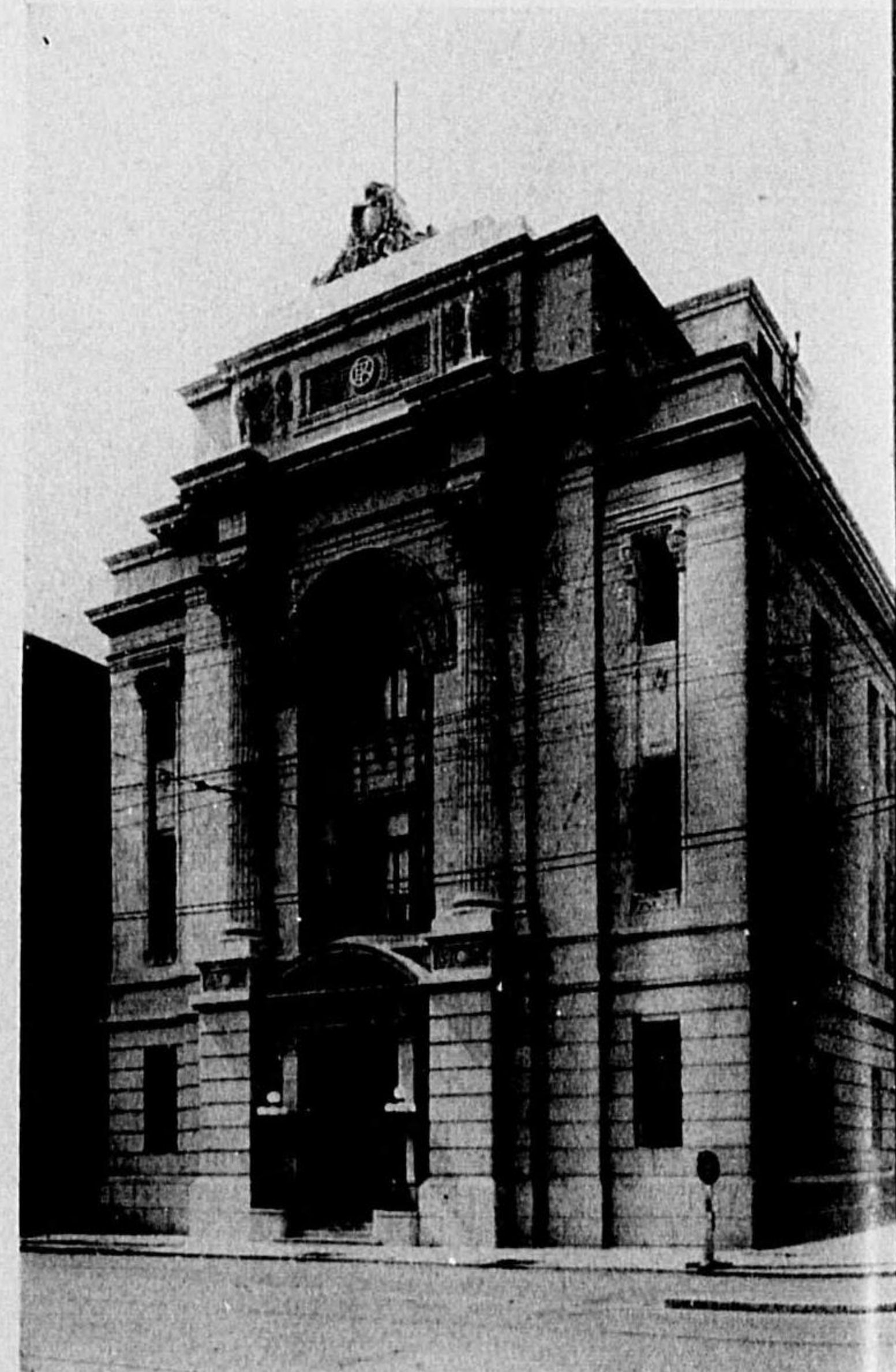




店支廣横社會油石シサゲンビイラ



院病道鐵阪大

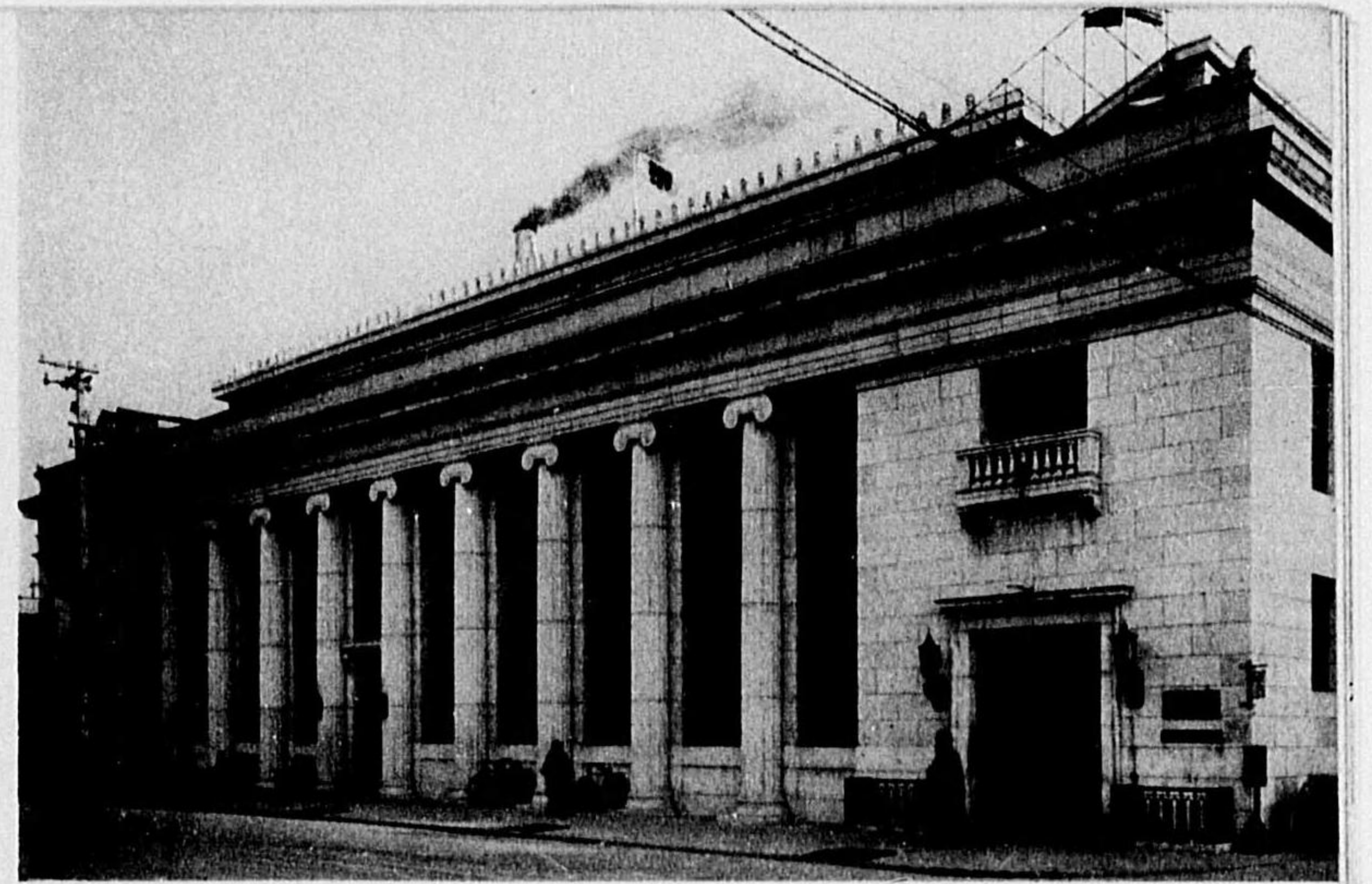


所引取廣横

第三十八年・昭和四年

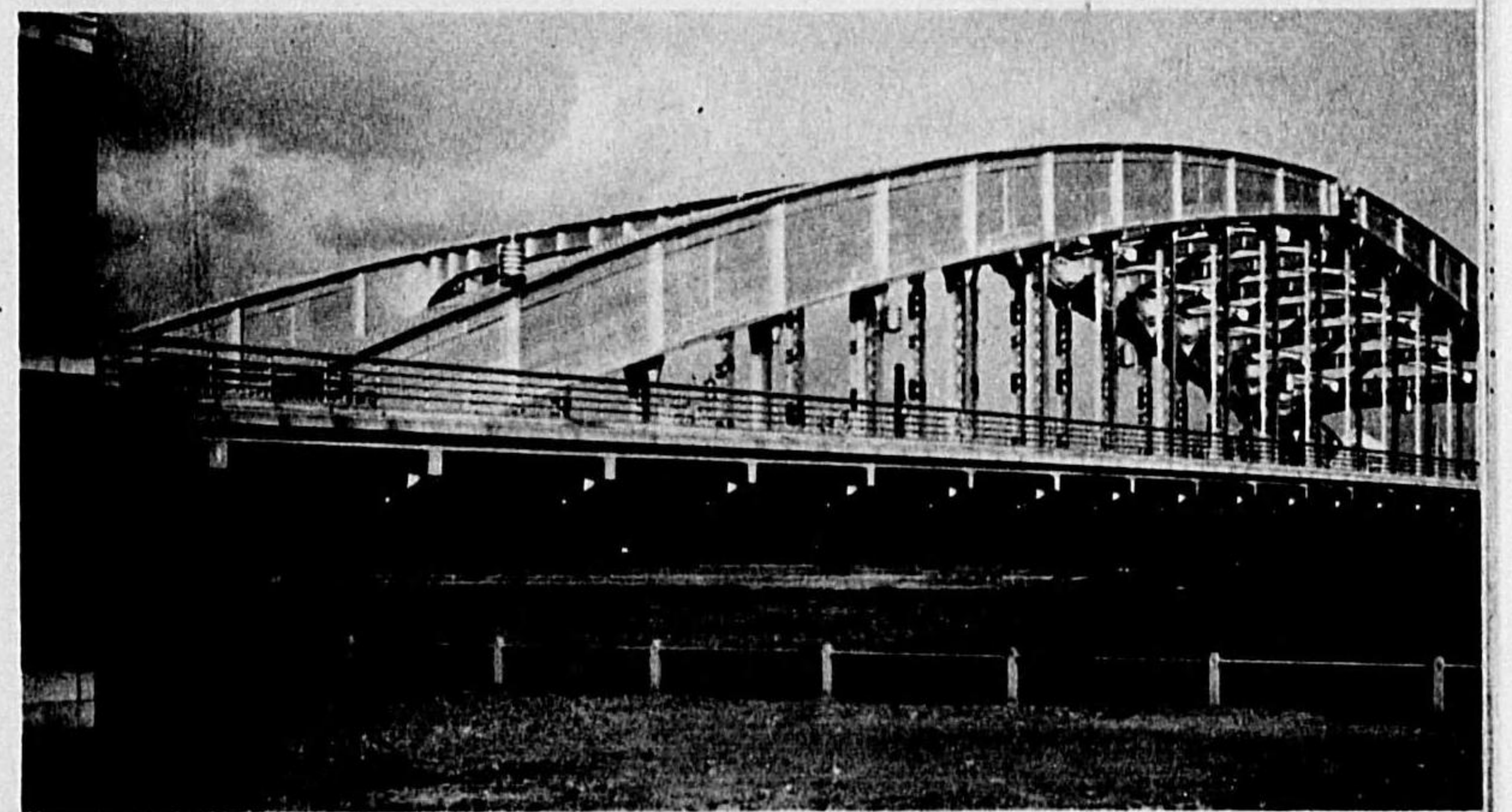
所引取較米京東

當年に於ける新請負額は、常組創立以來のレコードを示し創立時  
の一千餘倍に達した。即ち主な新請負工事を舉げれば、鐵道省東京  
電力發電所・新東京鐵道京地下線・昭和電氣株式會社・鐵道省東京  
商車大阪支店・海軍技術研究所・奉天行本線の一部・三信鐵道  
第一工區・加賀ビルディング・富山紡績吳羽工場・鐵道省三宮線・  
東京地下鐵廣小路停車場其他、鐵道省大阪線高槻線・日本鐵兵隊  
砲臺・京都高等工務學校・富山航空隊・住友肥料新居工場・朝鮮成  
興水利組合水道・日本電力東京火力發電所・日本電氣株式會社・日  
本銀行第一期工事・昭和電氣大隅倉庫場・淀川十三大橋等七百万圓  
乃至八百五十万圓程度のものが十三を數へ、就中日本銀行工事は請  
負額八百二十万圓に達した。



橋大宮の櫻

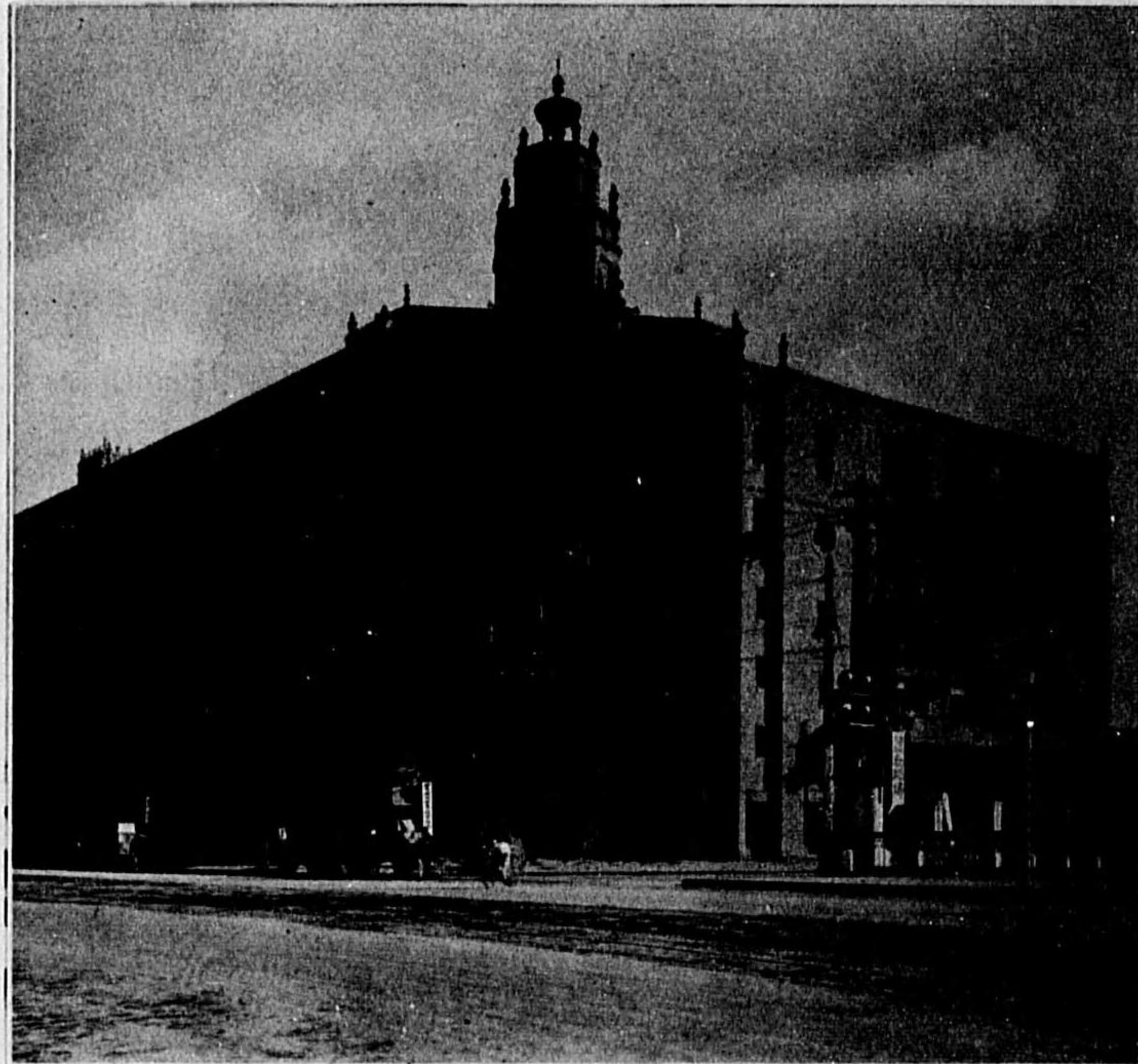
大阪櫻の宮大橋は、曩に當組に於  
て請負施工した奈良電鐵の宇治川鐵  
橋と同じく、無橋脚の三鉸拱式で、  
長さ百八十六米・幅二十一米八に過  
ぎないが、技術的價値の優秀さを誇  
る名橋と云つてよい。



局險保易簡

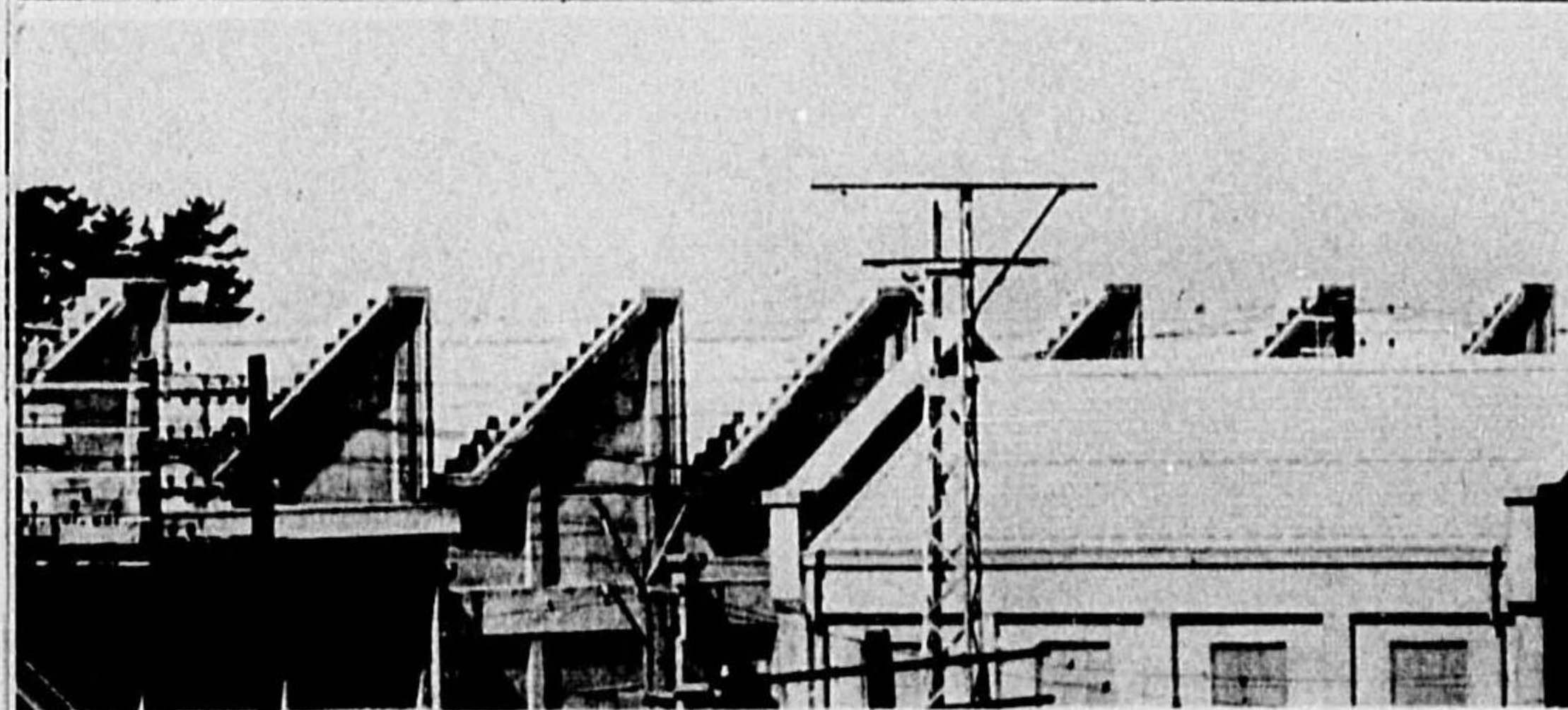
簡易保險局は、延一萬三百餘坪の宏大な建築で  
請負金額は約四百萬圓に達し、當時當組の請負中  
東洋レリオン澁賀工場に次ぐ大工事であつた。



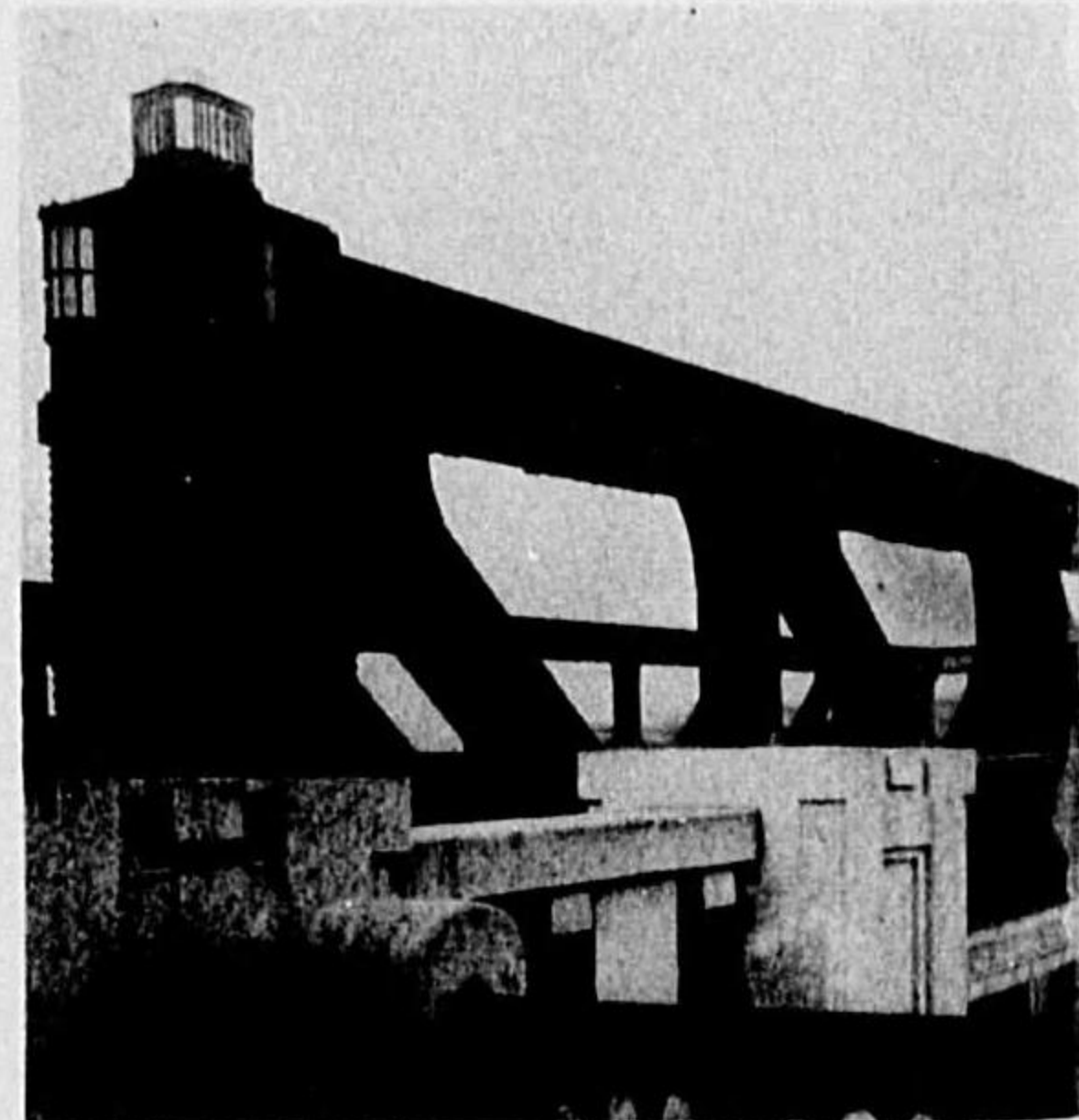


東京劇場

東京劇場は松竹経営の下に建設された延三千三百坪に渉る大劇場で、華麗なスペイン式の様式は、和風の歌舞伎座と相対して築地歌舞街の花と謳はれてゐる。



鐘ヶ淵紡績會社社長館工場



播磨白



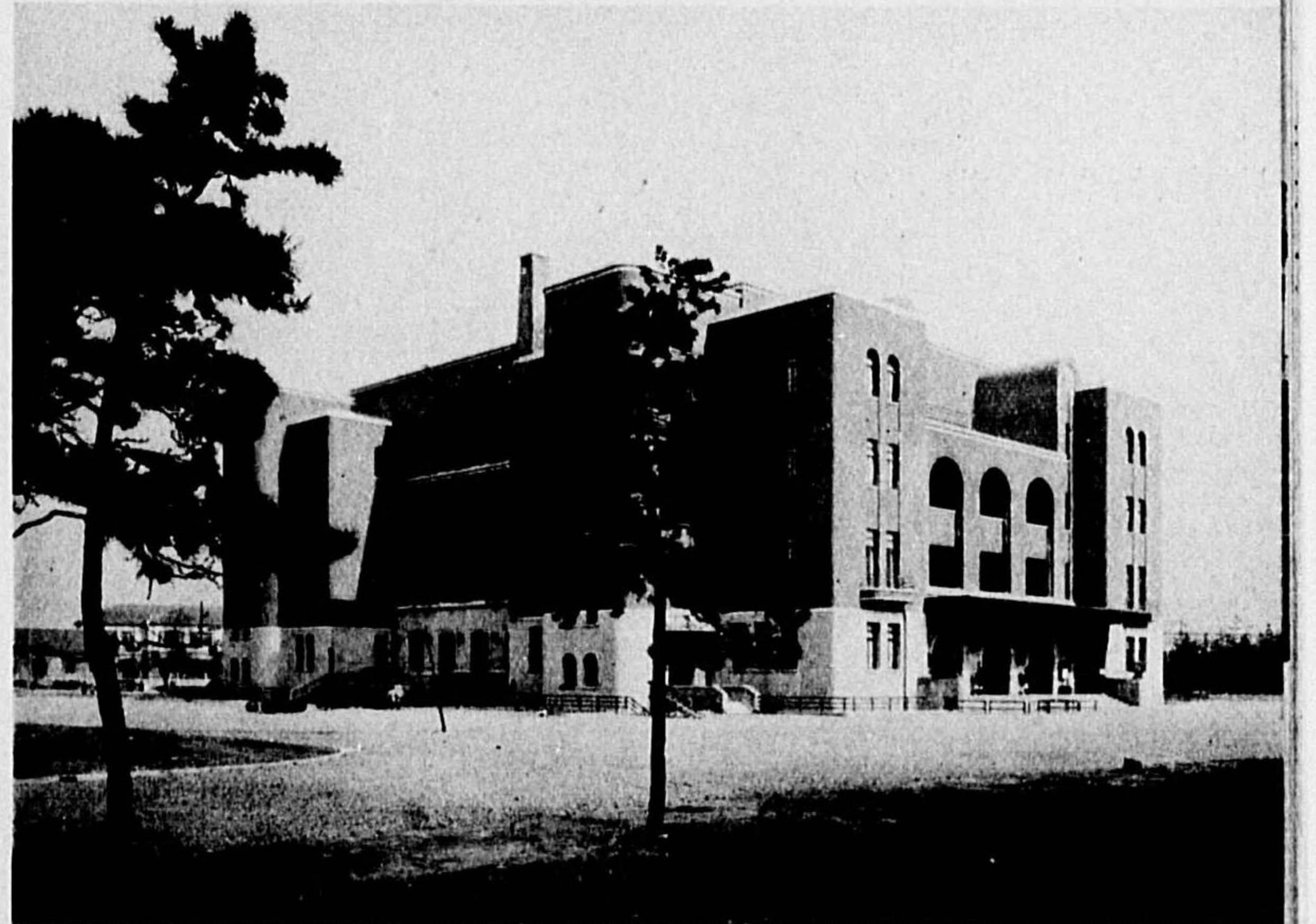
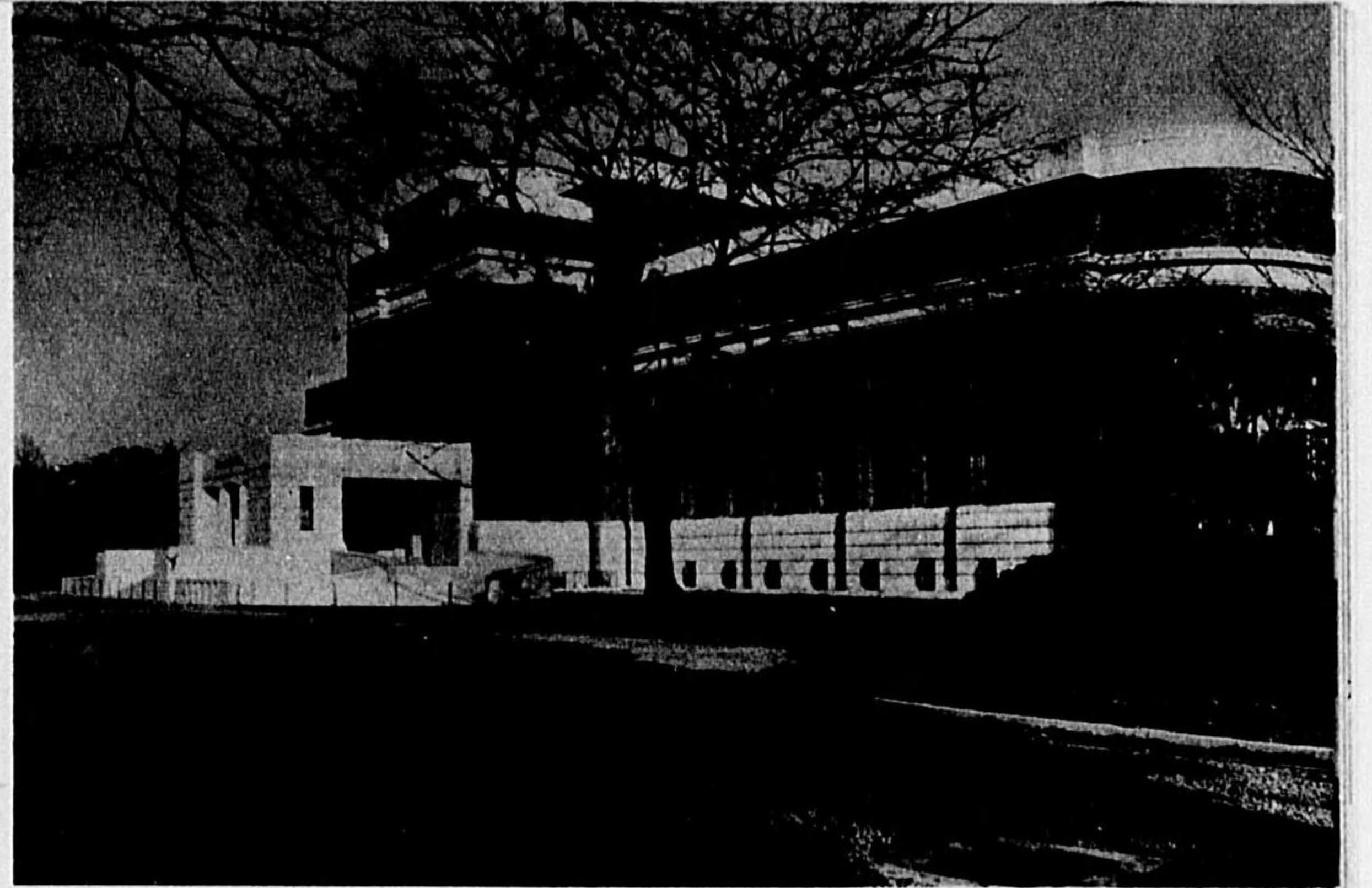
甲子園ホテル

甲子園ホテルは、大阪と神戸を繋ぐ阪神國道の中間、青松點綴の靜謐な甲子園の幽境を撰んで、高級なフアミリーホテルを理想にライト式を加味した氣持のよい建物、阪神地方に於ける有数のホテルとして賑つてゐる。

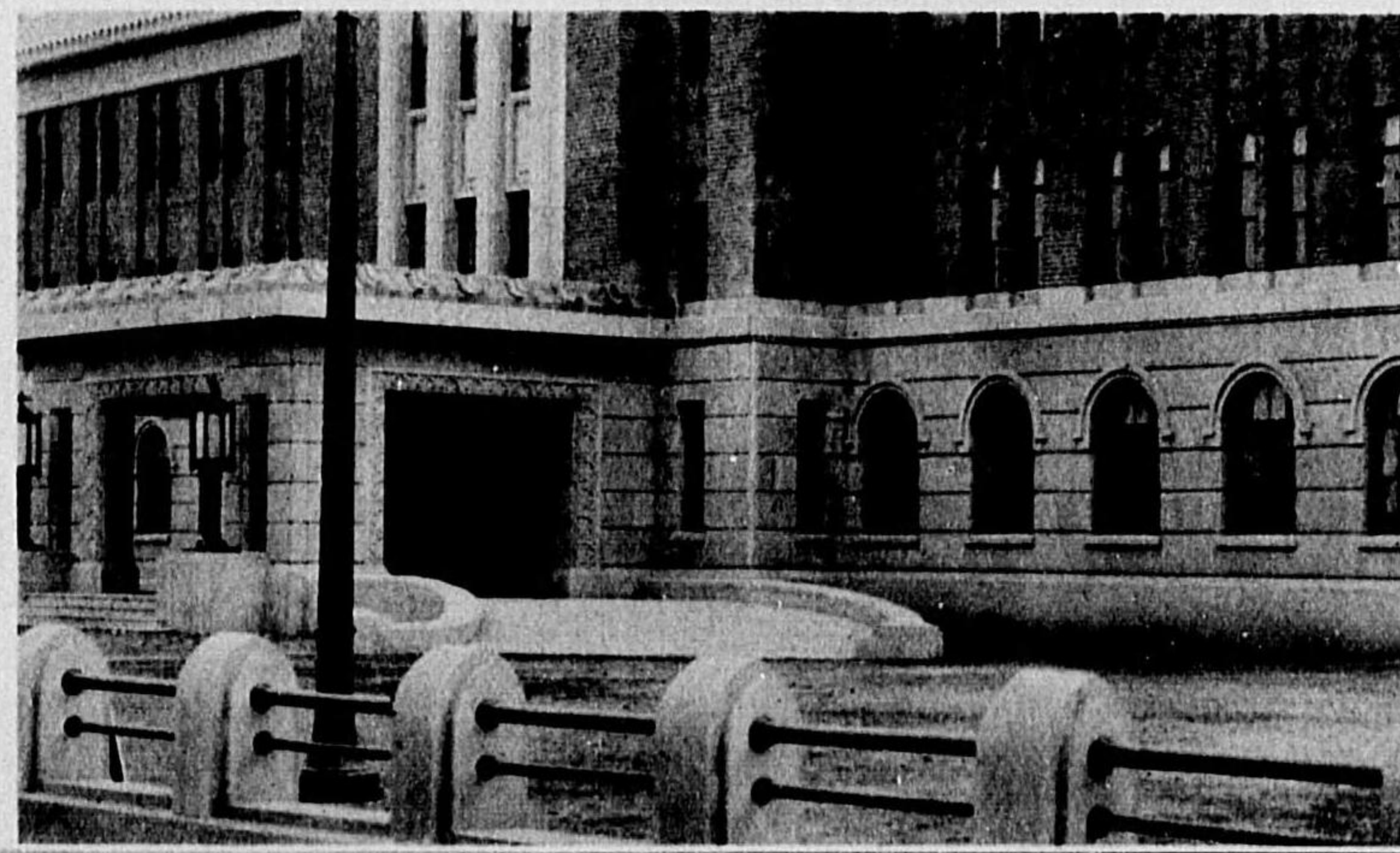
第三十九年・昭和五年 其の一

東京博覧會

當年は世界的不況の餘波を受けて財界頗る萎縮新請負高は前年に比しその半ばに止まり、爾後昭和八年に至る迄は不況連續の陰鬱な年々であつた當年に於ける新請負の主な事を舉げると、大阪市地下鐵の一部・兵庫縣立高等商業學校・芝浦郵政所見直し場・金澤ビルヂング・大坂市大江橋及淀屋橋・磯前屋百貨店・食糧機械工場・高松百貨店・九州電氣軌道小倉支所・英國大使館・東京帝國座・多摩急行宇治山田停留所及線路・京濱電氣鐵道線路・三菱石油本社等である。



名古屋市公會堂



徳島縣廳舎



本年頃から宏壯を極むるビルディングが各所に建設せられ、本頁の三ビルディングはその代表的のものと言つてよい。



住友ビルディング

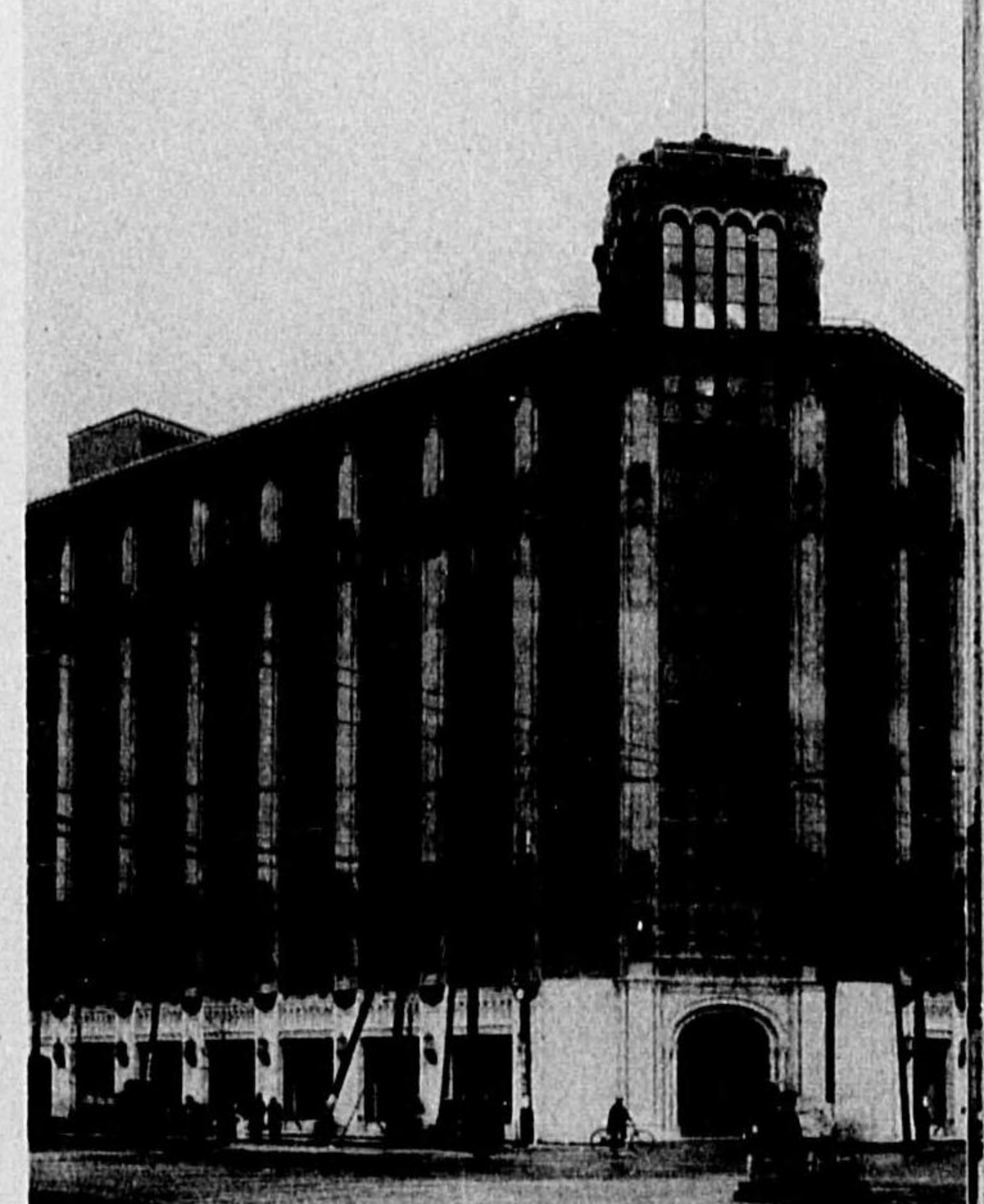
住友ビルディングは、大阪に於ける最大のビルディングである。其の外観は、新古典主義の流石な荘重さと、内部の設備は、最新鋭の豪華さを兼ね備えている。建築設計は、大塚啓之助氏が担当し、その堅固な構造と、洗練された装飾が、このビルディングの特色である。

常盤生命ビルディングは、日比谷区に位置する。その近世復興の趣向は、茶褐色の雄姿と、洗練された形を成している。

三信ビルディングは、淡褐色の砂岩と、大理石の調和が、その特色である。建築設計は、大塚啓之助氏が担当し、その堅固な構造と、洗練された装飾が、このビルディングの特色である。

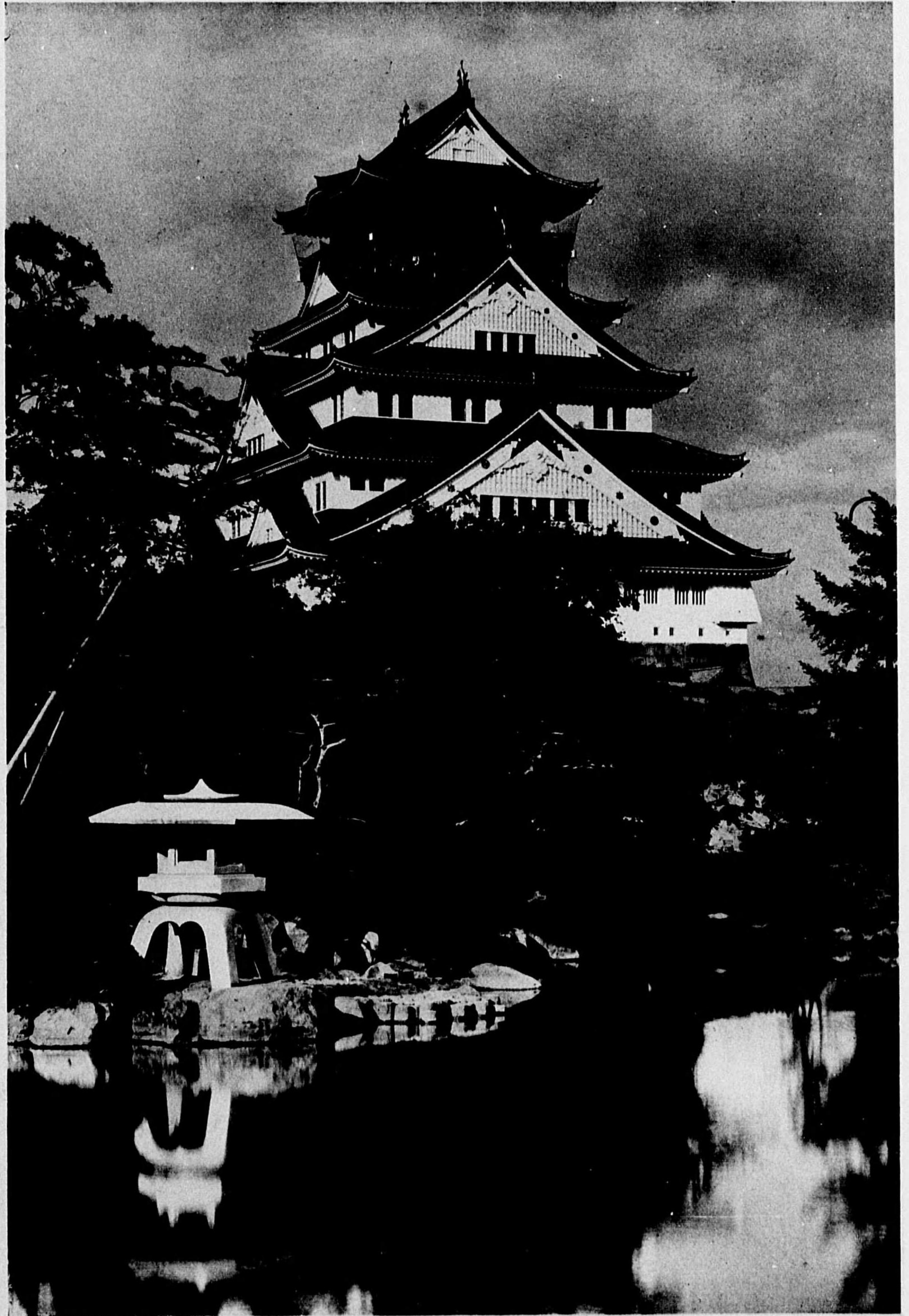
三信ビルディング

常盤生命保険会社



住友銀行本行営業室





第四十年・昭和六年 其の一

大阪城天守閣は、豊太閤の築いた我が國第一の名城であつたが大坂夏の陣の兵燹に罹つて烏有に歸し、後徳川二代及三代將軍に依つて再建され、更に寛文五年雷火の爲焼失して基礎の石垣だけが残存してゐたものを、大阪市は昭和御大典の記念事業としてこれが復興を計畫し、當組の

犠牲的の施工に依つて工を竣へ、榛として桃山時代の舊蹟が復活したものである。廻り十八間四面、軒高百五十四尺といふ實に雄大を極むるもので、しかも構造が軒廻りに至る迄鐵骨鐵筋のコンクリート造りである爲に、これが構築には言外の苦心と努力が拂はれたらうである。

當年に於ける新請負工事の主なるものは、阪神電鐵神戸岩屋町地下線・第四師團騎兵第四聯隊・大阪市地下線の一部・横濱高等工業學校・京成電軌千住南線・國府線・東京帝大傳染病研究所・第四師團城南射擊場・日本銀行舊館改造・鐵道省高山線・各電力日月電燈所・日本銀行大阪支店金庫等、釜山渡津橋等である。

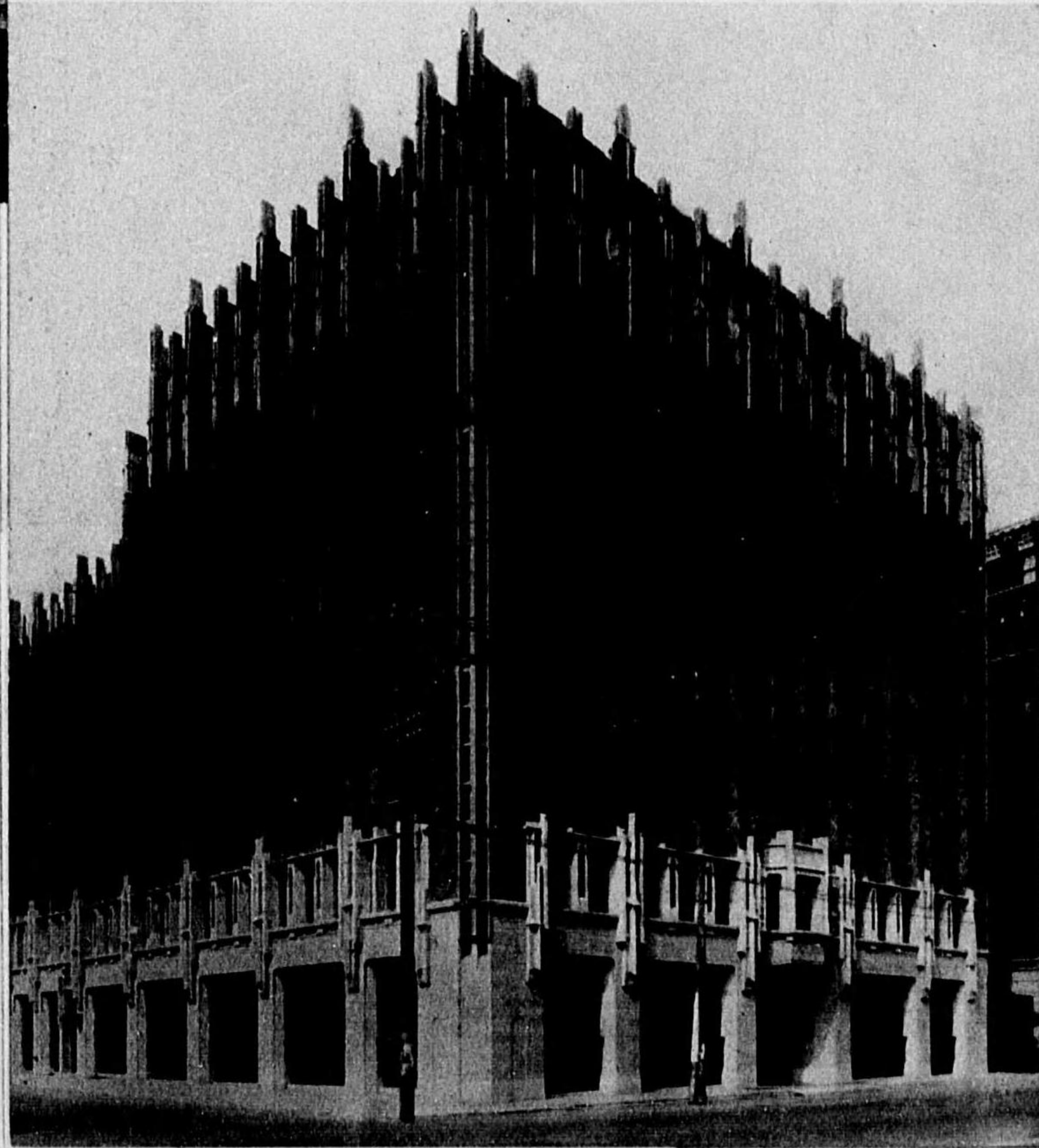
大阪ビルディング東京支店二號館

大阪商船ビルディング東京二號館の近世復興式の簡明な様式はその建築細部と共に日本海運界の覇者たる殿堂に相應しく、その施工に當つては幾多斬新の工法を採用したばかりではなく、新興材料を最も適切に使用してゐる。



三井銀行大阪川口支店

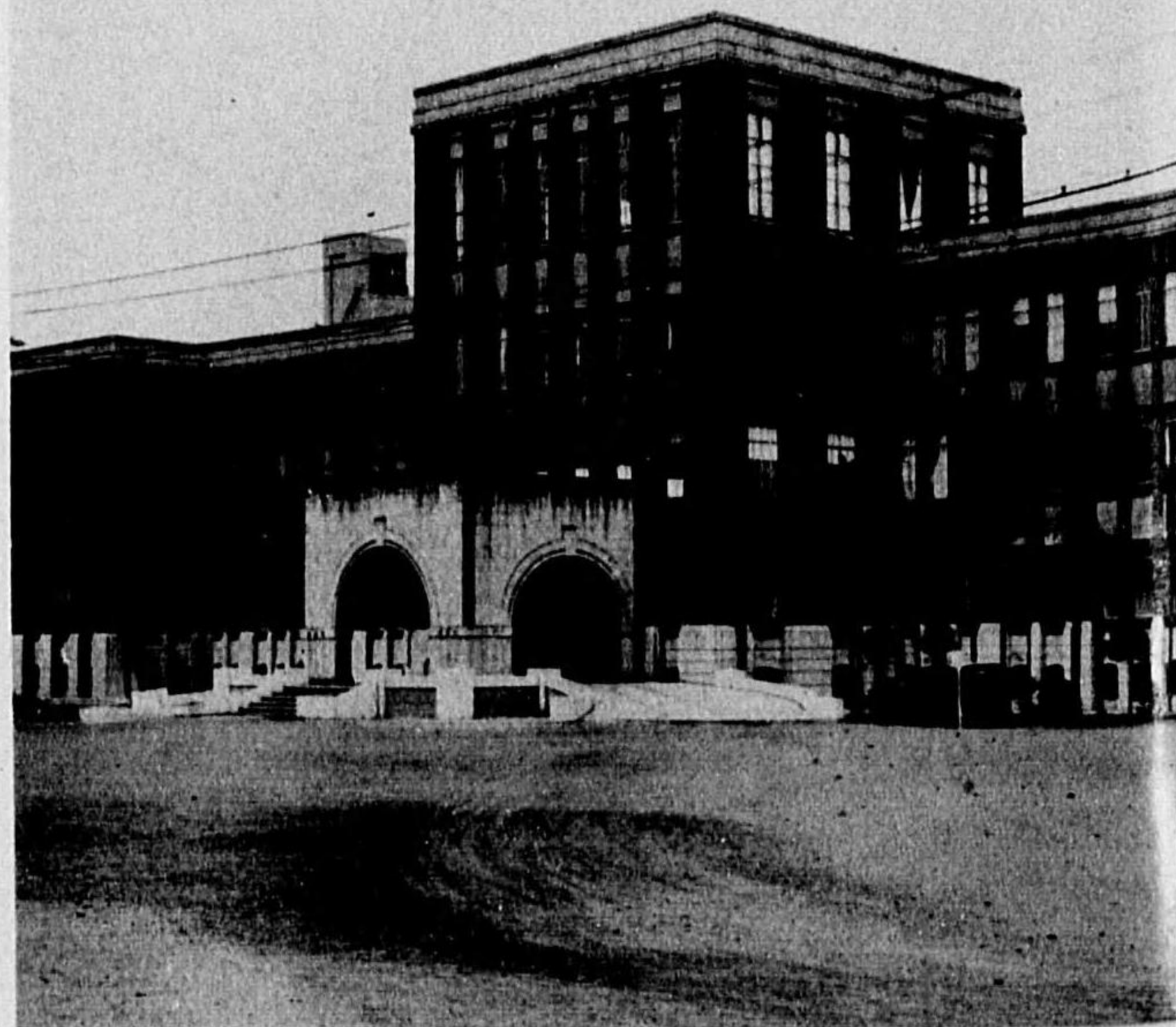
三井銀行大阪川口支店は、延六百六十坪の三階建て寫眞面の外観だけでは左程の建築と思はれないが、延二千坪内外の普通ビルディングに匹敵する工費が投せられたもので、外装は全部北木産の花崗石を使用し、内部營業室の弧立柱・壁面・床等の全部は大理石で貼り詰めた妍佳なものである。



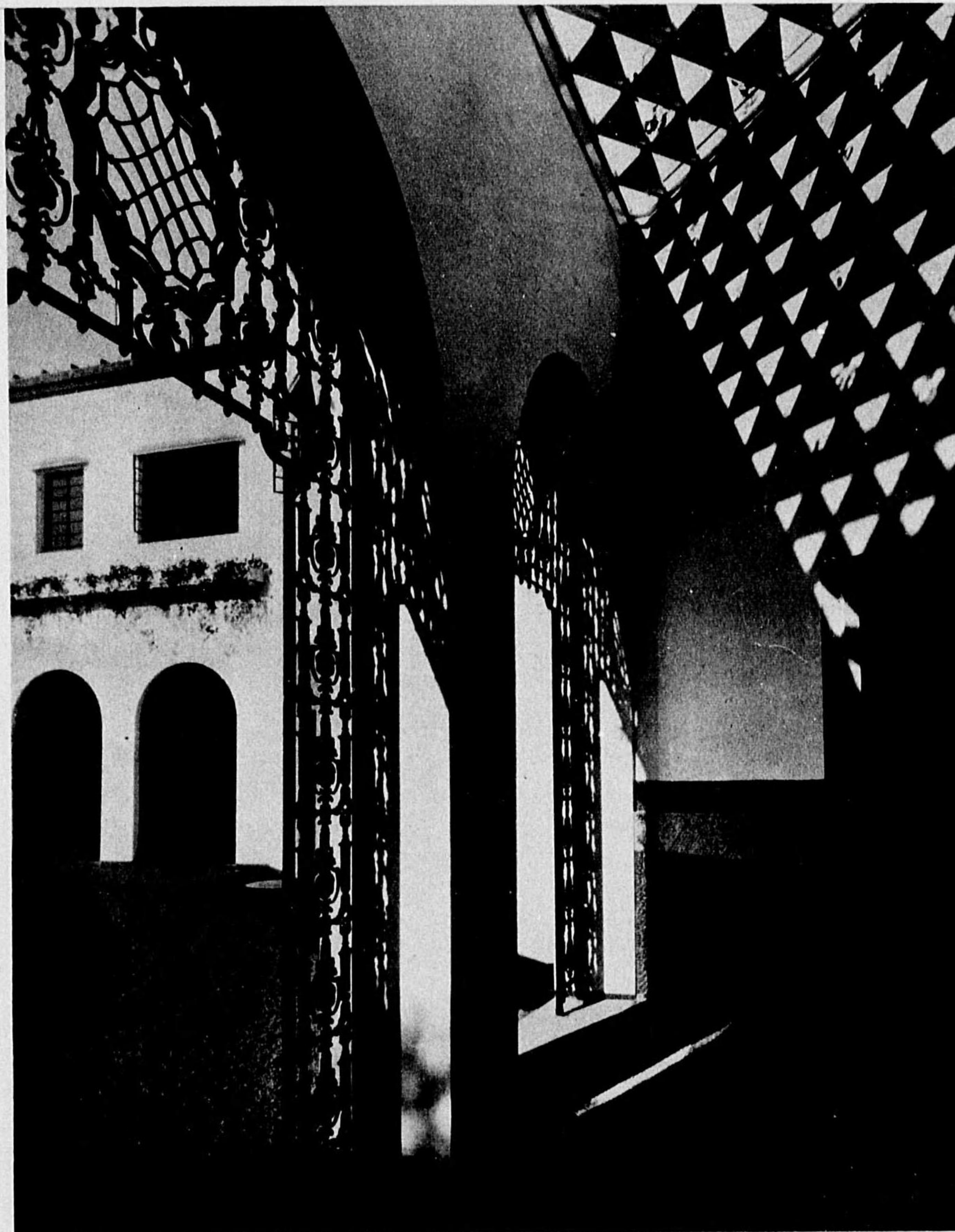


安田ビルディング

安田ビルディングは、安田王國の關西探題たる本據をなすもの、近世復興式の落著のある莊重な建物で、大阪の南北を貫く中心道路として最近設けられた御堂筋の北端に儼然として其の偉容を誇つてゐる。

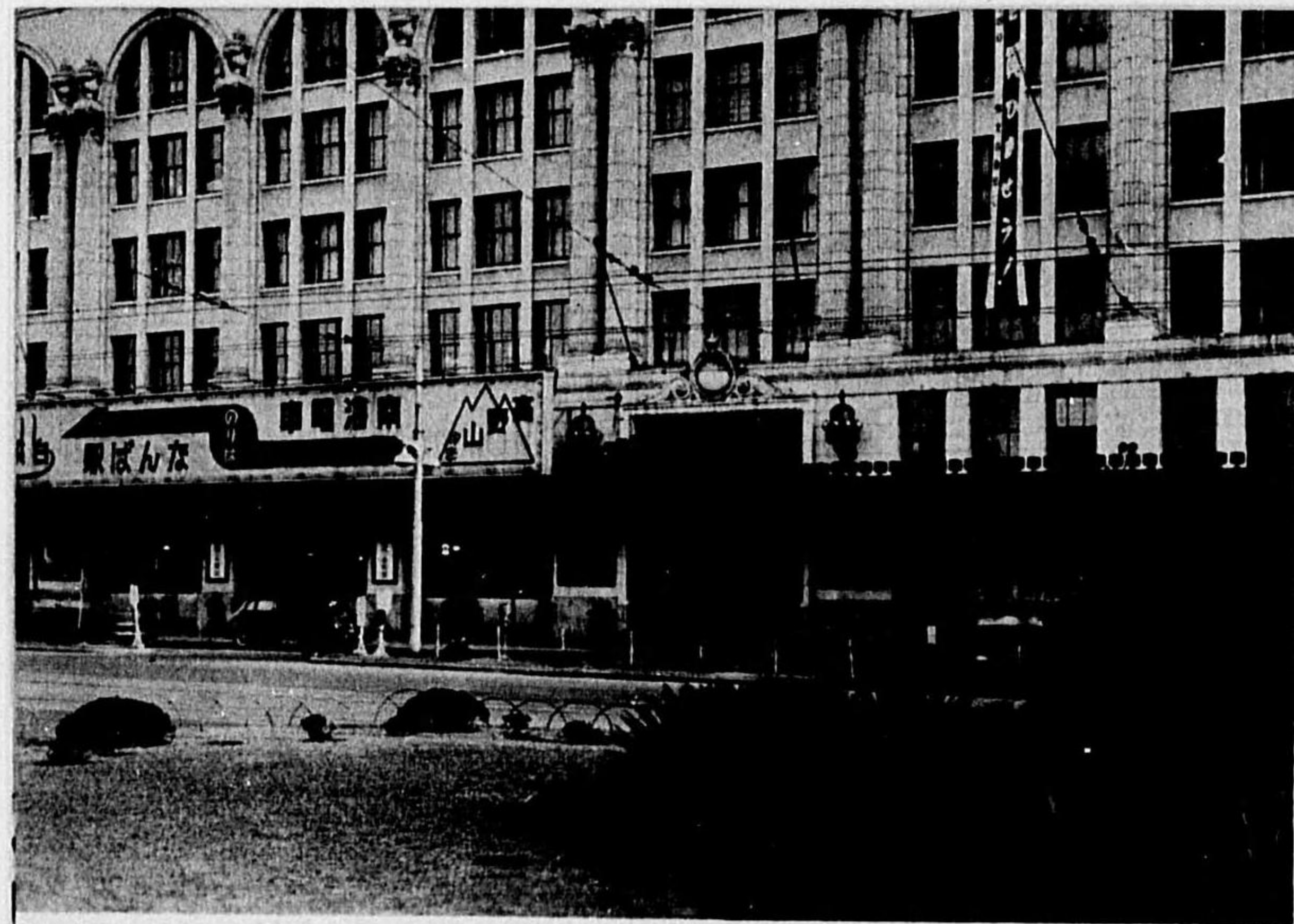


九州帝國大學附屬病院



米國大使館

在米建築技術の上に學ぶところの多かつた米國の、その大使館の建築でもあるので當組としては周到の注意を拂つて事に當つた。幸ひ工程順調些かの躓きもなく工を竣へたことは欣快に堪へない。様式はアメリカンモダンタイプともいふべきもの、全館の三分の二は三階建に過ぎないが、流石建築旺盛の米國人の設計であるだけに、近代的な新鮮味が建物の全體に溢れてゐる。



グンイデルビ海南

南海ビルディングは、大阪の幹線道路御堂筋の南端に位し、白壁の大殿堂が小山のやうに横つてゐる。大部分は百貨店に使用されてゐるが、一部は大阪に於ける南門をなす南海電鐵のステーションで、日々此處より吐き出され又は吸ひ込まれる乗降客は陸續として何上萬たるを知らず、殊に朝夕に於ける雑沓の様は確に大阪に於ける一名物たるを失はない。

本嘉納ビルディングは灘の芳醇菊正宗の東京に於ける販賣元で、灘酒東京進駐の重要な足場である。

第四十一年・昭和七年

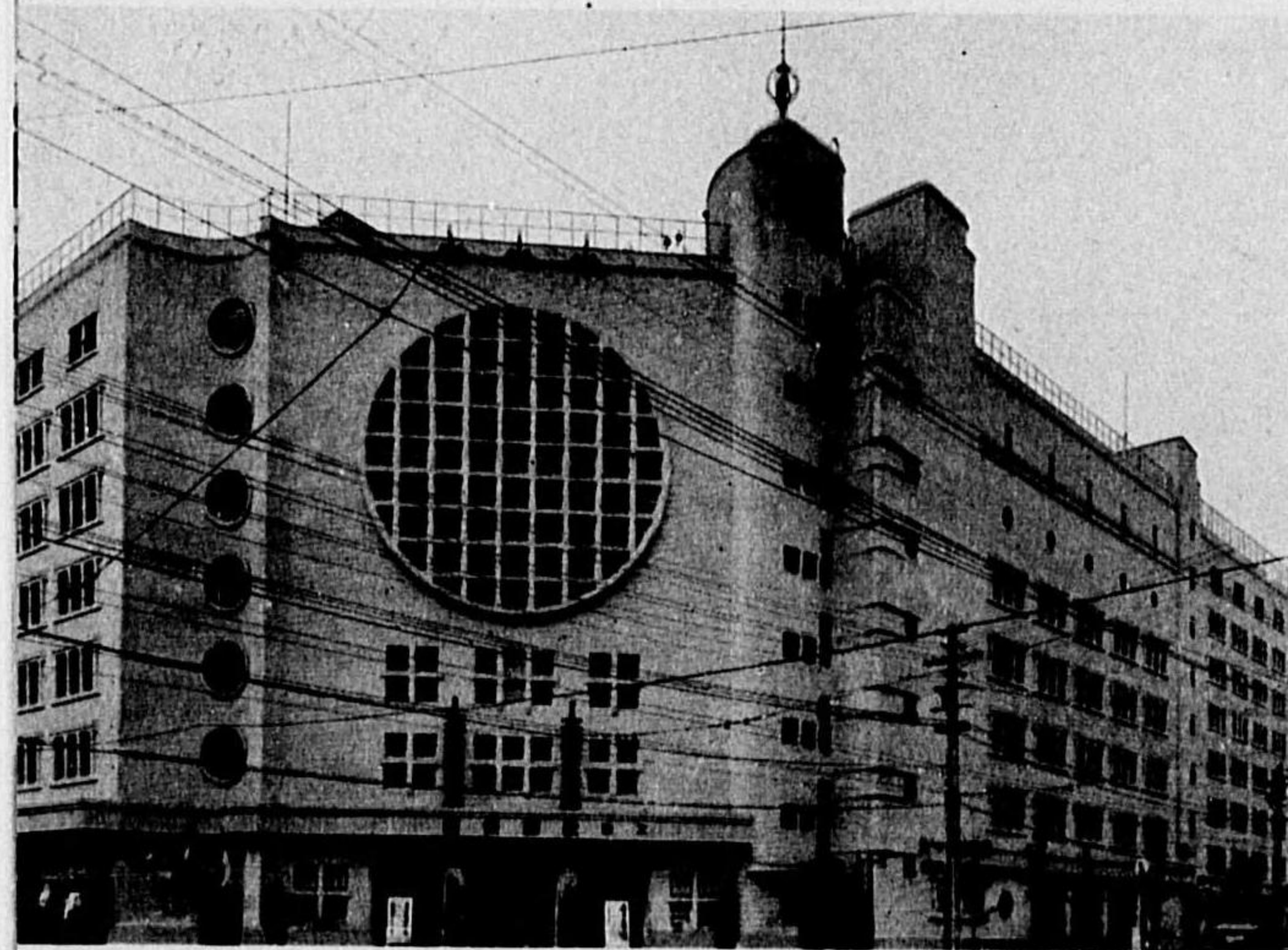
當年に於ける主要新築工事を挙げるに、日本光學工業大井工場・講義教員館第四區・朝鮮通商銀行八工區・大阪帝大理学部教室・京成電軌日暮里上野間線路・日本電報通信本社・關西共同火力第一發電所・阪神電鐵三宮停留所・小倉造兵工廠器具製造工場其他・東洋紡績仁川工場・講義天國鋼第五工區・日本化學製薬新居浜工場・日本改兵隊大阪支店・久作工業名古屋工場等である。



日清生命ビルディング

日清生命ビルディングは、丸の内ビルディングの北部に代表的な存在をなしてゐる。外装は高島産銅御影石又は岩手産折壁石に、繊細な彫刻模様のアラコッタを巧に貼り交ぜ、その櫻色に近いあでやかな姿は月宮殿でもあるやうな感じがする。

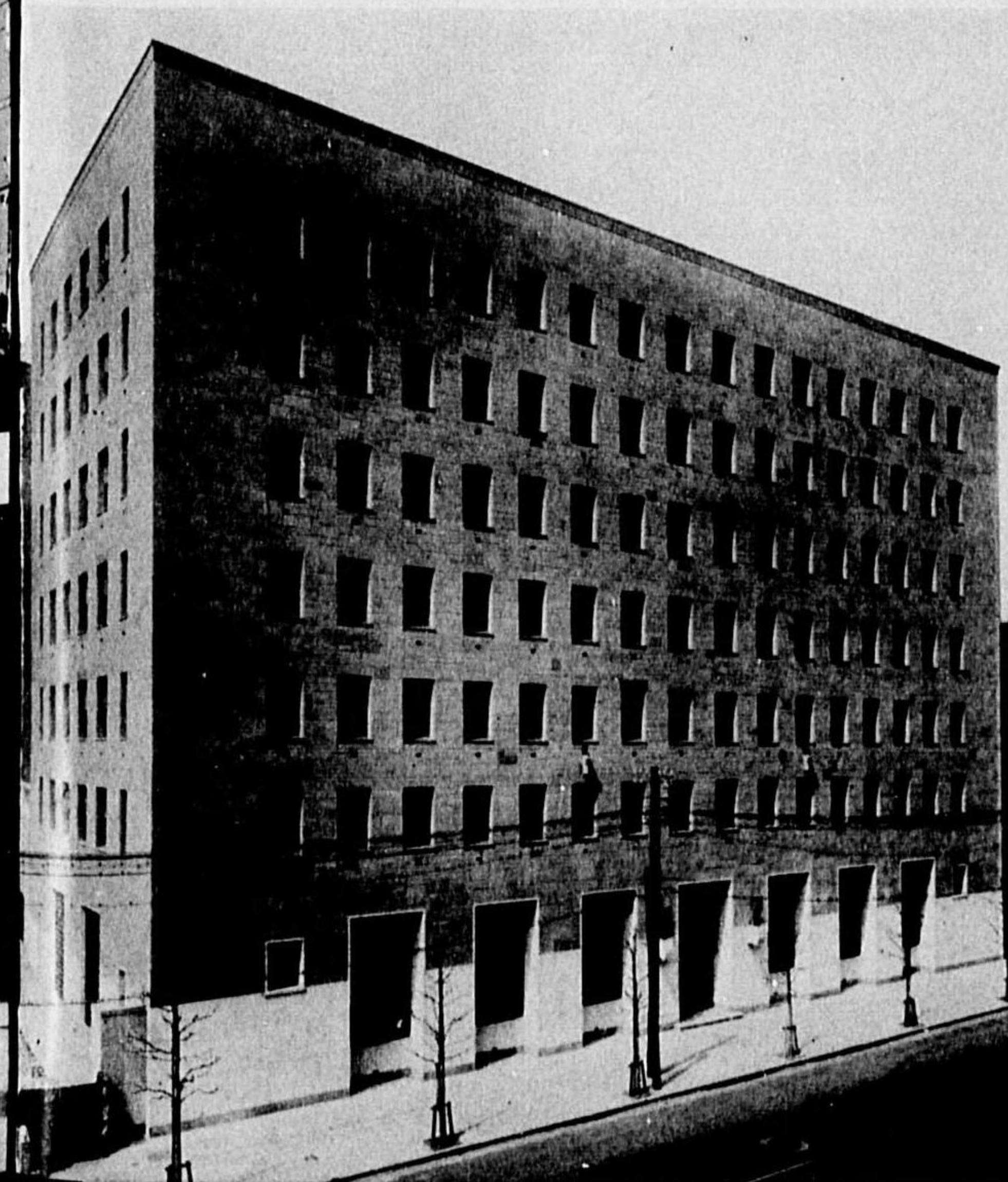
大阪歌舞伎座



本嘉納ビルディング



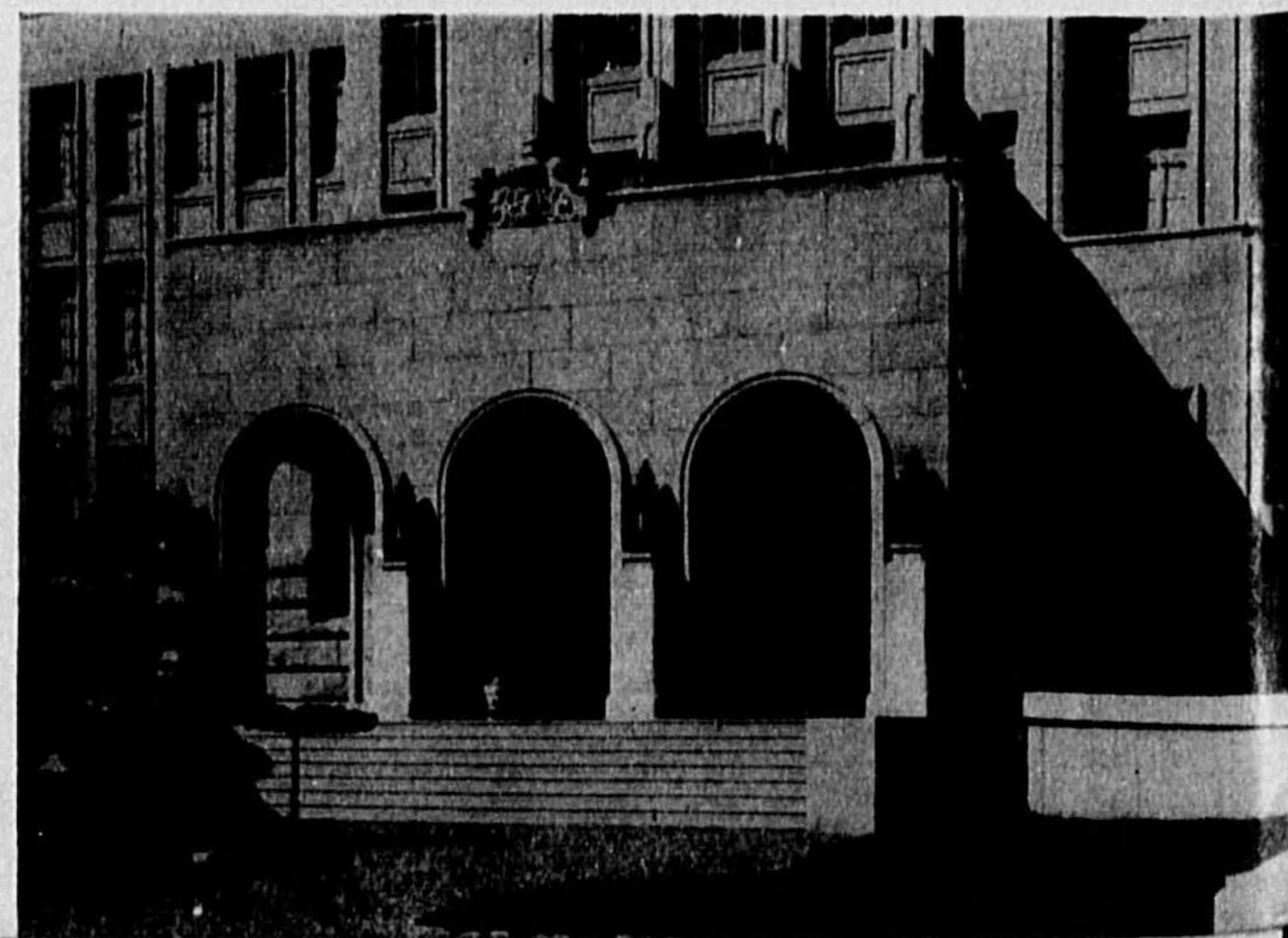
東京住友ビルディング



東京住友ビルディングは、地味な奥床しい何處となく重みのある建物で、附近ビルディング群像の中で清楚な存在をなし内容の堅實さが窺はれる。

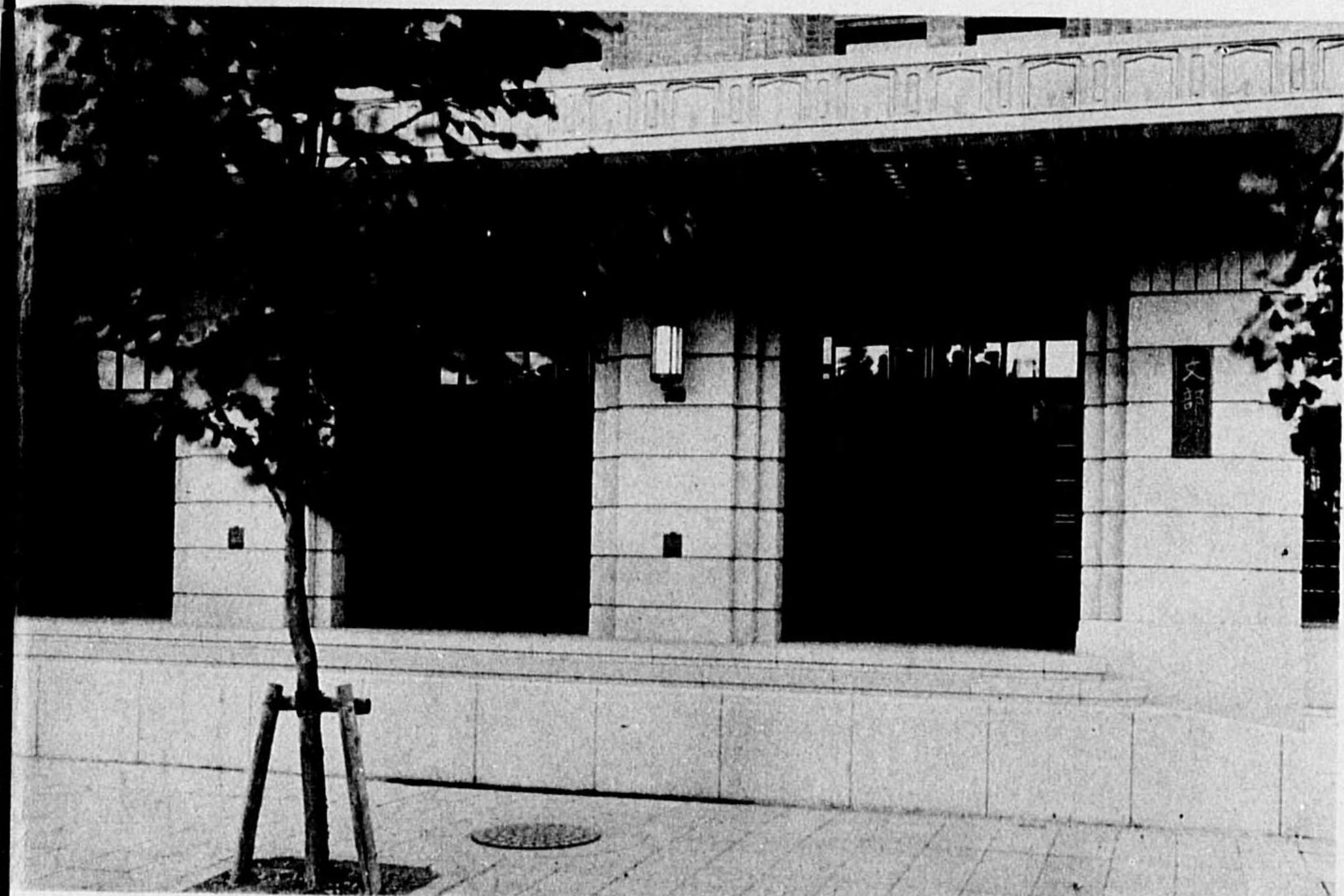
大阪歌舞伎座は東京歌舞伎座と共に松竹の經營にならるもの、外観は東京歌舞伎座の和風に反し、青タイルで貼り詰めた近世式和蘭陀風ともいふ豪壯な建物で、内部も亦多くこの式に則つたものであるが、唯舞臺正面上部のプロセニウム、アーチが和風の格子式になつてゐる點が多少變つた試みである。観覧者休憩所又は食堂等最も整備された關西隨一の劇場で、この東西を代表する二大劇場の出現は如何に劇家を激したかを如何に我國演史の一頁を飾るものと言へよう。

新瀨縣廳舎



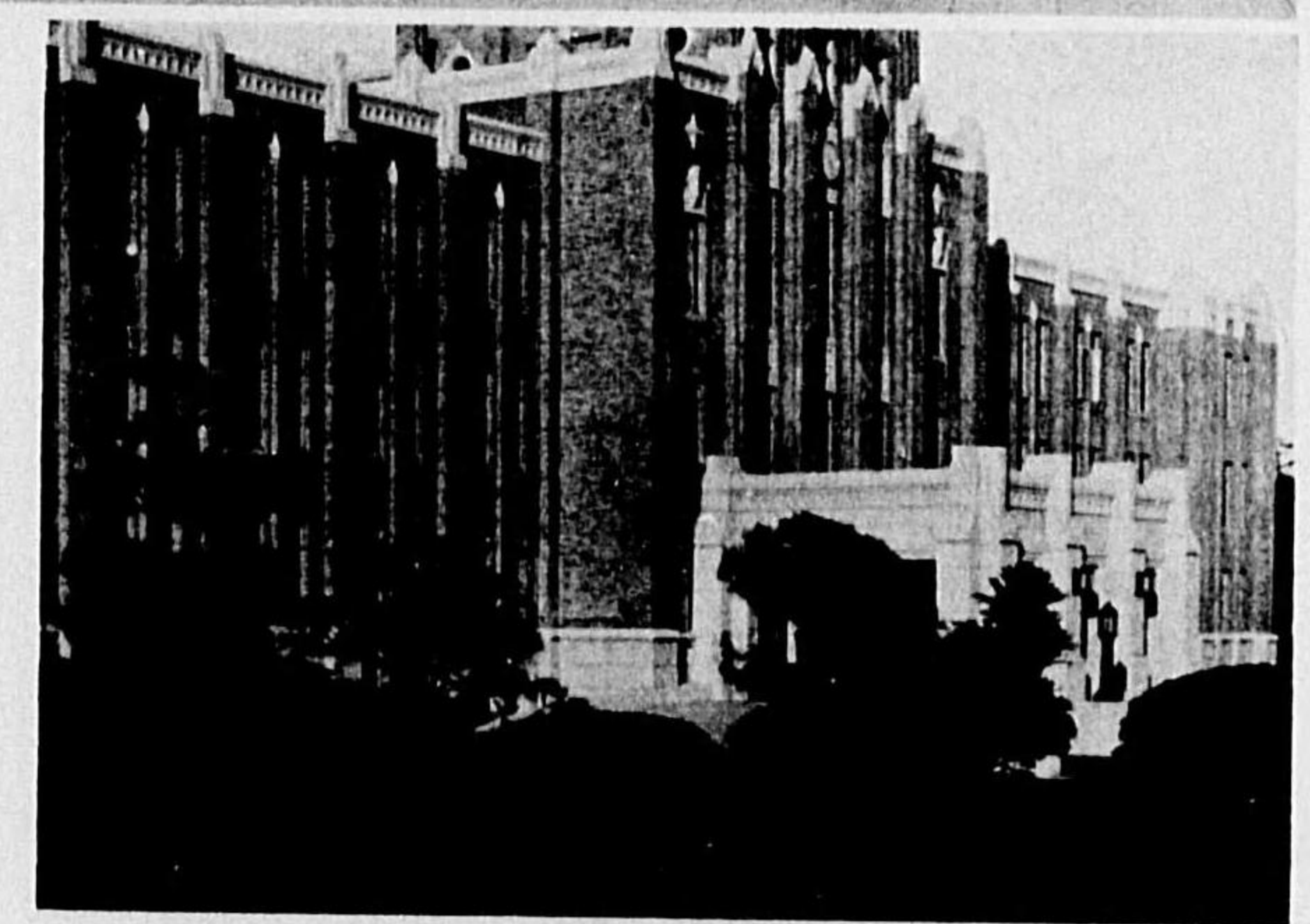
前三ヶ年間は、世界的財界の不況に禍されて各所に労働争議等が頻發し、當組も亦業務の沈滞を來しつゝ、あつたが、當年半ば頃より稍々復活の傾向を示し、當年に於ける新請負高も前三ヶ年に比し約二割方を増加し、多少愁眉を開くことを得た。

當年に於ける主な新請負仕事を舉げると、第四師團第四聯隊・日本レリオン工場・關東軍司令部舎・新製鐵道工場・鐵道國家隊第四工廠・日本電氣第八工場・大連航空機格納庫其他・小倉兵器支廠兵器庫・名古屋兵器支廠兵器庫昭和レリオン教習工場・飛行第七聯隊兵器及格納庫・大阪市地下鐵第一號線・日本電力黒川発電所・日本化學製藥新居道工場第二期・小倉兵器支廠火藥庫・邊野島工場・吳航空機廠舎・東京電力名倉発電所・東洋高壓工業工場等である。

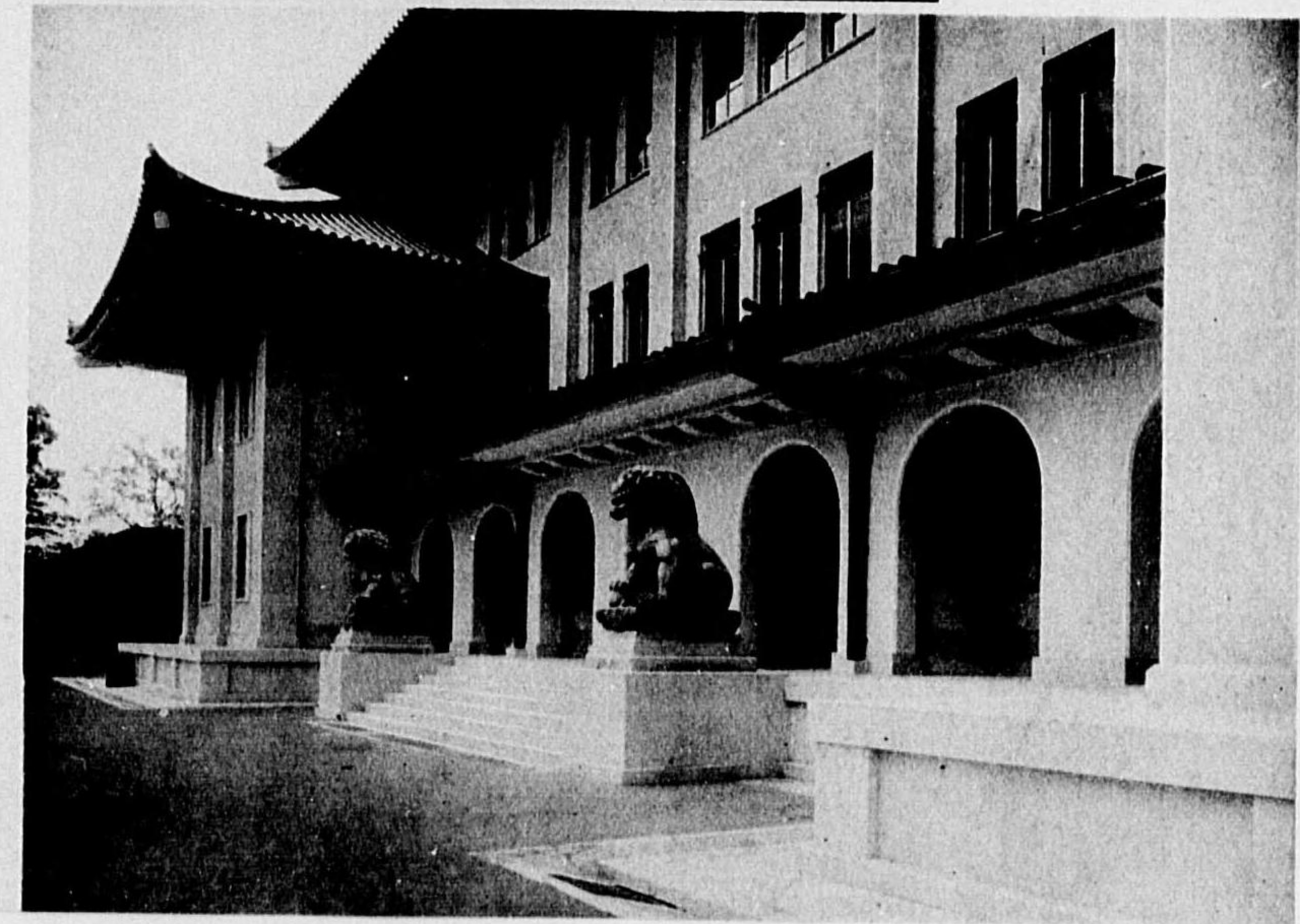


文部省廳舎

文部省は、直轄官舎群の一角たる虎の門に聳え立ち、莊嚴且つ幽雅な容姿は眞に文教の府たるを思はしめる。



宮崎縣廳舎



東洋文化學院東京研究所

東洋文化學院東京研究所は、端麗な奈良朝風の様式で入念な耐震耐火の構造は、文化研鑽の使命に適へるものと言へよう。

大阪瓦斯ビルディング



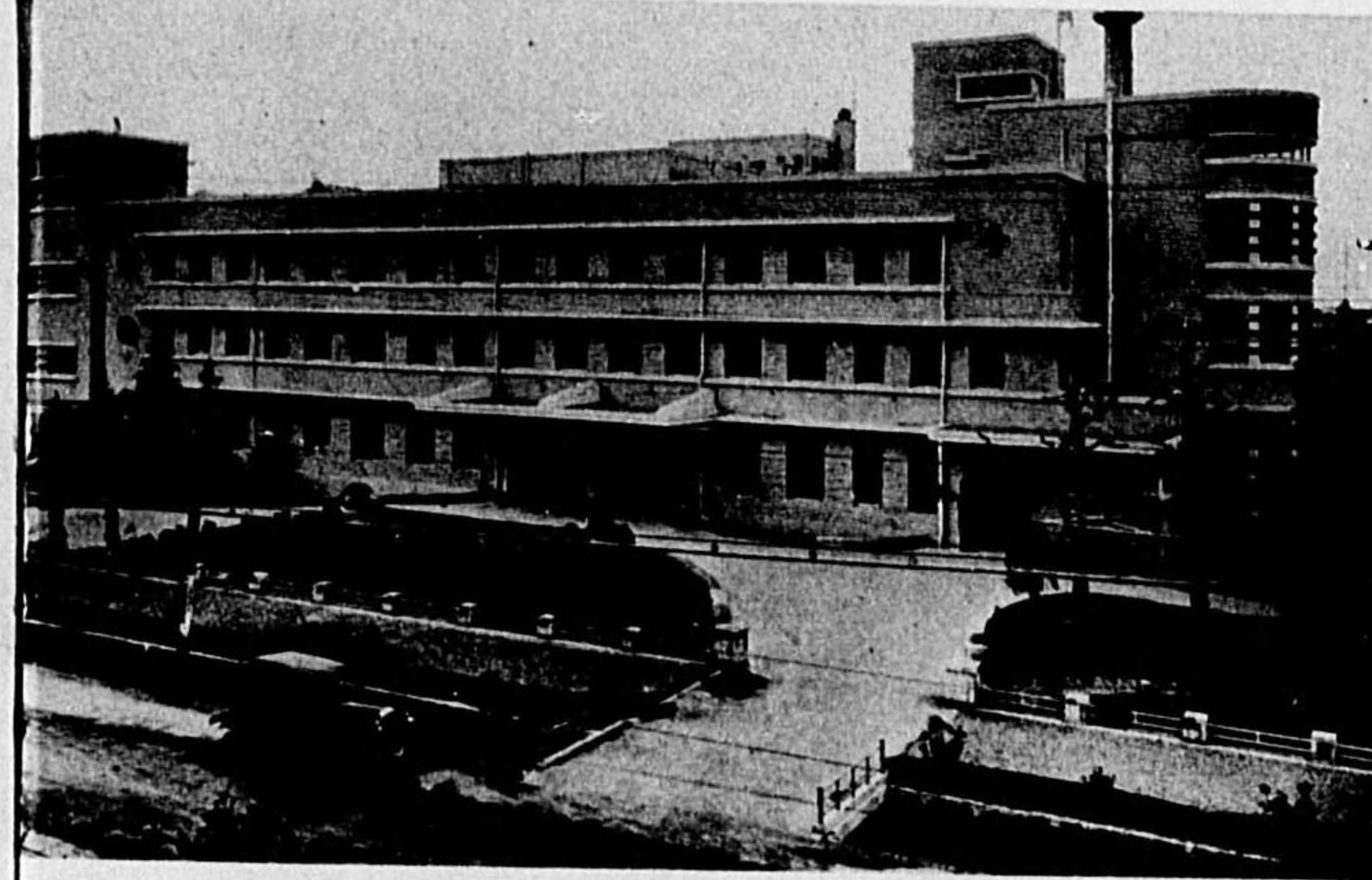
大阪瓦斯ビルディングは、店頭の股張りが大阪第二の心齋橋と謳はれてゐる平野町と幹線大道路の御堂筋との交叉點に建てられた、近世自由型ともいふ清新そのもの、明い爽やかな感じのする建物で、しかも現下御堂筋に於ける最大のビルディングとしてその堂々たる威容は、大阪文化施設の先達たるを表徴してゐるやに思はれる。殊に内部の附帯設備等に至つては十分閑然とするところなく、又小ゼンマリとした演藝場さへ設けられてゐる。

日本生命會館



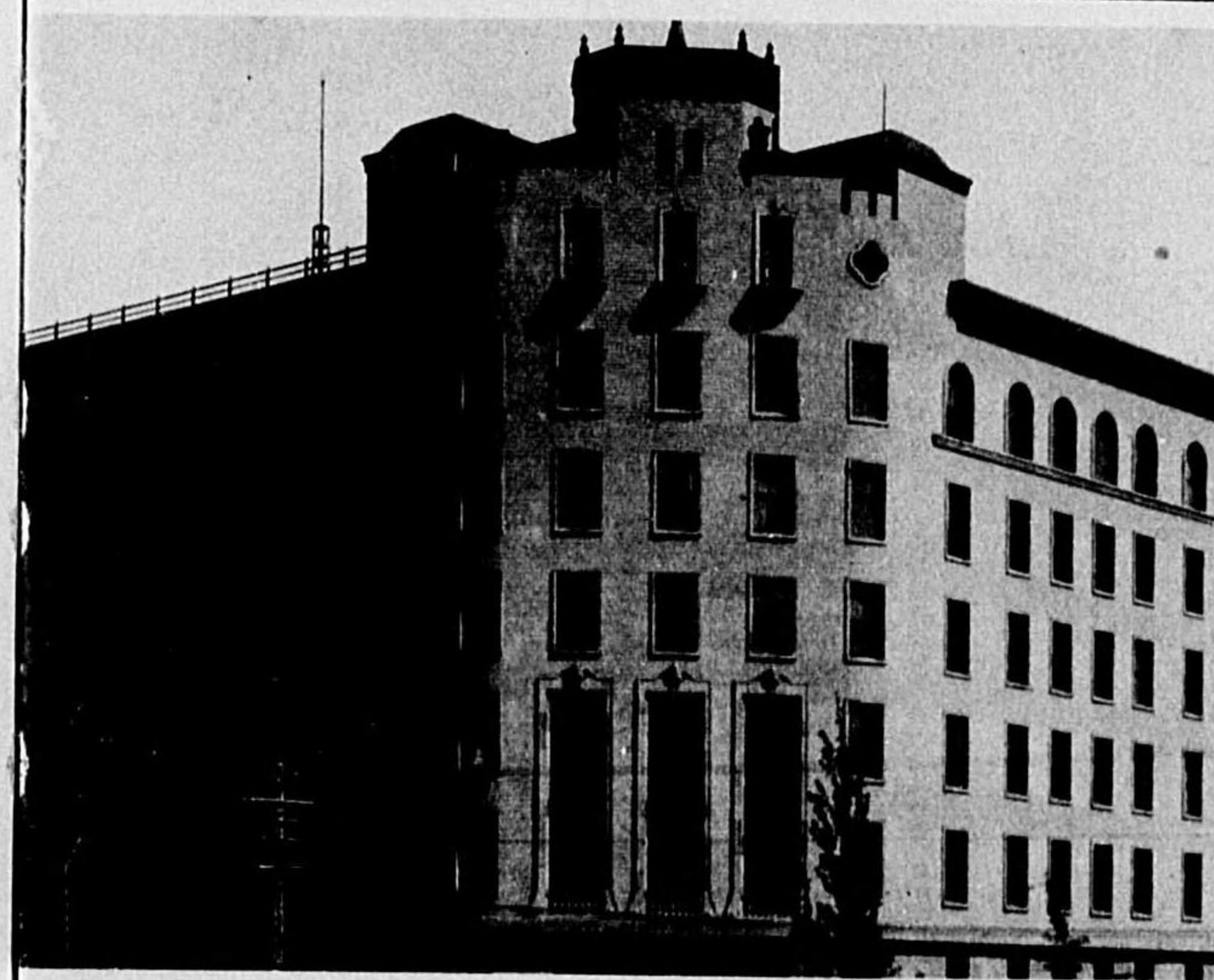
日本生命會館は、延約九千坪の八階建てで、東洋風を基調とした近世式の大ビルディングである。その様式と外装材の色調とは渾然相融和し、東京日本橋通りに巍然として威容を誇つてゐる。

院病部支岡静社字十赤本日



日本赤十字社静岡病院は、採光、通風、衛生、暖房等最新式の設計に成り、病院建築としては模範的のものであり、静岡市中に於ける有数な建築物である。

店商萬藤伊



伊藤萬商店は、大阪本町の問屋街に於ける白眉のビルディングでその高く聳ゆる淡黄色の殿堂は鶏群の一鶴たる觀があり、大阪隨一の呉服問屋として店舗經營に一新紀元を劃したと言つてよい。

場劇本日

日本劇場の代赭色の柱列を載いた壯麗な姿は、有樂町附近の高層建築街に一段の光彩を放つてゐる。地上七階地下三階の約五千坪に達する大劇場で、殊に内部の艶麗さは彌が上にも歡樂氣分を沸き立たせ、就中壁面のモザイクタイルの如きは最も衆目を引いてゐる。



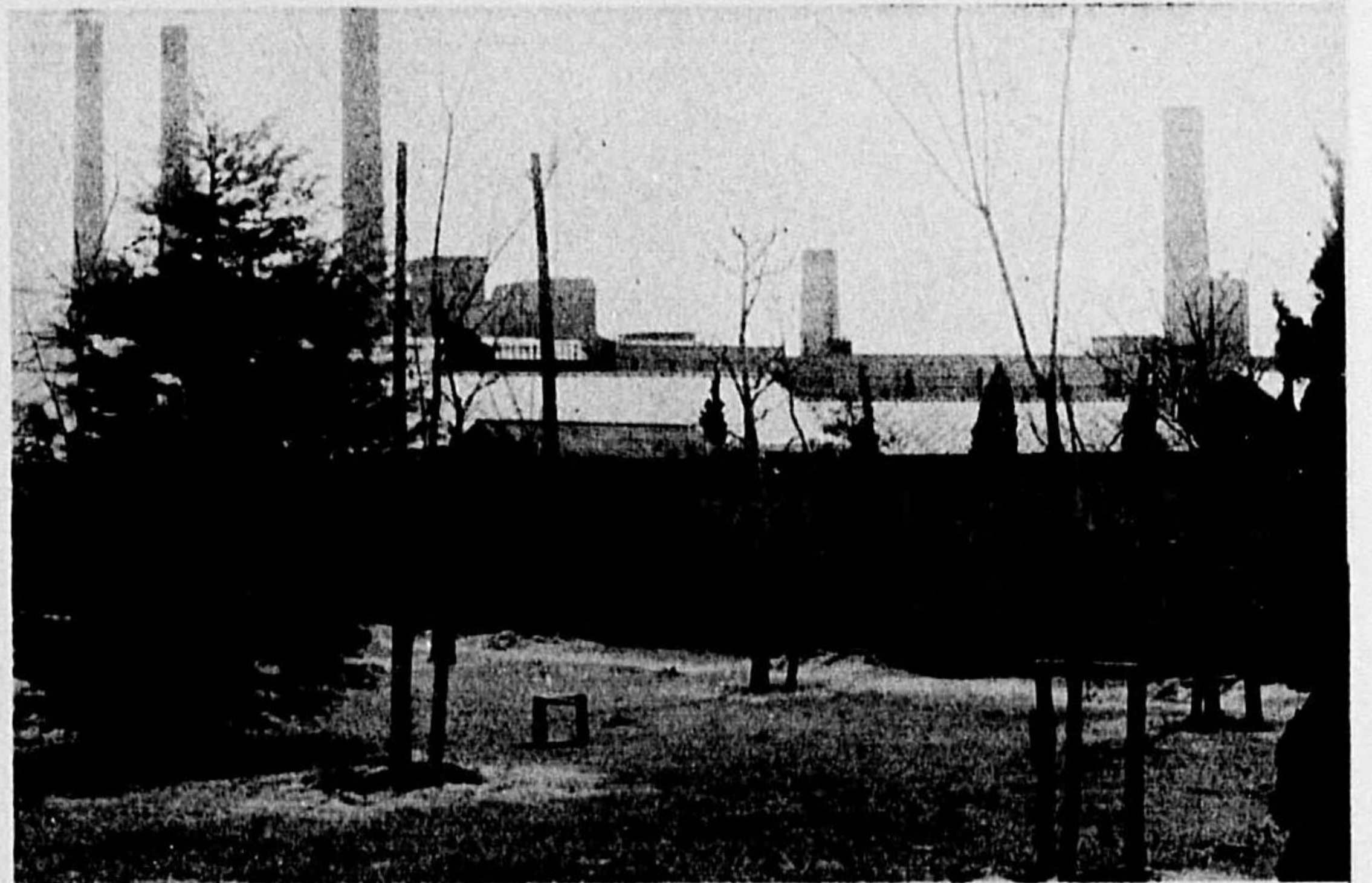
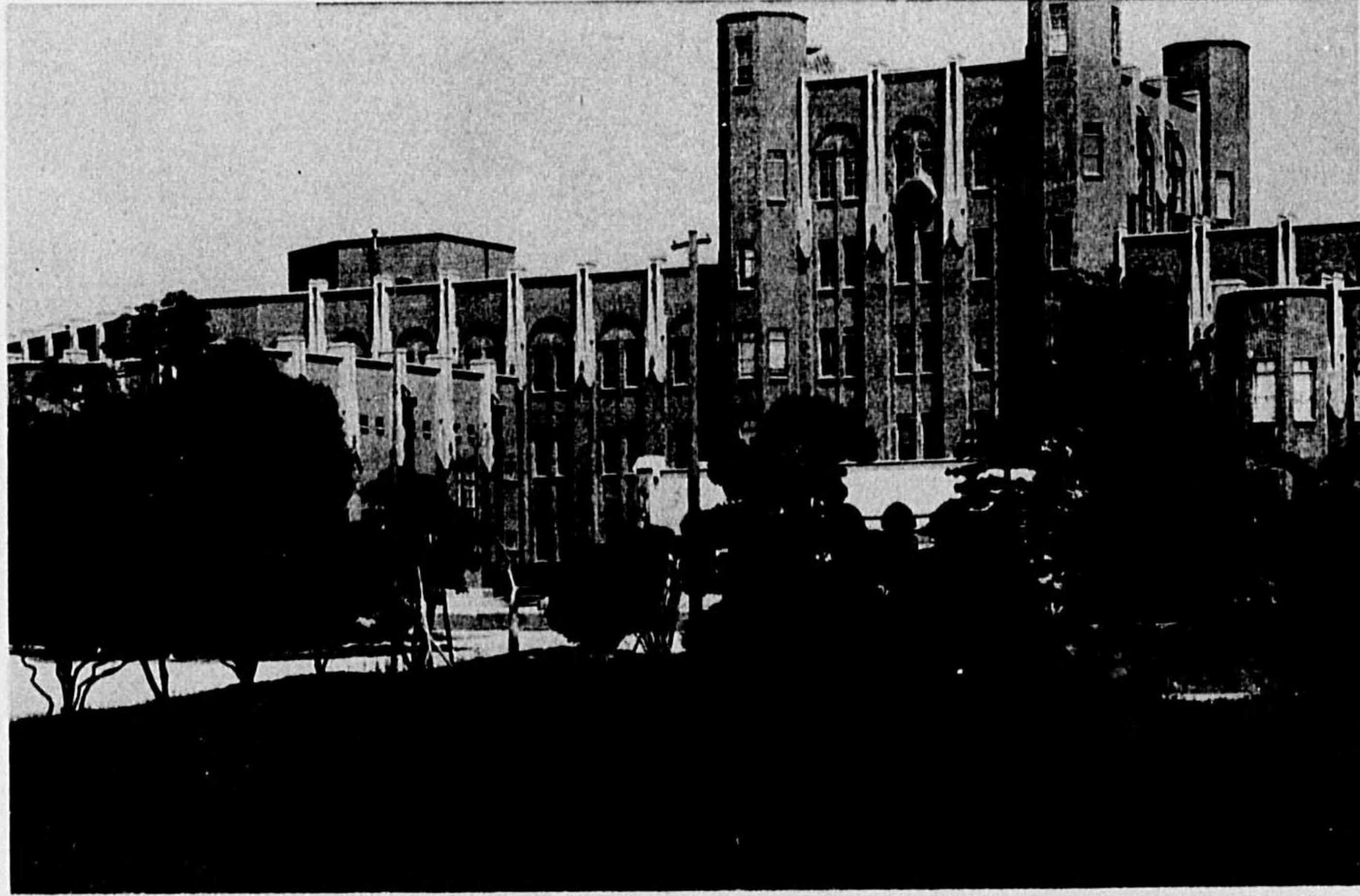
間廣開女場劇本日

天神橋

昔時から天満・天神・難波の三橋は浪速の三橋と呼ばれ、大阪に於ける幾百千の橋梁を代表する名橋として知られてきた。その橋中の難波及天神の二橋は當組の施工になつたものでその光榮を喜んでゐる。天神橋は當組本店の傍に架せられた球を列べた鋼のデッキアーチや、梅鉢をあしらつた電燈柱などの軽い感じの新鮮味は、中之島公園の環境にピッタリ合致してゐる。又その中央から中之島公園に昇降が出来て回り階段式が珍らしい。

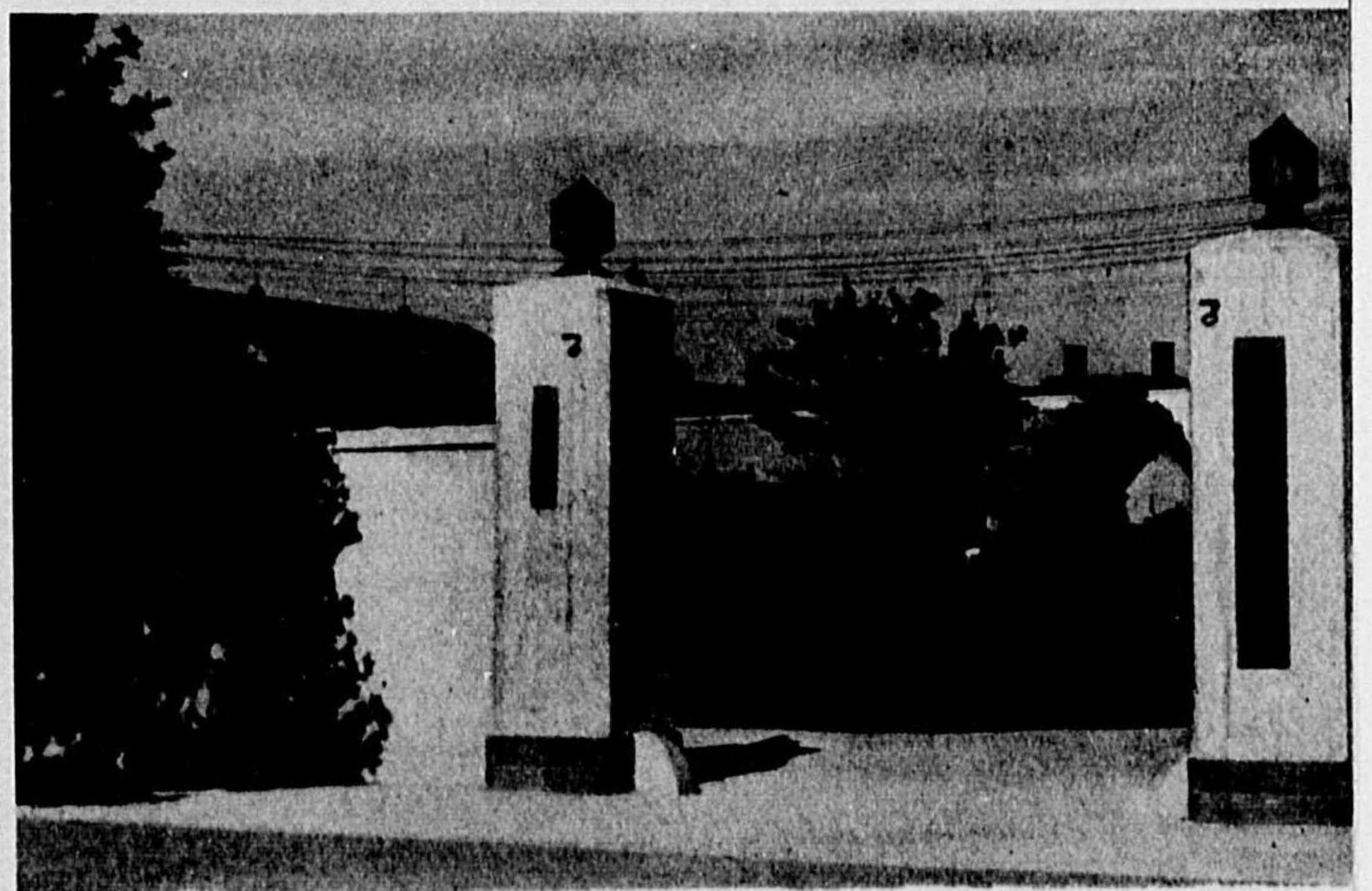


傳染病研究所



帝國人造絹絲會社三原工場

倉敷絹織及帝國人造絹糸の兩社は、共に纖維工業界に於ける屈指の大會社であり、本頁三原・新居濱工場の外に兩社共數ヶ所に大工場を有つてゐる。當組は幸にそれ等の工場建築にもその任を辱めした。尙四國の新居濱・西條・今治・中國の岡山・倉敷・神島・三原・竹原・大竹・麻里布・下松・三田尻等の瀬戸内海の沿岸は、工場地帯として年々歳々大工場が次から次と建設せられ素晴らしい活氣を呈してゐる。



倉敷絹織會社新居濱工場



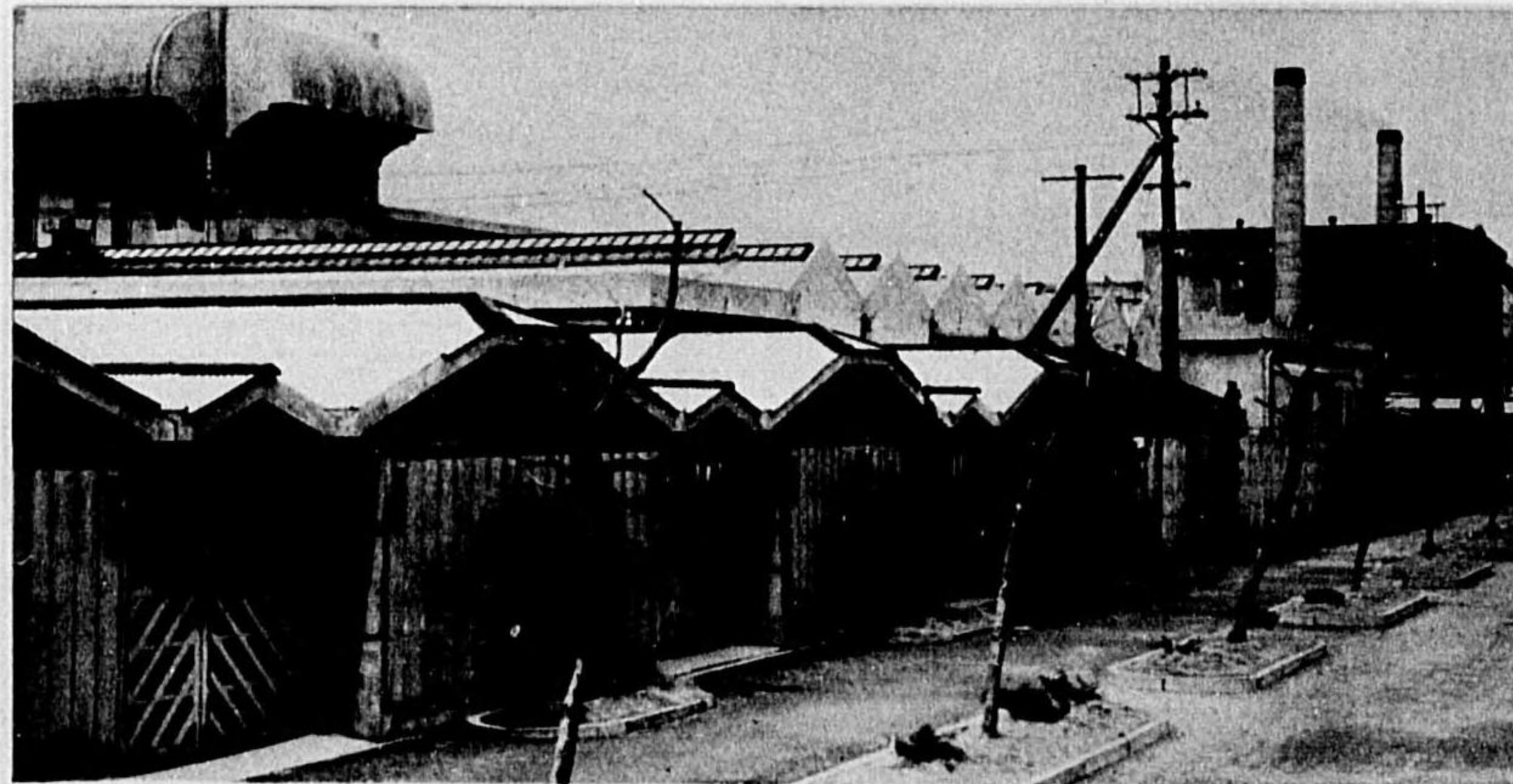
日本電信電話社

當年に至り財界の沈滞も漸く拭拂されて一陽來福の觀を呈し、新請負工事は急激に増加して平年の倍額を示した。即ち當年に於ける主なる新請負工事を舉げると、東洋鋼板下松工場・瀧岡社丹江機庫・南滿洲電氣井手火力発電所・瀧岡社第一工場・關西共同火力発電所・同電氣三橋発電所・東邦人壽機庫・鐘ヶ浦製紙工場・庄内川レオン工場・淀川長柄橋・淺野セメント香春工場・鐵道省三宮驛・大連航空機庫・大日本紡績高田工場・阪神電氣元町地下線・毒製作所工場等である。

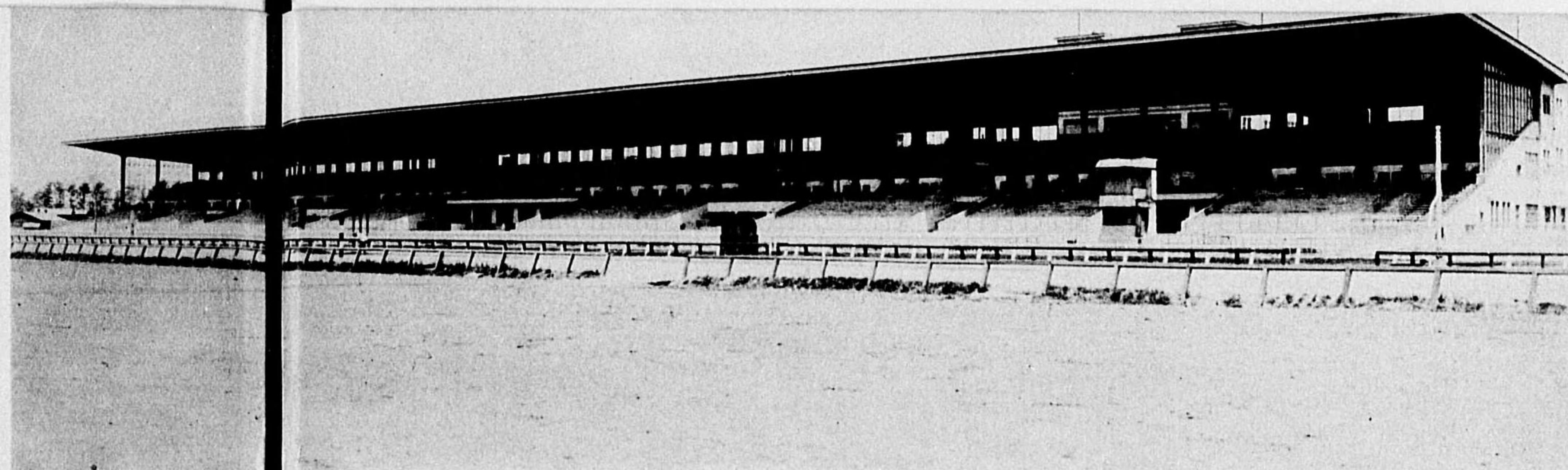


神戸商業大學

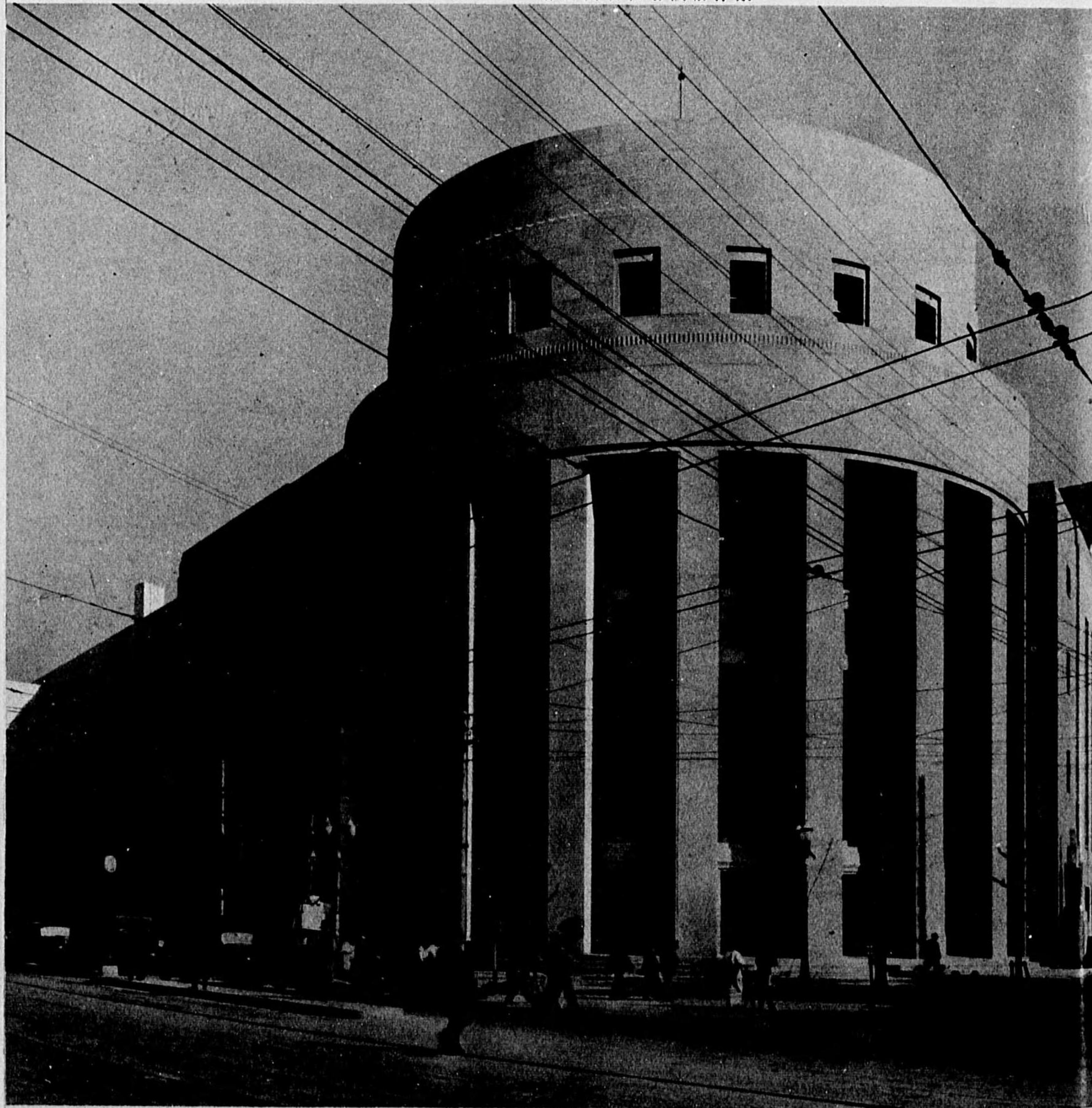
神戸商業大學は六甲山下の高丘、茅海を一時に集める景勝の地赤松城址に建設され、そのモダンルネッサンス式の大校舎は、これを遠く海上より眺めると六甲山の青緑から白く浮出して大宮殿のやうな趣がある。



場工賃教社會織紡洋東



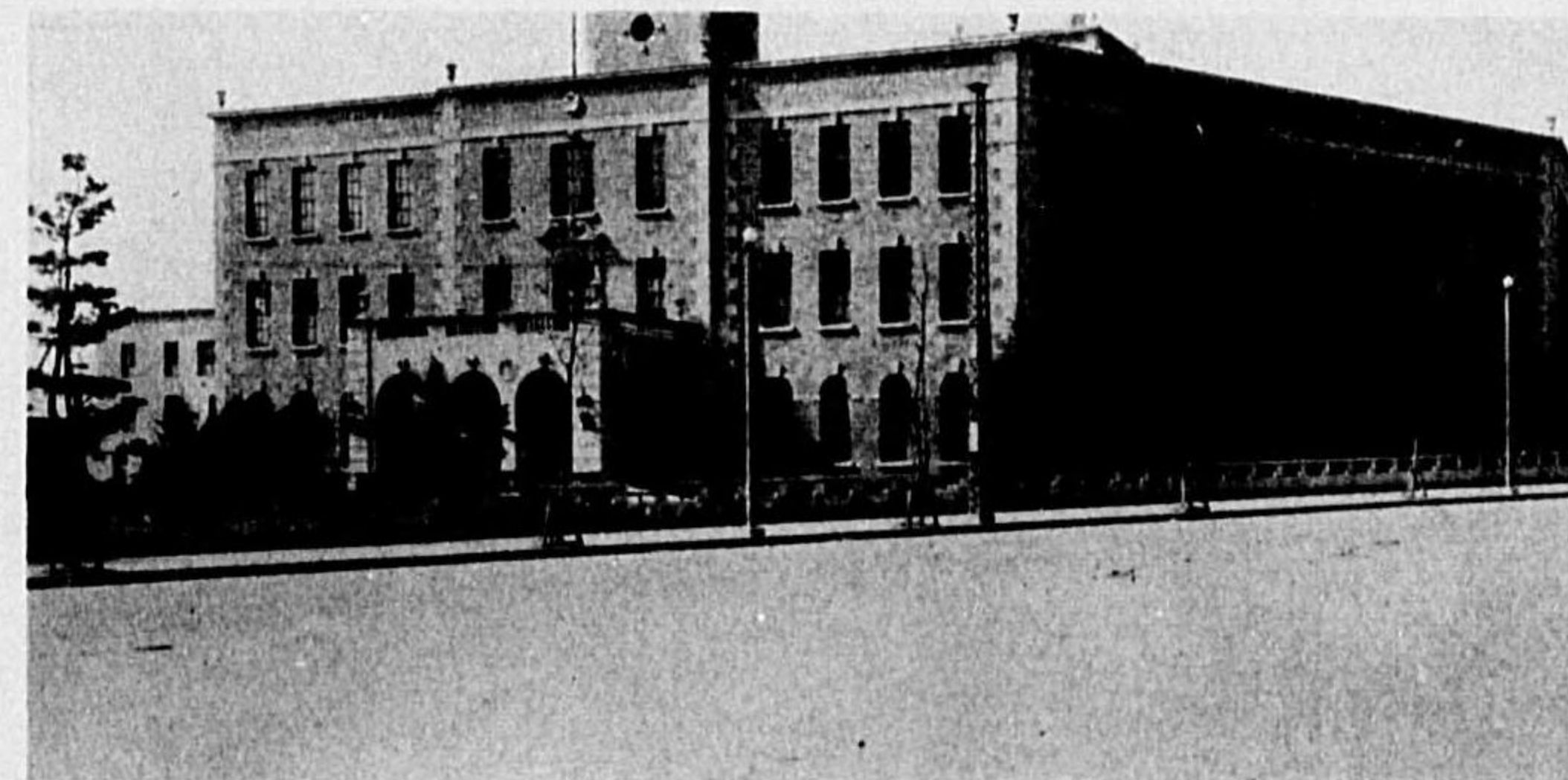
部樂俱馬競神阪



第四十四年・昭和十年

院府阪大會生濟

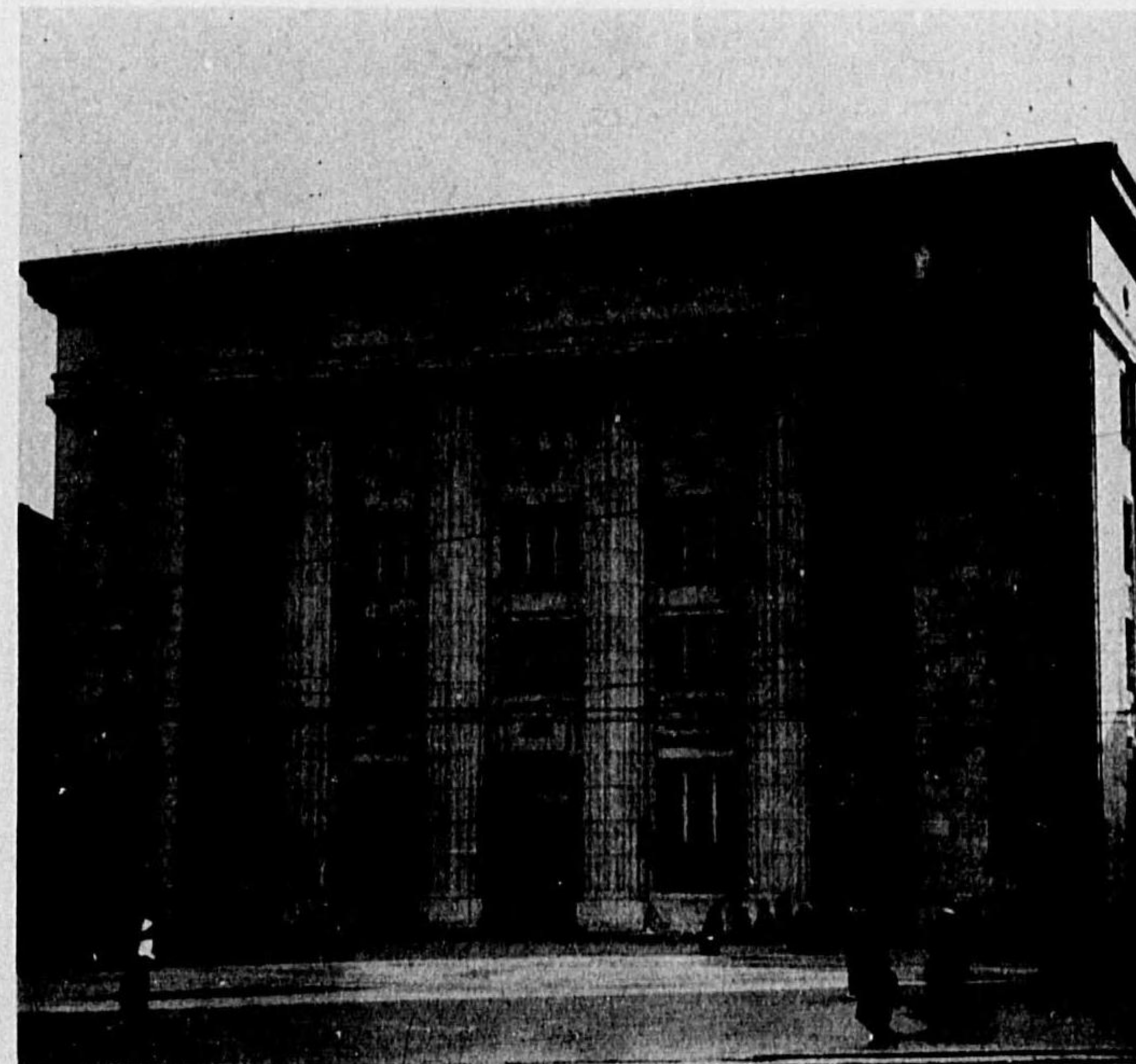
當年に於ける主たる新馬場工事は日本鋼管川崎工場  
 雷南水利組合築堤・瀧渡渡船・山田温泉ホテル・公  
 主銀行飛行機倉庫・中国レコード工場・大丸神戸店  
 平塚航空支店・飛行第九隊・那谷飛行学校・大阪機  
 式取引所事務所・日本板橋子四日市工場・瀧洲船渠所  
 船山工場・東邦電力川邊発電所・日清第二発電所・  
 島津製作所・九州支店・淀川橋法大橋等である。



行銀蓄貯鮮朝

所引取式株阪大

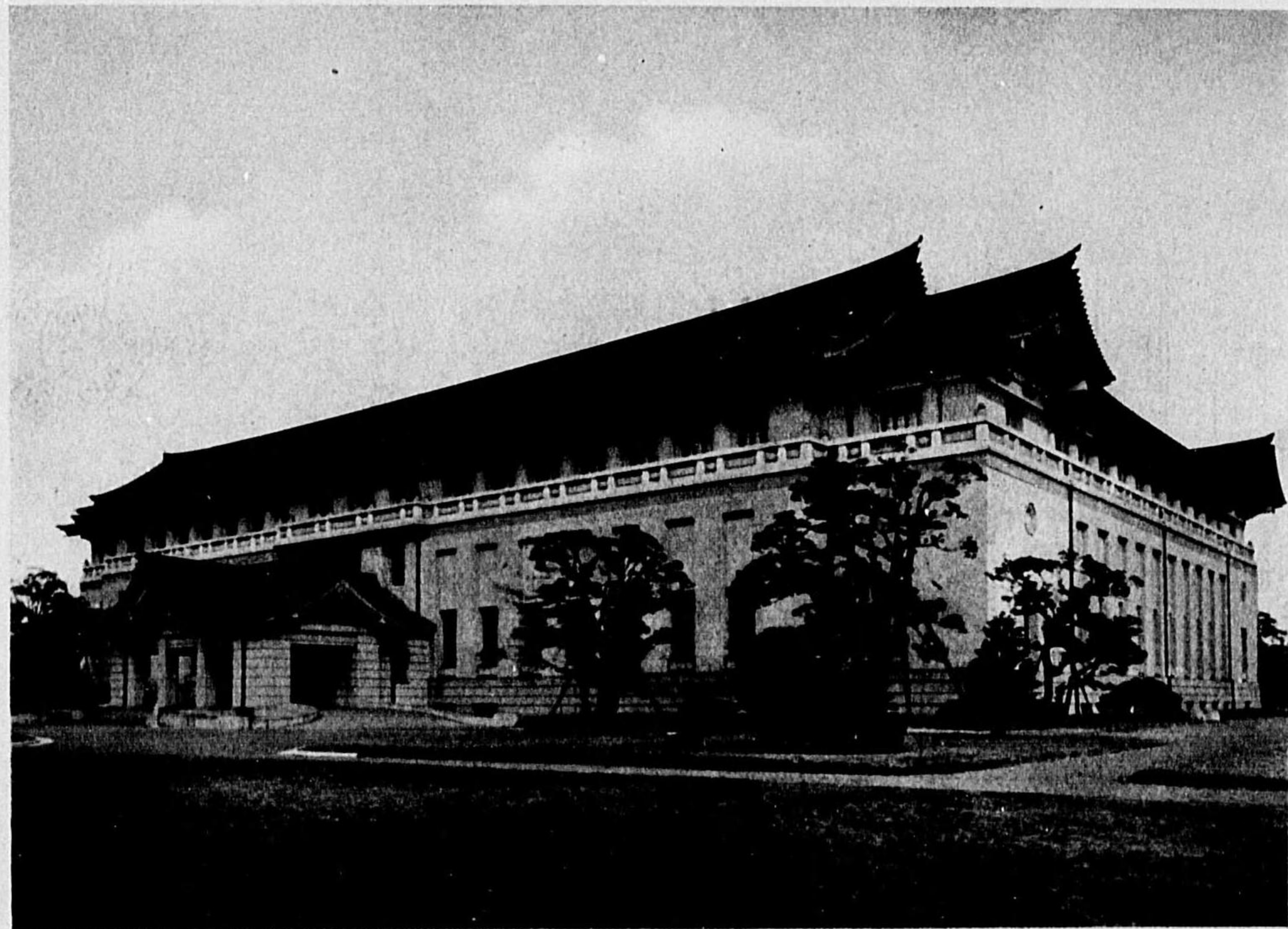
大阪株式取引所は、大阪に於ける紐育のウォール街と  
 稱せられてゐる北濱に、羅馬の古城でも見るやうな大圓  
 塔を戴くドッシリとした大建築で、内部玄關・立會場・  
 判取場・廣間等の構造の上にも外観に等しい豪華な気分  
 が現はれ、徹頭徹尾線の太い雄大な建物である。





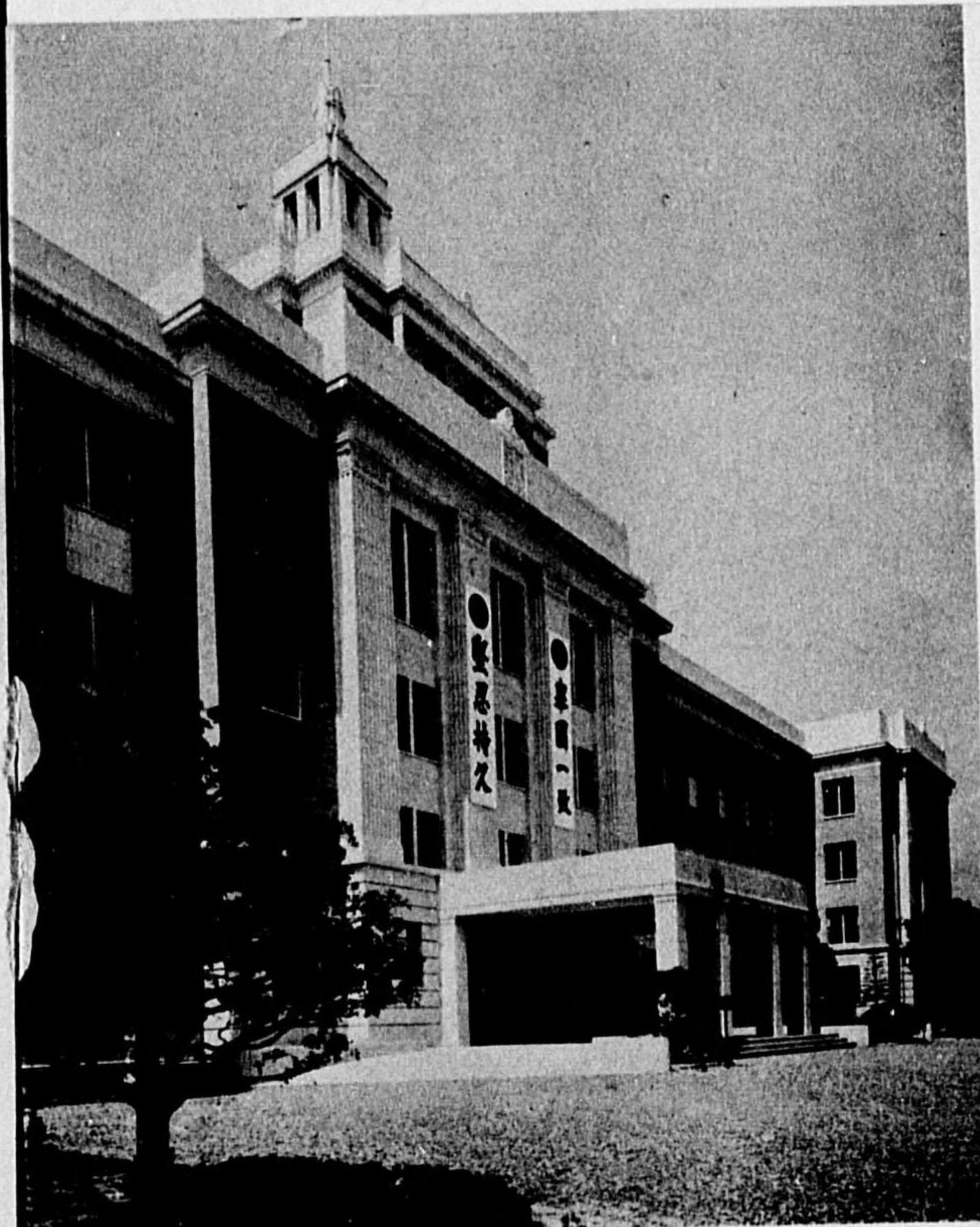






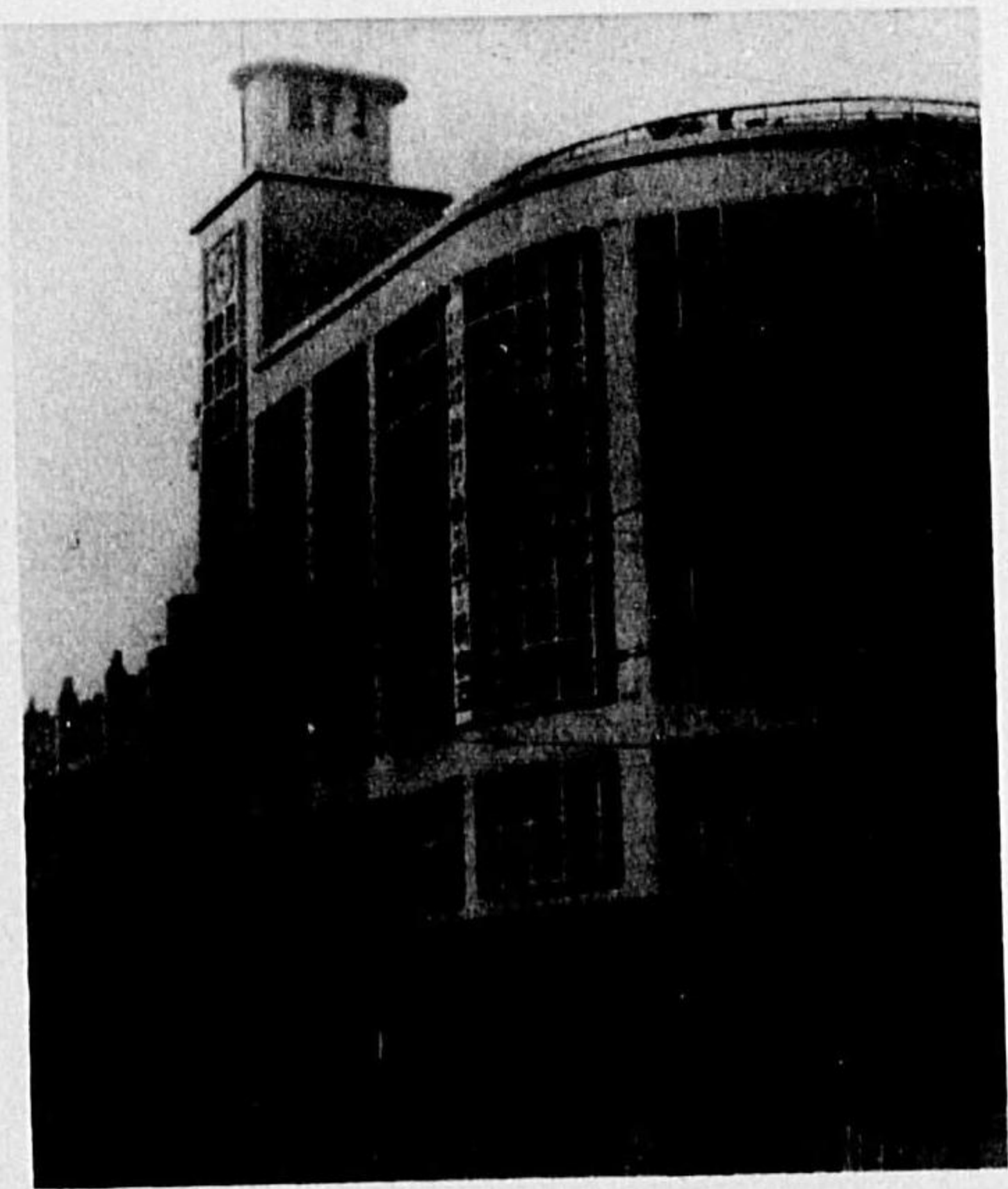
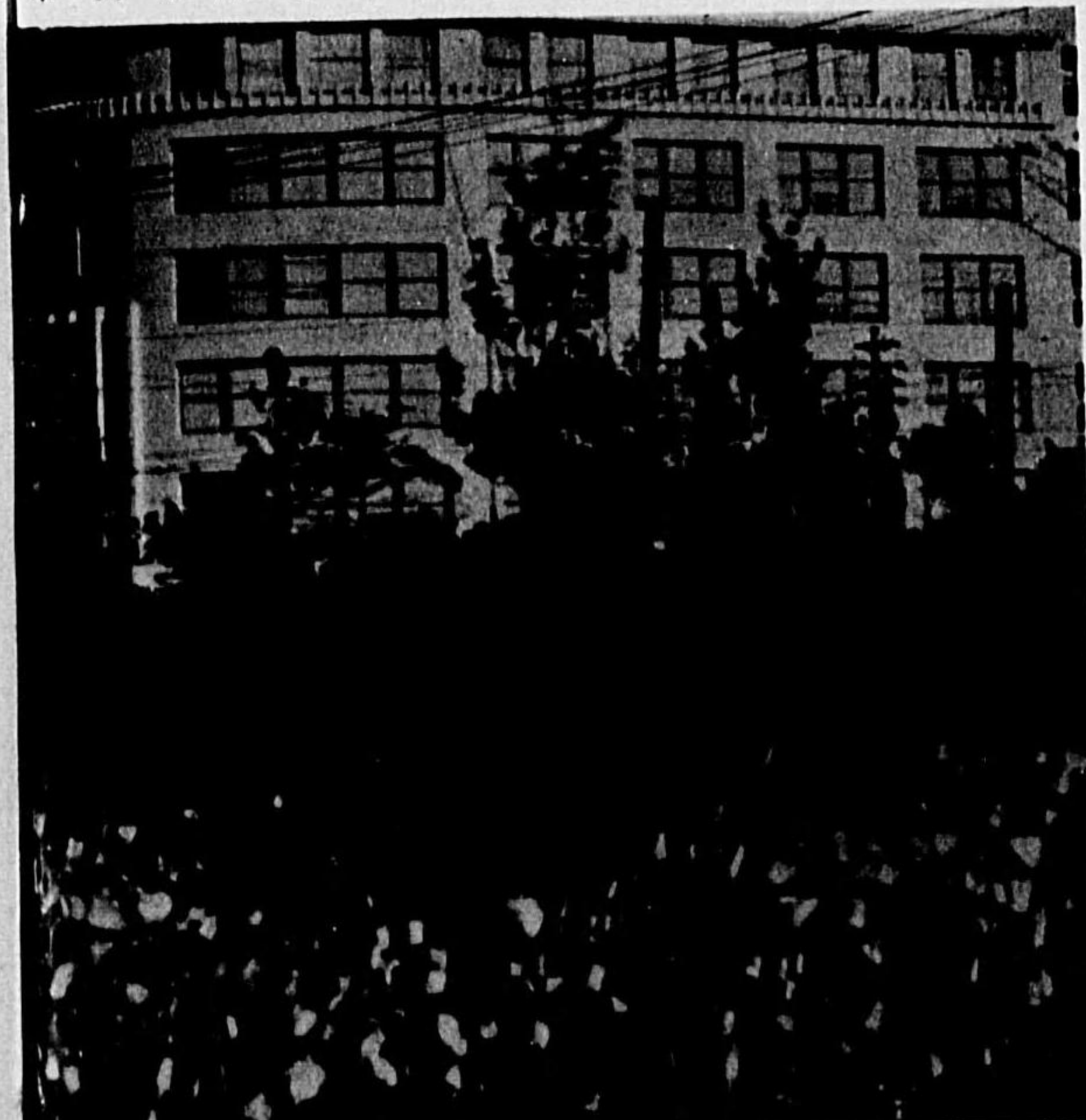
帝室博物館は、心にくいまでに優美な屋根の曲線と、安定そのもの、やうな厳然たる姿、そして滋味を帯びた茶褐色の壁と、櫻御影で装つた麗麗な壁面。これ等形態の美と色調の妙は、畏くも我が帝室の寶庫を表徴する氣高さがあり、その他科學的設備の優秀さなど、眞に世界有數の博物館と云ふべきものである。

東京帝室博物館

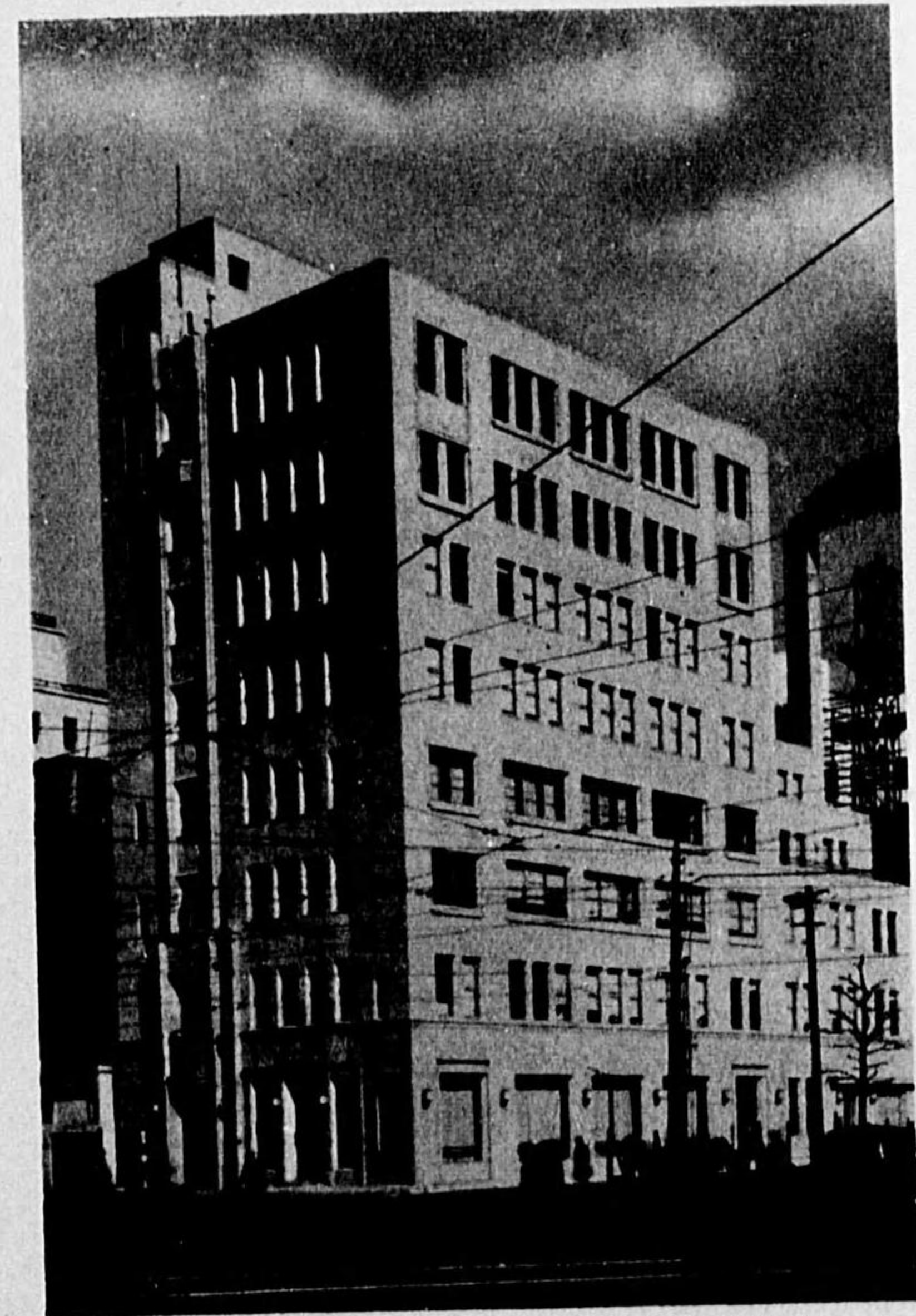


蘇州縣廳舍

大鉄百貨店

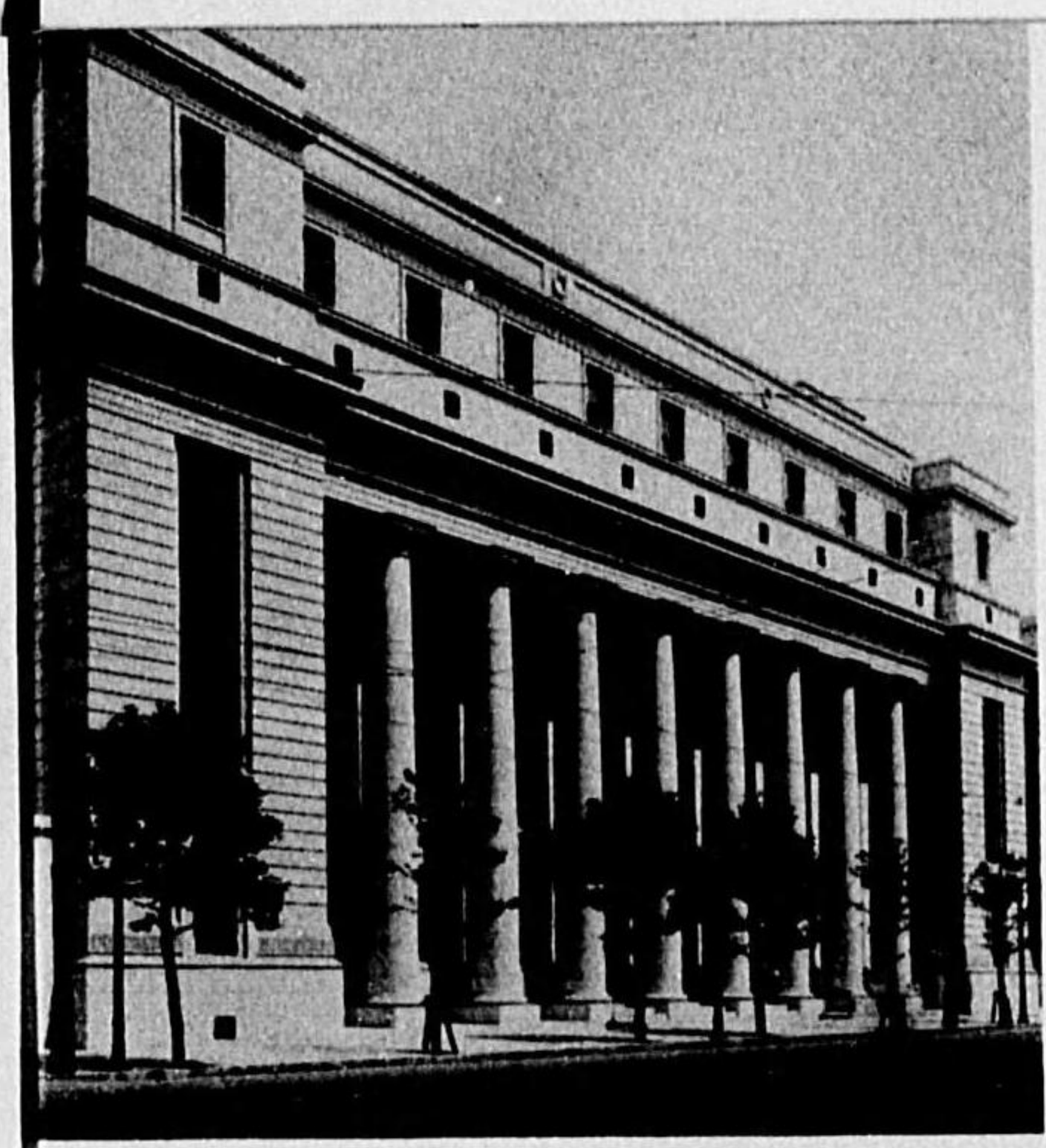
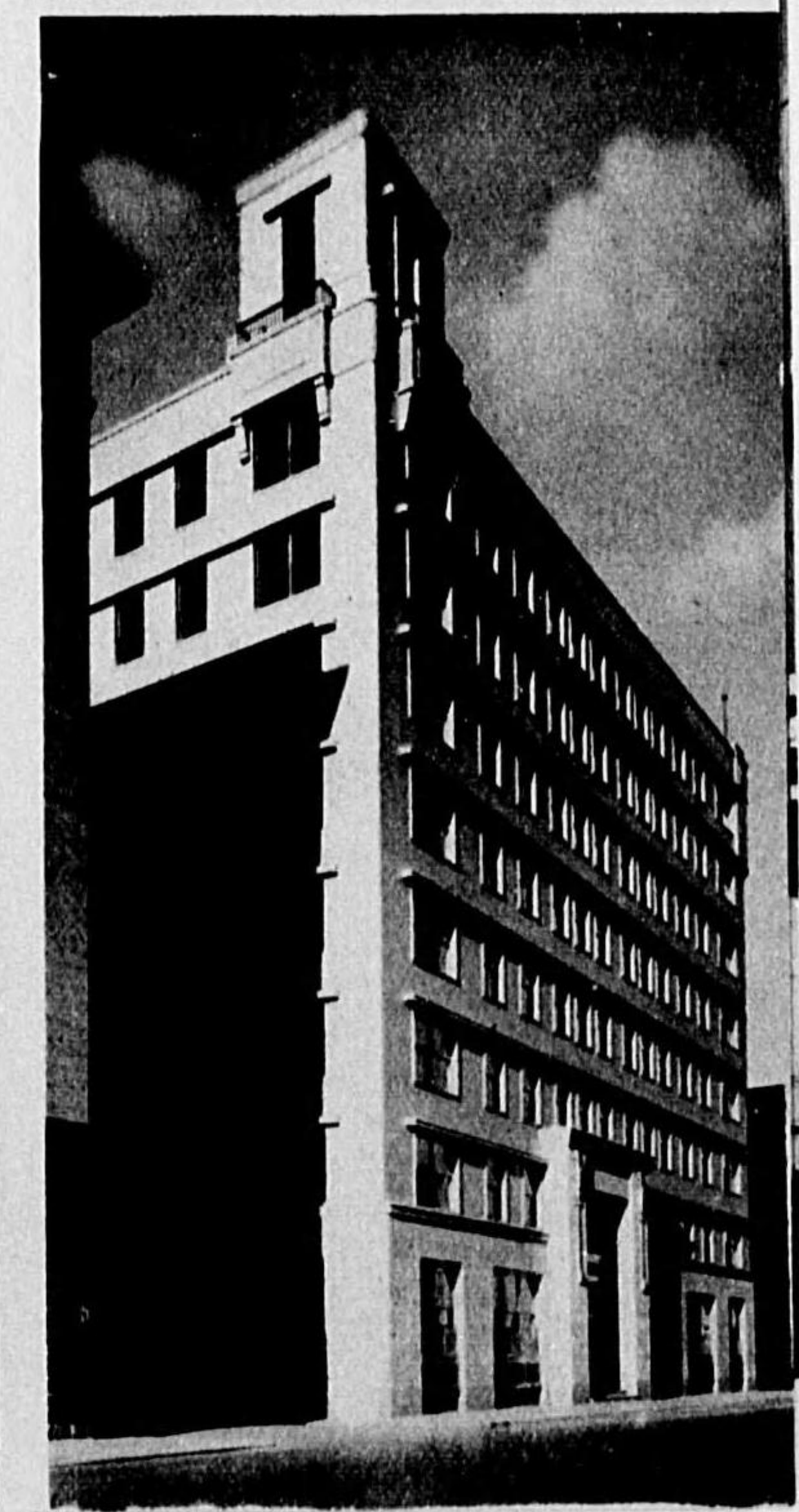
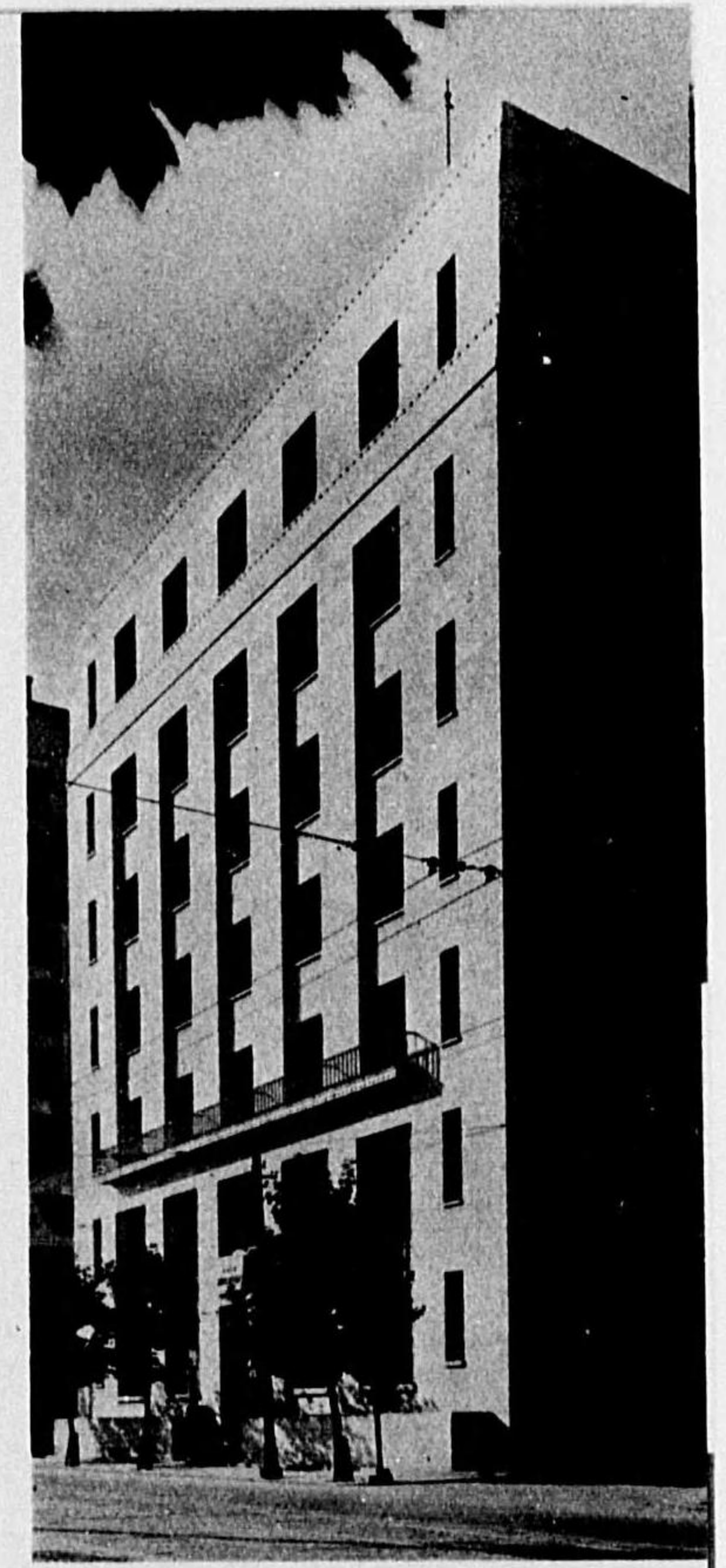


東京市庁舎

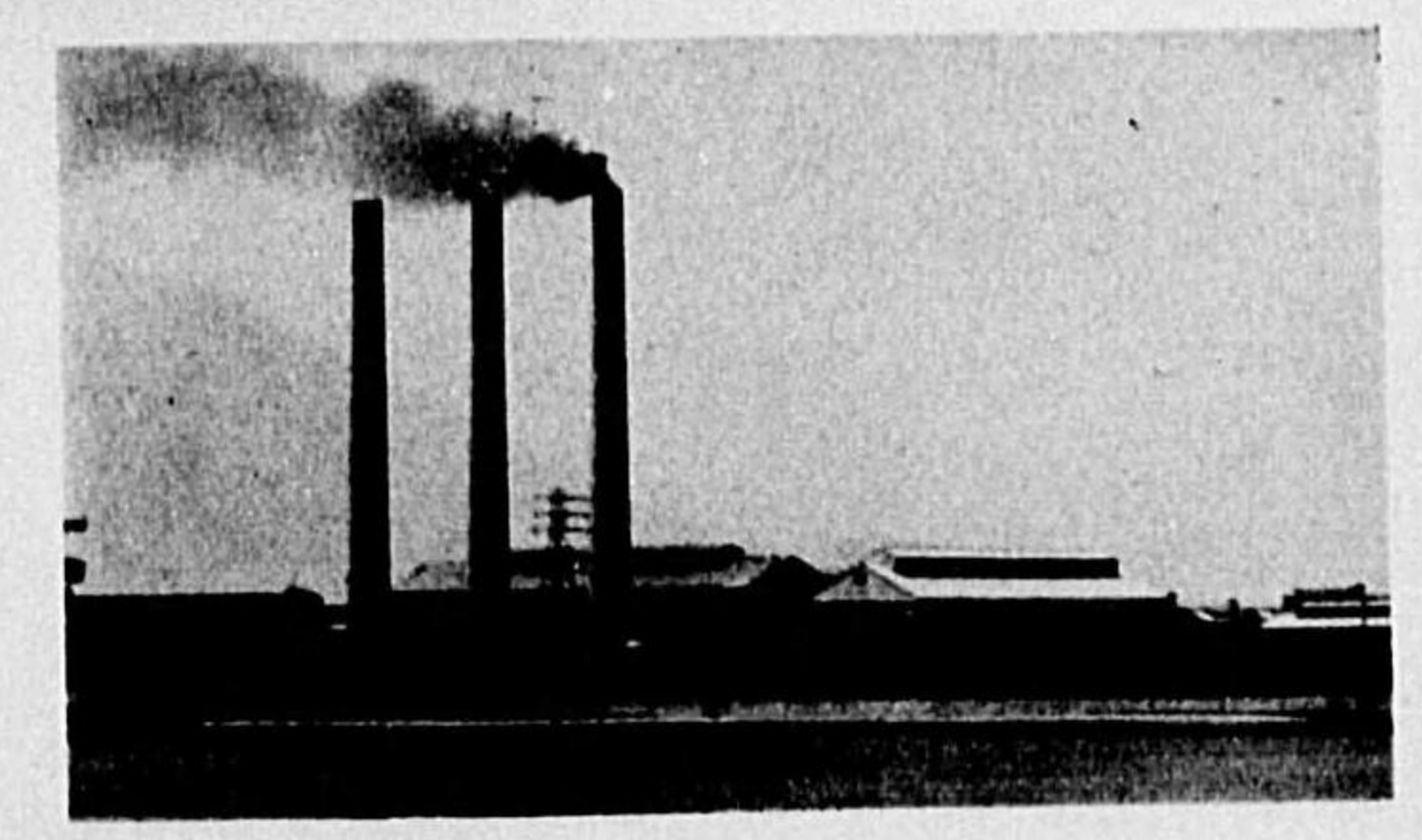


大正生命保險會社

三菱銀行は、花崗石の柱列で成つた豪華そのものの古典的な建物、巨巖のやうな泰然なる落着きを見せてゐる。佳麗を若し女性的とするならばこれは確に男性的の威厳がある。由來三菱銀行系の建物はこうした重みを濃厚に有つてゐる。これを以てしても内容の堅實さが窺ひ知れる。三菱商事ビルディングも青味が、つたマイルの重々しい感じを有つてゐるばかりでなく、内部構造の整備せる點等はビルディング工事中の白眉と云つてよからう。



三菱銀行



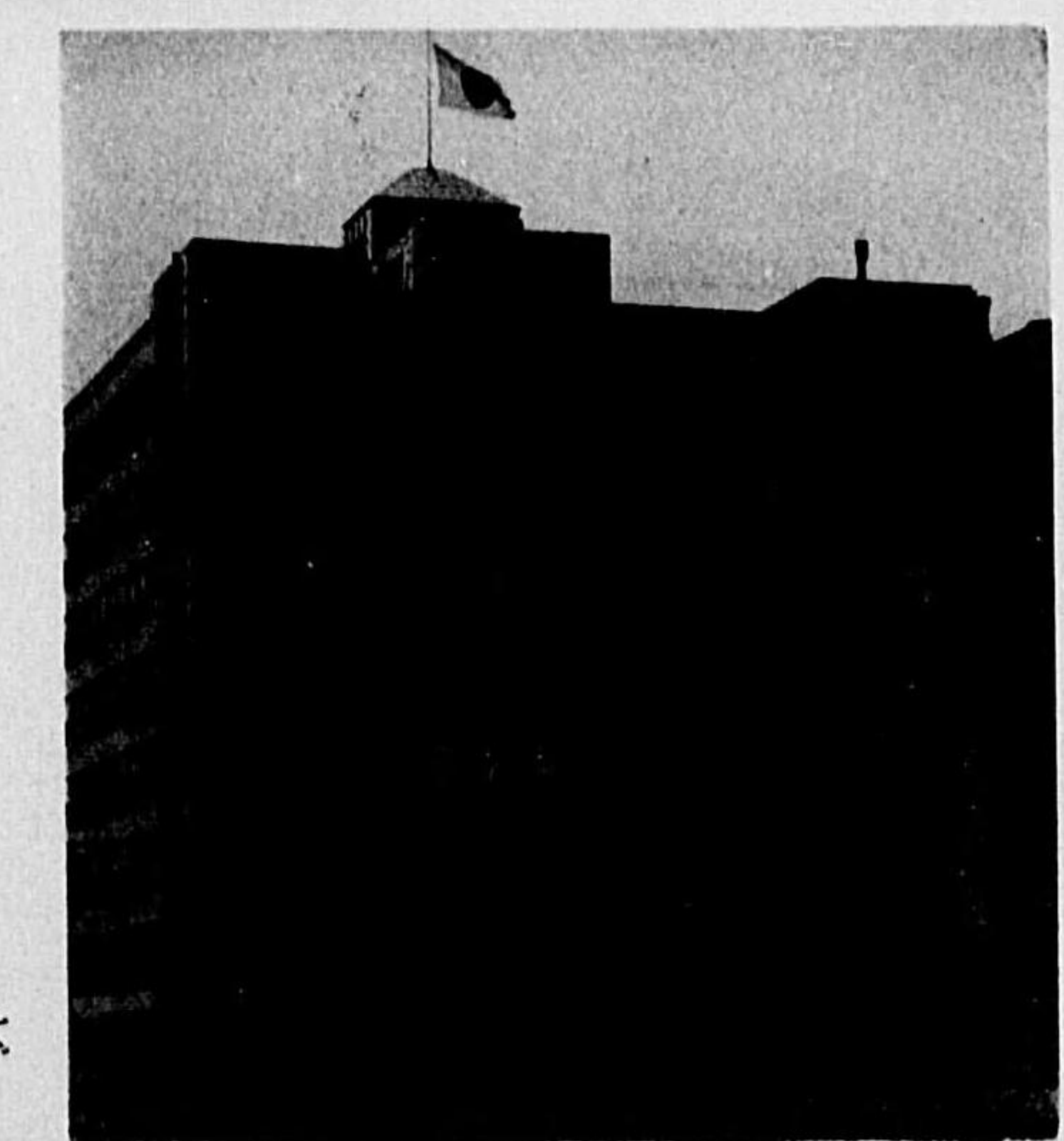
會敷織績社會岡山工場



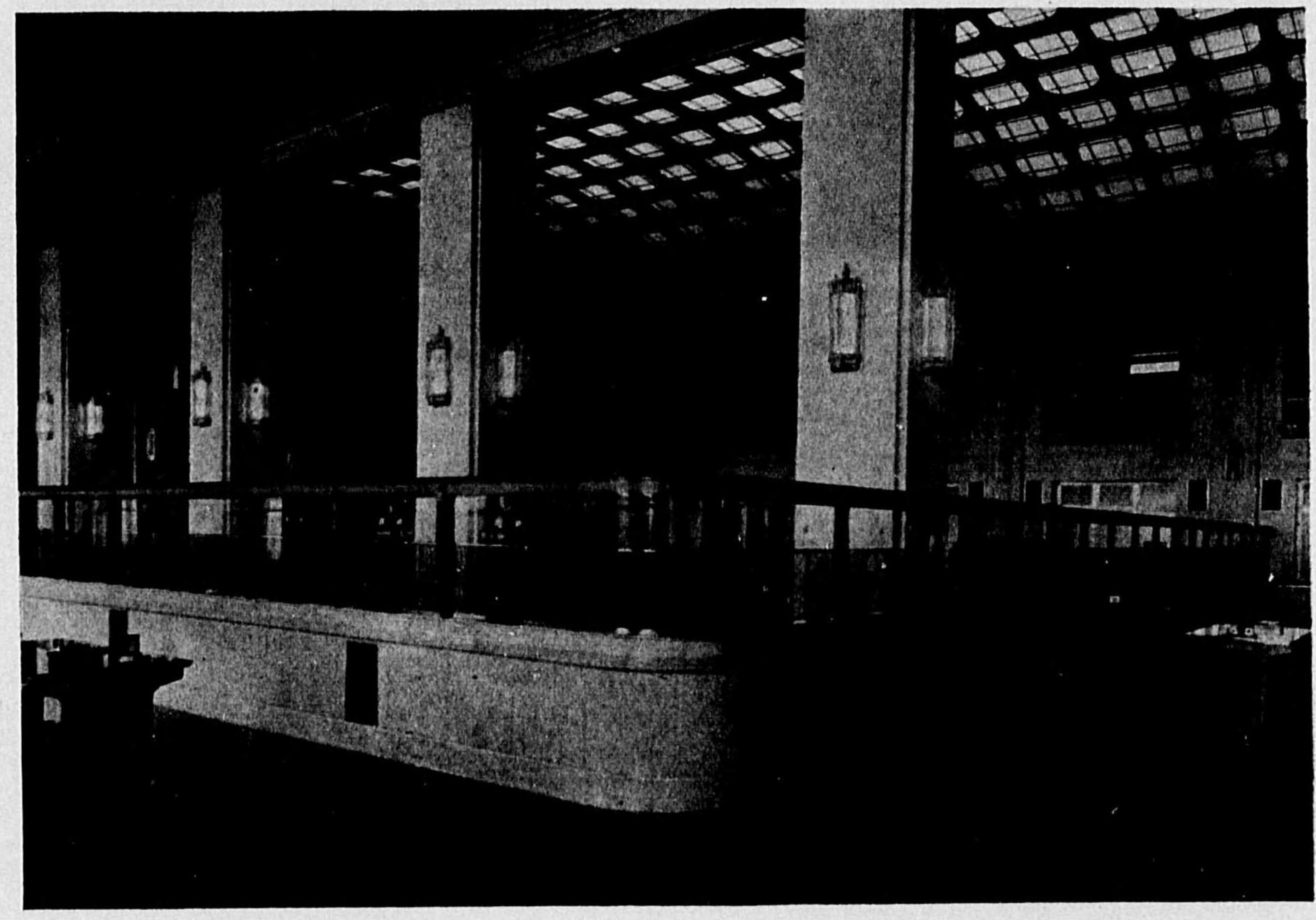
大阪株式取引所事務所

三菱商事會社

富士織業工業會工場



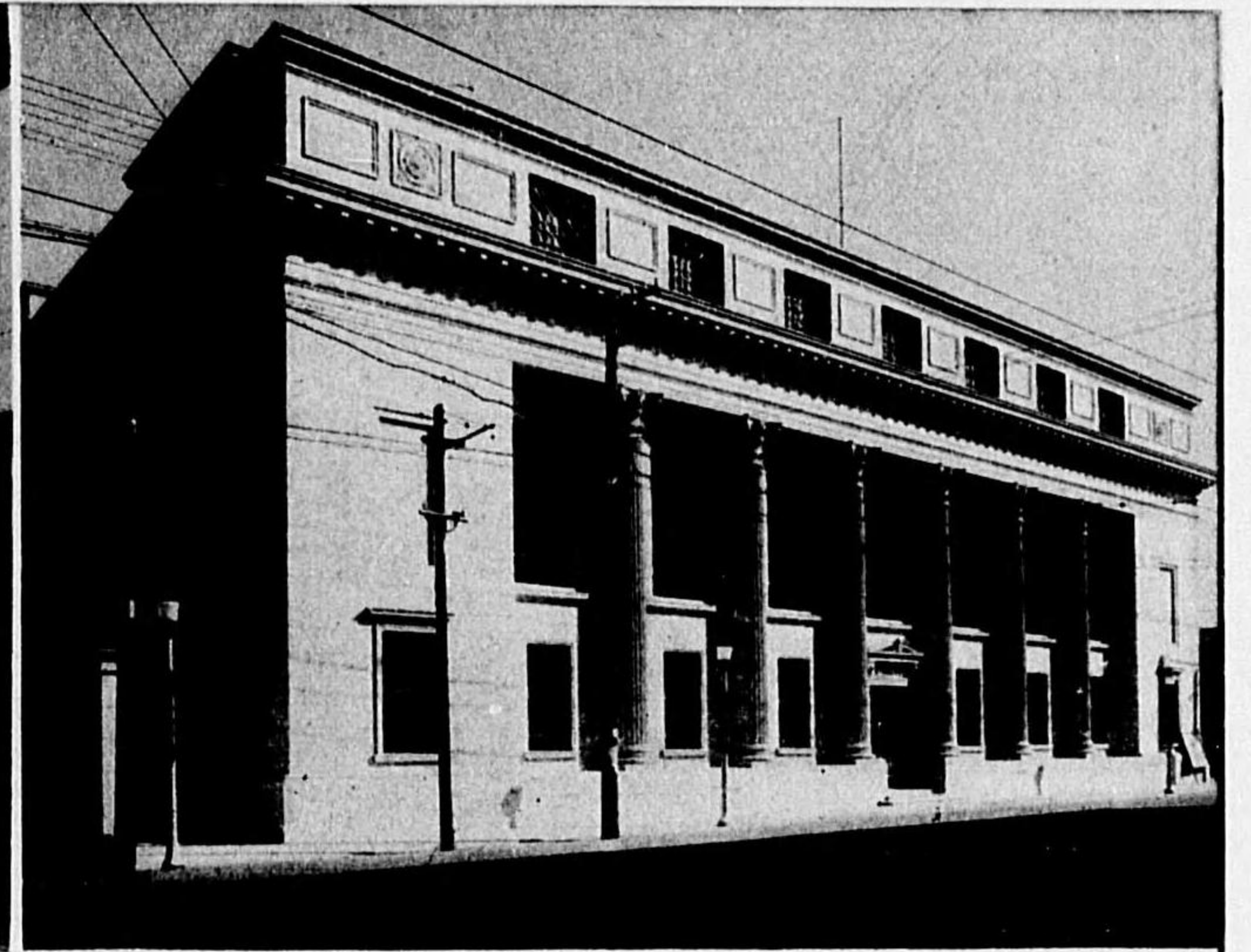
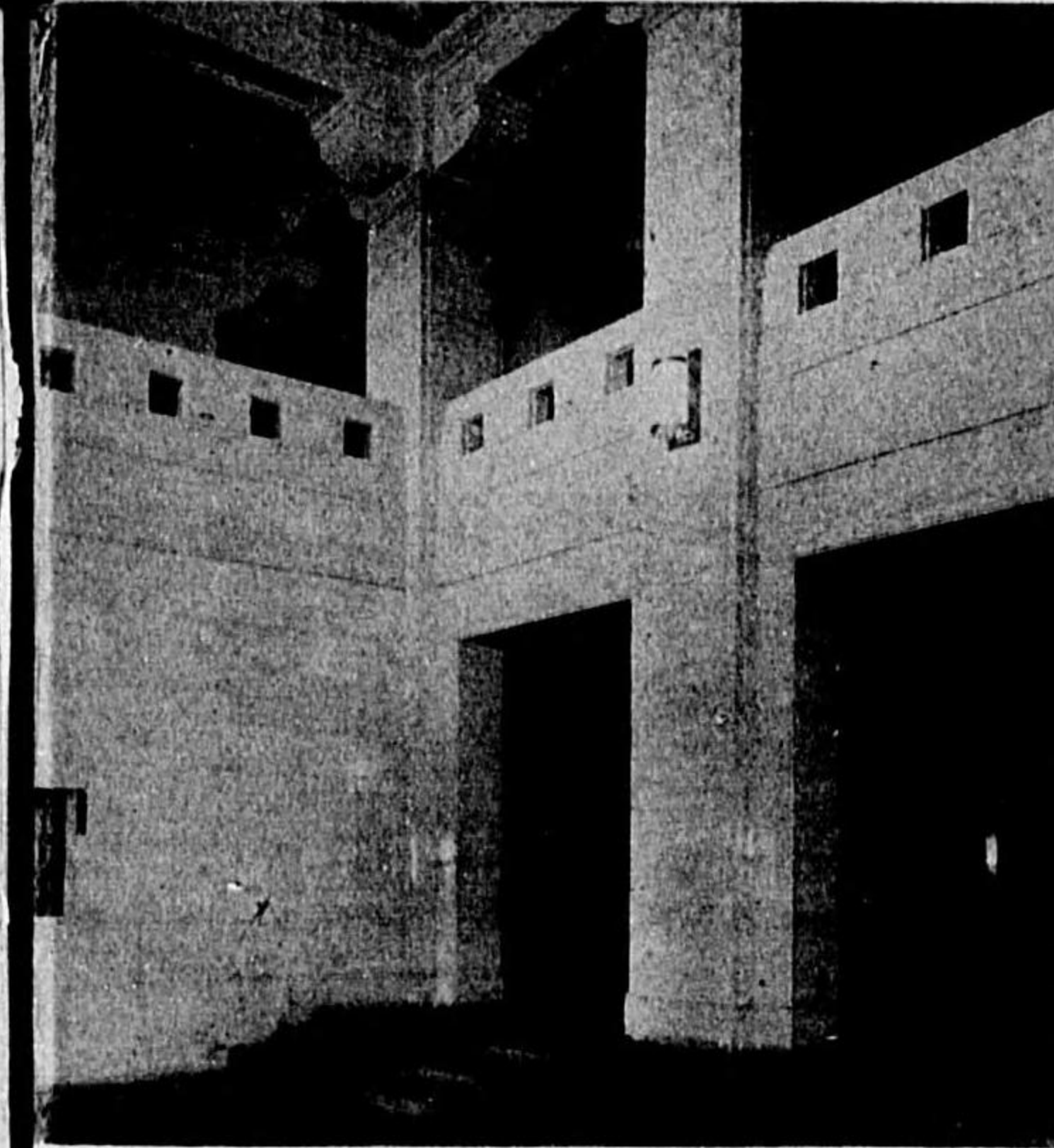
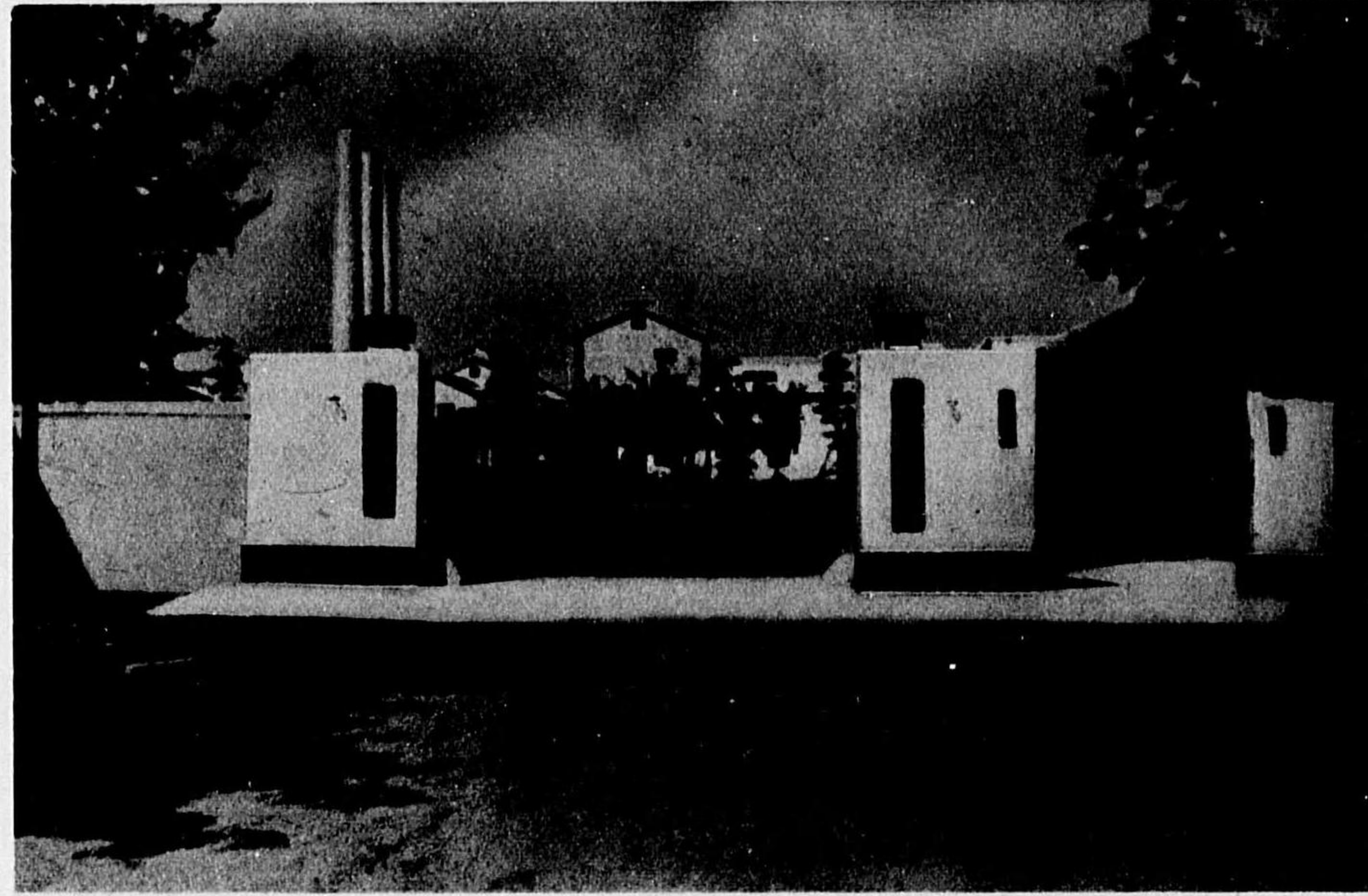
大阪ビデルグ新館



三菱銀行本行店營業室

第四十八年・昭和十四年

社會織絹敷倉  
揚工條西



舎廳部安治國洲滿

店支國福行銀井三

第四十七年・昭和十三年

ゲンイデルビ京新社會險保災上火海京東

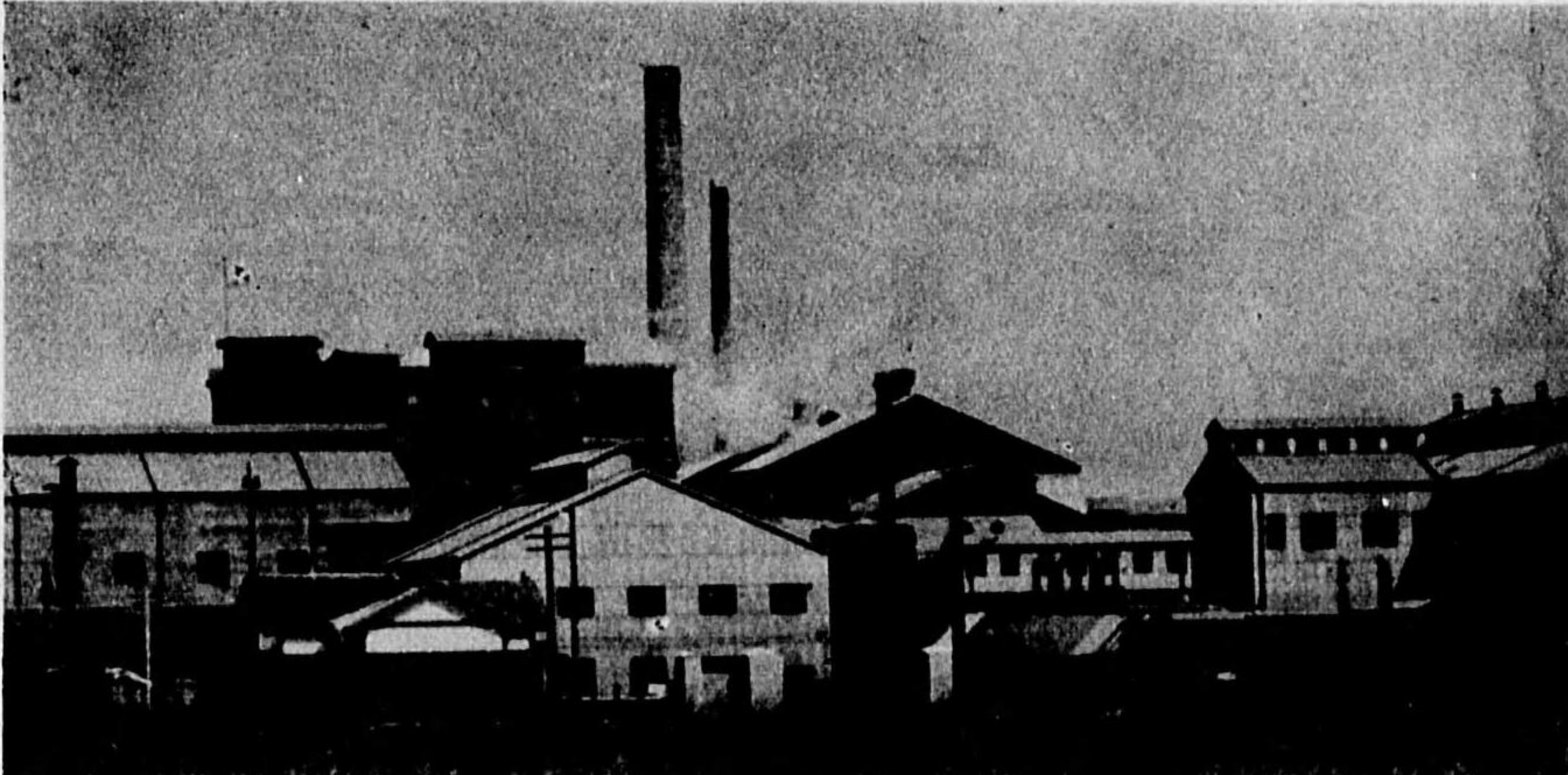


本年に入つてからの軍關係の各工事は依然として増加するのみならず、華北交通石家莊軍車庫、國華護國奉天工場、東京高橋橋、朝鮮鐵道中央、三義鐵道研究所、瀋陽鐵道、滿鐵鐵道、大同製鋼業地工場、青島沿口飛行場、古河電氣尼崎工場、日本通信工業工場、第十四師團館林○工場、瀋陽鐵道生計支部、三義鐵道手稻山鐵道所、大日本セメント天津工場、日本製鋼所、三義鐵道丹江社、東北特殊金屬工業工場、瀋陽飛行場、三義鐵道製鐵所、瀋陽鐵道甘井子發電所、神戶製鋼所、三義鐵道鳥塔ペン工場、阪神間住吉川水害復舊、大阪瓦斯石島工場、日本アルミ發電、大同製鋼所、臺灣電力發電所、朝鮮鐵道京義線開城線、東北振興、ハルビン工場、大野浩機務所、華北交通河橋、華北交通北京支事務局、富國人朝親父江工場、發勸製遺池田工場、川崎重工業明石工場等である。

部樂俱馬競都京



日東化學工業會社八戸工場

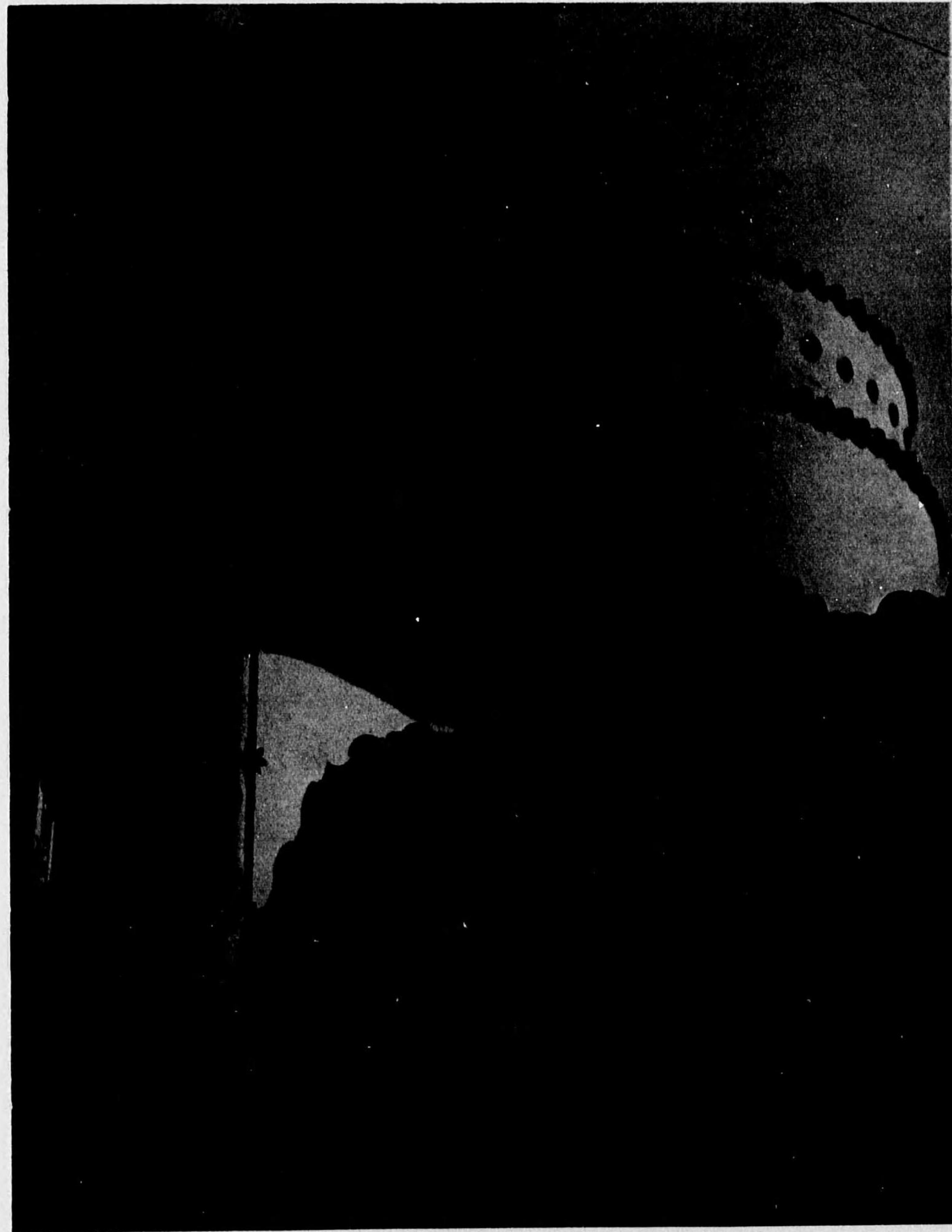


山陽ハルア會社麻里布工場



當年に於ける軍關係の工事は更に激増し、その新設工事は前記以来のレコードを示すに至つた。新設工事は、三義手稲山青化工場、日本製鋼所、川崎鐵道研究所、瀋陽鐵道、東京高橋橋、朝鮮鐵道中央、三義鐵道研究所、瀋陽鐵道、大同製鋼業地工場、青島沿口飛行場、古河電氣尼崎工場、日本通信工業工場、第十四師團館林○工場、瀋陽鐵道生計支部、三義鐵道手稻山鐵道所、大日本セメント天津工場、日本製鋼所、三義鐵道丹江社、東北特殊金屬工業工場、瀋陽飛行場、三義鐵道製鐵所、瀋陽鐵道甘井子發電所、神戶製鋼所、三義鐵道鳥塔ペン工場、阪神間住吉川水害復舊、大阪瓦斯石島工場、日本アルミ發電、大同製鋼所、臺灣電力發電所、朝鮮鐵道京義線開城線、東北振興、ハルビン工場、大野浩機務所、華北交通河橋、華北交通北京支事務局、富國人朝親父江工場、發勸製遺池田工場、川崎重工業明石工場等である。



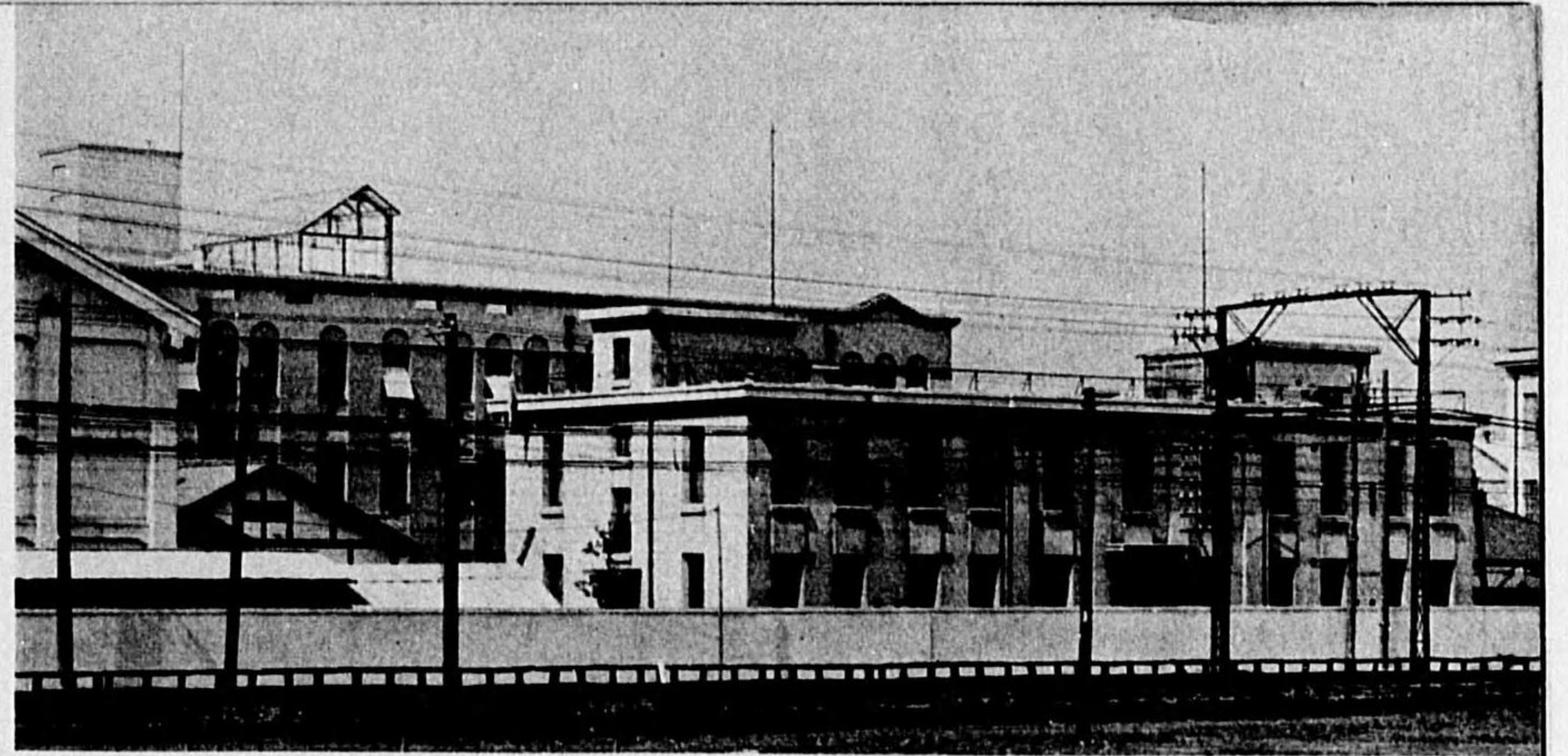


○ 氏 郎

住宅部編

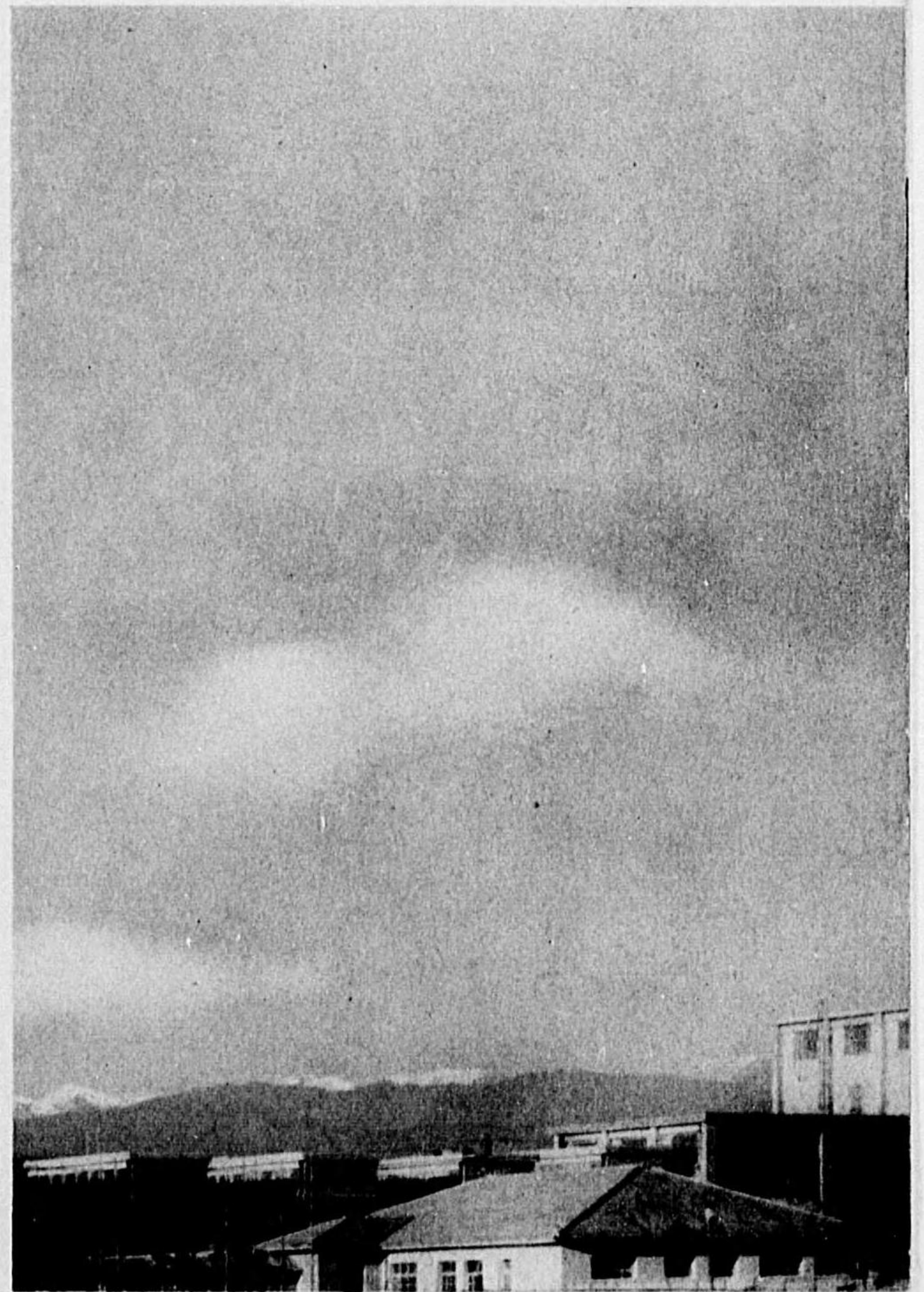
當組は住宅改良の機運が順に醸成され來つた昭和三年五月に、大方の御便宜を圖る爲社内住宅部を新設し、専ら改良住宅建設の御需めに應じたのであつたが、幸ひに大方各位の多大なる御眷顧を得、今や全國を通じての施工件数が一千餘に達し、就中健康住宅として當組推奨の阪神沿線濱甲子園の如きは數年にして茅茨翳々たる演邊が一市街を成すに至つた如き、當組の光榮として深く感謝するところである。即ち茲に住宅部編を追録して既施工の數種を掲げ、御眷顧の御挨拶に代へた次第である。

第五十年・昭和十六年



武田長兵衛商店三十製藥工場

武田長兵衛商店三十製藥工場は、十年前より工を起して竣工の工場毎に製藥の機能を發揮しつゝ、逐次棟敷を増し、今に猶施工中のものもある製藥工場としては恐らく我が國に於ける最大のものであり、しかも科學の進歩に伴つて最も斯新な設備を施してある點は眞に驚くべきものがある。



大日本紡績會社清津工場

大日本紡績清津工場は北鮮に於ける最大の工場で、吉會線が開通せられて以來の同地方の發展は驚異に値する。

以上掲載中の工場は何れも數千坪乃至數萬坪に渉る當代の大工場のみであるが、防禦上一千坪以上の掲載を禁止されてある關係上寫真面が甚だ貧弱に墮したること、その他軍關係の廳舎及兵營・飛行場又は軍事工場・水力又は火力發電所・鐵道關係の橋梁及高架線・地下線等の工事に於て掲載價値の最も豊富なものもあるが、それは絶対に禁止されてあるので、それ等部門の時代相が明瞭に現はれてゐないことを遺憾とする。しかし他日御期待に添ふ機會もあるべく今回のところは悪しからず御諒承を願ひます。



武田氏邸

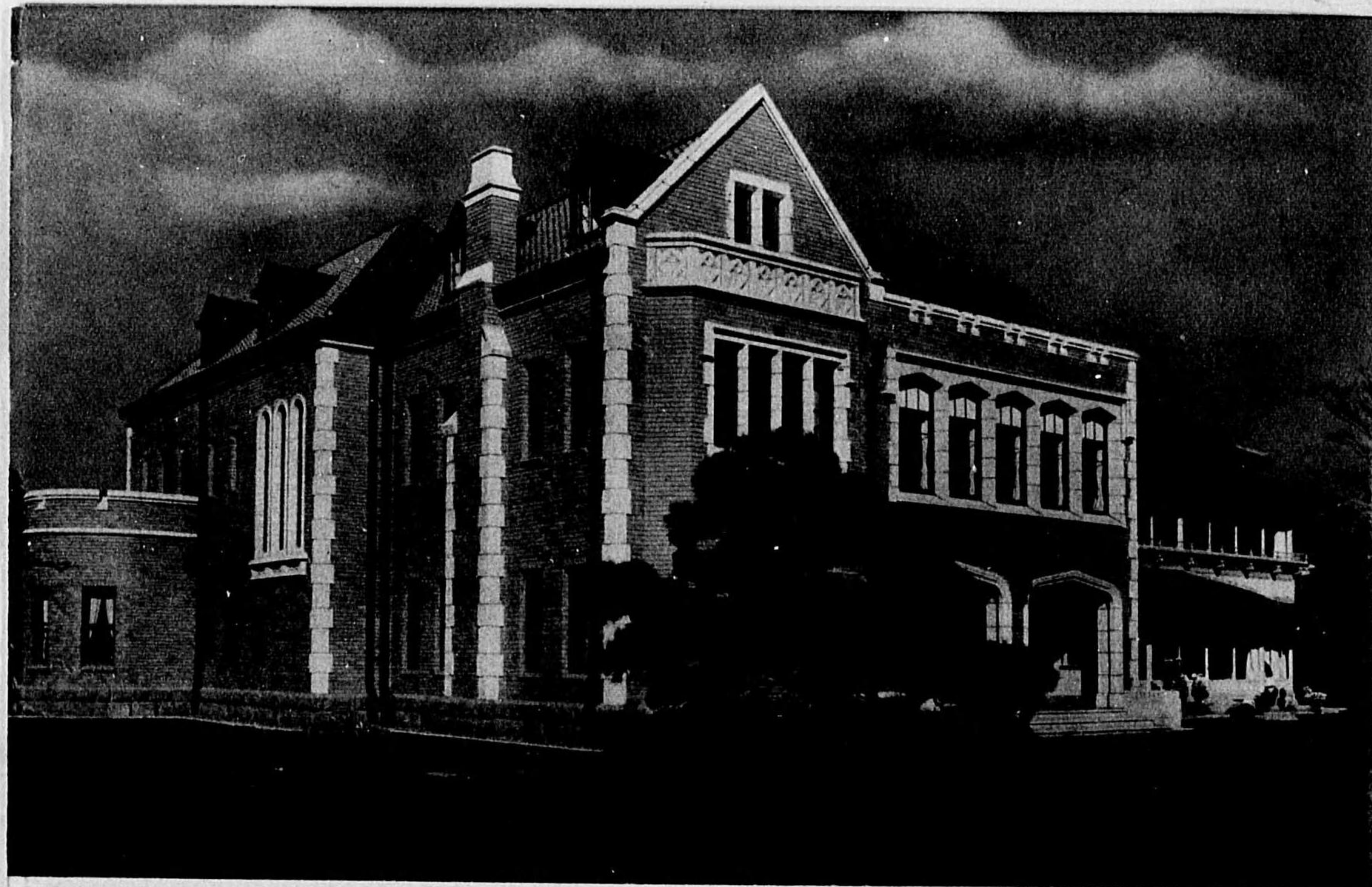


○武田氏應接室

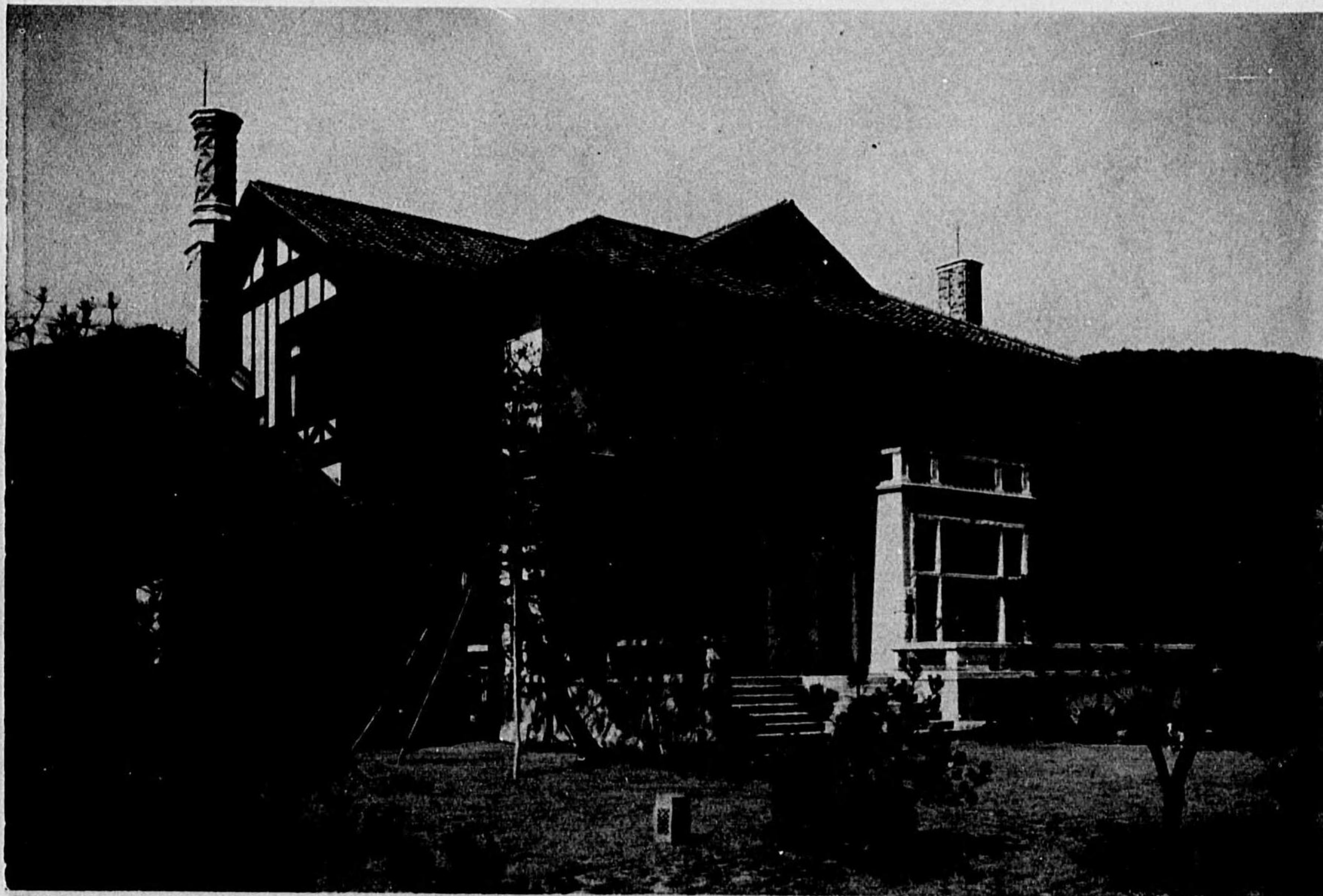


大浦氏邸





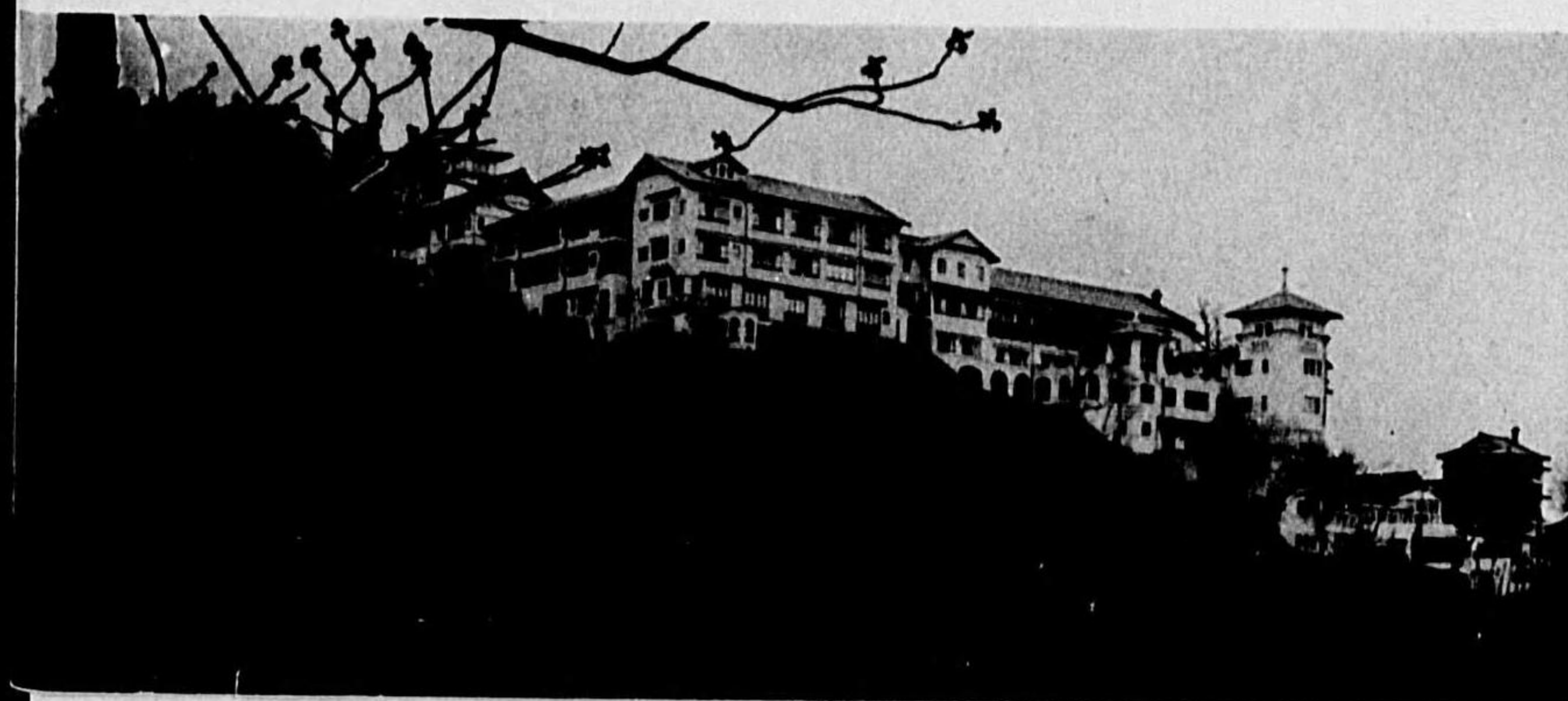
某氏邸  
S氏邸



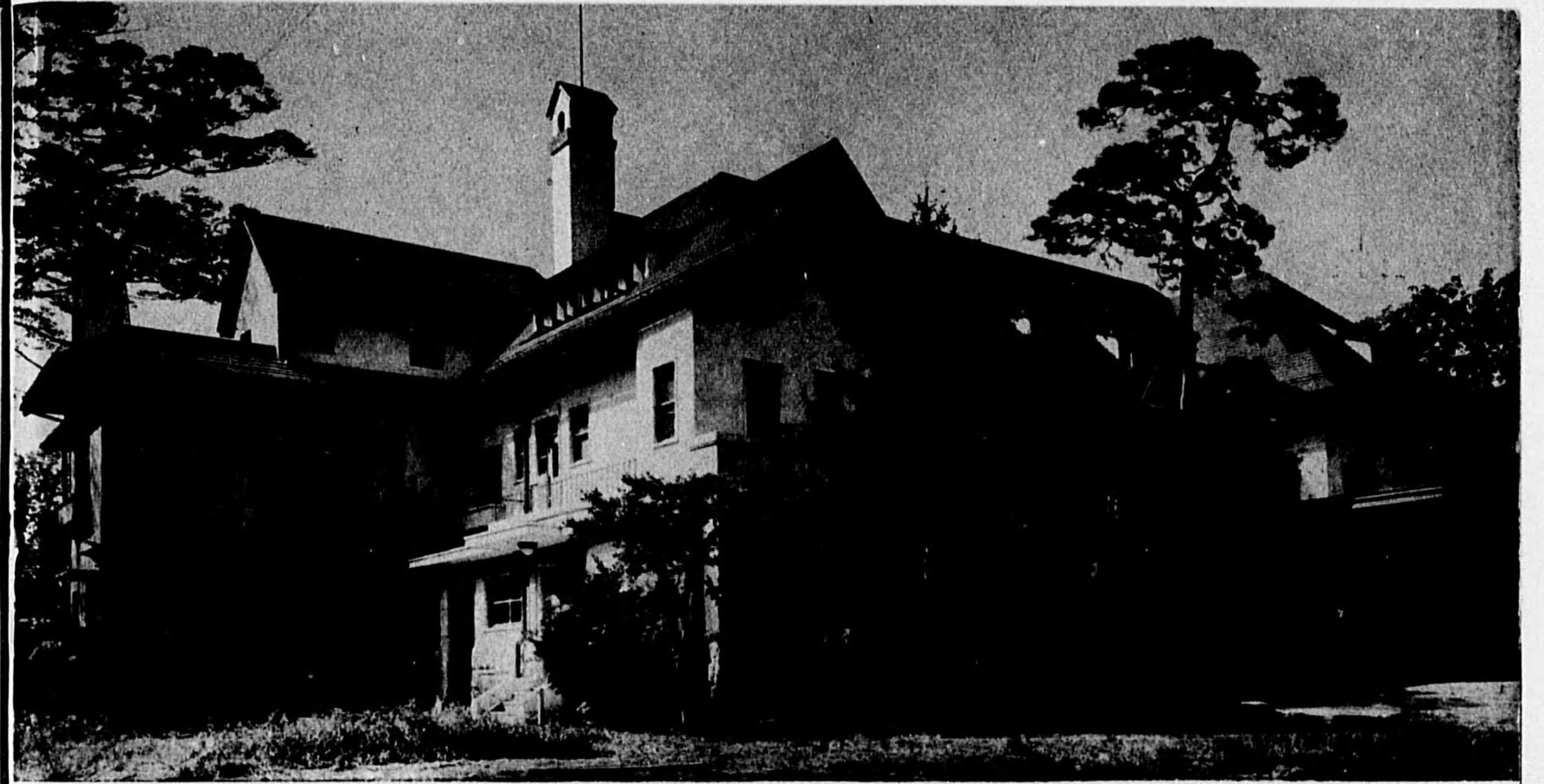
山中觀光ホテル



今西氏邸



湯涌白雲樓



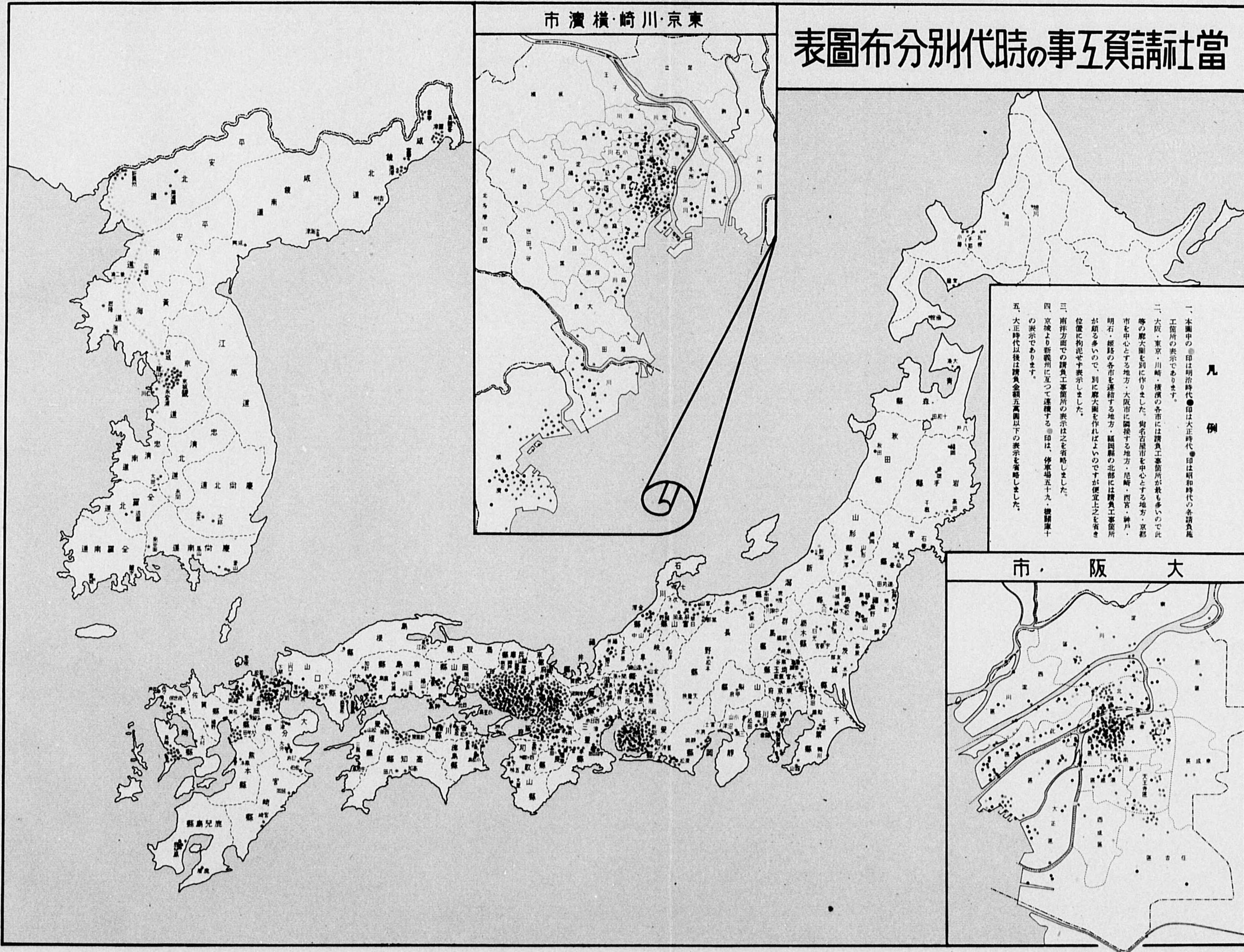
外 観

細川侯爵邸

サ  
ロ  
ン



# 當社請負工事の時代別分布圖表



年次	明治二五年	明治二六年	明治二七年
第一			
第二			
第三			
第四			
第五			
第六			
第七			
第八			
第九			
第十			
第十一			
第十二			
第十三			
第十四			
第十五			
第十六			
第十七			
第十八			
第十九			
第二十			
第二十一			
第二十二			
第二十三			
第二十四			
第二十五			
第二十六			
第二十七			
第二十八			
第二十九			
第三十			
第三十一			
第三十二			
第三十三			
第三十四			
第三十五			
第三十六			
第三十七			
第三十八			
第三十九			
第四十			
第四十一			
第四十二			
第四十三			
第四十四			
第四十五			
第四十六			
第四十七			
第四十八			
第四十九			
第五十			
第五十一			
第五十二			
第五十三			
第五十四			
第五十五			
第五十六			
第五十七			
第五十八			
第五十九			
第六十			
第六十一			
第六十二			
第六十三			
第六十四			
第六十五			
第六十六			
第六十七			
第六十八			
第六十九			
第七十			
第七十一			
第七十二			
第七十三			
第七十四			
第七十五			
第七十六			
第七十七			
第七十八			
第七十九			
第八十			
第八十一			
第八十二			
第八十三			
第八十四			
第八十五			
第八十六			
第八十七			
第八十八			
第八十九			
第九十			
第九十一			
第九十二			
第九十三			
第九十四			
第九十五			
第九十六			
第九十七			
第九十八			
第九十九			
第一百			

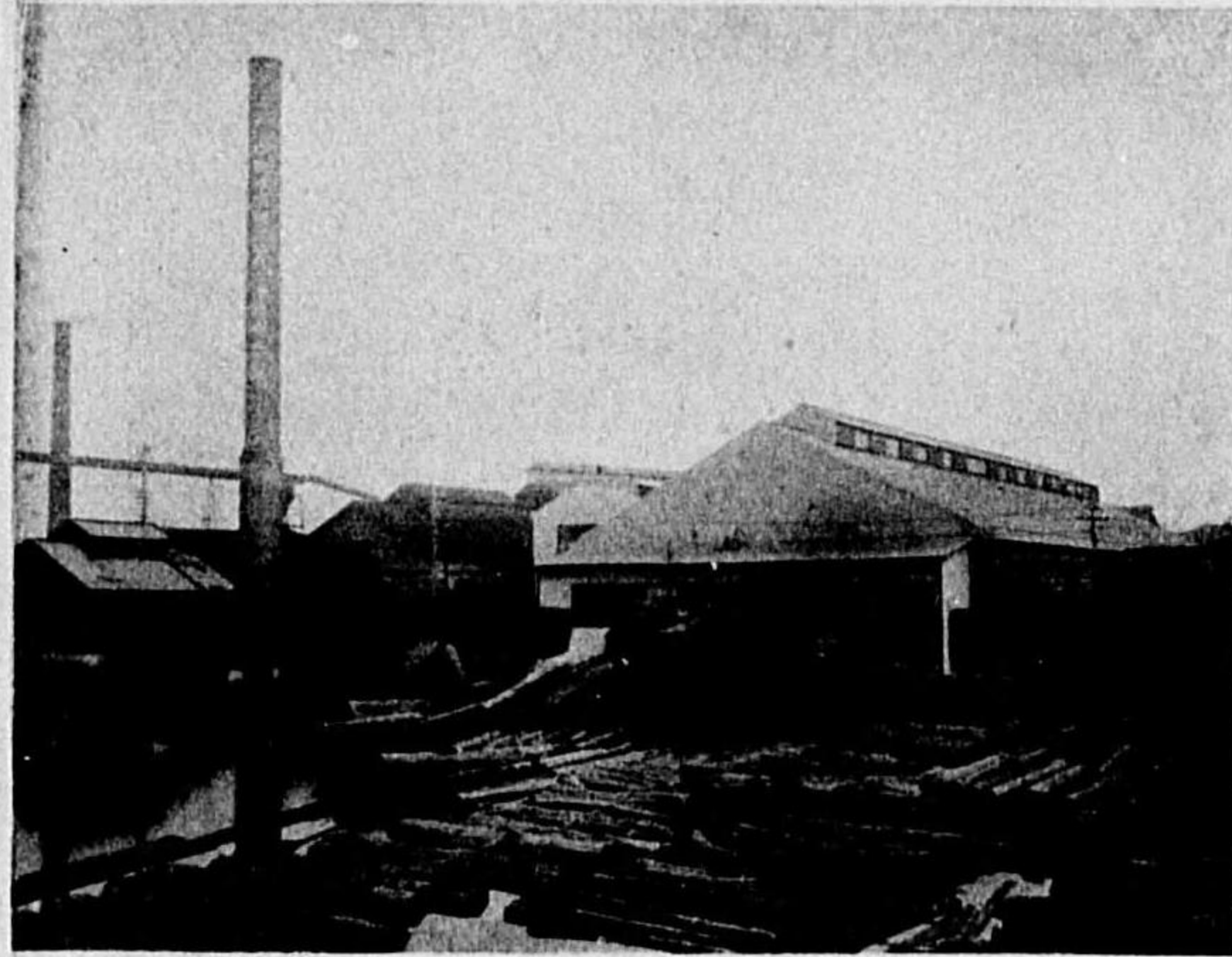


内外木材工藝會社編 其の一

光 榮

伏見桃山御陵・伏見桃山東御陵・多摩御陵御造營  
 用材の御用命を拜す。  
 大正・昭和兩度の御即位大典に際し、饗宴場・朝  
 集所等の御儀に各種調度品調達の御下命を拜す。  
 昭和四年七月 東久邇宮裕彦王殿下御臺臨。  
 昭和七年六月 朝香宮鳩彦王殿下御臺臨・同宮  
 邸御造作工事の御用命を拜す。  
 昭和七年十一月 陸軍特別大演習に際し侍從御差  
 遣優渥なる聖旨を拜す。  
 昭和十三年 十月 滿洲國假宮廷造作並に室内裝飾  
 工事の御用命を拜す。

第一の場工



創業

明治二十八年  
 昭和六年十月一日株式會社大  
 林組工作所大阪工場事業經  
 營一切を繼承し本社を設立す

營業種目

一 木材の販賣及製挽加工並  
 にベニヤ製作販賣  
 二 建築物・船舶・車輛・其  
 の他各種木工造作並に建具  
 ・家具其の他木工品の製作  
 販賣

特

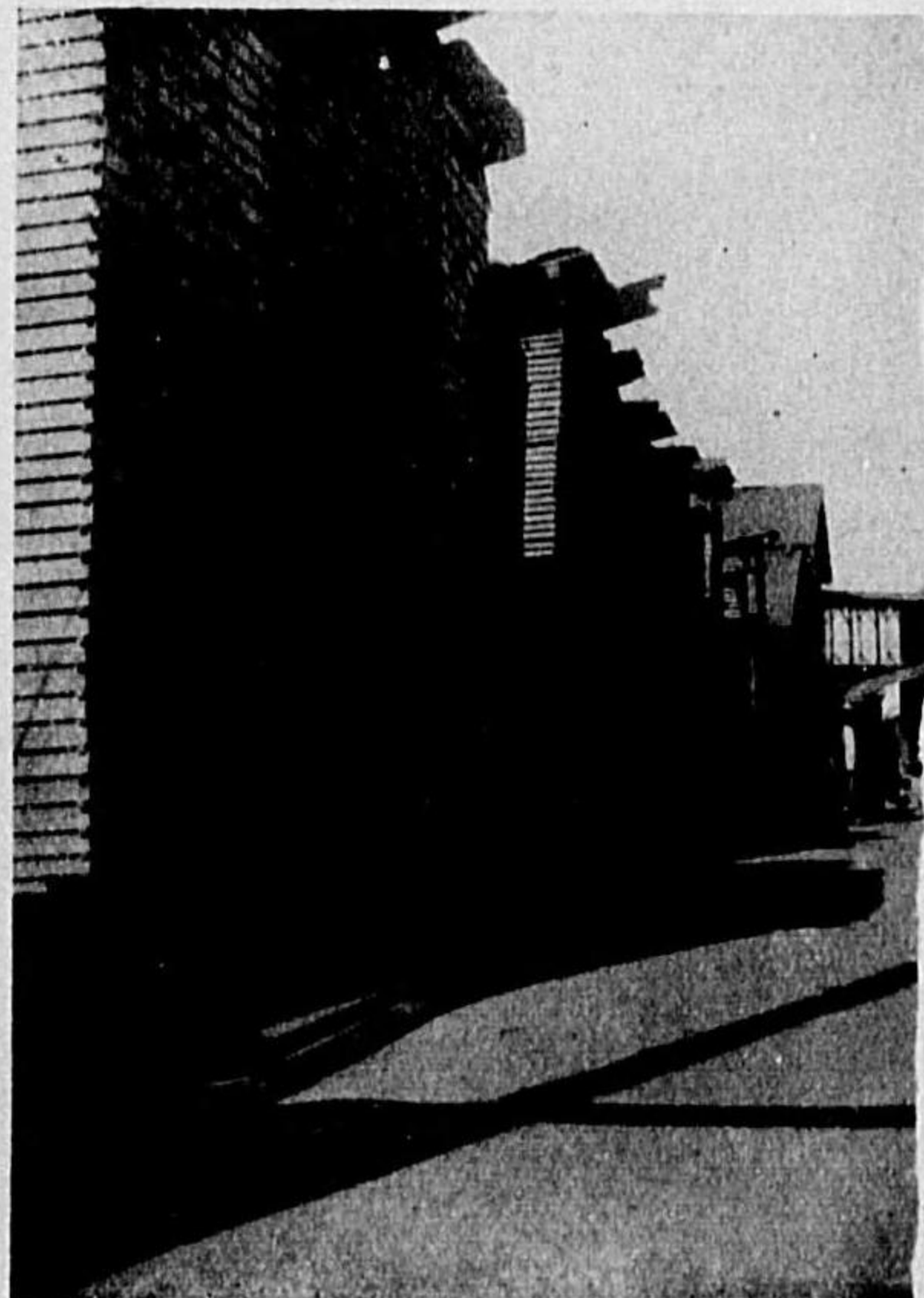
長

三 室内裝飾  
 四 前各號に關聯する各種物  
 品材料の製作販賣  
 當社の特長としては、當社  
 は、時代に適應する造作及家  
 具等を提供したい希望から、  
 度々技術員を海外に派遣して  
 技術の研鑽に當らせ、一面開  
 然するところなき諸機關の充  
 實を圖るなど、多年の苦心と  
 試練とに依つて設立されたも  
 ので、一朝一夕に生れたもの  
 でない點と、木材の缺點たる  
 收縮反張を是正する爲、特許  
 に依る木材の徹底的乾燥を行  
 ふは勿論のこと、合板工作の  
 應用に依つて更に木材の堅牢  
 化に重點を置くことが最大の  
 もので、その他洗煉された技  
 術を基礎に品位の向上と様式  
 美の發揮とに渾身の努力を拂  
 ひつゝあることも見通すこと  
 の出来ない特長の一つであり  
 ます。

營業經歷

數千件中主なるものを以下數  
 頁に分つて御披露申上ます。  
 本社及工場  
 東京工場  
 東京市城東區南砂町六丁目三  
 四〇番地  
 直營販賣店  
 大阪市東區瓦町三丁目八番地  
 その他奉天・新京・京城にも  
 出張所を設けてあります。

天然乾燥



製材工場の一



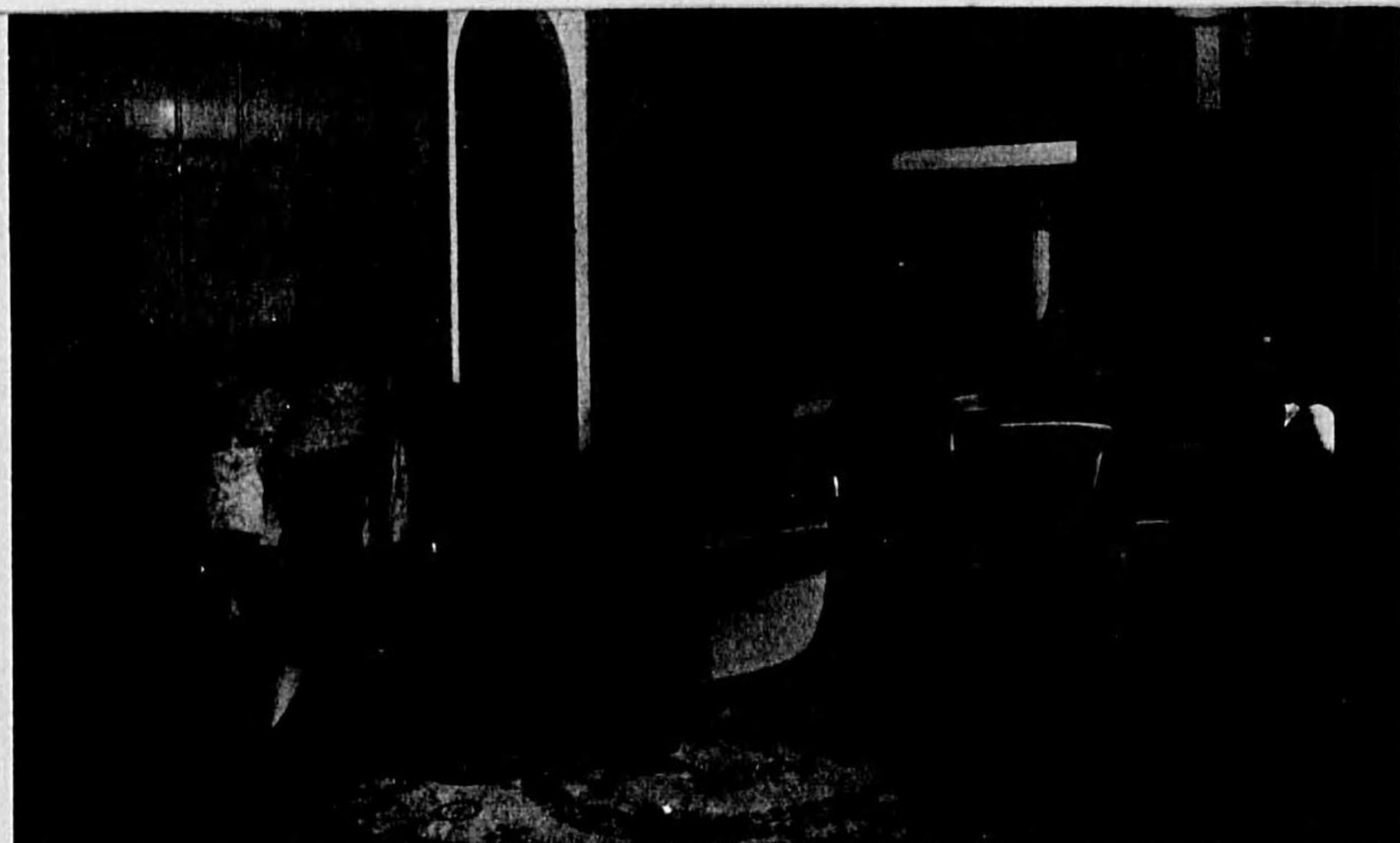
製材工場其二

木工工場



ベニヤ一

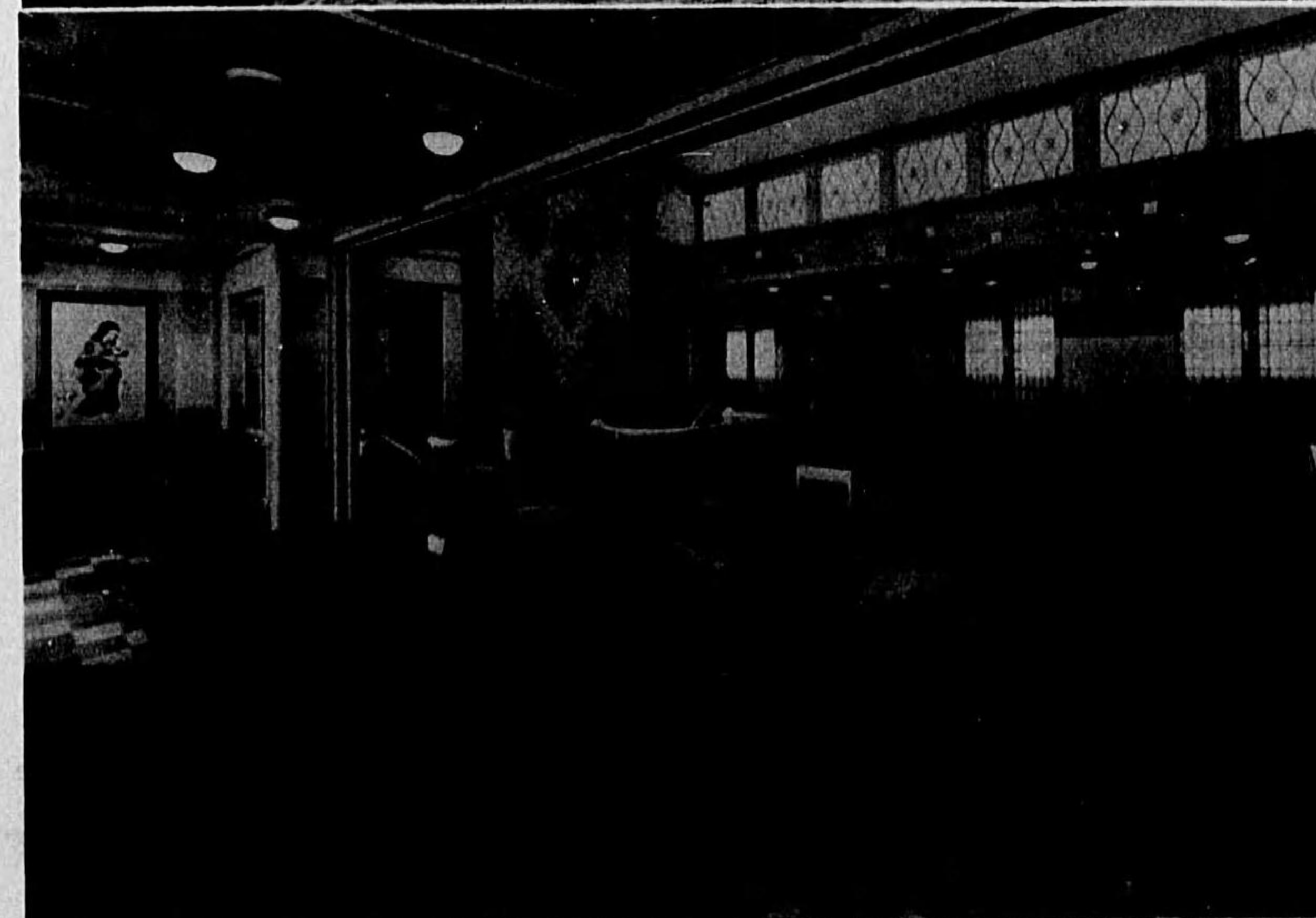
殿 御 臣 香 野



館 公 裁 總 鐵 船



丸 スレ イ ア ス ノ エ プ  
室 交 社 等 一



内外木材工藝會社編 其の三

内外木材工藝會社編 其の二



殿 便 御 内 院 議



ルテホ都  
店本行銀井三



ブラクルタンエリオ戸神



ブラク業錦



館使大國米

# 大林農場編

位置 朝鮮黃海道安岳郡大遠面屈隆里(大  
同江の支流載寧江の左岸)  
作付反別 一千三百町歩  
收穫 年産穀五萬餘石

當農場はもと渺茫たる蘆原に過ぎなかつたものを、昭和三年七月開墾に着手し、同五年安寧水利組合用水路の完成と共に作付を開始し、爾來年と共に幾多の改良を加へつゝ今日に至つたものである。耕作に従事する小作民には家屋及農具を貸與し、その數五百二戸に及んでゐる。これを五ヶ農區に分割編成して各農區には四名づゝの指導員を配屬し、農耕上の技術的方面は勿論、日常生活及衛生の諸問題に至るまでこれが指導誘掖に當らせてゐる。

大林農場建設謝恩碑



謝恩碑は、當農場に小作人として働きたつある鮮人が、農場の恩恵に依つて炭の苦を脱したばかりでなく、日々安穩に生活を営み得る今日の境涯を喜ぶの餘り、農場設立十年の祝典に際し、彼等衷心よりの發心で建立せられたものである。

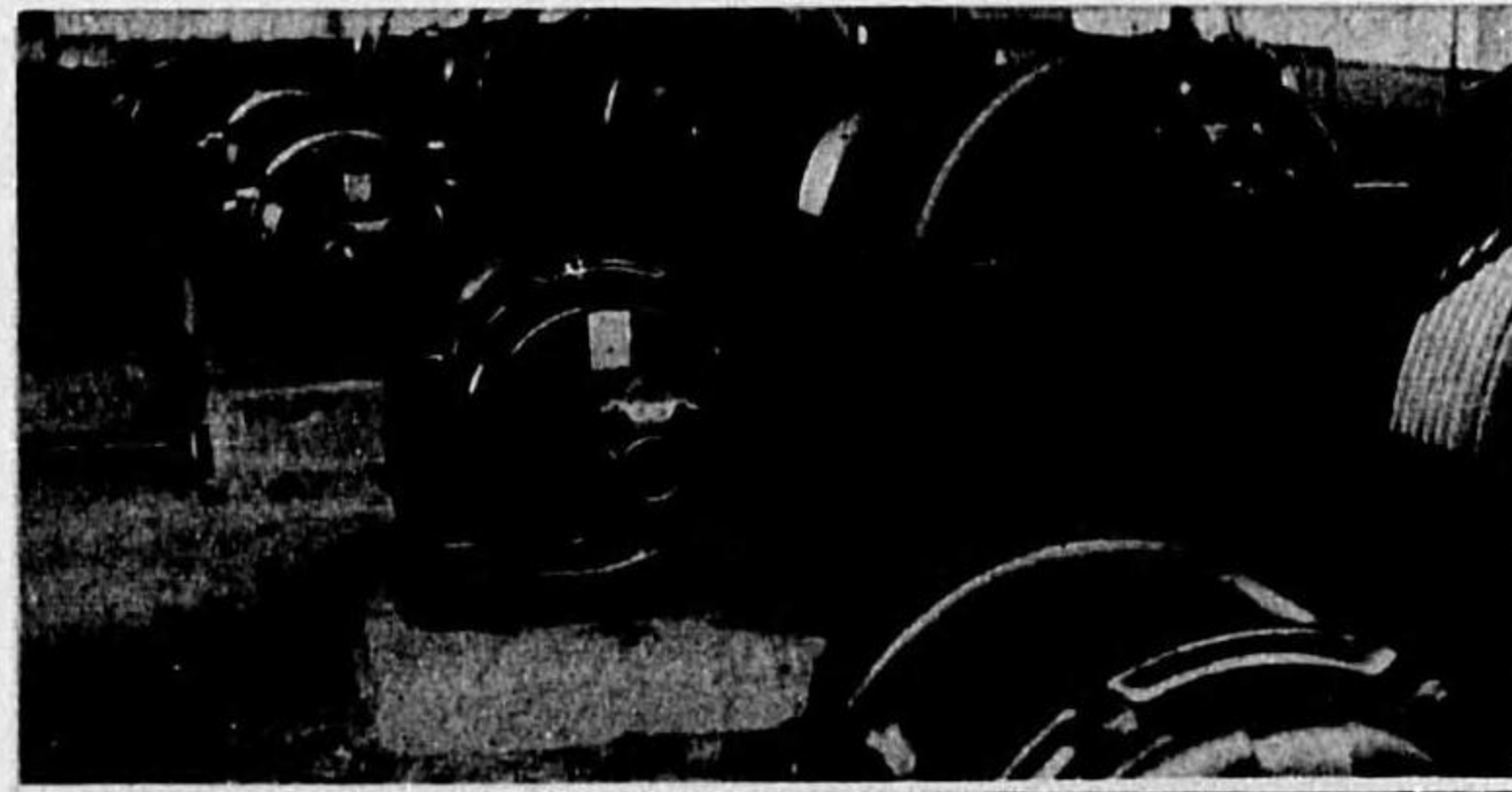
大林農場全景の一部(約四分の一)



# 三寶鑛業社會編

當會社は、朝鮮京畿道開豐郡に在る三寶鑛山を中心に設立したもので本頁掲載の寫眞は總て同鑛山のもののみである。三寶鑛山は、昭和九年十一月以來鋭意探鑛に努めた結果、既に地表下五〇〇尺地並迄の開發を了し、目下更に地表下一、〇〇〇尺地並迄の開發に着手してゐる。又昭和十四年五月以來自家製鍊所に於て鑛石を處理し産金の實を擧げつゝあり、現在の従業員は六百名に達してゐる。次に价川砂金鑛は既に採金中であり、立寶鑛山も目下採金の準備中で、その他は探鑛に屬するもの。

三寶鑛山  
コンプレッサー室



坑内掘鑿作業



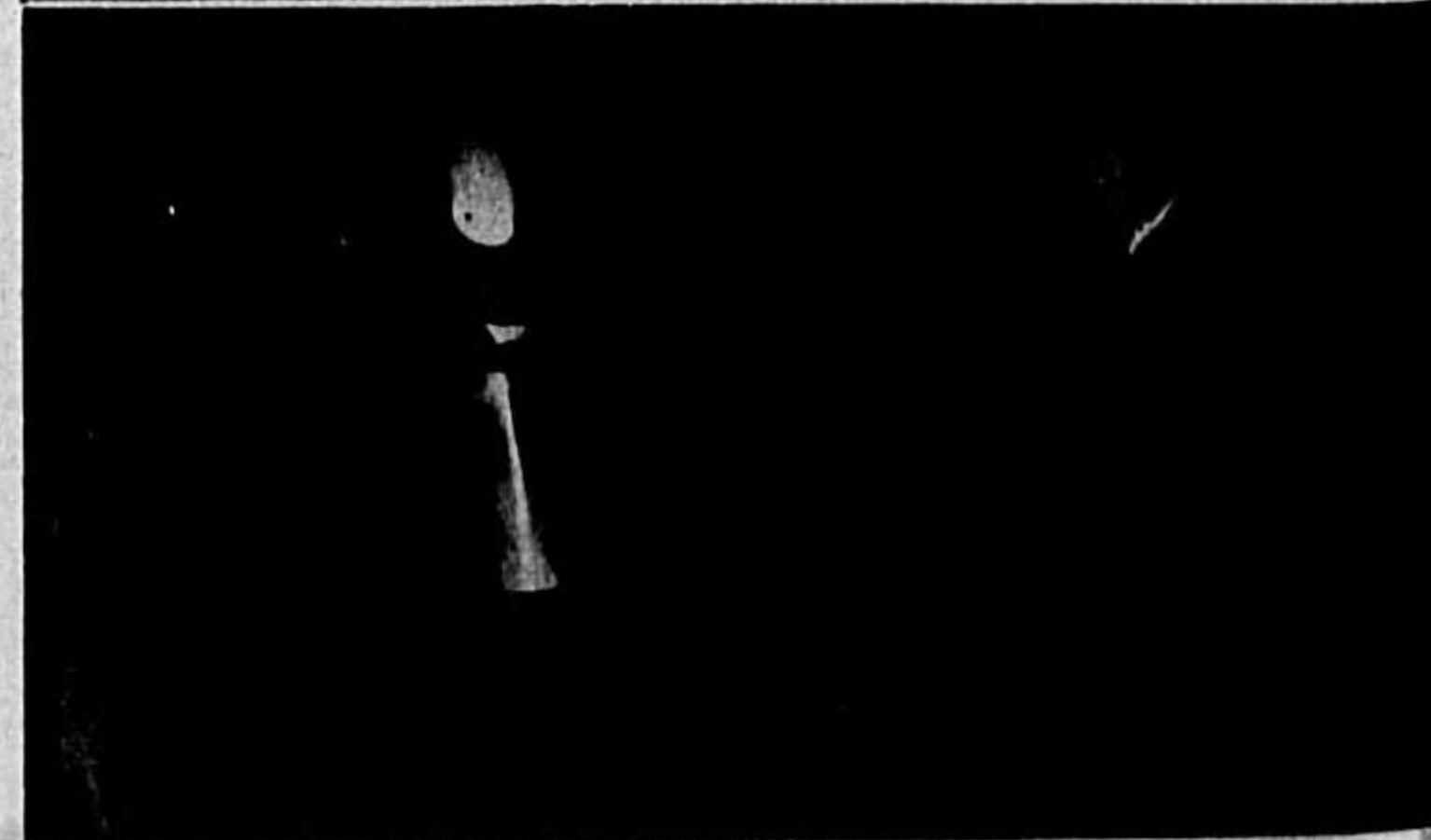
製鍊所全景



三寶鑛山  
磨鑛場の一部



精金作業



- 本店 大阪市東區瓦町二丁目三和ビル内
- 支店 京城府黃金町一丁目朝鮮ビル内
- 三寶鑛山 京畿道開豐郡北面
- 岩井鑛山 宮崎縣西臼杵郡岩井川村
- 糸井鑛山 兵庫縣養父郡糸井村
- 大森鑛山 愛媛縣西宇和郡喜須來村
- 价川砂金鑛 平安南道价川郡价川面
- 立寶鑛山 忠清南道天安郡稷山面
- 讀亭鑛山 黃海道金川郡古東面





工場全景

## 大林精工器業所編

所在地  
大阪市東淀川區瑞光通六丁目十二番地

營業課目  
諸機械器具の製造販賣・航空機並に兵器部分品の製造加工・計量器の製造・プランチャードランプ及其の附屬品の製造販賣・海外輸出入品の委託賣買並に前記各項に關聯する一切の業務

營業略歴  
今日迄の納入先は枚舉に遑も無いがその主ななるものを挙げると、大阪陸軍造兵廠・川崎航空機工業會社・日本製鐵會社・三井鑛山會社・朝鮮總督府・住友電氣工業會社・住友金屬工業會社・滿洲計器會社等である。

第一工場



第二工場



第三工場



昭和十六年五月十日印刷  
昭和十六年五月十五日發行

大林組五十年記念帖奥付

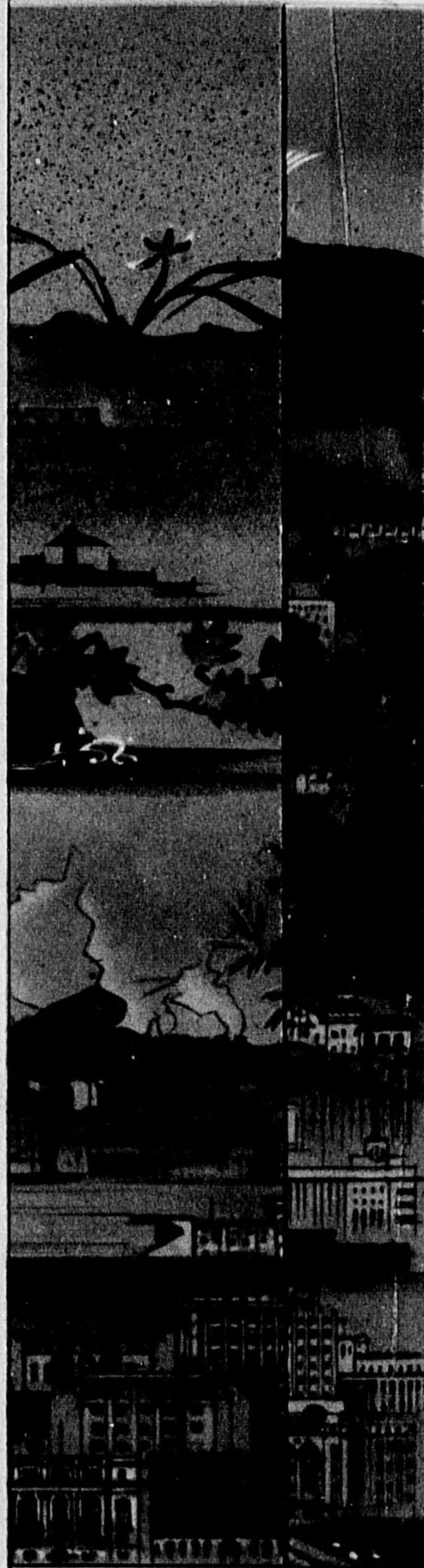
非賣品

内務省警保局  
防諜係檢閱濟

編纂者 大阪府泉北郡高石町羽衣六九九番地 白田喜八郎  
 發行者 兵庫縣武庫郡御影町郡家上山田九〇番地 武岡四郎  
 印刷者 大阪市西淀川區海老江上二丁目四八番地 花光正太郎  
 印刷所 大阪市西淀川區海老江上二丁目四八番地 株式會社 工文社

發行所 大林組編纂會  
 大阪市東區京橋三丁目  
 株式會社 大林組 內

2423



伏見桃山御殿	伏見桃山御殿
京都御所	京都御所
大原町	大原町
今宮	今宮
伊豆	伊豆
倉敷	倉敷
南	南
西	西



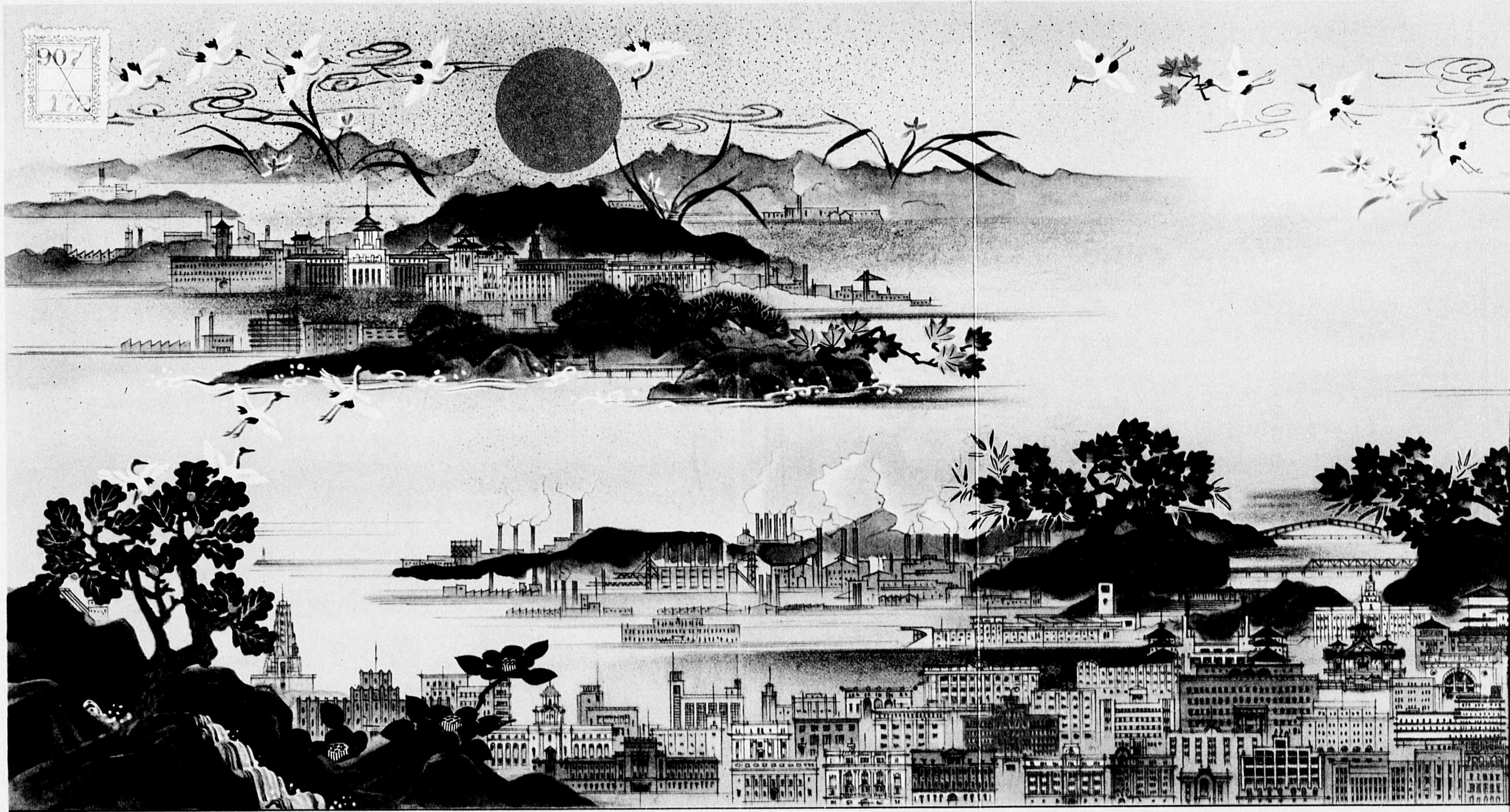
露光量違いの為重複撮影



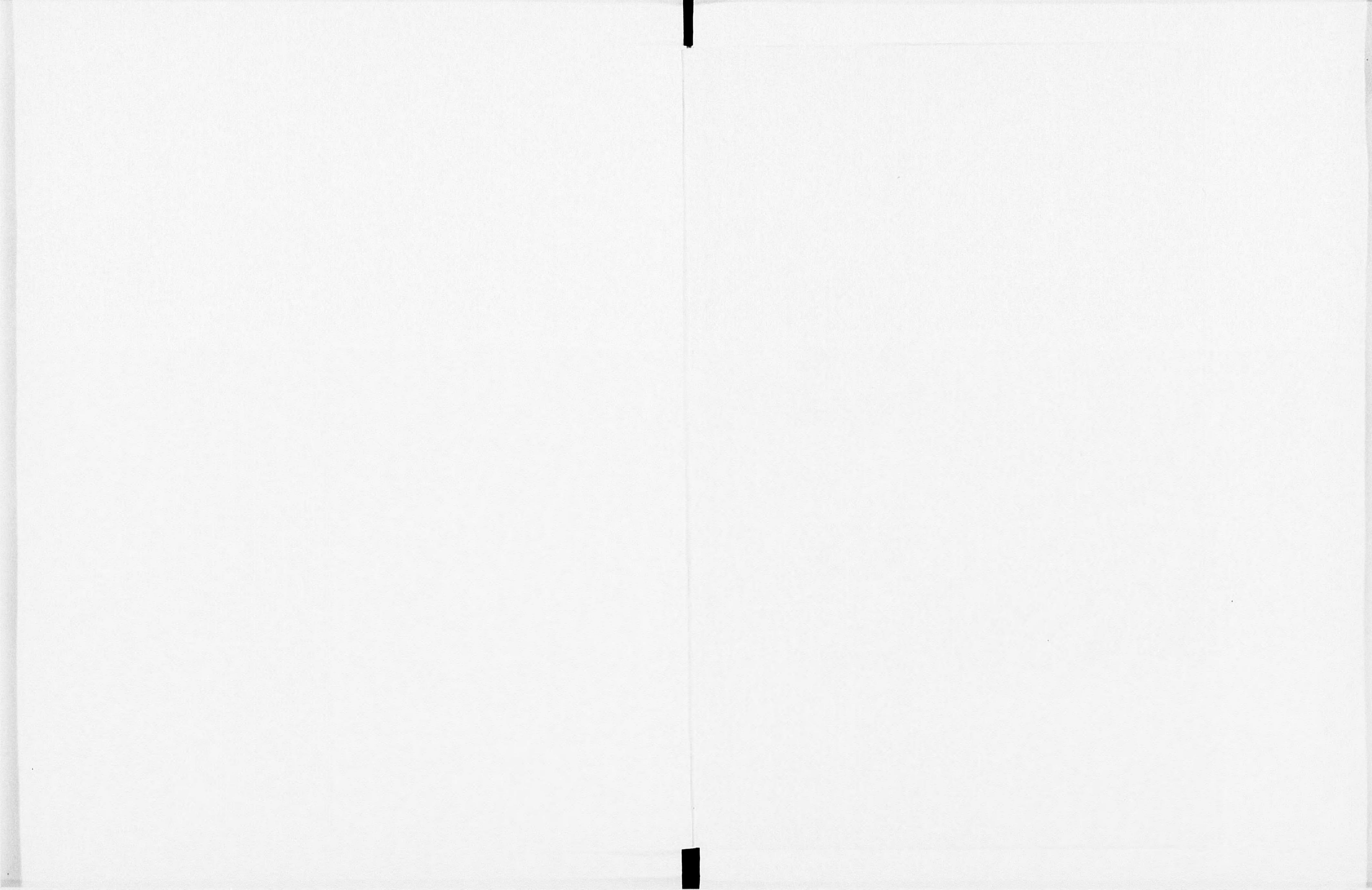
伏見 山崎 山崎  
 伏見 山崎 山崎  
 京都 御所 御所  
 大阪 曾根崎 曾根崎  
 大阪 曾根崎 曾根崎  
 日本 郵船 會社 大阪 支店  
 大阪 電燈 會社 春日 日出 發電所  
 大阪 每日 新聞 社  
 大阪 高等 學校  
 大阪 關西 會社 神戸 支店  
 日本 海上 保險 會社  
 今津 發電 會社 今津 發電所  
 十五 銀行 福岡 支店  
 宇治川 電氣 會社 福岡 發電所  
 大阪市 電氣 局 九條 發電所  
 大阪 市 役 所  
 福 井 縣 廳 會 館  
 大 阪 三 井 取 引 所  
 信 託 電 力 會 社 中 津 別 發 電 所  
 福 岡 市 役 所  
 大 阪 市 久 寶 小 學 校  
 鴻 池 銀 行 本 店  
 甲 子 團 體 動 員 會  
 名 古 屋 住 友 ビル デ ィ ン グ  
 兵 庫 縣 警 署 本 部 廳 舍  
 大 阪 ビ ル デ ィ ン グ  
 京 阪 電 鉄 天 美 ビ ル デ ィ ン グ  
 江 崎 電 氣 工 事 所  
 日 本 實 業 銀 行 名 古 屋 支 店  
 關 西 倉 行 上 大 日 立 デ ィ ン グ  
 大 阪 府 府 廳 會 館  
 京 都 光 斗 町 歌 舞 練 舞 場  
 聯 信 銀 行 本 店  
 東 洋 リ ー ヨ ン 會 社 鐵 道 工 務 部  
 大 阪 中 央 電 信 電 話 局 廳 舍  
 東 津 水 利 組 合 貯 水 池  
 清 心 高 等 女 學 校  
 大 阪 鐵 道 道 務 院  
 住 友 川 口 倉 庫  
 櫻 宮 大 學  
 甲 子 團 體 動 員 會  
 九 州 帝 國 大 學 醫 學 部 附 院  
 三 井 銀 行 川 口 支 店  
 京 都 高 等 工 藝 學 校  
 名 古 屋 市 公 會 堂  
 德 島 縣 廳 會 館  
 三 宮 會 館  
 住 友 ビ ル デ ィ ン グ  
 京 阪 電 氣 鐵 道 會 社 新 京 阪 線  
 新 潟 縣 廳 會 館  
 安 田 ビ ル デ ィ ン グ  
 大 阪 誠 天 守 閣  
 日 本 生 命 保 險 會 社  
 南 海 ビ ル デ ィ ン グ  
 大 阪 歌 舞 伎 座  
 宮 崎 縣 廳 會 館  
 今 宮 中 學 校  
 大 阪 瓦 斯 ビ ル デ ィ ン グ  
 伊 藤 漢 商 會 館  
 自 然 科 學 會 社 新 居 濱 工 場  
 南 海 鐵 道 會 社 區 區 線  
 關 西 共 同 火 力 發 電 會 社 尼 崎 發 電 所  
 關 東 軍 司 令 部 廳 舍  
 金 山 渡 津 橋  
 大 阪 帝 國 大 學 理 學 部  
 阪 神 鐵 道 會 社 大 學 部  
 神 戶 商 業 大 學  
 長 崎 縣 廳 會 館

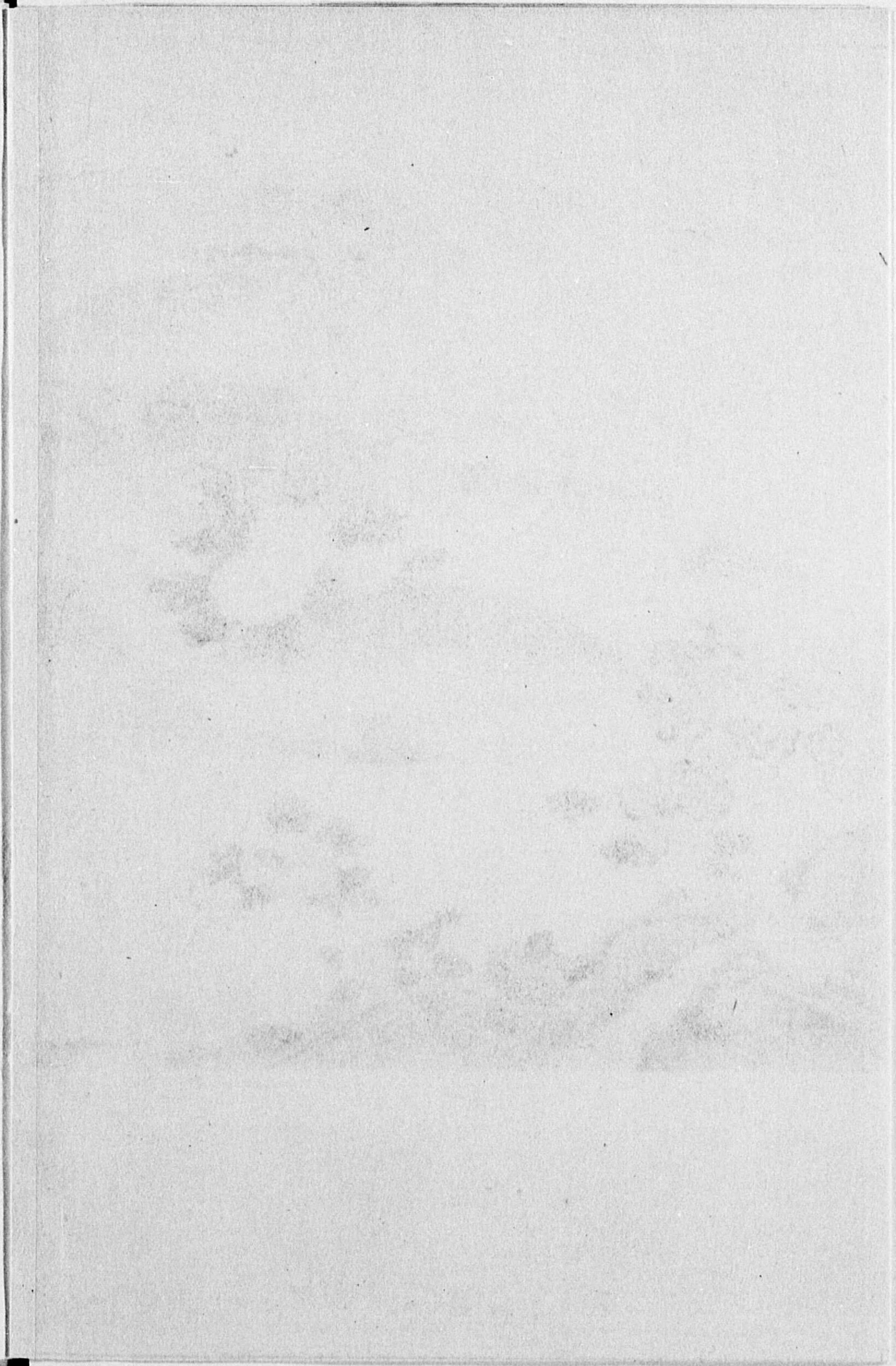
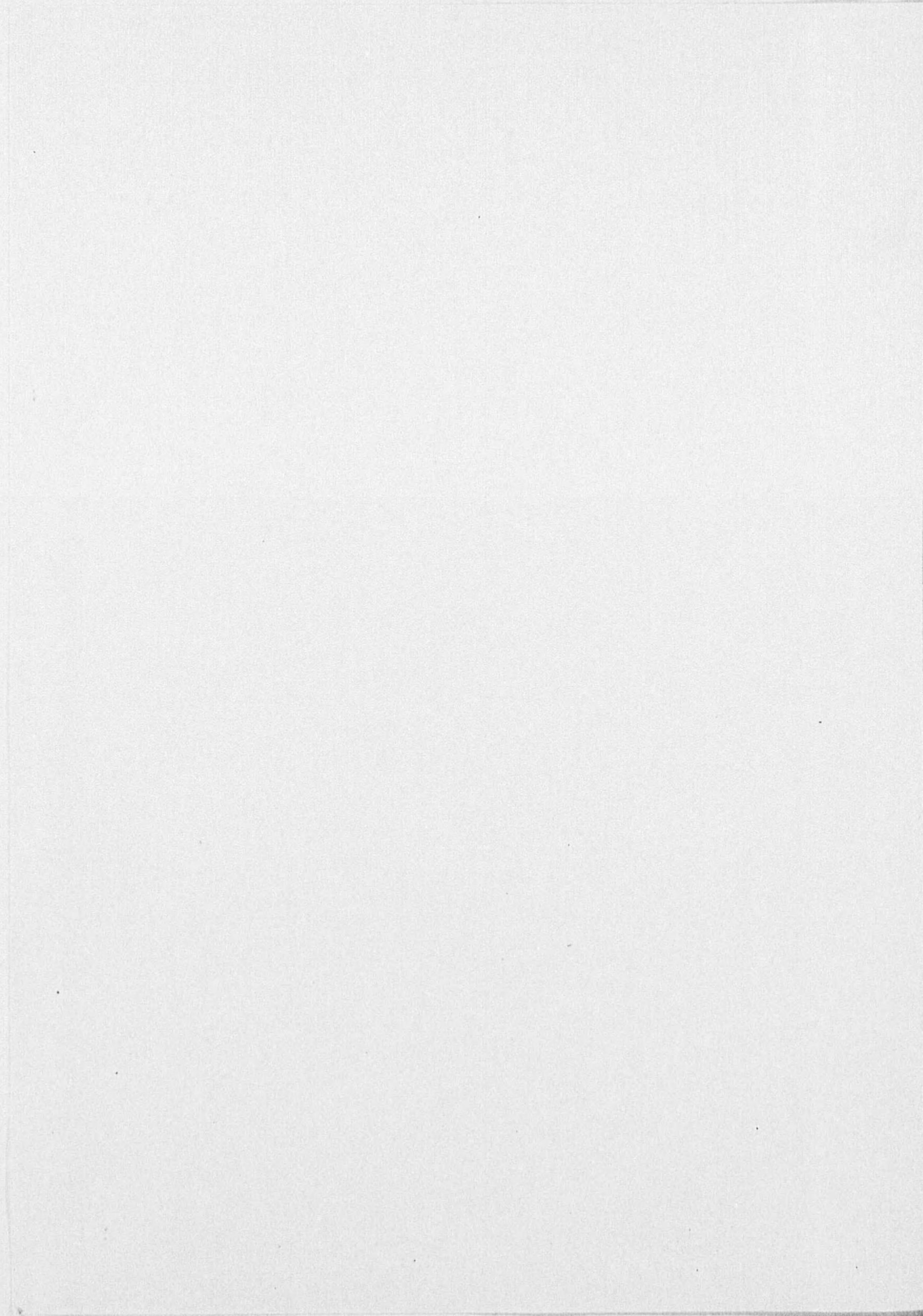


露光量違いの為重複撮影



大阪府 大阪商會  
 京橋 銀行 本店  
 東洋レコーン會社 大阪工場  
 大阪中央電信電話局 願會  
 東洋水利組合 貯水池  
 清心高等女學校  
 大阪鐵道病院  
 住友川口倉庫  
 櫻宮大  
 甲子園ホテル  
 九州帝國大學醫學部病院  
 三井銀行 川口支店  
 京都高等工藝學校  
 名古屋市中公會堂  
 德島縣廳會  
 住友ビルディング  
 京阪電氣鐵道會社 新大阪線  
 新瀨野縣廳會  
 安田ビルディング  
 大阪城天守閣  
 日本生命保險會社  
 南海ビルディング  
 大阪歌舞伎座  
 宮崎縣廳會  
 今宮中學校  
 大阪瓦斯ビルディング  
 伊藤萬商會  
 會數精織會社 新居工務  
 南滿洲鐵道會社 瀋陽線  
 關西共同火力發電會社 尼崎發電所  
 關東軍司令部 願會  
 金山渡津橋  
 大阪帝國大學理學院  
 阪神電氣鐵道會社 樂部  
 神戸商業大學  
 長瀬會大 阪病院  
 朝野貯蓄銀行 本店  
 關東東局 願會  
 大阪中央放送局  
 山中觀光ホテル  
 大光神戶店  
 鐵兵商會  
 三菱鐵道會  
 大坂株式取引所  
 東洋紡績會社 京成工場  
 三井銀行 福岡支店  
 帝國大鐵道 三原工場  
 日本勸業銀行 大阪支店  
 游洲中央銀行 總行  
 京都祇園 願會  
 京橋ビルディング  
 阪神ビルディング  
 新東京海上ビルディング  
 游洲國民政府 願會  
 京成鐵道 丁子屋  
 大鉄百貨店  
 中部共同火力發電會社 名古屋發電所  
 滋賀縣廳會  
 大日本紡績會社 清津工場  
 日本電力會社 墨部川發電所  
 大坂  
 東邦電力會社 相浦發電所  
 東洋紡績會社 錦州工場  
 大坂市電地下鉄  
 臺灣電力會社 圓山發電所  
 東京電燈會社 信濃川發電所  
 日本發達電會社 牧發電所







終